

令和4年度（2022年度）  
障害福祉サービス意向調査  
報告書

令和5年（2023年）3月  
中野区



## はじめに

平成 24 年 6 月、障害者総合支援法（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）が制定され、制度の谷間を埋めるため難病患者等を障害福祉サービスの対象に加えるとともに、障害支援区分が創設されました。

本調査は、令和 3 年 3 月に策定した中野区障害者計画、第 6 期中野区障害福祉計画及び第 2 期障害児福祉計画が改定時期を迎え、次期計画を策定するにあたり、障害者の健康福祉サービスの利用実態や今後の利用意向を把握するために実施したものです。

この調査結果は計画改定の基礎資料として、また、区の障害福祉施策を改善・充実させるための検討材料として活用させていただきます。

ここに、本調査にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

令和 5 年（2023 年）3 月  
中野区健康福祉部



# 目次

## I 調査の概要

1. 調査の目的 .....	3
2. 調査の項目 .....	3
3. 調査の設計 .....	4
4. 報告書を読む際の留意点.....	4

## II 調査結果の分析

### 障害者調査

1. 回答者の属性 .....	9
1.1. アンケートの回答者.....	9
1.2. 性別 .....	9
1.3. 年齢 .....	10
1.4. 身体障害者手帳の等級.....	11
1.5. 愛の手帳の度数.....	11
1.6. 精神障害者保健福祉手帳の等級.....	11
1.7. 身体障害者手帳に記載された障害名.....	12
1.8. 精神障害の診断名.....	12
1.9. 障害支援区分認定.....	13
1.10. 要支援・要介護認定.....	14
1.11. 家族構成 .....	14
1.12. 所持手帳別アンケート回答者.....	15
1.13. 所持手帳別年齢.....	16
2. 住まいについて .....	17
2.1. 住居形態 .....	17
2.2. 住宅で困っていることの有無.....	19
2.2.1. 住宅で困っていること.....	20
2.3. 将来、生活したいところ.....	22
2.4. 災害への不安の有無.....	24
2.4.1. 災害に関して不安を感じていること.....	25
3. 日常生活の介護や支援について.....	27
3.1. 日常生活での介助の必要性の有無.....	27
3.1.1. 日常生活で介助を必要とすること.....	28
3.1.2. 主な介助者.....	30

3.1.3. 主な介助者を除く日常的な介助者.....	32
3.2. 主な介助者が介助困難になった場合の対処.....	33
3.3. 平日の日中の過ごし方.....	35
4. 外出状況について.....	37
4.1. 外出の頻度 .....	37
4.2. 外出の主な目的.....	39
4.3. 外出する上での妨げの有無.....	41
4.3.1. 外出する上で妨げになっていること.....	42
4.4. 外出の際の主な交通手段.....	44
5. 働くことについて.....	46
5.1. 就労による定期的な収入の有無.....	46
5.1.1. 現在の就労形態.....	48
5.1.2. 仕事を見つけた方法.....	50
5.1.3. 仕事や職場への不安や不満の有無.....	52
5.1.3.1. 仕事や職場への不安や不満.....	55
5.2. 希望する働き方.....	59
5.3. 障害者が働くための環境整備.....	62
6. 健康福祉サービスについて.....	65
6.1. 相談サービスの利用有無.....	65
6.1.1. 利用した相談サービス.....	66
6.2. 障害福祉サービス.....	68
6.2.1. 障害福祉サービスの利用状況.....	68
6.2.2. 障害福祉サービスの利用意向.....	70
6.2.3. サービス等利用計画について不満に思うこと.....	72
6.2.4. 障害福祉サービスを利用していない理由.....	74
6.3. 障害者に対する理解.....	76
6.4. ヘルプマークの認知度.....	78
6.5. 充実して欲しい施策.....	80
6.6. 障害者差別解消法の認知度.....	82
6.7. 障害を理由に、差別的な対応を受けたこと.....	83
6.8. 障害への配慮で特に嬉しいと感じたこと.....	85
7. 自由回答 .....	88
7.1. 日常生活で困っていること.....	88
7.2. 健康福祉行政全体への意見・要望.....	91
<b>施設入所者調査</b>	
1. 回答者の属性 .....	97

1.1. アンケートの回答者.....	97
1.2. 性別 .....	97
1.3. 年齢 .....	97
1.4. 身体障害者手帳の等級.....	98
1.5. 愛の手帳の度数.....	98
1.6. 身体障害者手帳に記載された障害名.....	98
1.7. 障害支援区分.....	99
1.8. 入所施設の種類.....	99
2. 入所について .....	100
2.1. 入所年数 .....	100
2.2. 入所理由 .....	101
2.3. 施設の種類 .....	102
3. 今後の生活について.....	103
3.1. 生活したい場所.....	103
3.2. 施設退所後の生活.....	105
3.2.1. 施設退所後に住みたい場所.....	107
4. 自由回答 .....	109
4.1. 健康福祉行政全体への意見・要望.....	109
<b>発達支援等調査</b>	
1. 回答者の属性 .....	113
1.1. アンケートの回答者.....	113
1.2. 性別 .....	113
1.3. 年齢 .....	113
1.4. 身体障害者手帳の等級.....	114
1.5. 愛の手帳の度数.....	114
1.6. 精神障害者保健福祉手帳の等級.....	114
1.7. 身体障害者手帳に記載された障害名.....	115
1.8. 診断に関する事で気がついた年齢.....	115
1.9. 家族構成 .....	116
1.9.1. 兄弟姉妹の人数.....	116
1.10. 所持手帳別年齢.....	116
2. 医療的ケア等について.....	117
2.1. 医療的ケアの必要性.....	117
2.1.1. 医療的ケアの内容.....	119
2.1.2. 身体能力について.....	121
2.2. サービス等の利用状況.....	122

2.2.1. これまで利用できなかったサービス等の有無.....	126
2.2.2. 利用できなかったサービス等.....	127
3. 児童福祉法のサービスについて.....	129
3.1. 児童発達支援の認知度.....	129
3.2. 児童発達支援の利用状況.....	131
3.2.1. 利用している児童発達支援事業所数.....	133
3.2.2. 児童発達支援事業所に通う日数.....	135
3.2.3. 児童発達支援を希望する利用日数.....	136
3.3. 児童発達支援の利用意向.....	137
3.3.1. 児童発達支援を利用したくない理由.....	139
3.4. 居宅訪問型児童発達支援の利用意向.....	140
3.4.1. 利用したい日数.....	141
3.5. 放課後等デイサービスの認知度.....	142
3.6. 放課後等デイサービスの利用状況.....	144
3.6.1. 利用している放課後等デイサービス事業所数.....	146
3.6.2. 放課後等デイサービス事業所に通う日数.....	148
3.6.3. 放課後等デイサービス事業所を希望する利用日数.....	149
3.7. 放課後等デイサービスの利用意向.....	150
3.7.1. 放課後等デイサービスを利用したくない理由.....	152
3.8. 区外の事業所を利用している理由.....	153
3.9. 保育所等訪問支援の認知度.....	154
3.10. 保育所等訪問支援の利用意向.....	156
3.10.1. 保育所等訪問支援の希望利用日数.....	158
3.11. 障害児相談支援の認知度.....	159
3.12. 障害児相談支援（障害児相談支援事業所）の利用状況.....	161
3.13. 障害児相談支援事業所の利用希望.....	163
3.14. 障害児相談支援の利用意向.....	165
3.15. 障害児に対する地域の理解.....	167
3.16. 充実してほしい施策・サービス.....	169
4. 自由回答.....	170
4.1. 日常生活で困っていること.....	170
4.2. 健康福祉行政全体への意見・要望.....	176

### Ⅲ 調査票と単純集計



# I 調査の概要



## 1. 調査の目的

障害者の健康福祉サービスの利用実態や今後の利用意向を把握することを目的とする。

## 2. 調査の項目

### ① 障害者調査

- (1) 調査回答者の属性
- (2) 住まいについて
- (3) 日常生活の介護や支援について
- (4) 外出状況について
- (5) 働くことについて
- (6) 健康福祉サービスについて
- (7) 自由回答

### ② 施設入所者調査

- (1) 調査回答者の属性
- (2) 入所について
- (3) 今後の生活について
- (4) 自由回答

### ③ 発達支援等調査

- (1) 調査回答者の属性
- (2) 医療的ケア等について
- (3) 児童福祉法のサービスについて
- (4) 自由回答

### 3. 調査の設計

調査は、以下の①～③について、郵送による配布・回収の方法で行った。

#### ① 障害者調査

- ・調査対象：基準日（令和4年8月1日）時点で、身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している区民、及び難病等により障害福祉サービスを利用する区民。ただし、施設入所支援の利用者を除く。
- ・調査地域：中野区全域
- ・調査標本数：1,500人
- ・有効回収数：673人（回収率44.9%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和4年9月20日～10月11日

#### ② 施設入所者調査

- ・調査対象：身体障害者手帳、愛の手帳を所持している障害者のうち、基準日（令和4年8月1日）時点で、施設入所支援を利用している中野区の給付対象者。
- ・調査地域：日本全域
- ・調査標本数：175人
- ・有効回収数：134人（回収率76.6%）
- ・調査期間：令和4年9月20日～10月11日

#### ③ 発達支援等調査

- ・調査対象：基準日（令和4年8月1日）時点で、0歳から18歳までの発達支援の対象児童、および身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している児童。
- ・調査地域：中野区全域
- ・調査標本数：650人
- ・有効回収数：341人（回収率52.5%）
- ・調査期間：令和4年9月20日～10月11日

### 4. 報告書を読む際の留意点

- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出している。なお、単数回答形式の場合、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- アンケート選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
- グラフ中の「n」とは、その質問への回答者数を表す。
- 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。
- クロス集計の表の中で、上段の数字は回答者数（単位：人）を、下段の数字は割合（単位：%）を表す。
- 所持手帳別の集計には、複数の手帳所持者も含まれている。

## Ⅱ 調査結果の分析



# 障害者調査

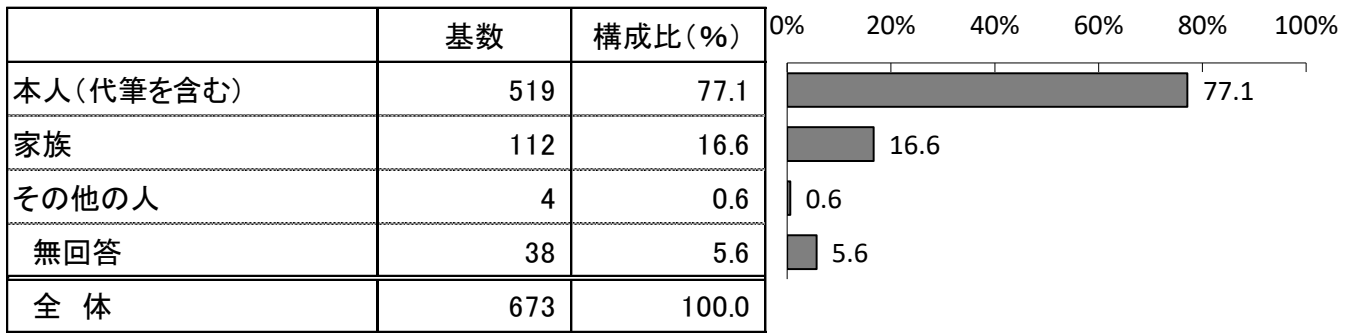
---



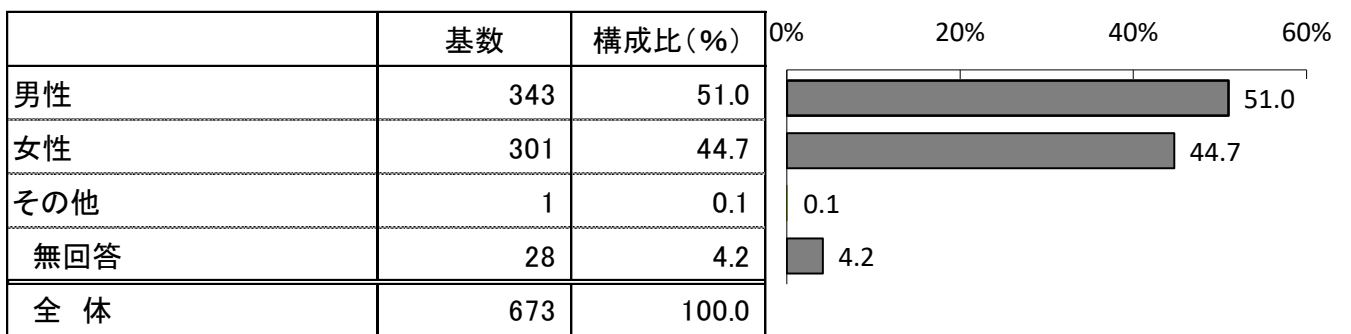


## 1. 回答者の属性

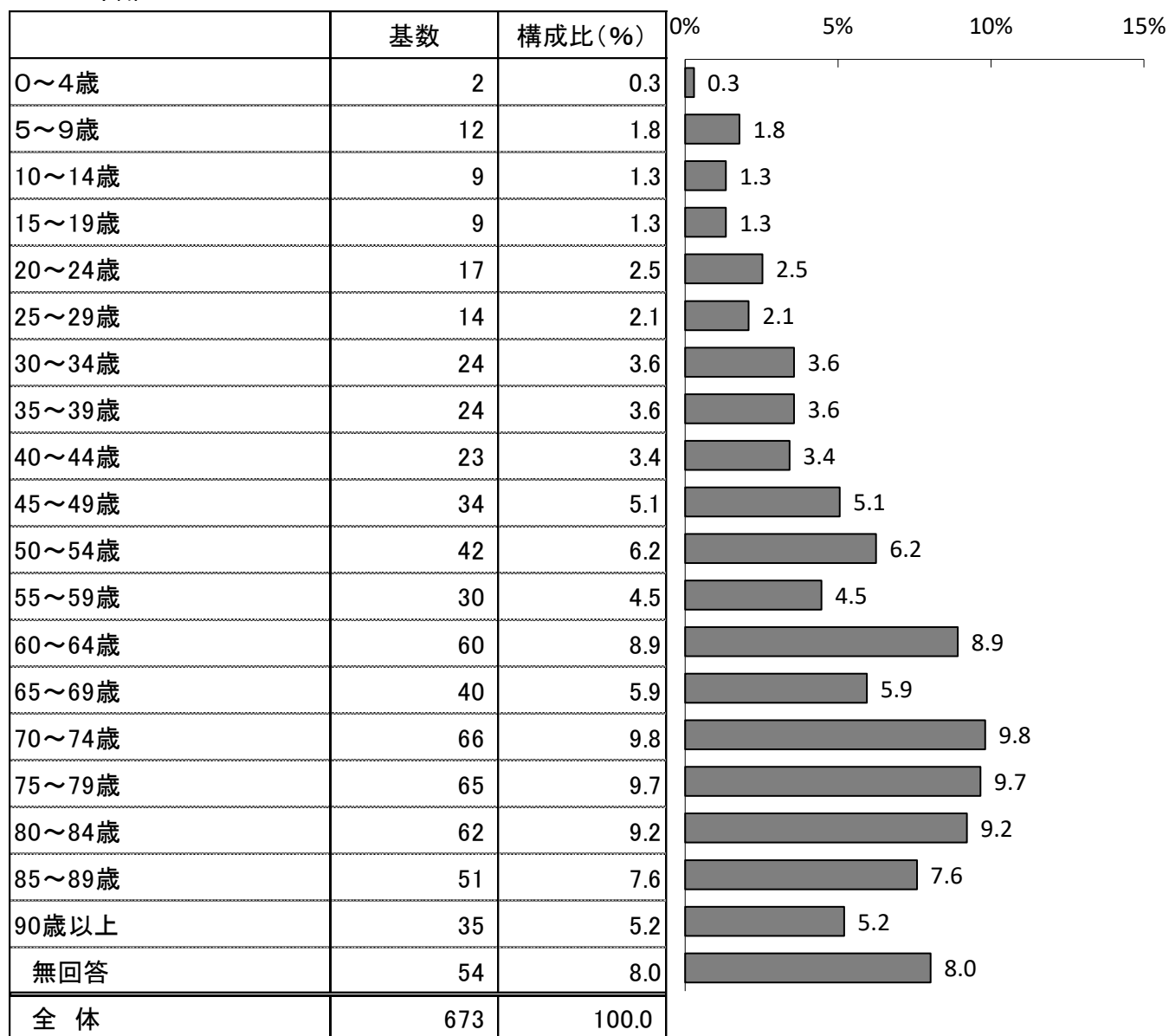
### 1.1. アンケートの回答者



### 1.2. 性別

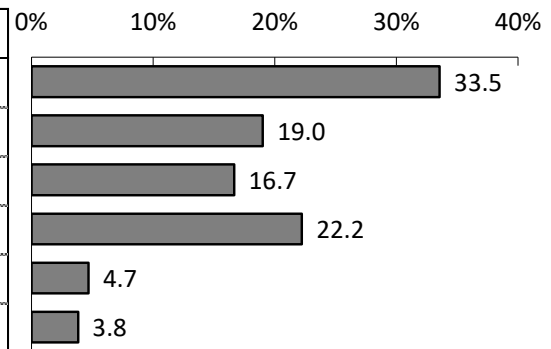


1.3. 年齢



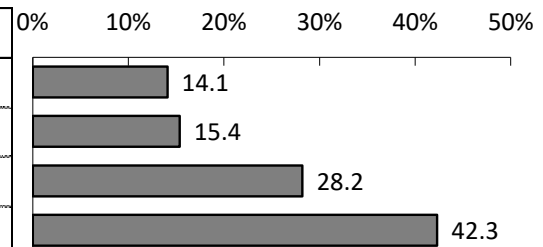
1.4. 身体障害者手帳の等級

	基数	構成比(%)
1級	157	33.5
2級	89	19.0
3級	78	16.7
4級	104	22.2
5級	22	4.7
6級	18	3.8
全 体	468	100.0



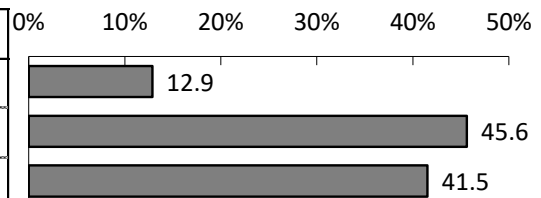
1.5. 愛の手帳の度数

	基数	構成比(%)
1度	11	14.1
2度	12	15.4
3度	22	28.2
4度	33	42.3
全 体	78	100.0

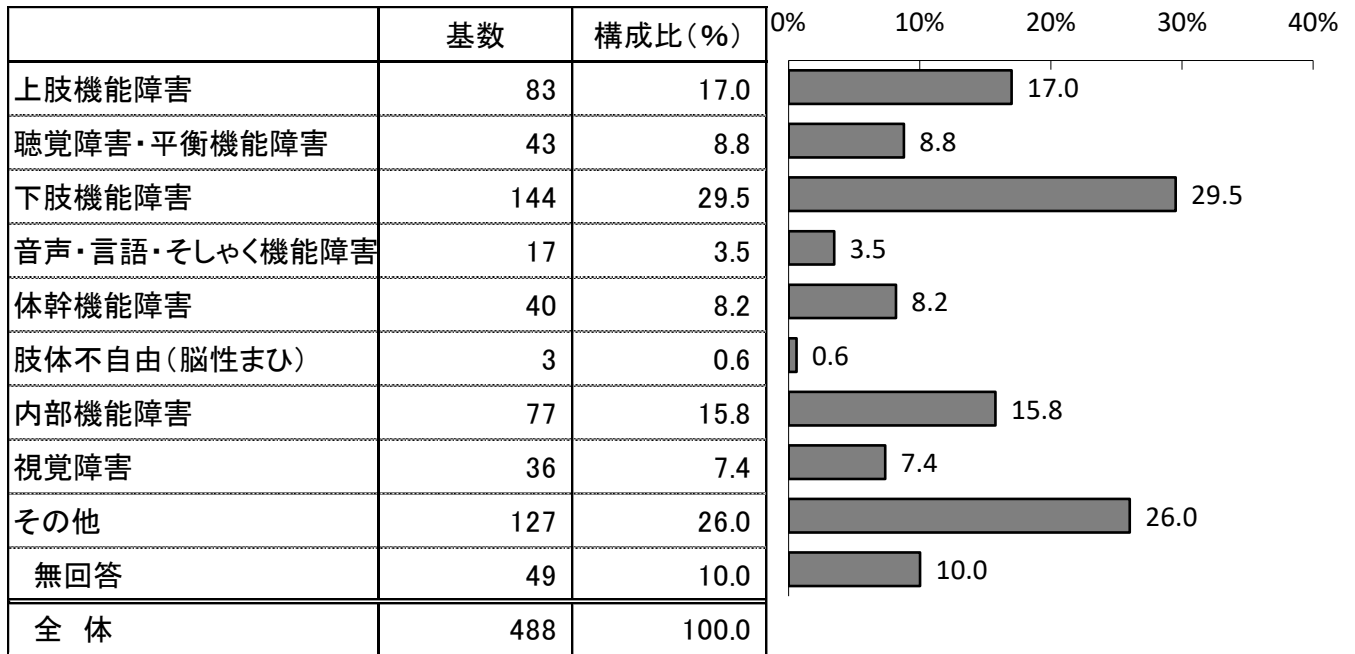


1.6. 精神障害者保健福祉手帳の等級

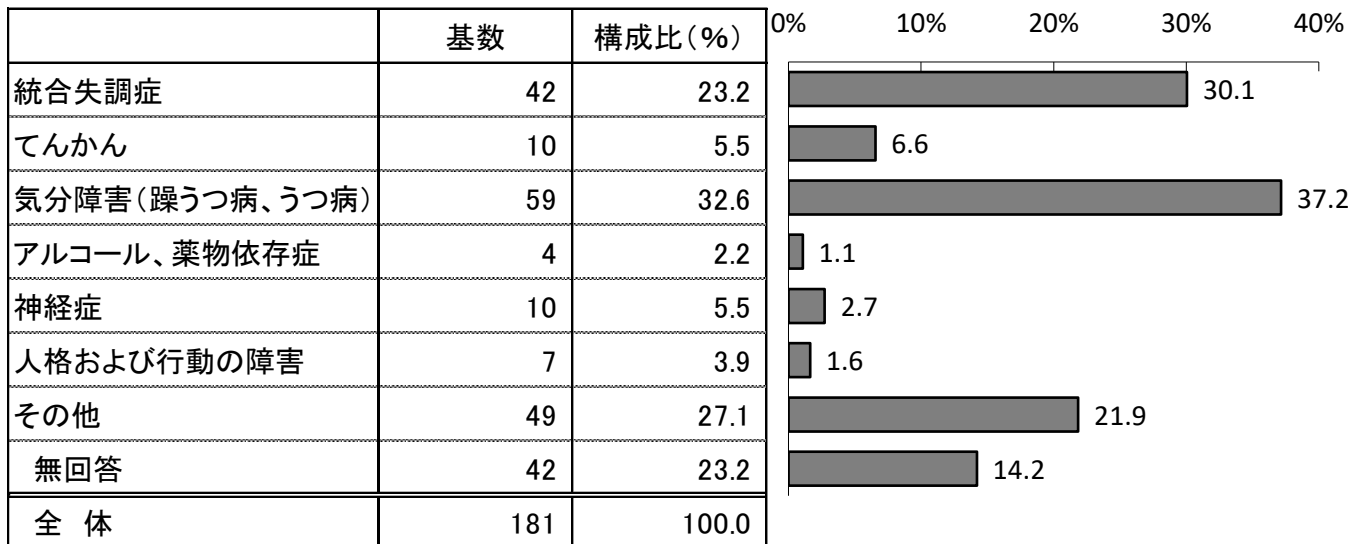
	基数	構成比(%)
1級	22	12.9
2級	78	45.6
3級	71	41.5
全 体	171	100.0



1.7. 身体障害者手帳に記載された障害名（複数回答）



1.8. 精神障害の診断名（複数回答）



1.9. 障害支援区分認定

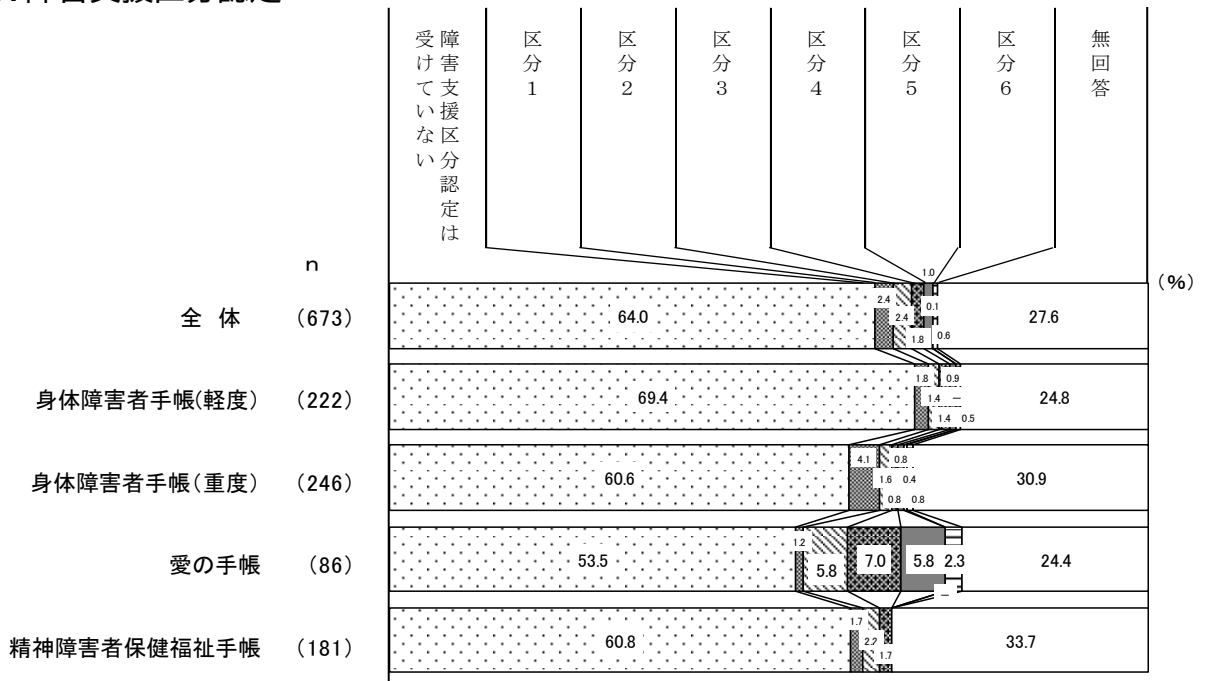
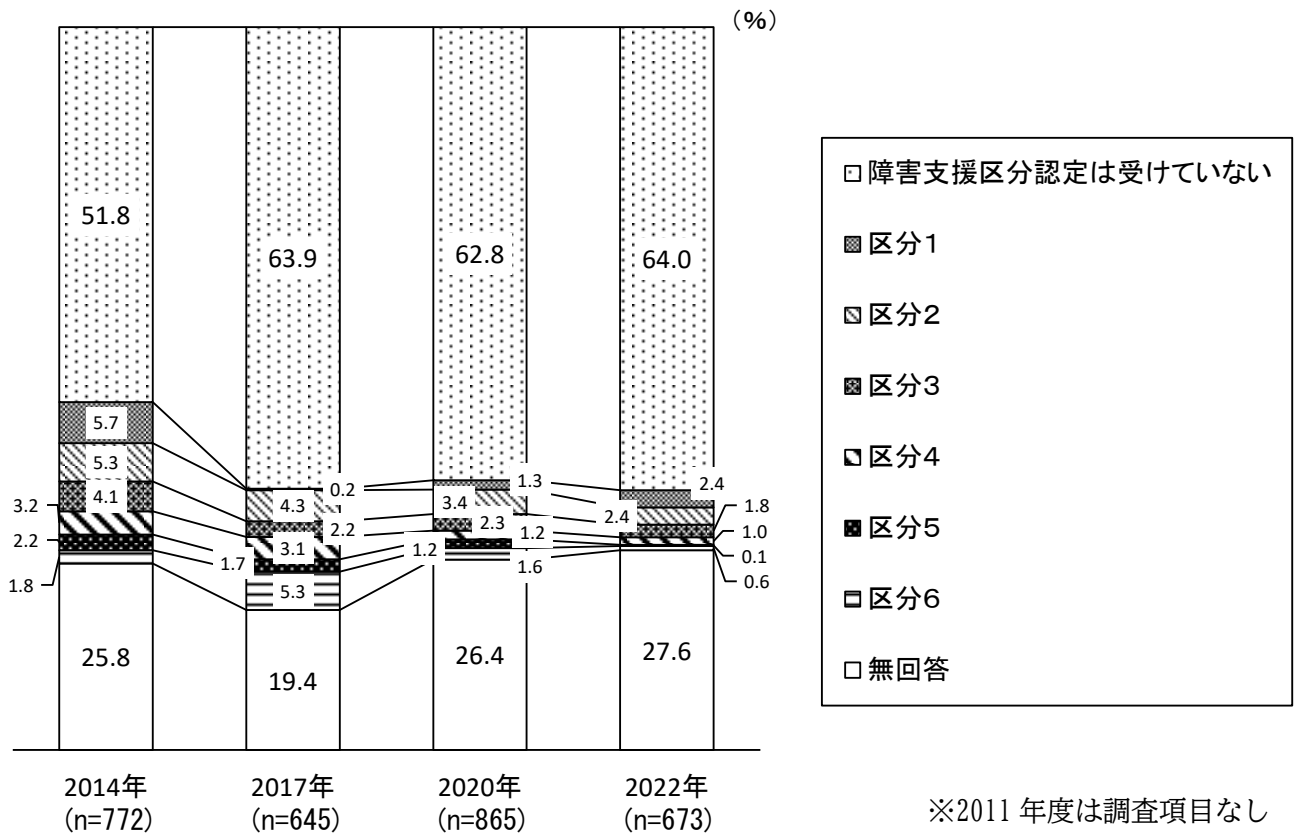
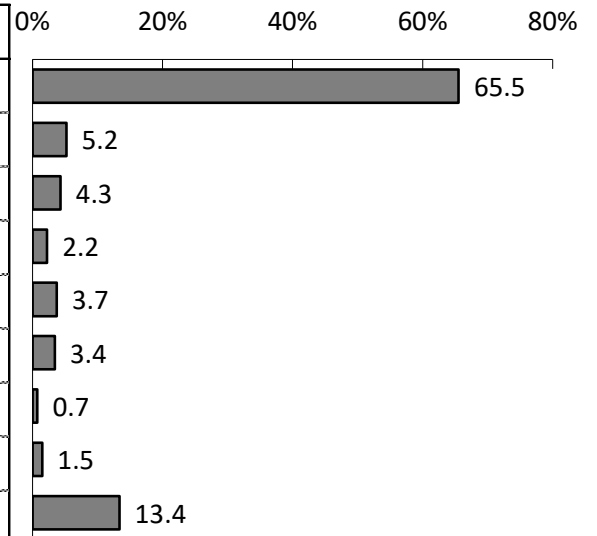


図1 【経年比較】 障害支援区分認定



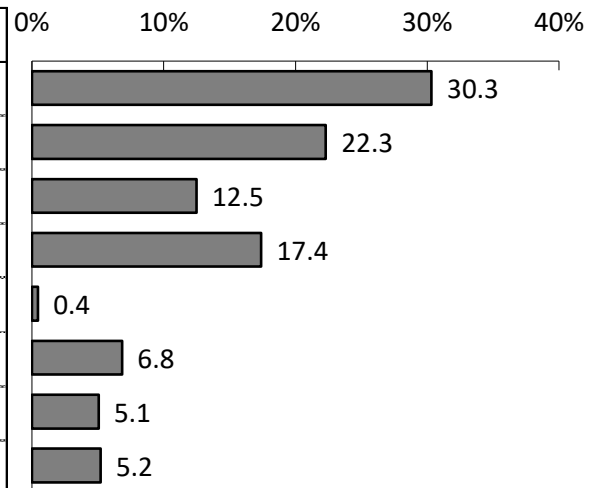
1.10. 要支援・要介護認定

	基数	構成比(%)
要支援・要介護認定は受けていない	441	65.5
要支援1	35	5.2
要支援2	29	4.3
要介護1	15	2.2
要介護2	25	3.7
要介護3	23	3.4
要介護4	5	0.7
要介護5	10	1.5
無回答	90	13.4
全 体	673	100.0



1.11. 家族構成

	基数	構成比(%)
ひとり暮らし	204	30.3
配偶者と同居	150	22.3
配偶者と子どもと同居	84	12.5
親と同居	117	17.4
親と子どもと同居	3	0.4
子どもと同居	46	6.8
その他	34	5.1
無回答	35	5.2
全 体	673	100.0



1.12.所持手帳別アンケート回答者

①身体障害者手帳の等級別

	全体	1級	2級	3級	4級	5級	6級
全体	488	157	89	78	104	22	18
本人(代筆を含む)	388	120	63	69	93	19	16
家族	71	33	20	6	8	2	2
その他の人	3	0	3	0	0	0	0

※アンケート回答者は無回答があるため、内訳の合計数が全体の回答者数と一致しない。

②愛の手帳の度数別

	全体	1度	2度	3度	4度
全体	86	11	12	22	33
本人(代筆を含む)	39	7	1	4	22
家族	41	3	11	16	11
その他の人	1	0	0	1	0

※アンケート回答者は無回答があるため、内訳の合計数が全体の回答者数と一致しない。

③精神障害者保健福祉手帳の等級別

	全体	1級	2級	3級
全体	181	22	78	71
本人(代筆を含む)	143	14	61	62
家族	20	3	11	5
その他の人	1	0	1	0

※アンケート回答者は無回答があるため、内訳の合計数が全体の回答者数と一致しない。

1.13.所持手帳別年齢

上段：(人) 下段：(%)

	全体	0 ～ 4 歳	5 ～ 9 歳	10 ～ 14 歳	15 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳	35 ～ 39 歳	40 ～ 44 歳	45 ～ 49 歳	50 ～ 54 歳
全体	673	2	12	9	9	17	14	24	24	23	34	42
	100.0	0.3	1.8	1.3	1.3	2.5	2.1	3.6	3.6	3.4	5.1	6.2
身体(軽度)	222	1	3	2	2	0	0	3	4	4	6	10
	100.0	0.5	1.4	0.9	0.9	0.0	0.0	1.4	1.8	1.8	2.7	4.5
身体(重度)	246	1	4	2	1	3	4	6	4	7	12	14
	100.0	0.4	1.6	0.8	0.4	1.2	1.6	2.4	1.6	2.8	4.9	5.7
愛の手帳	86	0	9	5	5	10	6	7	2	5	3	5
	100.0	0.0	10.5	5.8	5.8	11.6	7.0	8.1	2.3	5.8	3.5	5.8
精神障害者保健福祉手帳	181	0	0	0	2	6	7	11	15	13	15	18
	100.0	0.0	0.0	0.0	1.1	3.3	3.9	6.1	8.3	7.2	8.3	9.9

	全体	55 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 ～ 84 歳	85 ～ 89 歳	90 歳 以上	無 回 答	(生 産 年 齢 未 満 15 歳 以上 人口 )
全体	673	30	60	40	66	65	62	51	35	54	300
	100.0	4.5	8.9	5.9	9.8	9.7	9.2	7.6	5.2	8.0	44.6%
身体(軽度)	222	7	26	12	30	32	29	28	15	8	68
	100.0	3.2	11.7	5.4	13.5	14.4	13.1	12.6	6.8	3.6	30.6%
身体(重度)	246	11	17	24	32	31	26	20	17	10	86
	100.0	4.5	6.9	9.8	13.0	12.6	10.6	8.1	6.9	4.1	35.0%
愛の手帳	86	3	3	3	3	2	1	0	5	9	63
	100.0	3.5	3.5	3.5	3.5	2.3	1.2	0.0	5.8	10.5	73.3%
精神障害者保健福祉手帳	181	15	22	10	8	8	6	4	1	20	124
	100.0	8.3	12.2	5.5	4.4	4.4	3.3	2.2	0.6	11.0	68.5%



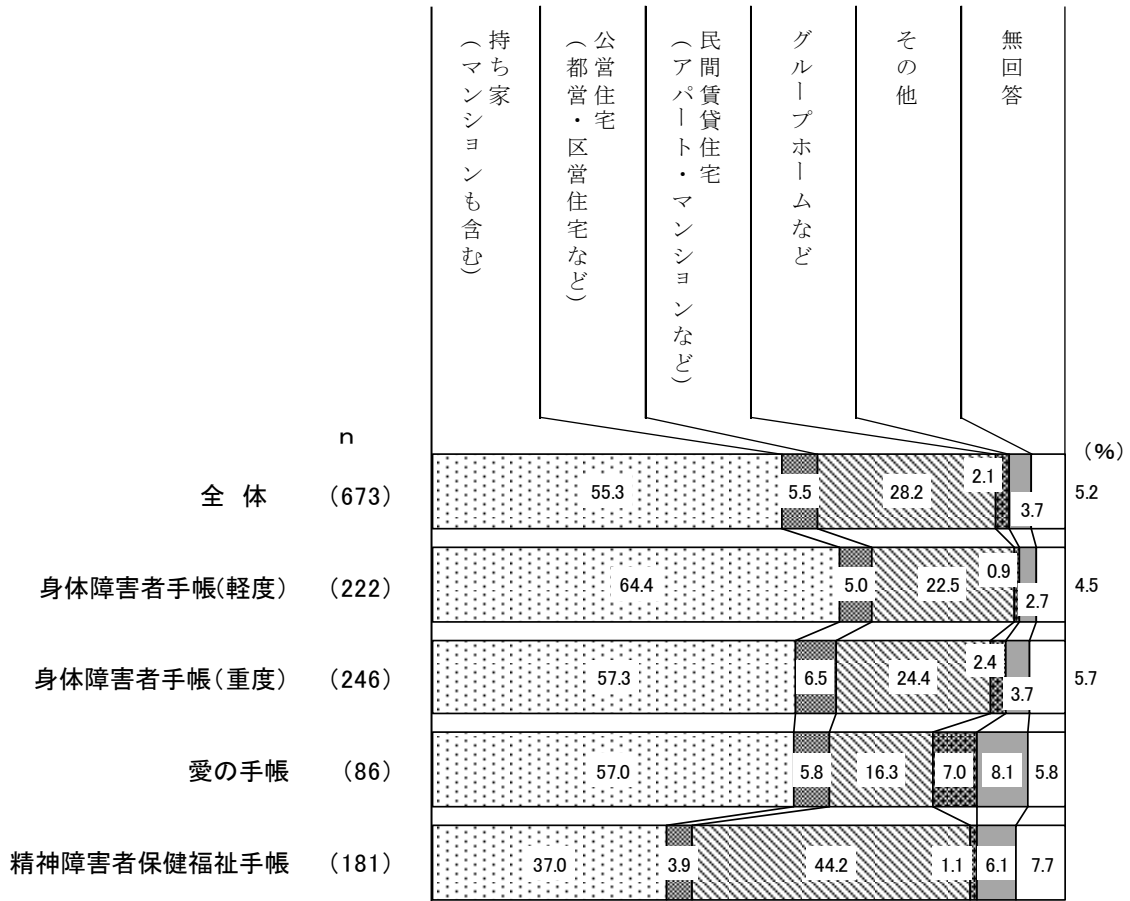
## 2. 住まいについて

### 2.1. 住居形態

#### ◆住居形態は「持ち家」が5割台半ば

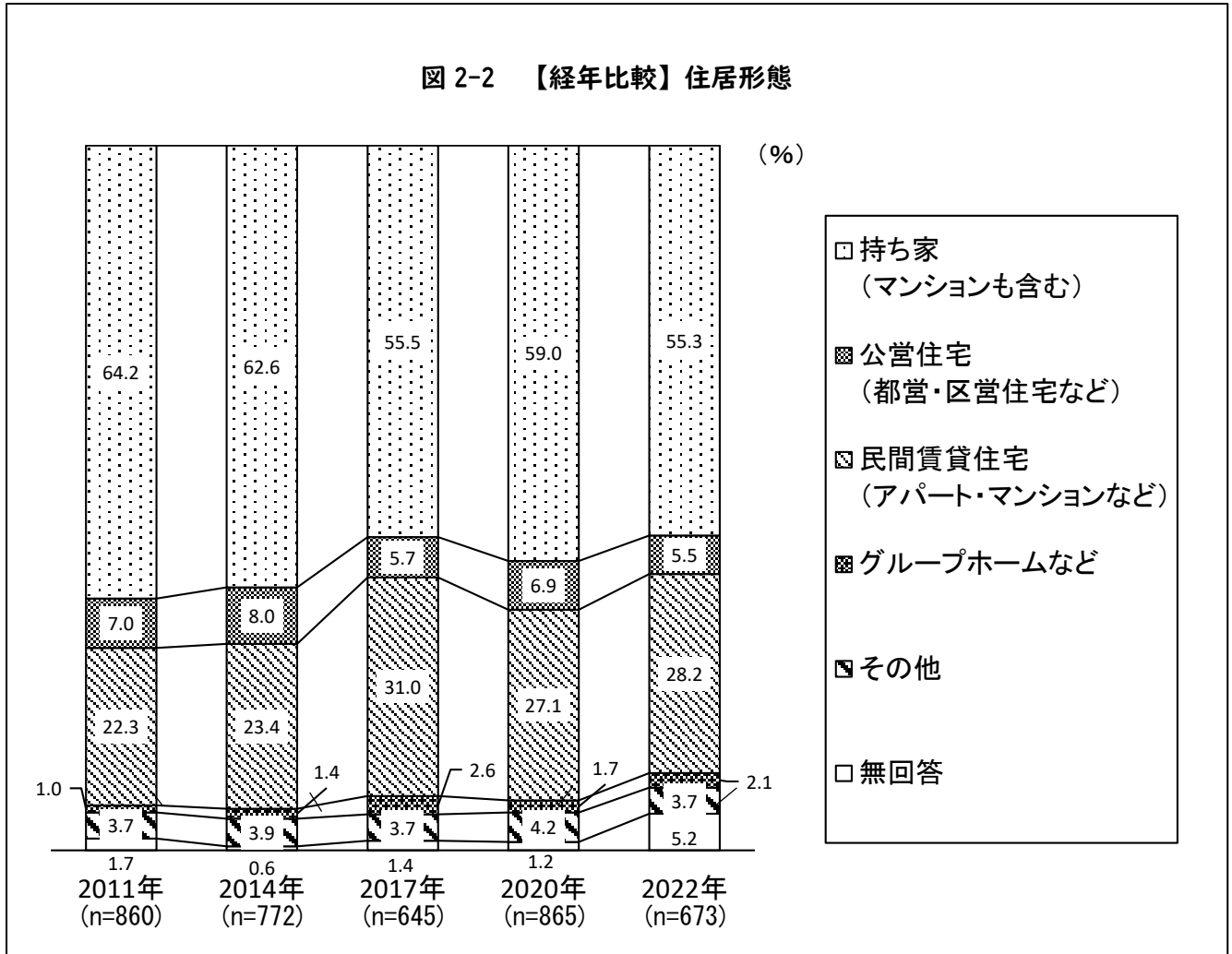
問7. あなた（あて名の方ご本人）のお住まいは次のどれにあたりますか。（○は1つ）

図2-1 【所持手帳別】住居形態



住居形態は、全体では「持ち家（マンションも含む）」が5割台半ばとなっている。所持手帳別で見ると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「民間賃貸住宅（アパート・マンションなど）」が高くなっている。また、「グループホームなど」を住居としている人は愛の手帳所持者が7.0%と、他の手帳所持者と比べ比較的多くなっている。

図 2-2 【経年比較】住居形態



住居形態を経年比較で見ると、「持ち家」が減少している。

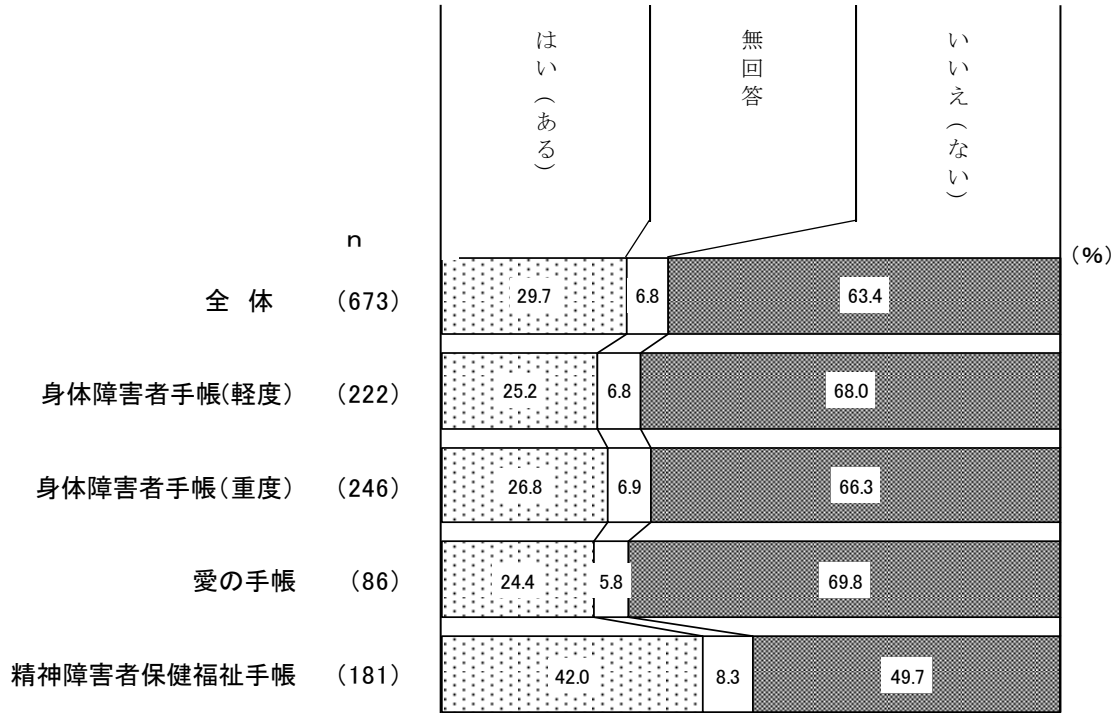
2.2. 住宅で困っていることの有無

◆住宅で困っていることが「ある」方は全体の約3割

(全員の方に)

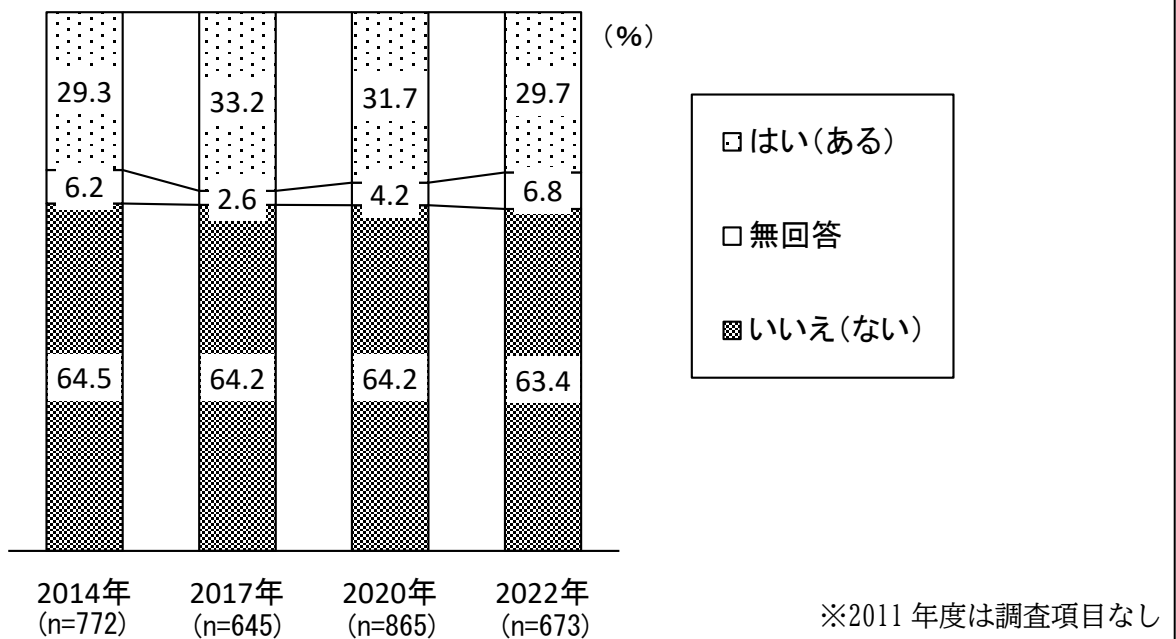
問8. あなた(あて名のご本人)の住宅で困っていることはありますか。(○は1つ)

図2-3 【所持手帳別】住宅で困っていることの有無



住宅について困っていることの有無で、「はい(ある)」が、全体で約3割となっている。

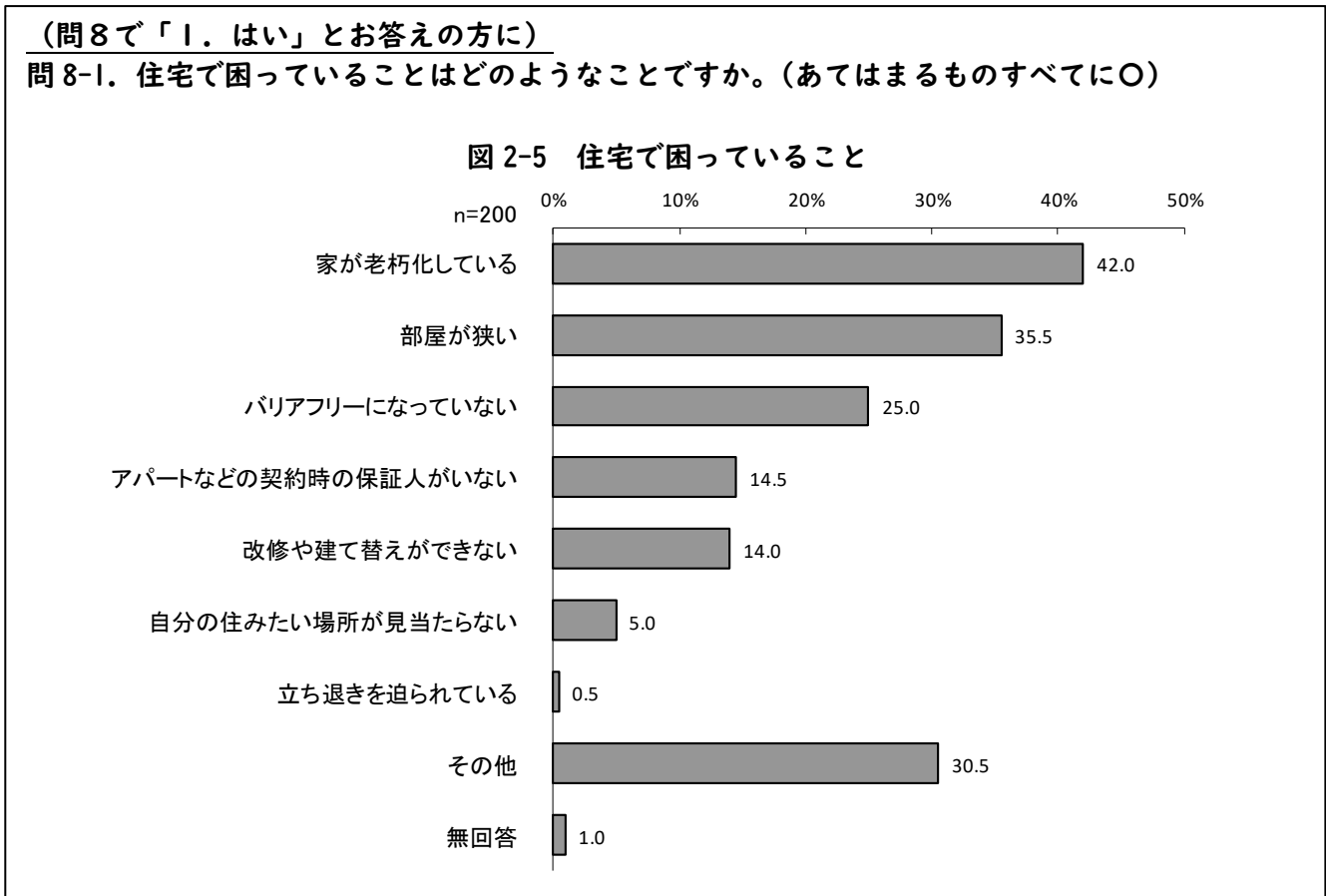
図2-4 【経年比較】住宅で困っていることの有無



住宅で困っていることの有無を経年比較でみると、大きな変化はみられない。

2.2.1. 住宅で困っていること

◆住宅で困っていることは「家が老朽化している」が4割台前半



住宅で困っていることがあると回答した方に、困っている内容をきいたところ、「家が老朽化している」が最も高くなっており、次いで「部屋が狭い」「バリアフリーになっていない」となっている。

図2-6 【所持手帳別】上位5項目 住宅で困っていること

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=56	家が老朽化している 53.6	部屋が狭い 37.5	バリアフリーになっていない 28.6	改修や建て替えができない 17.9	アパートなどの契約時の保証人がいない 7.1
身体障害者手帳(重度) n=66	バリアフリーになっていない 40.9	家が老朽化している 33.3	部屋が狭い 31.8	改修や建て替えができない／ アパートなどの契約時の保証人がいない	13.6
愛の手帳 n=21	家が老朽化している 42.9	部屋が狭い 38.1	バリアフリーになっていない／ 改修や建て替えができない	14.3	アパートなどの契約時の保証人がいない 4.8
精神障害者保健福祉手帳 n=76	部屋が狭い 42.1	家が老朽化している 38.2	アパートなどの契約時の保証人がいない 22.4	バリアフリーになっていない 13.2	改修や建て替えができない 10.5

住宅で困っていることを所持手帳別で見ると、身体障害者手帳(重度)所持者では「バリアフリーになっていない」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「部屋が狭い」が第1位となっている。

図 2-7 【経年比較】上位 5 項目 住宅で困っていること

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=200	家が老朽化している 42.0	部屋が狭い 35.5	バリアフリーになっていない 25.0	アパートなどの契約時の保証人がいない 14.5	改修や建て替えができない 14.0
2020年度 n=274	バリアフリーになっていない 41.6	部屋が狭い 39.4	家が老朽化している 31.0	改修や建て替えができない 22.3	アパートなどの契約時の保証人がいない 5.8
2017年度 n=214	部屋が狭い 41.1	家が老朽化している 34.6	バリアフリーになっていない 29.9	改修や建て替えができない 13.1	アパートなどの契約時の保証人がいない 11.7
2014年度 n=226	家が老朽化している 40.3	部屋が狭い 31.9	バリアフリーになっていない 31.0	改修や建て替えができない 15.5	アパートなどの契約時の保証人がいない 11.5
2011年度 n=860	老朽化しているが、改修や建て替えが 14.9	バリアフリーになっていない 14.2	部屋が狭い 12.7	アパートなどの契約時の保証人がいない 2.6	立ち退きを迫られている 0.8

住宅で困っていることを経年比較でみると、2022年度は「家が老朽化している」が「部屋が狭い」「バリアフリーになっていない」を上回り第1位となっている。

2.3. 将来、生活したいところ

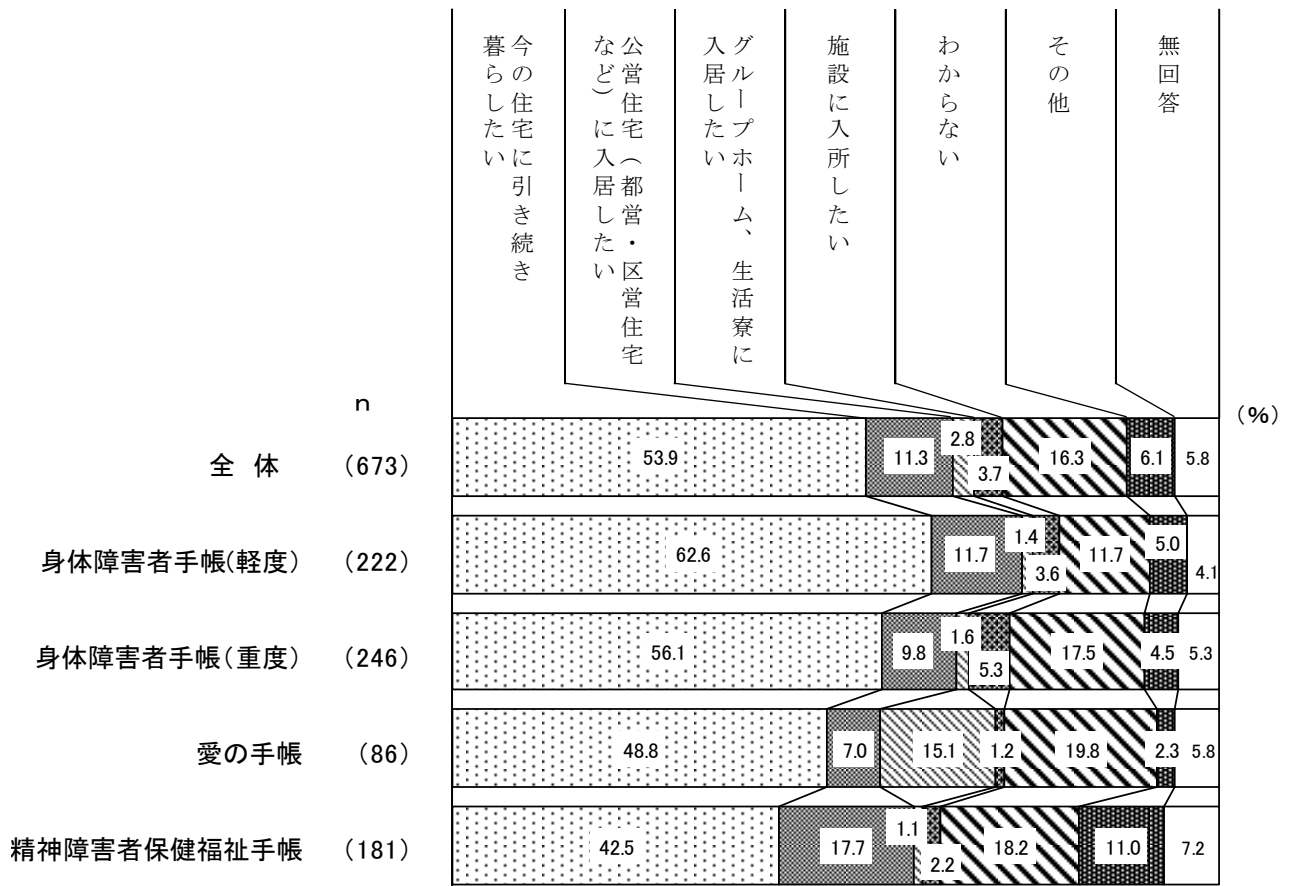
◆将来も「今の住宅に引き続き暮らしたい」はいずれの手帳所持者においても最も高い

(全員の方に)

問9. あなた(あて名のご本人)は、将来はどのようなところで生活したいと思いますか。

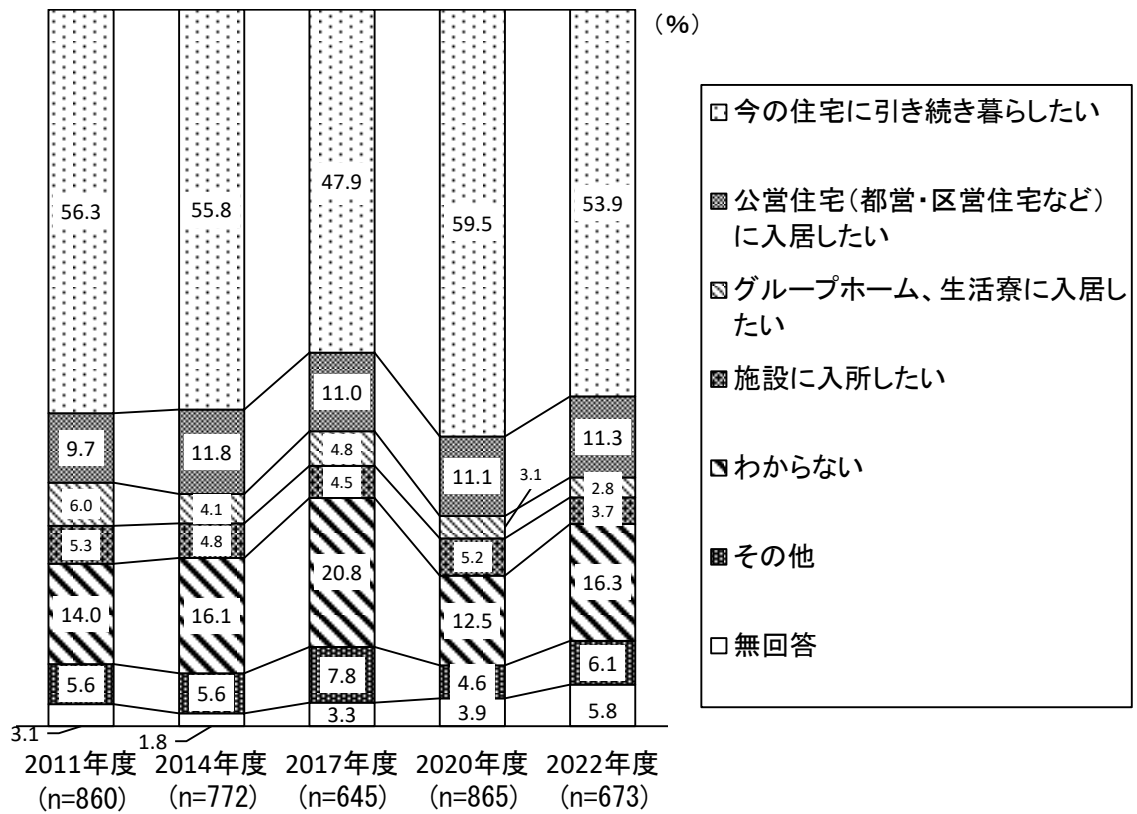
(〇は1つ)

図2-8 【所持手帳別】将来、生活したいところ



将来、生活したいところは、いずれの手帳所持者においても「今の住宅に引き続き暮らしたい」が最も高いが、愛の手帳所持者では他に比べ「グループホーム、生活寮に入居したい」も高くなっている。

図 2-9 【経年比較】 将来、生活したいところ



※2014・2017・2020・2022年度の「グループホーム、生活寮に入居したい」の選択肢は、2011年度では「グループホーム、ケアホーム、生活寮に入居したい」である。

将来、生活したいところを経年変化で見ると、2022年度は2020年度と比べ「今の住宅に引き続き暮らしたい」が5.6ポイント減少している。

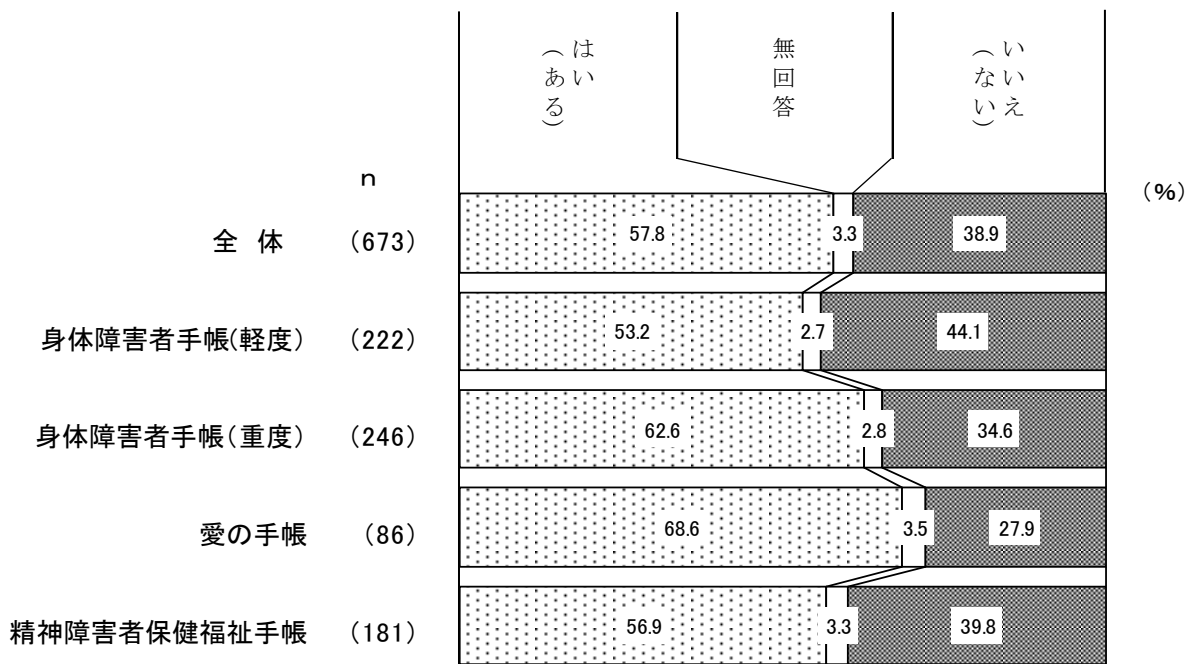
2.4. 災害への不安の有無

◆災害への不安が「ある」方は身体障害者手帳所持者（重度）と愛の手帳所持者において6割を超えている

（全員の方に）

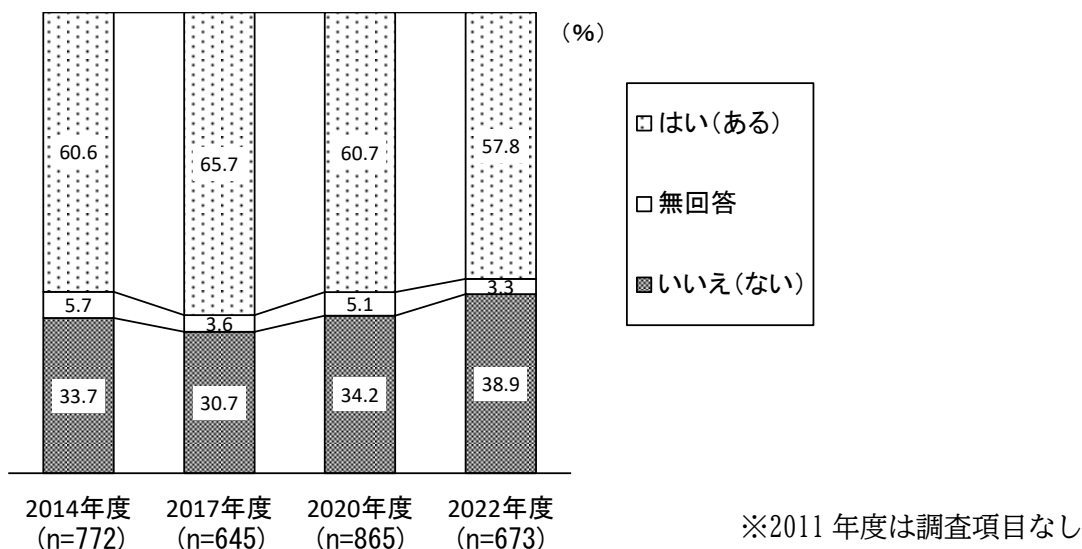
問 10. 火事や地震などの災害に関して、障害があるためにあなた（あて名のご本人）が不安を感じていることはありますか。（○は1つ）

図 2-10 【所持手帳別】災害への不安の有無



火事や地震などの災害への不安の有無は、「はい（ある）」が身体障害者手帳所持者（重度）で6割台前半、愛の手帳所持者で6割台後半と他に比べ高くなっている。

図 2-11 【経年比較】災害への不安の有無



災害への不安の有無を経年変化で見ると、2020年度と比べると「はい（ある）」は2.9ポイント減少しているが、依然5割台後半と高くなっている。



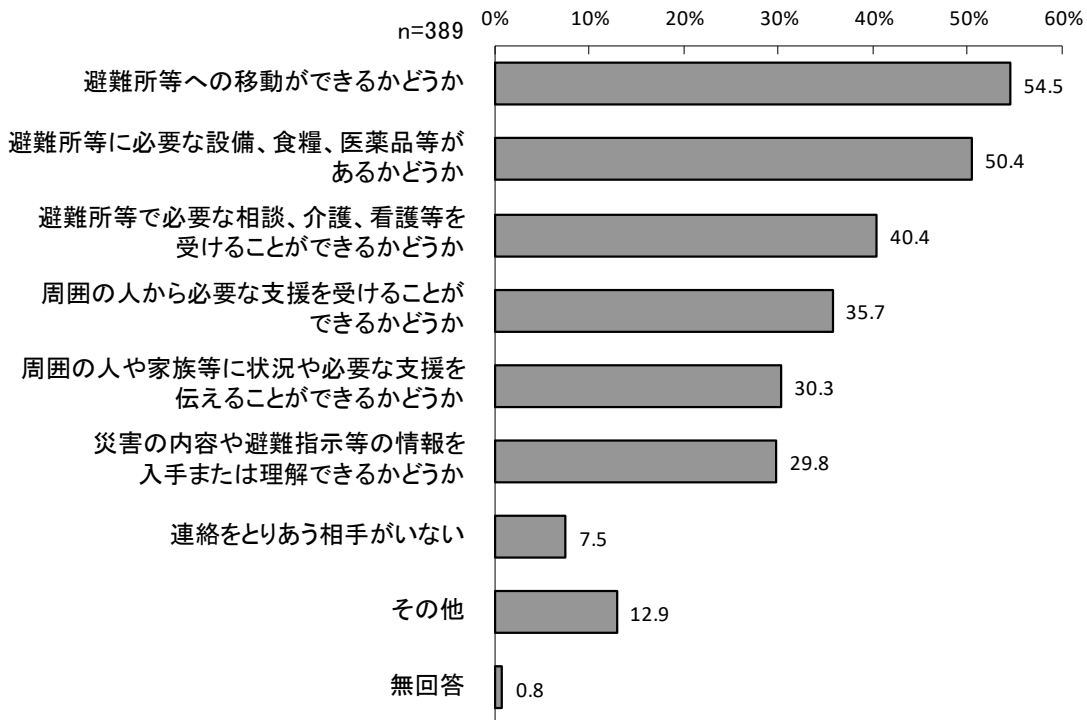
2.4.1. 災害に関して不安を感じていること

◆災害時の不安は「避難所等への移動ができるかどうか」が5割台半ば

(問10で「1. はい」とお答えの方に)

問10-1. 不安を感じていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

図2-12 災害に関して不安を感じていること



災害への不安があると回答した方に、不安を感じている内容をきいたところ、「避難所等への移動ができるかどうか」が最も高くなっており、次いで「避難所等に必要な設備、食料、医薬品等があるかどうか」「避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けられるかどうか」となっている。

図 2-13 【所持手帳別】上位5項目 災害に関して不安を感じていること

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=118	避難所等への移動ができるかどうか 63.6	避難所等に必要設備、食糧、医薬品等があるかどうか 47.5	周囲の人から必要な支援を受けることができるかどうか／避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか 33.9		周囲の人や家族等に状況や必要な支援を伝えることができるかどうか 28.0
身体障害者手帳(重度) n=154	避難所等への移動ができるかどうか 60.4	避難所等に必要設備、食糧、医薬品等があるかどうか 54.5	避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか 48.7	周囲の人から必要な支援を受けることができるかどうか 34.4	災害の内容や避難指示等の情報を入手または理解できるかどうか 27.3
愛の手帳 n=59	避難所等への移動ができるかどうか／避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか 50.8		周囲の人や家族等に状況や必要な支援を伝えることができるかどうか／周囲の人から必要な支援を受けることができるかどうか／避難所等に必要設備、食糧、医薬品等があるかどうか 49.2		
精神障害者保健福祉手帳 n=103	避難所等に必要設備、食糧、医薬品等があるかどうか 53.4	避難所等への移動ができるかどうか 36.9	避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか 34.0	周囲の人から必要な支援を受けることができるかどうか 31.1	災害の内容や避難指示等の情報を入手または理解できるかどうか 30.1

災害に関して不安を感じていることを所持手帳別でみると、精神障害者保健福祉手帳所持者では「避難所等に必要設備、食料、医薬品等があるかどうか」、愛の手帳所持者では「避難所等への移動ができるかどうか／避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか」の割合が最も高くなっている。

図 2-14 【経年比較】上位5項目 災害に関して不安を感じていること

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=389	避難所等への移動ができるかどうか 54.5	避難所等に必要設備、食糧、医薬品等があるかどうか 50.4	避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか 40.4	周囲の人から必要な支援を受けることができるかどうか 35.7	周囲の人や家族等に状況や必要な支援を伝えることができるかどうか 30.3
2020年度 n=525	避難所等への移動ができるかどうか 56.8	避難所等に必要設備、食糧、医薬品等があるかどうか 50.3	避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか 46.9	周囲の人から必要な支援を受けることができるかどうか 34.9	災害の内容や避難指示等の情報を入手または理解できるかどうか 33.7
2017年度 n=424	避難所等への移動ができるかどうか 56.6	避難所等に必要設備、食料、医薬品等があるかどうか 55.4	避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか 46.9	周囲の人から必要な支援を受けることができるかどうか 45.3	震災の内容や避難指示等の情報を入手または理解できるかどうか 35.8
2014年度 n=468	避難所等への移動ができるかどうか 62.4	避難所等に必要設備、食料、医薬品等があるかどうか 51.7	避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか 44.2	周囲の人から必要な支援を受けることができるかどうか 43.6	震災の内容や避難指示等の情報を入手または理解できるかどうか 39.3
2011年度 n=860	一時的であっても避難場所が過ぎることが難しい 30.6	病院等に行けないため、薬の手配が難しい 27.0	初期消火ができない 26.7	自力で避難できない 26.6	どこに避難してよいかわからない 26.2

災害に関して不安を感じていることを経年比較でみると、2014年度以降は大きな変化はみられない。

### 3. 日常生活の介護や支援について

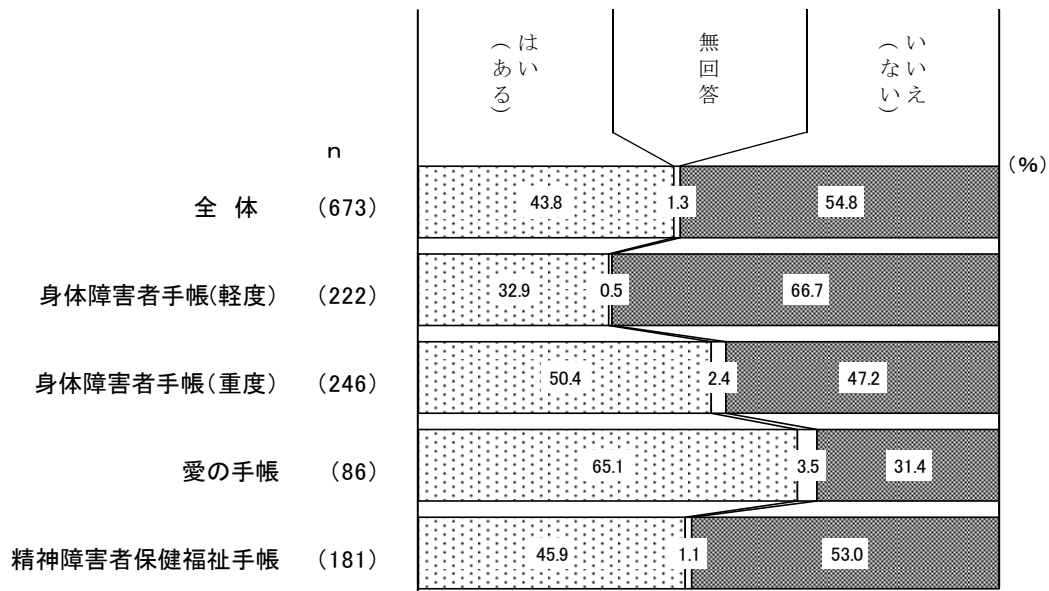
#### 3.1. 日常生活での介助の必要性の有無

##### ◆介助が必要な方は愛の手帳所持者で6割台半ば

(全員の方に)

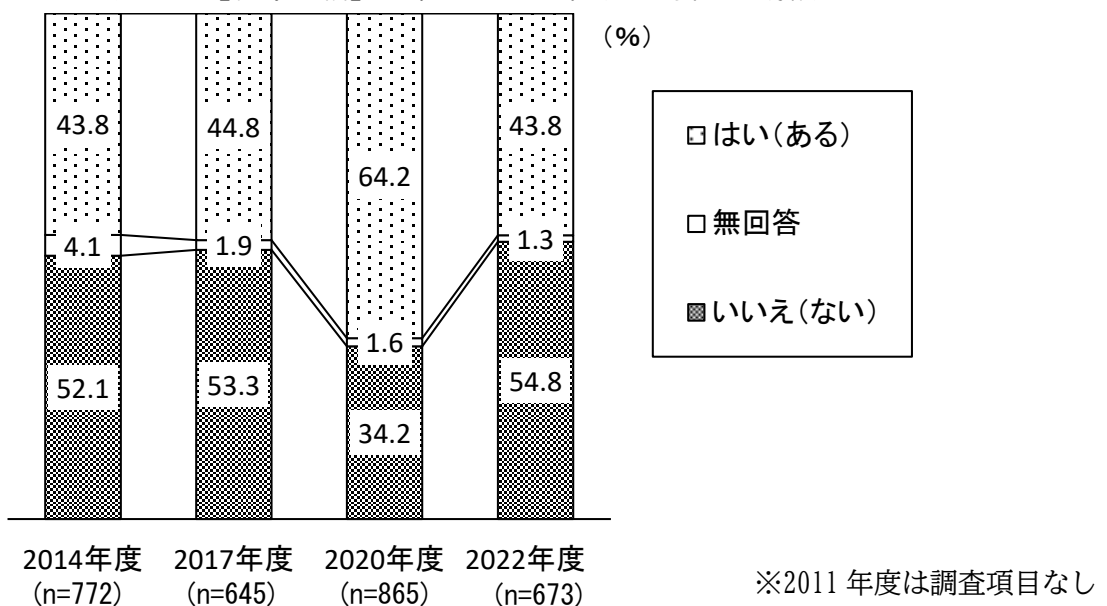
問 11. あなた(あて名の方ご本人)の日常生活で介助を必要とすることはありますか。(○は1つ)

図 3-1 【所持手帳別】日常生活での介助の必要性の有無



日常生活での介助の必要性の有無は、「はい(ある)」が愛の手帳所持者で6割台半ばとなっており最も高くなっている。

図 3-2 【経年比較】日常生活での介助の必要性の有無



日常生活での介助の必要性の有無を経年比較でみると、2022年度は2020年度と比べ、「はい(ある)」は20.4ポイント減少している。

3.1.1. 日常生活で介助を必要とすること

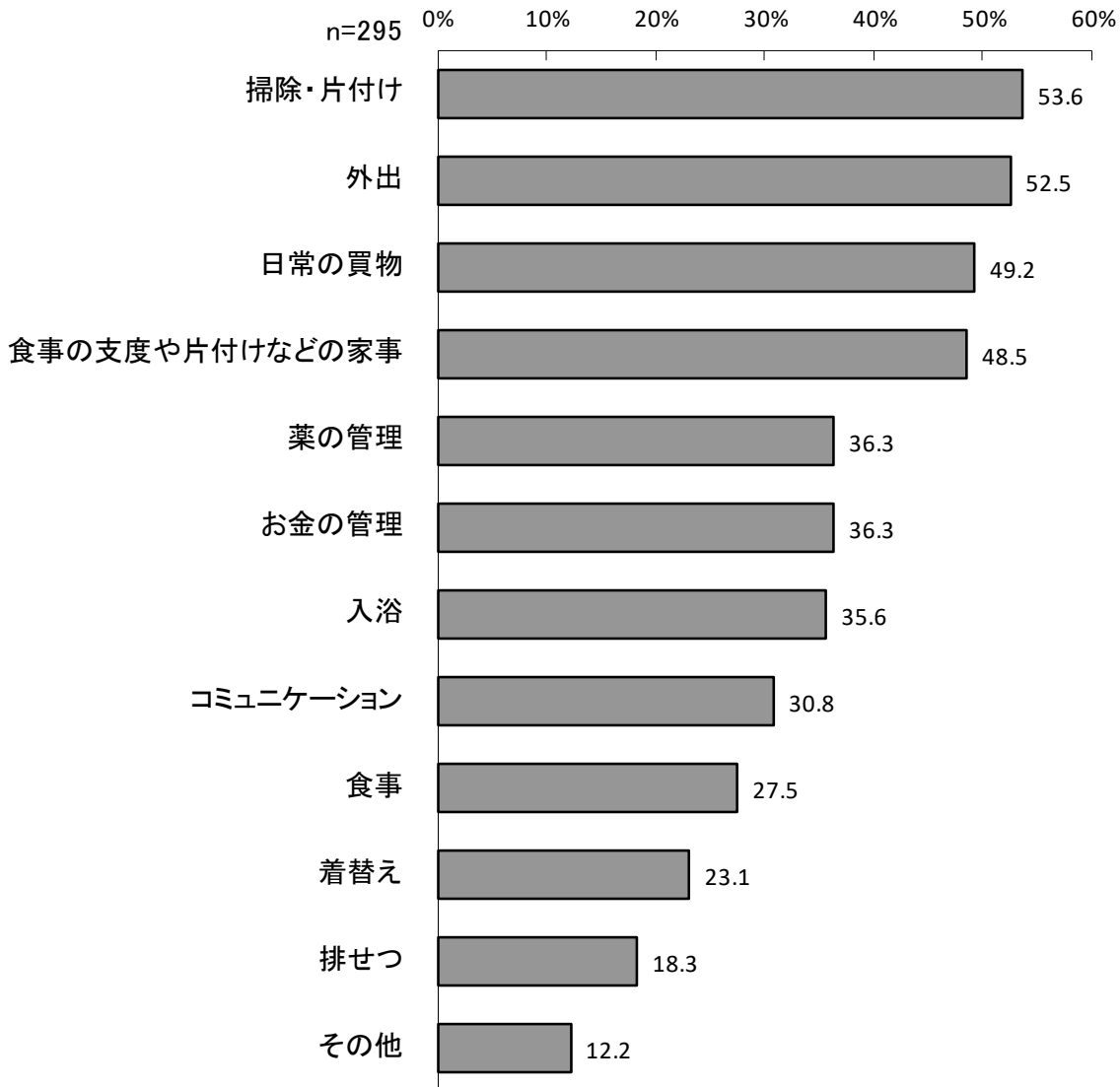
◆日常生活で介助が必要なことは「掃除・片付け」「外出」が5割を超えている

(問11で「1. はい」とお答えの方に)

問11-1. 日常生活で介助を必要とすることは具体的にどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

図 3-3 日常生活で介助を必要とすること



日常生活において介助の必要性があると回答した方に、必要な介助の内容をきいたところ、「掃除・片付け」が最も高くなっており、次いで「外出」「日常の買物」「食事の支度や片付けなどの家事」となっている。

図 3-4 【所持手帳別】上位5項目 日常生活で介助を必要とすること

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=73	掃除・片付け 54.8	日常の買物 52.1	外出 46.6	食事の支度や片付けなどの家事 37.0	入浴 31.5
身体障害者手帳(重度) n=124	外出 66.1	掃除・片付け 57.3	食事の支度や片付けなどの家事 54.8	日常の買物 54.0	入浴 49.2
愛の手帳 n=56	お金の管理 75.0	外出 67.9	食事の支度や片付けなどの家事／コミュニケーション／日常の買物		60.7
精神障害者保健福祉手帳 n=83	掃除・片付け 50.6	食事の支度や片付けなどの家事 43.4	薬の管理／コミュニケーション／日常の買物外／お金の管理		33.7

日常生活で介助を必要とすることを所持手帳別で見ると、身体障害者手帳所持者（軽度）、精神障害者保健福祉手帳では「掃除・片付け」が、身体障害者手帳（重度）では「外出」が、愛の手帳所持者では「お金の管理」が最も高くなっている。

図 3-5 【経年比較】上位5項目 日常生活で介助を必要とすること

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=295	掃除・片付け 53.6	外出 52.5	日常の買物 49.2	食事の支度や片付けなどの家事 48.5	薬の管理／お金の管理 36.3
2020年度 n=555	掃除・片付け 43.8	食事の支度や片付け 40.7	日常の買物 40.2	外出 38.0	入浴 30.1
2017年度 n=289	日常の買物 61.9	掃除・片付け/外出 60.9		食事の支度や片付け/お金の管理	59.2
2014年度 n=338	掃除・片付け 63.6	食事の支度や片付け 56.5	日常の買物 54.7	外出 52.1	お金の管理 48.2
2011年度 n=860	日常の買物 30.0	掃除・片付け 29.9	食事の支度や片付け 29.1	外出 24.4	洗濯 24.0

日常生活で介助を必要とすることを経年比較で見ると、2022年度は2020年度に比べ「外出」の順位が高くなっている。

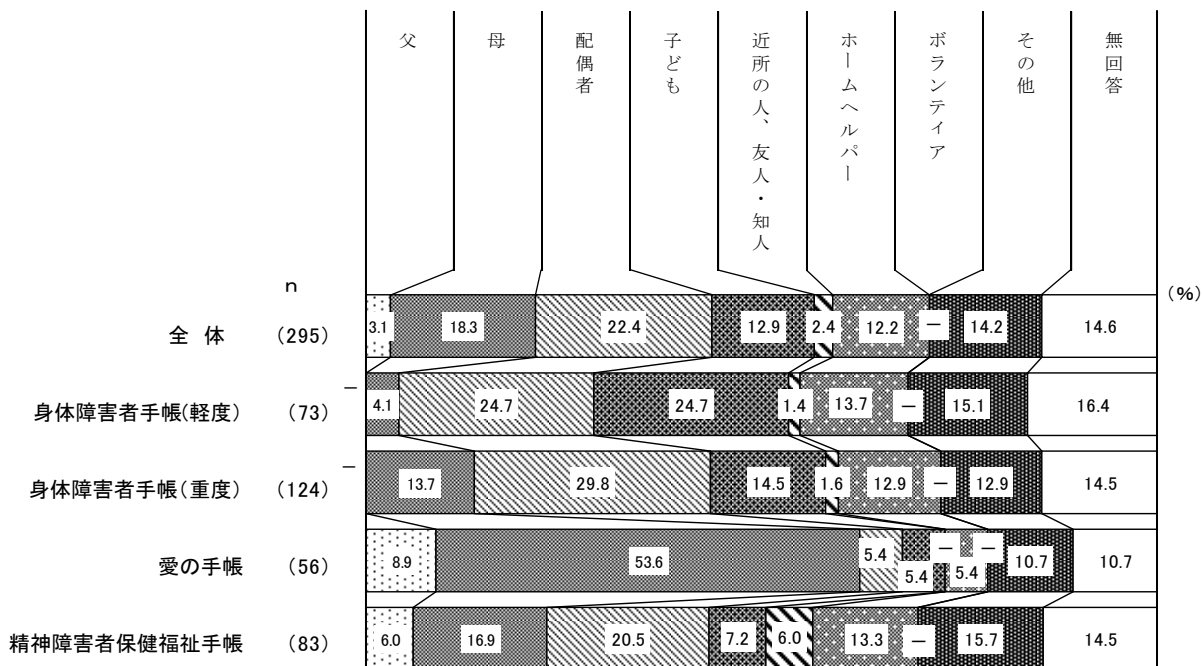
3.1.2. 主な介助者

◆主な介助者は家族（「母」「配偶者」「子ども」）が5割台前半

(問11で「1. はい」とお答えの方に)

問11-2. あなた（あて名の方のご本人）の主な介助者はどなたですか。(〇は1つ)

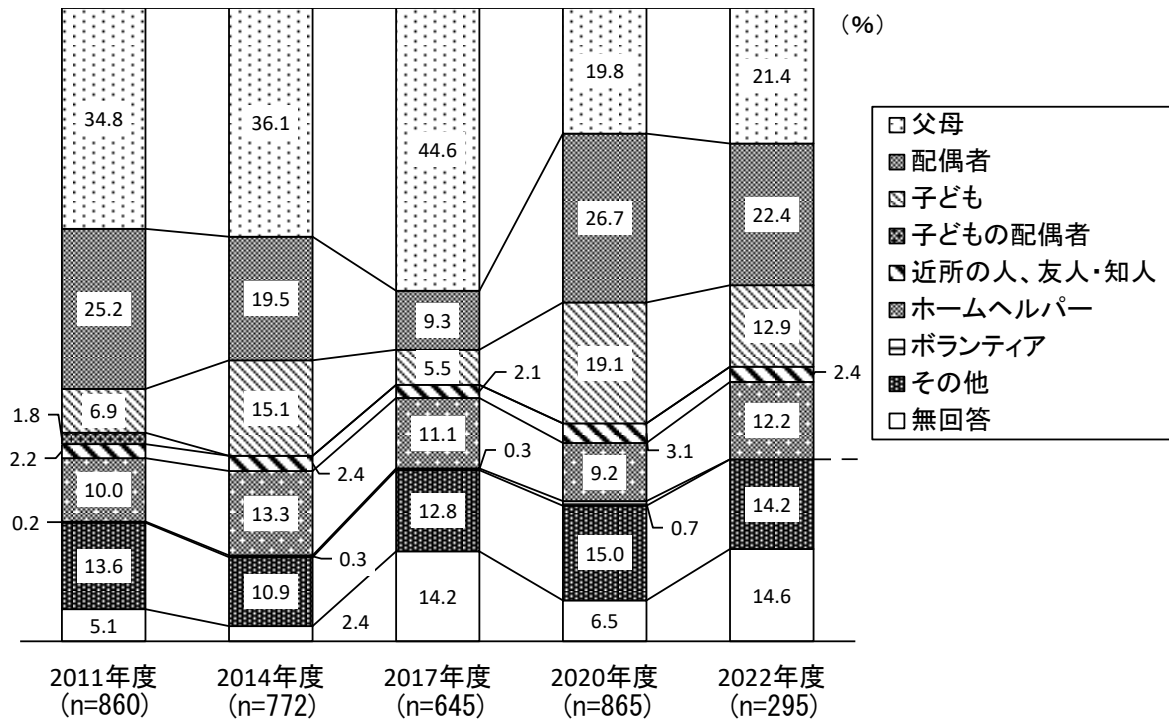
図3-6 【所持手帳別】主な介助者



日常生活において介助の必要性があると回答した方に、主な介助者をきいたところ、全体で「母」「配偶者」「子ども」といった家族が5割台前半となっている。

所持手帳別では、身体障害者手帳所持者（軽度）、身体障害者手帳所持者（重度）、精神障害者保健福祉手帳所持者では「配偶者」が、愛の手帳所持者では「母」が最も高くなっている。また、身体障害者手帳所持者（軽度）では他に比べ「子ども」が高くなっている。

図 3-7 【経年比較】主な介助者



※2011・2014年度は「父母」としてまとめて調査。

また、2014・2017・2020・2022年度は「子どもの配偶者」の選択肢はなし。

主な介助者を経年比較で見ると、2022年度は2020年度と比べ「子ども」が6.2ポイント、「配偶者」が4.3ポイントの減少となっている。

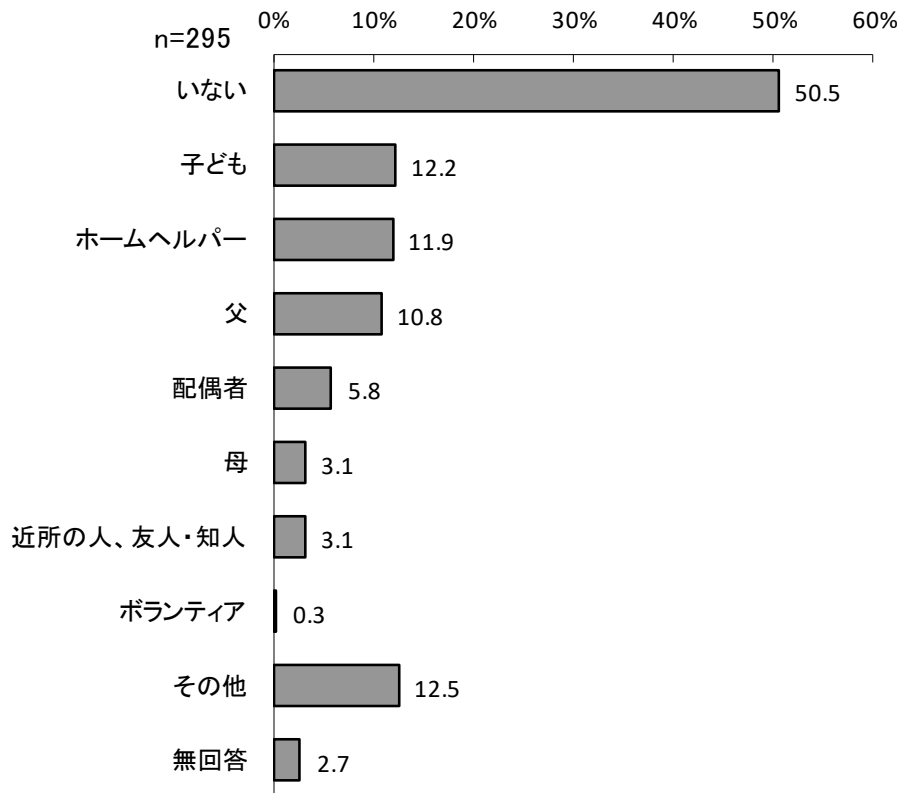
3.1.3. 主な介助者を除く日常的な介助者

◆主な介助者のほかに、日常的に介助できる方は「いない」が約5割

(問11で「1. はい」とお答えの方に)

問11-3. 主な介助者のほかに、あなた(あて名の方ご本人)を日常的に介助できる方はいますか。  
(あてはまるものすべてに○)

図3-8 主な介助者のほかに日常的に介助できる方



主な介助者のほかに日常的に介助できる方は、「いない」が約5割と最も高くなっており、次いで「子ども」「ホームヘルパー」「父」となっている。

図3-9 【所持手帳別】上位5項目 主な介助者のほかに日常的に介助できる方

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=73	いない 49.3	子ども 23.3	ホームヘルパー 15.1	近所の人、友人・知人 5.5	父 4.1
身体障害者手帳(重度) n=124	いない 47.6	ホームヘルパー 17.7	子ども 12.9	配偶者 9.7	父 7.3
愛の手帳 n=56	いない 41.1	父 32.1	ホームヘルパー 10.7	配偶者／子ども 3.6	
精神障害者保健福祉手帳 n=83	いない 61.4	父／配偶者／ホームヘルパー 7.2			母／子ども 6.0

主な介助者のほかに日常的に介助できる方は、それぞれの手帳所持者において「いない」が最も高い。



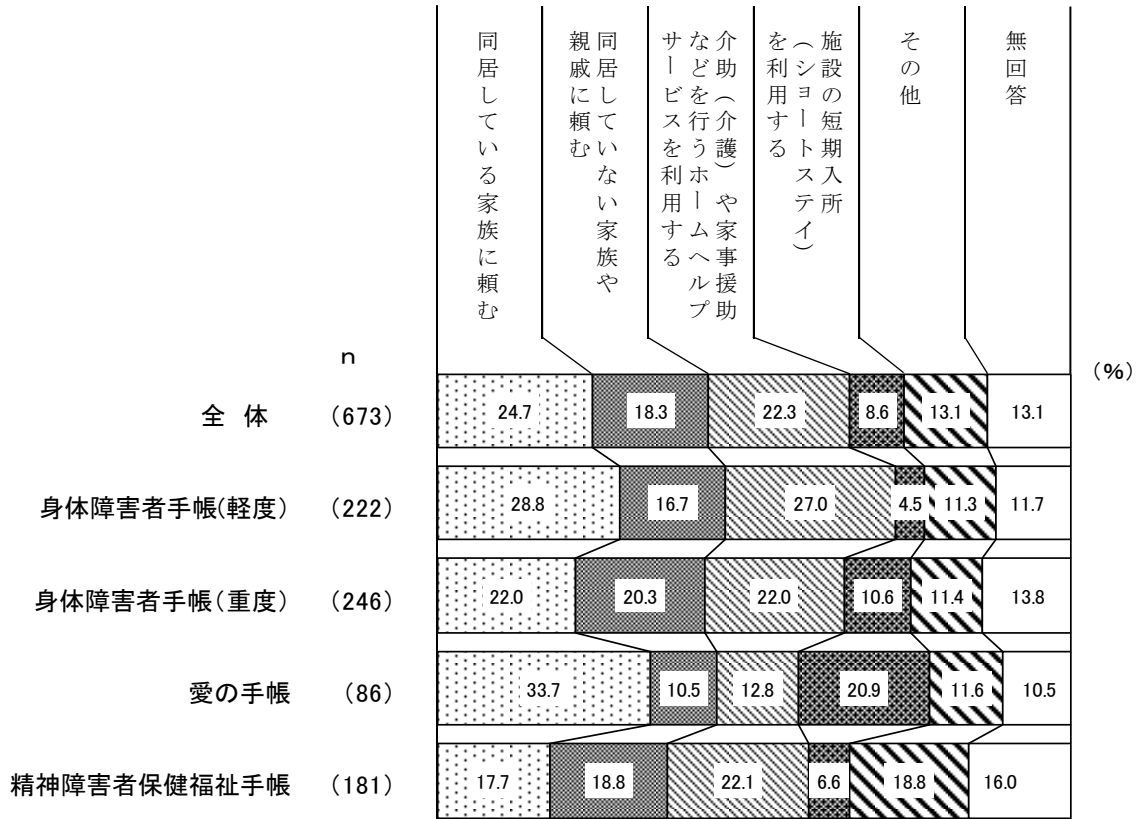
3.2. 主な介助者が介助困難になった場合の対処

◆主な介助者が介助困難になった場合の対処は「同居している家族に頼む」が最も高い

(全員の方に)

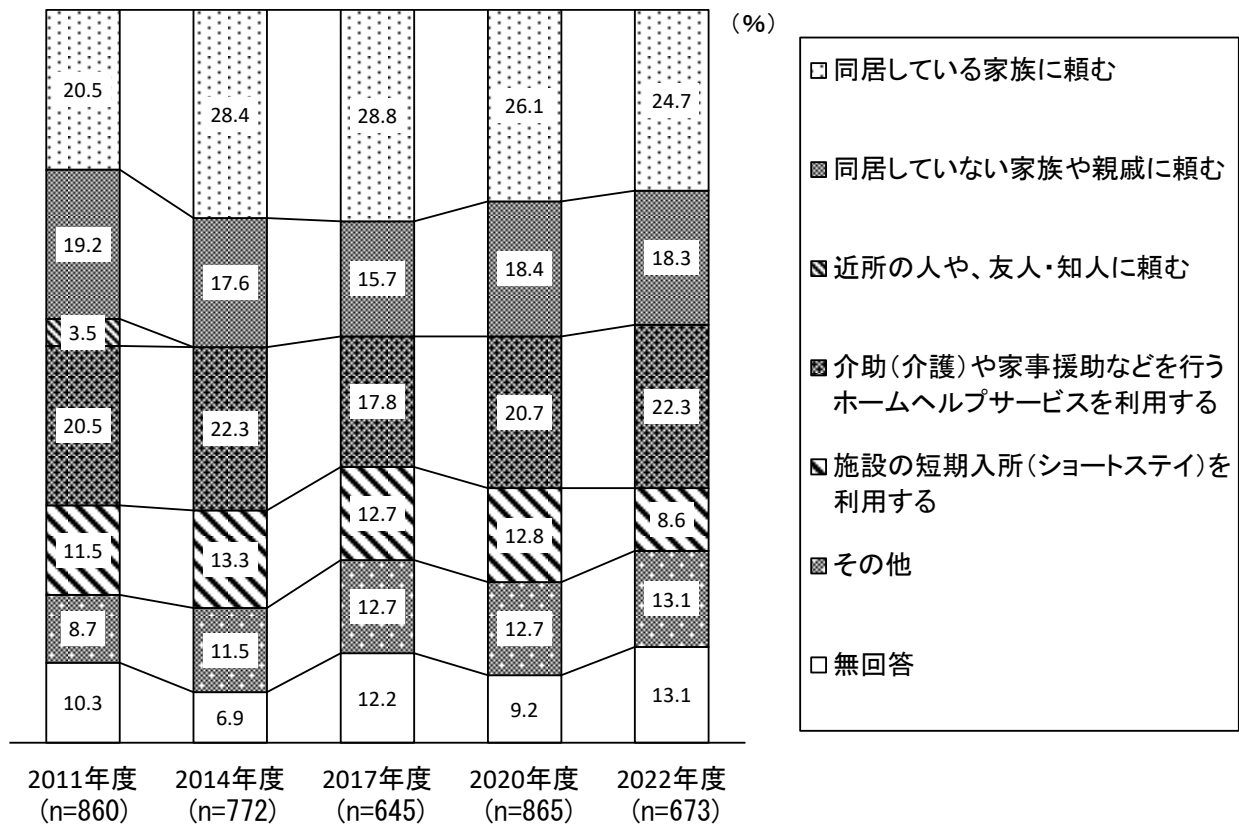
問 12. あなた（あて名の方ご本人）の主な介助者が急病・事故などで介助が困難になった場合、どのようにしたいですか。(〇は1つ)

図 3-10 【所持手帳別】 主な介助者が介助困難になった場合の対処



主な介助者が介助の継続が困難になった場合の対処としては、愛の手帳所持者では他に比べ「同居している家族に頼む」が特に高くなっており、身体障害者手帳所持者（軽度・重度）、精神障害者保健福祉手帳所持者では他に比べ、「介護（介護）や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用する」も高くなっている。

図 3-11 【経年比較】主な介助者が介助困難になった場合の対処



※「近所の人や、友人・知人に頼む」は2011年度のみ

主な介助者が介助困難になった場合の対処を経年比較で見ると、「同居している家族に頼む」「施設の短期入所(ショートステイ)を利用する」が微減、「介助(介護)や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用する」が微増となっている。

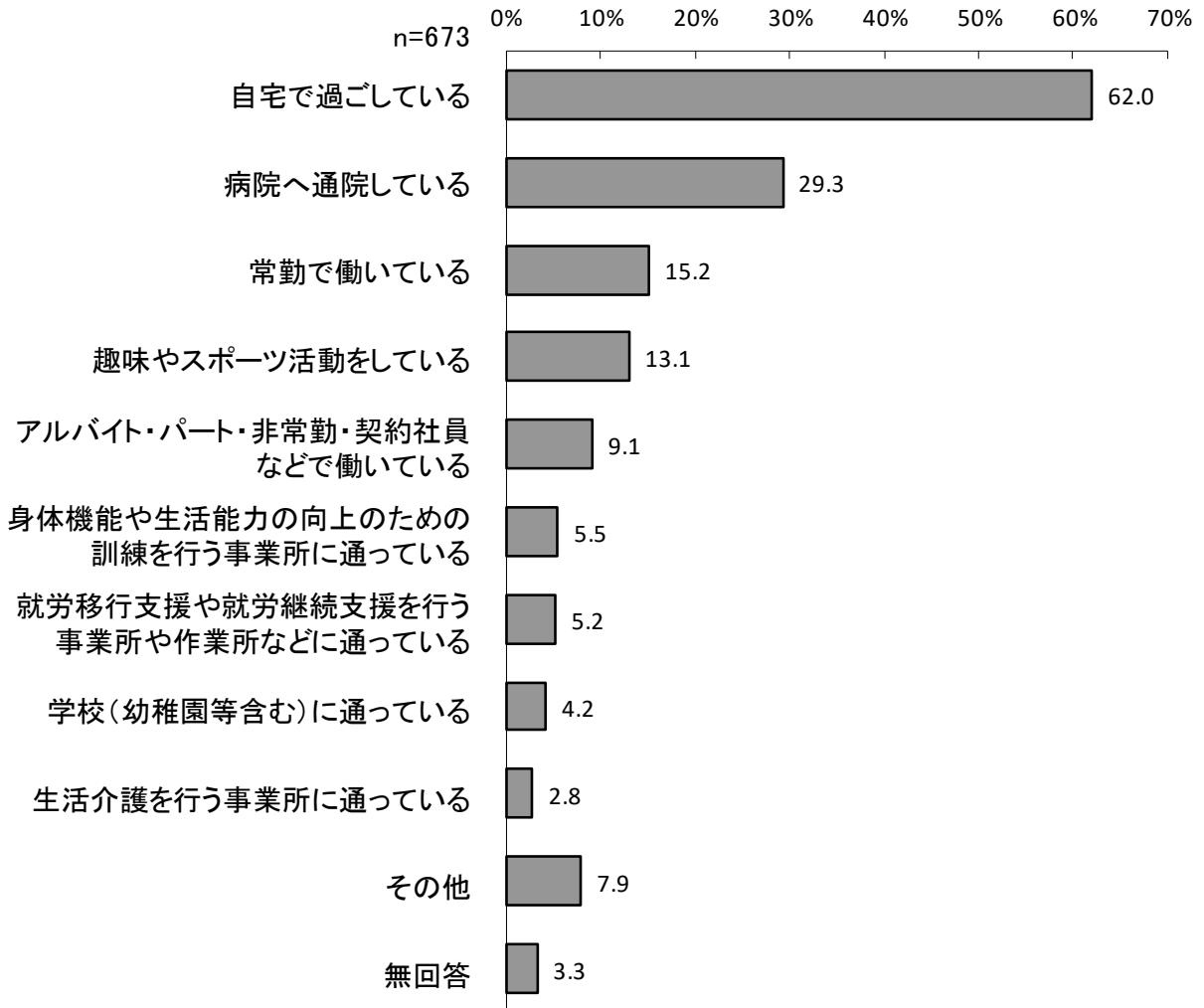
3.3. 平日の日中の過ごし方

◆平日の日中の主な過ごし方は「自宅で過ごしている」が最も高い

(全員の方に)

問13. あなた(あて名の方ご本人)は、平日の日中は主にどのように過ごしていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

図3-12 平日の日中の過ごし方



平日の日中の主な過ごし方は、「自宅で過ごしている」が6割台前半と最も高くなっており、次いで「病院へ通院している」「常勤で働いている」「趣味やスポーツ活動をしている」となっている。

図 3-13 【所持手帳別】上位 5 項目 平日の日中の過ごし方

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=222	自宅で過ごしている 62.0	病院へ通院している 29.3	常勤で働いている 15.2	趣味やスポーツ活動をしている 13.1	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 9.1
身体障害者手帳(重度) n=246	自宅で過ごしている 68.3	病院へ通院している 33.3	常勤で働いている 15.9	趣味やスポーツ活動をしている 11.8	身体機能や生活能力の向上のための訓練を行う事業所に通っている 6.5
愛の手帳 n=86	自宅で過ごしている 32.6	就労移行支援や就労継続支援を行う事業所や作業所などに通っている 19.8	学校(幼稚園等含む)に通っている 18.6	病院へ通院している 16.3	常勤で働いている 15.1
精神障害者保健福祉手帳 n=181	自宅で過ごしている 66.9	病院へ通院している 32.0	趣味やスポーツ活動をしている 13.8	常勤で働いている 13.3	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 11.6

平日の日中の過ごし方を所持手帳別でみると、いずれの手帳所持者も「自宅で過ごしている」が最も高くなっている。

図 3-14 【経年比較】上位 5 項目 平日の日中の過ごし方

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=673	自宅で過ごしている 62.0	病院へ通院している 29.3	常勤で働いている 15.2	趣味やスポーツ活動をしている 13.1	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 9.1
2020年度 n=865	自宅で過ごしている 63.1	病院へ通院している 32.8	常勤で働いている 13.2	趣味やスポーツ活動をしている 12.3	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 9.1
2017年度 n=645	自宅で過ごしている 42.5	病院へ通院している 25.0	常勤で働いている 19.4	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 13.3	趣味やスポーツ活動をしている 11.6
2014年度 n=772	自宅で過ごしている 57.9	病院へ通院している 36.0	趣味やスポーツ活動をしている 15.2	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 11.9	常勤で働いている 9.8
2011年度 n=860	自宅で過ごしている 57.9	病院へ通院している 33.3	趣味やスポーツ活動をしている 14.1	常勤の会社員、公務員、団体職員として働いている 10.5	就労移行支援などを行う事業所や作業所などに通っている 9.9

平日の日中の過ごし方を経年比較でみると、いずれの年度においても「自宅で過ごしている」が最も高くなっている。

## 4. 外出状況について

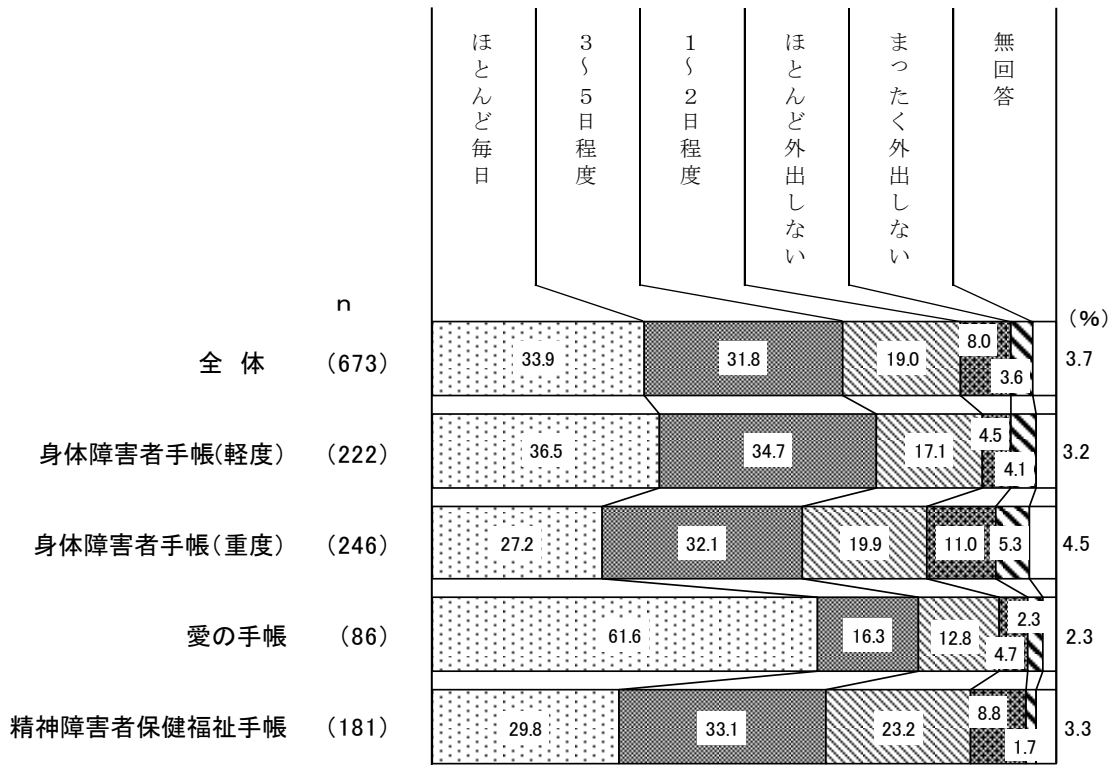
### 4.1. 外出の頻度

◆外出の頻度は「ほとんど毎日」が愛の手帳所持者で特に高い

(全員の方に)

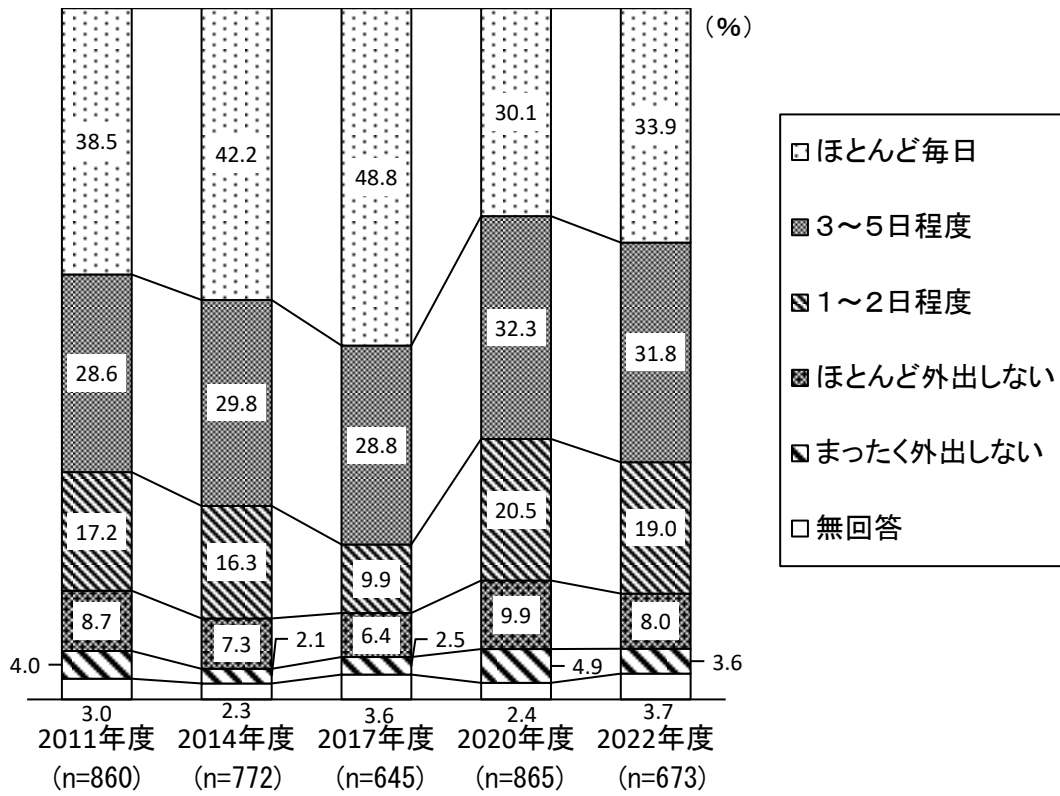
問14. あなた(あて名の方ご本人)は、一週間に、どのくらい外出していますか。(〇は1つ)

図4-1 【所持手帳別】外出の頻度



一週間の外出の頻度は、「ほとんど毎日」が愛の手帳所持者では6割を超えており、他と比べて特に高くなっている。

図 4-2 【経年比較】外出の頻度



一週間の外出の頻度を経年比較で見ると、2020年度と比べ「ほとんど毎日」が微増となっている。

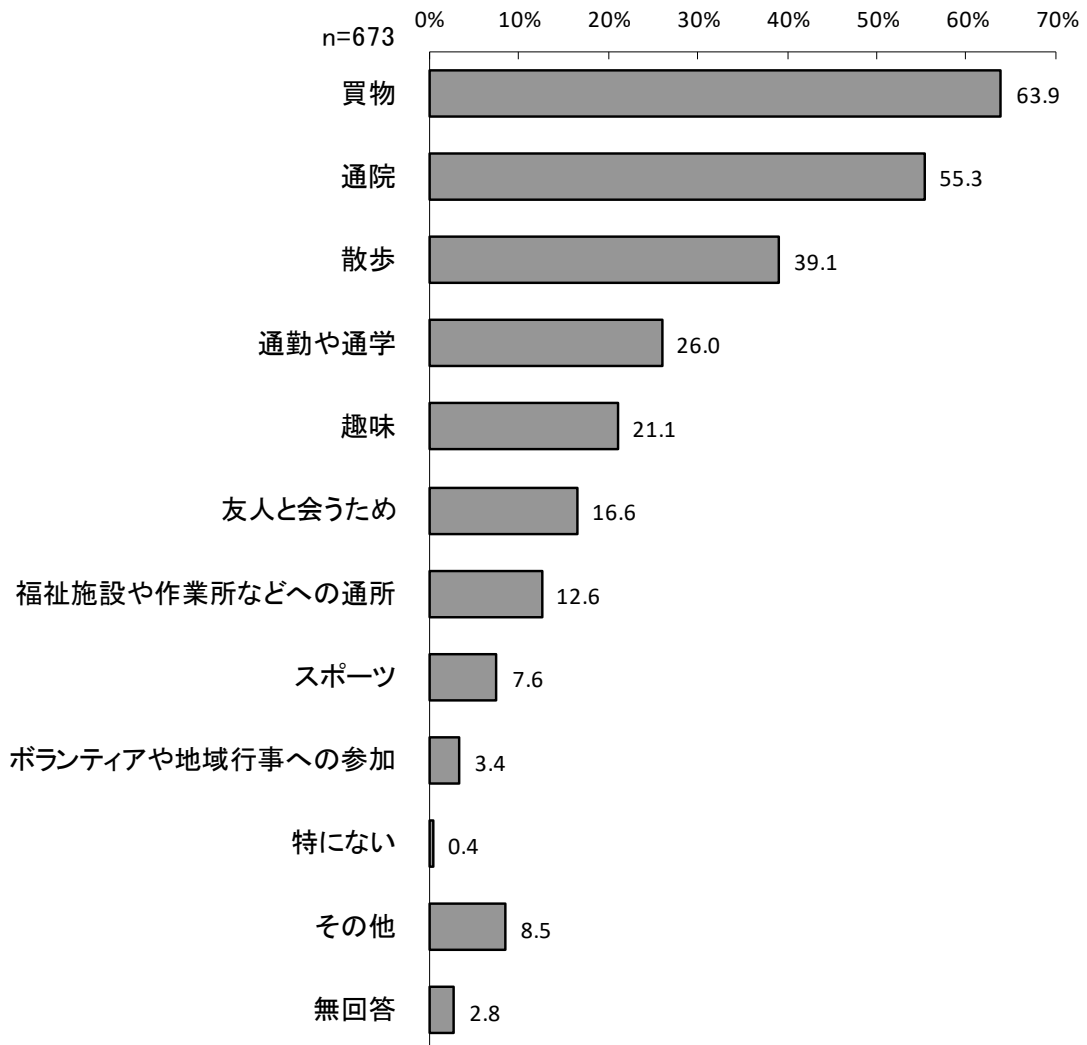
4.2. 外出の主な目的

◆外出の主な目的は「買物」が6割台前半

(全員の方に)

問 15. あなた(あて名の方ご本人)の外出の主な目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 4-3 外出の主な目的



外出の主な目的は、「買物」が最も高く、次いで「通院」「散歩」「通勤や通学」となっている。

図 4-4 【所持手帳別】上位 5 項目 外出の主な目的

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=222	買物 69.8	通院 52.7	散歩 41.4	通勤や通学 26.6	趣味／友人と 会うため 22.1
身体障害者手帳(重度) n=246	通院 61.4	買物 57.3	散歩 39.8	趣味 22.4	通勤や通学 19.5
愛の手帳 n=86	買物 48.8	通勤や通学 41.9	通院 40.7	福祉施設や作 業所などへの 通所 36.0	散歩 32.6
精神障害者保健福祉手帳 n=181	買物 65.7	通院 58.0	散歩 40.3	通勤や通学 25.4	福祉施設や作 業所などへの 通所 16.0

外出の主な目的を所持手帳別で見ると、身体障害者手帳所持者（重度）では「通院」が、その他では「買物」が最も高くなっている。

図 4-5 【経年比較】上位 5 項目 外出の主な目的

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=673	買物 63.9	通院 55.3	散歩 39.1	通勤や通学 26.0	趣味 21.1
2020年度 n=865	買物 56.8	通院 54.2	散歩 39.0	通勤や通学 22.4	趣味・スポーツ など 19.7
2017年度 n=645	買物 51.5	通院 46.2	通勤や通学 37.7	散歩 30.9	趣味・スポーツ など 27.1
2014年度 n=772	買物 58.2	通院 56.3	散歩 41.1	趣味・スポーツ など 24.1	通勤や通学 23.1
2011年度 n=860	通院 53.6	買物 52.0	散歩 36.4	通勤や通学 21.6	趣味・スポーツ など 21.5

※2022年度は「趣味」と「スポーツ」の選択肢を分けて調査。  
(2011～2020年度の選択肢は「趣味・スポーツなど」)

外出の主な目的を経年比較で見ると、2014年度以降は「買物」が第1位となっている。



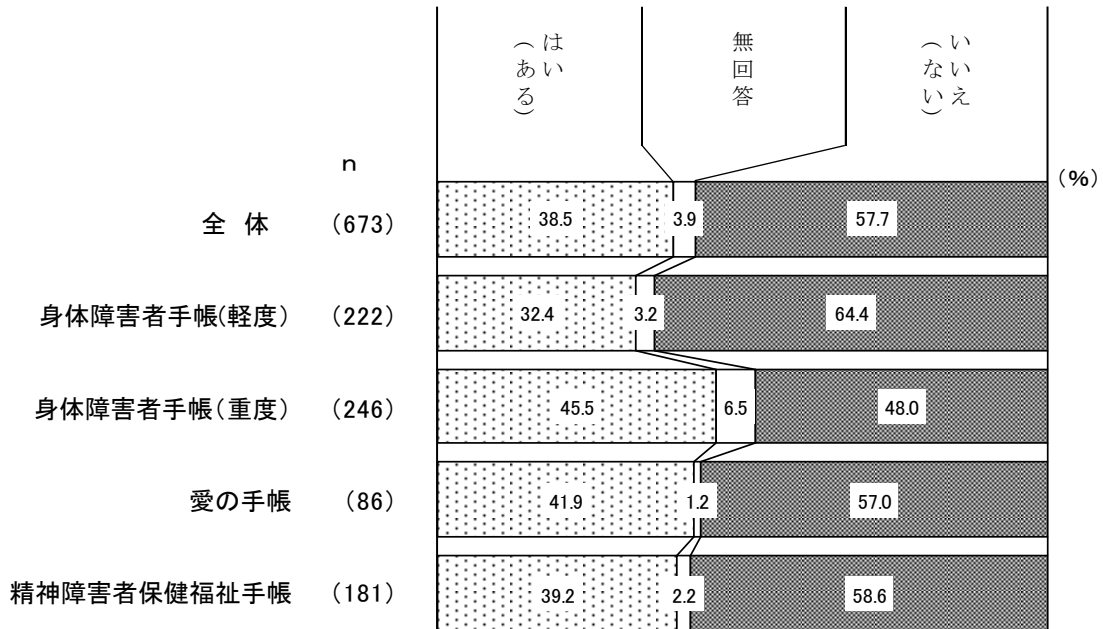
4.3. 外出する上での妨げの有無

◆外出する上での妨げは「ある」が3割台後半

(全員の方に)

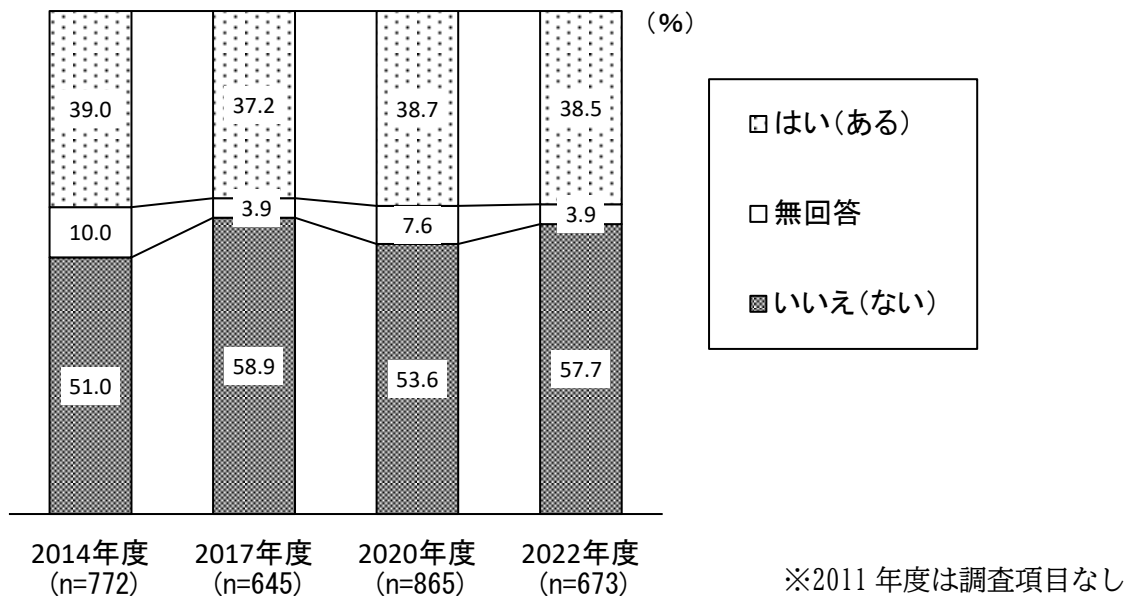
問 16. あなた(あて名の方ご本人)が外出する上で妨げになっていることはありますか。(〇は1つ)

図 4-6 【所持手帳別】外出する上で妨げの有無



外出する上での妨げの有無は、全体では「いいえ(ない)」が「はい(ある)」を上回っている。所持手帳別でみると、身体障害者手帳(重度)所持者で「はい(ある)」が他に比べて高くなっている。

図 4-7 【経年比較】外出する上で妨げの有無



外出する上での妨げの有無を経年比較でみると、大きな変化はみられない。

4.3.1. 外出する上で妨げになっていること

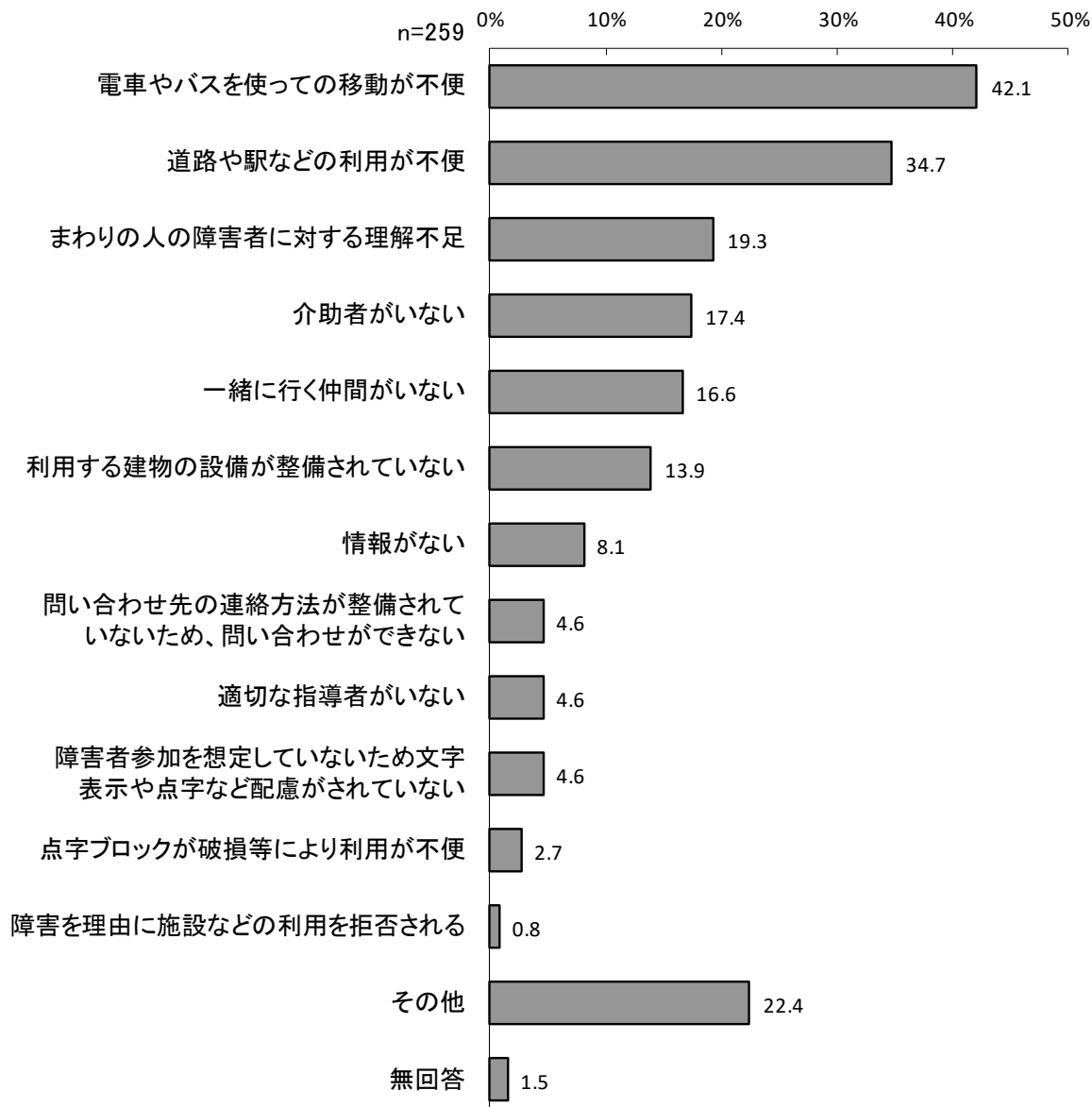
◆外出する上で妨げになっていることは「電車やバスを使っでの移動が不便」が4割台前半、「道路や駅などの利用が不便」が3割台半ば

(問16で「1. はい」とお答えの方に)

問16-1. 外出する上で妨げになっていることは具体的にどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

図4-8 外出する上で妨げになっていること



外出する上での妨げになっていることの内容をきいたところ、「電車やバスを使っでの移動が不便」が最も高くなっており、次いで「道路や駅などの利用が不便」「まわりの人の障害者に対する理解不足」「介助者がいない」となっている。

図 4-9 【所持手帳別】上位 5 項目 外出する上で妨げになっていること

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=72	電車やバスを 使った移動が不便 48.6	道路や駅など の利用が不便 45.8	まわりの人の 障害者に対する 理解不足 13.9	介助者がいない／一緒に行く 仲間がいない	12.5
身体障害者手帳(重度) n=112	電車やバスを 使った移動が不便 46.4	道路や駅など の利用が不便 37.5	利用する建物 の設備が整備 されていない 20.5	介助者がいない／まわりの人 の障害者に対する理解不足	15.2
愛の手帳 n=36	電車やバスを 使った移動が不便／まわりの人の障害者 に対する理解不足 36.1	道路や駅など の利用が不便 30.6	介助者がいな い 27.8	一緒に行く仲 間がない 25.0	
精神障害者保健福祉手帳 n=71	電車やバスを 使った移動が不便 35.2	一緒に行く仲 間がない 28.2	まわりの人の 障害者に対する 理解不足 25.4	道路や駅など の利用が不便 21.1	介助者がいな い 18.3

外出する上で妨げになっていることを所持手帳別でみると、いずれの手帳所持者も「電車やバスを使った移動が不便」が最も高く、愛の手帳所持者では「まわりの人の障害者に対する理解不足」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「一緒に行く仲間がいない」なども他と比べ高くなっている。

図 4-10 【経年比較】上位 5 項目 外出する上で妨げになっていること

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=259	電車やバスを 使った移動が不便 42.1	道路や駅など の利用が不便 34.7	まわりの人の 障害者に対する 理解不足 19.3	介助者がいな い 17.4	一緒に行く仲 間がない 16.6
2020年度 n=335	電車やバスを 使った移動が不便 46.3	道路や駅など の利用が不便 40.0	まわりの人の 障害者に対する 理解不足 21.2	介助者がいな い 17.3	一緒に行く仲 間がない 15.5
2017年度 n=240	電車やバスを 使った移動が不便 46.3	道路や駅など の利用が不便 43.3	まわりの人の 障害者に対する 理解不足 27.5	利用する建物 の設備が整備 されていない 20.8	一緒に行く仲 間がない 15.4
2014年度 n=301	電車やバスを 使った移動が不便 35.9	道路や駅など の利用が不便 32.6	まわりの人の 障害者に対する 理解不足 28.2	一緒に行く仲 間がない 22.3	情報がない 17.9
2011年度 n=860	自動車や自転 車が多くて危 険を感じる 19.8	発作など突然 の体調の変 化が心配 17.0	電車やバスの 乗り降りがし にくい 15.1	困ったとき周 围の人に手助 けをお願いし にくい 14.7	道路や利用す る建物に段差 が多い 14.3

外出する上で妨げになっていることを経年比較でみると、上位にあげられたものに大きな変化はみられない。

4.4. 外出の際の主な交通手段

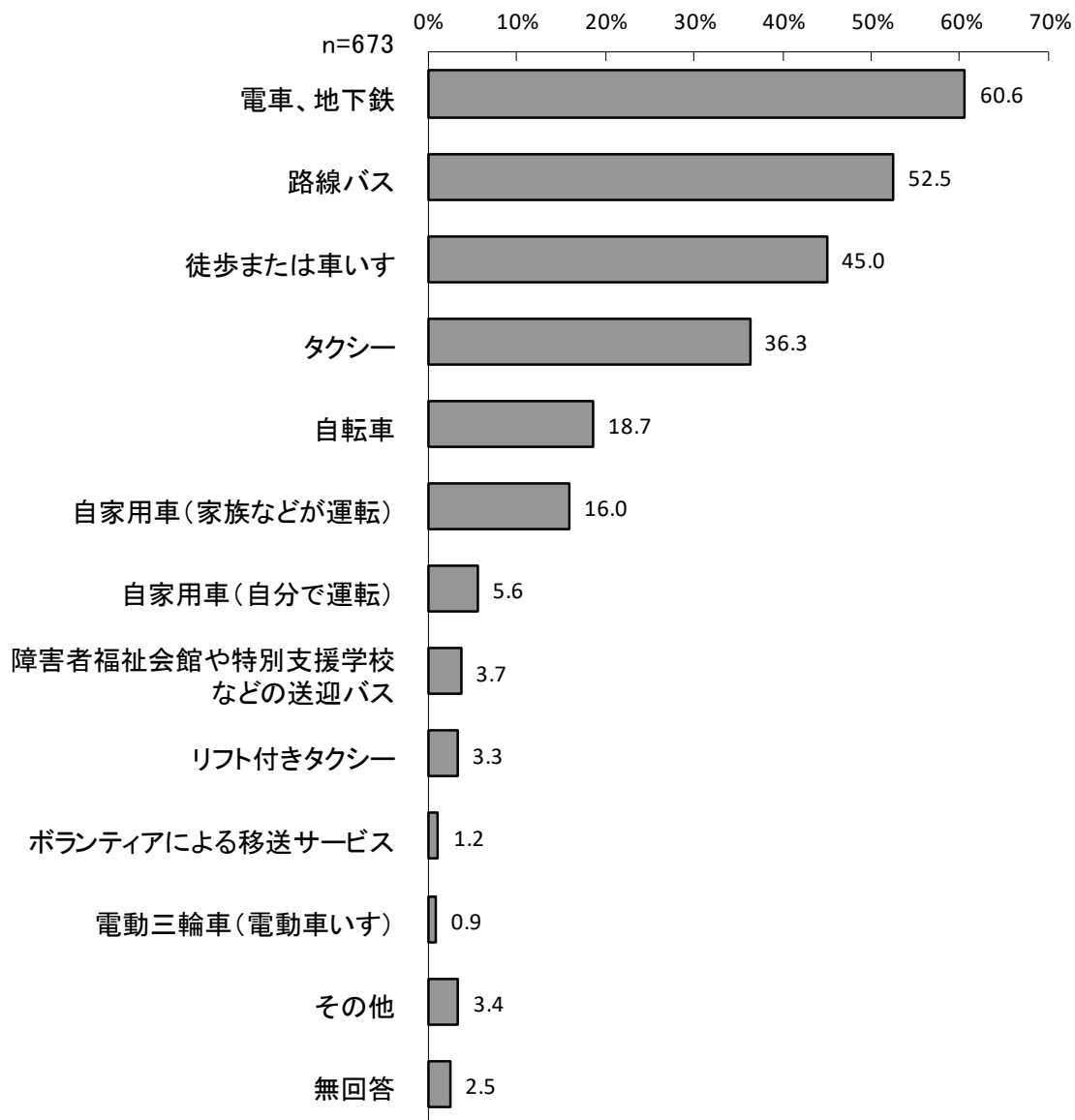
◆外出の際の主な交通手段は「電車・地下鉄」が最も高い

(全員の方に)

問 17. あなた (あて名の方ご本人) が、外出に利用する主な交通手段は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

図 4-11 外出の際の主な交通手段



外出する際の主な交通手段をきいたところ、「電車、地下鉄」が最も高く、次いで「路線バス」「徒歩または車いす」「タクシー」となっている。

図 4-12 【所持手帳別】上位 5 項目 外出の際の主な交通手段

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=222	電車、地下鉄 60.4	路線バス 56.3	タクシー 38.3	徒歩または車 いす 37.4	自転車 23.9
身体障害者手帳(重度) n=246	電車、地下鉄 50.8	タクシー 48.0	路線バス 45.5	徒歩または車 いす 41.5	自家用車(家 族などが運転) 14.6
愛の手帳 n=86	電車、地下鉄 72.1	路線バス 54.7	徒歩または車 いす 47.7	自転車 24.4	タクシー 22.1
精神障害者保健福祉手帳 n=181	電車、地下鉄 65.2	路線バス 55.2	徒歩または車 いす 52.5	自転車 23.2	タクシー 19.9

外出の際の主な交通手段を所持手帳別で見ると、いずれの手帳所持者も「電車、地下鉄」が最も高く、身体障害者手帳所持者（重度）では「タクシー」が第2位にあげられている。

図 4-13 【経年比較】上位 5 項目 外出の際の主な交通手段

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=673	電車、地下鉄 60.6	路線バス 52.5	徒歩または車 いす 45.0	タクシー 36.3	自転車 18.7
2020年度 n=865	電車、地下鉄 57.0	路線バス 50.4	徒歩または車 いす 40.9	タクシー 35.3	自転車 19.2
2017年度 n=645	電車、地下鉄 73.0	路線バス 51.8	徒歩または車 いす 46.0	タクシー 28.2	自転車 22.0
2014年度 n=772	電車、地下鉄 68.1	路線バス 58.5	徒歩または車 いす 37.8	タクシー 37.2	自転車 20.5
2011年度 n=860	電車、地下鉄 64.0	路線バス 54.1	タクシー 37.7	徒歩または車 いす 33.5	自転車 18.7

外出の際の主な交通手段を経年比較で見ると、2020年度と比べて大きな変化はみられない。

## 5. 働くことについて

### 5.1. 就労による定期的な収入の有無

#### ◆就業による定期的な収入がある方は、生産年齢人口でみると5割台後半

(全員の方に)

問 18. あなた(あて名の方ご本人)は、給料など就労による定期的な収入はありますか。(〇は1つ)

図 5-1 【所持手帳別】収入の有無

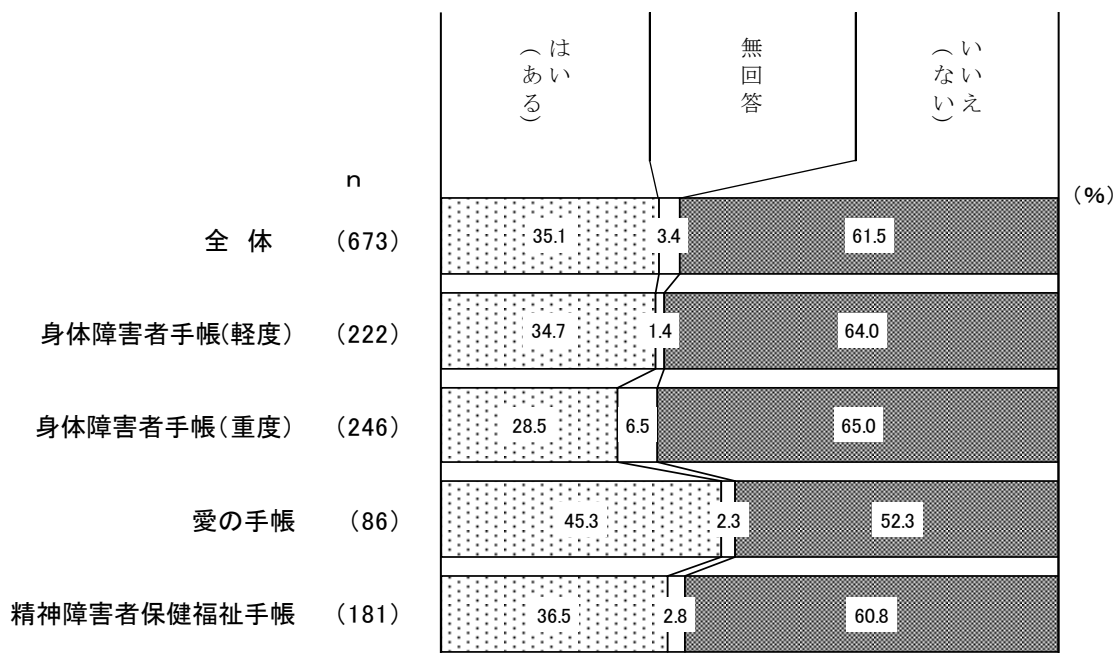
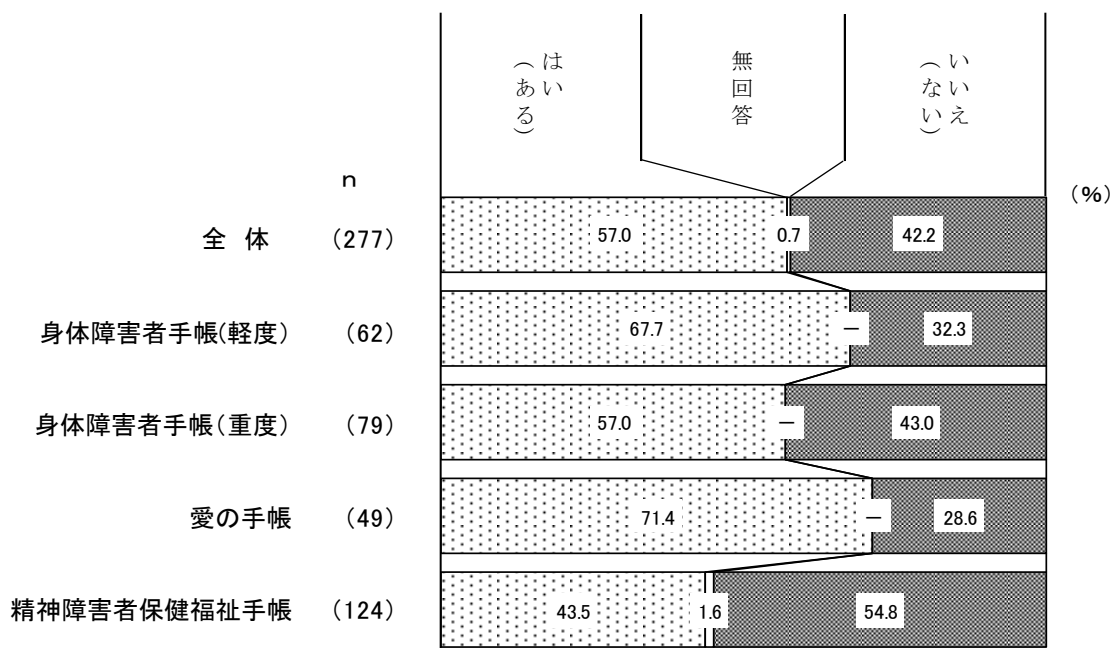
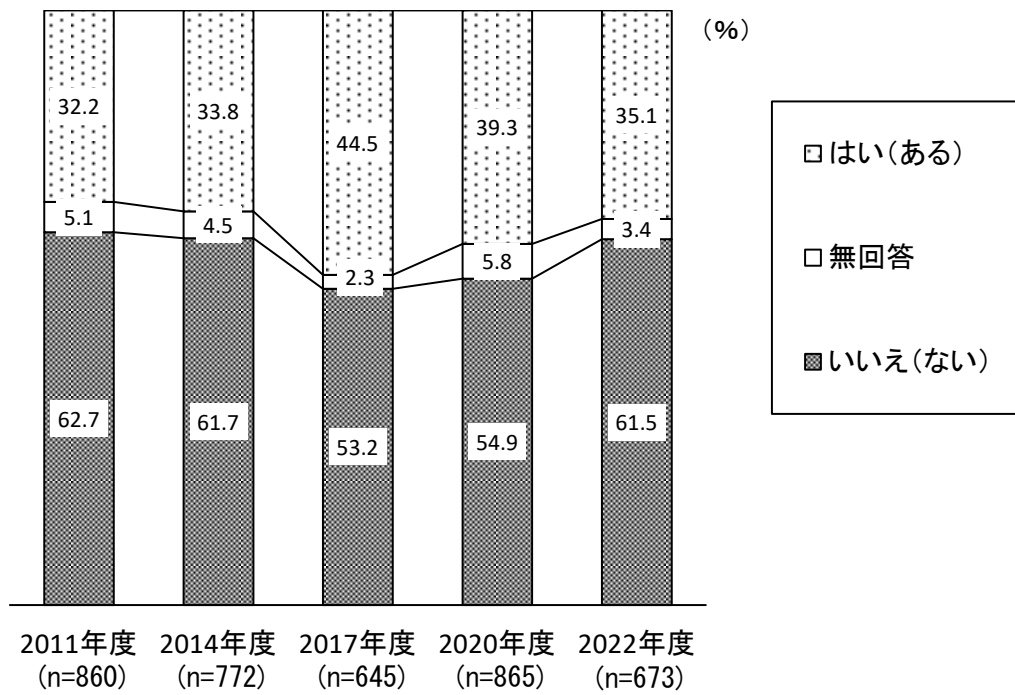


図 5-2 【所持手帳別】生産年齢人口(15歳以上65歳未満)における収入の有無



生産年齢人口(15歳以上65歳未満)における収入の有無は、愛の手帳所持者で「はい(ある)」で約7割となっている。精神障害者保健福祉手帳所持者は、「いいえ(ない)」が他に比べて高くなっている。

図 5-3 【経年変化】就労による定期的な収入の有無



就労による定期的な収入の有無を経年比較でみると、2017年度以降「はい(ある)」が減少傾向となっている。

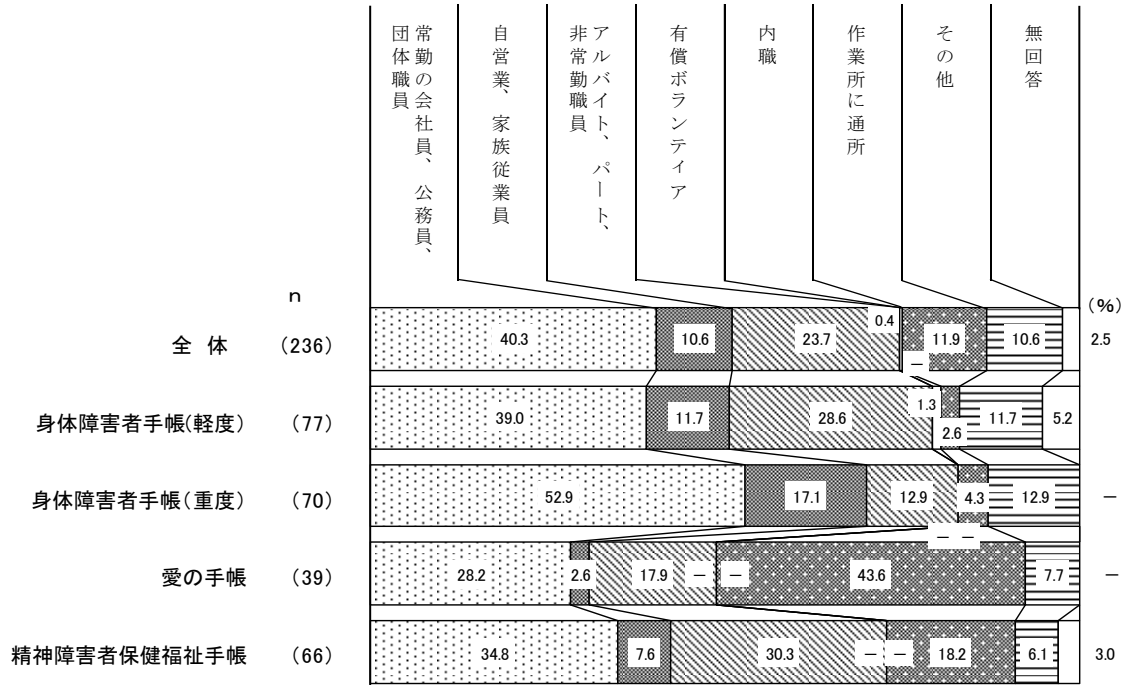
5.1.1. 現在の就労形態

◆就労形態は所持手帳により違いがみられる

(問18で「1. はい」とお答えの方に)

問18-1. あなた(あて名の方ご本人)の現在の就労形態をお答えください。(〇は1つ)

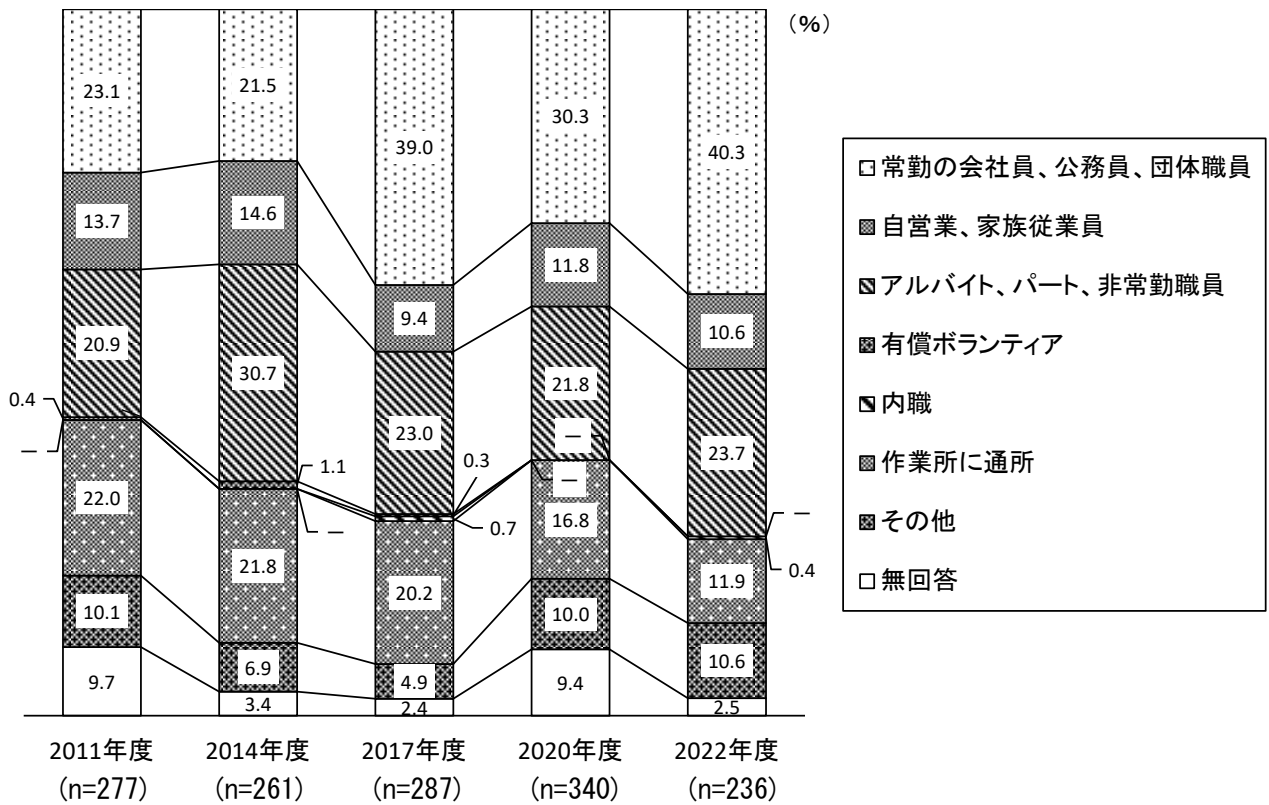
図5-4 【所持手帳別】現在の就労形態



定期的な収入があると回答された方に、就労形態をきいたところ、身体障害者手帳所持者及び精神障害者保健福祉手帳所持者では「常勤の会社員、公務員、団体職員」が、愛の手帳所持者では「作業所に通所」が最も高くなっている。



図 5-5 【経年比較】現在の就労形態



現在の就労形態を経年変化で見ると、2022年度は2020年度と比べ「常勤の会社員、公務員、団体職員」が10ポイント増加している。

5.1.2. 仕事を見つけた方法

◆仕事を見つけた方法は愛の手帳では「学校の紹介」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「障害者就労支援機関の利用」が高い

(問18で「1. はい」とお答えの方に)

問18-2. あなた(あて名の方ご本人)は、現在の仕事をどのような方法で見つけましたか。(〇は1つ)

図5-6 【所持手帳別】仕事を見つけた方法

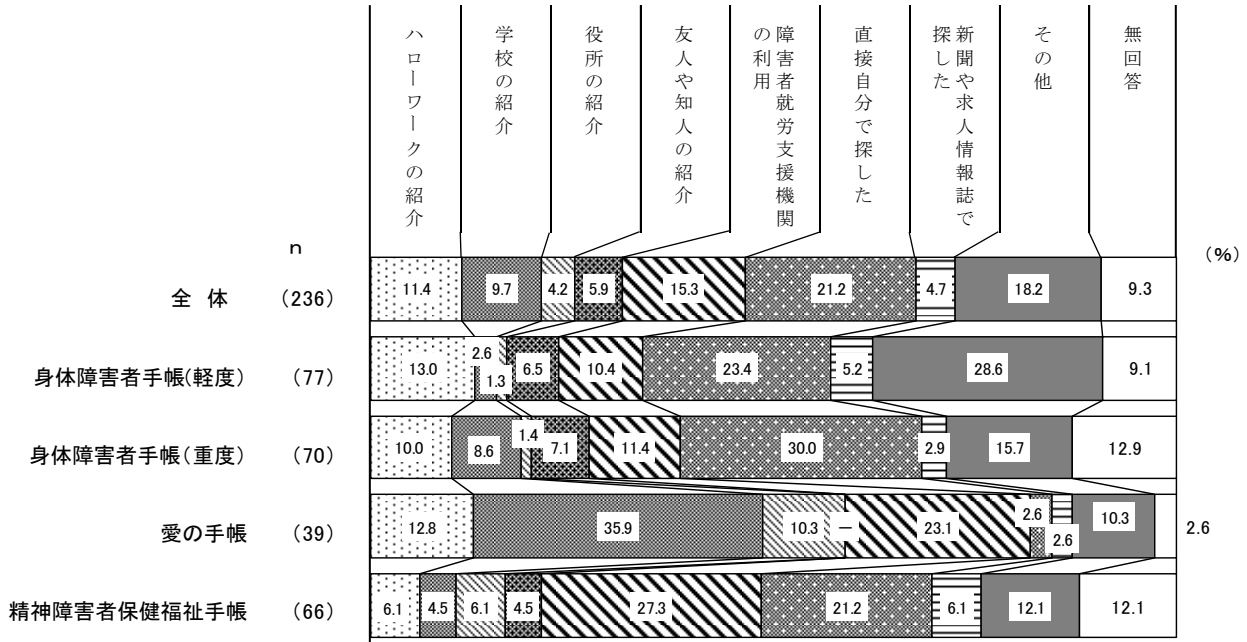


図5-7 【所持手帳別】上位5項目 仕事を見つけた方法

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=77	直接自分で探した 23.4	ハローワークの紹介 13.0	障害者就労支援機関の利用 10.4	友人や知人の紹介 6.5	新聞や求人情報誌で探した 5.2
身体障害者手帳(重度) n=70	直接自分で探した 30.0	障害者就労支援機関の利用 11.4	ハローワークの紹介 10.0	学校の紹介 8.6	友人や知人の紹介 7.1
愛の手帳 n=39	学校の紹介 35.9	障害者就労支援機関の利用 23.1	ハローワークの紹介 12.8	役所の紹介 10.3	直接自分で探した／新聞や求人情報誌で探した 2.6
精神障害者保健福祉手帳 n=66	障害者就労支援機関の利用 27.3	直接自分で探した 21.2	ハローワークの紹介／役所の紹介／新聞や求人情報誌で探した 6.1		

現在、就労されている方に仕事を見つけた方法をきいたところ、身体障害者手帳所持者では「直接自分で探した」、愛の手帳では「学校の紹介」、精神保健福祉手帳所持者では「障害者就労支援機関の利用」が最も高くなっている。

図 5-8 【経年比較】上位5項目 仕事を見つけた方法

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=236	直接自分で探した 21.2	障害者就労支援機関の利用 15.3	ハローワークの紹介 11.4	学校の紹介 9.7	友人や知人の紹介 5.9
2020年度 n=340	直接自分で探した 18.5	障害者就労支援機関の利用 16.5	学校の紹介 8.8	友人や知人の紹介 7.9	ハローワークの紹介 6.8
2017年度 n=287	直接自分で探した 20.9	障害者就労支援機関の利用 15.7	学校の紹介 13.6	ハローワークの紹介 10.1	友人や知人の紹介 8.7
2014年度 n=261	直接自分で探した 14.2	学校の紹介 13.8	障害者就労支援機関の利用 13.4	ハローワークの紹介 11.5	友人や知人の紹介 7.3
2011年度 n=277	直接自分で探した/障害者就労支援機関 14.1		学校の紹介 11.6	友人や知人の紹介 6.9	ハローワークの紹介 5.4

仕事を見つけた方法を経年変化でみると、いずれの年度においても「直接自分で探した」が高くなっている。

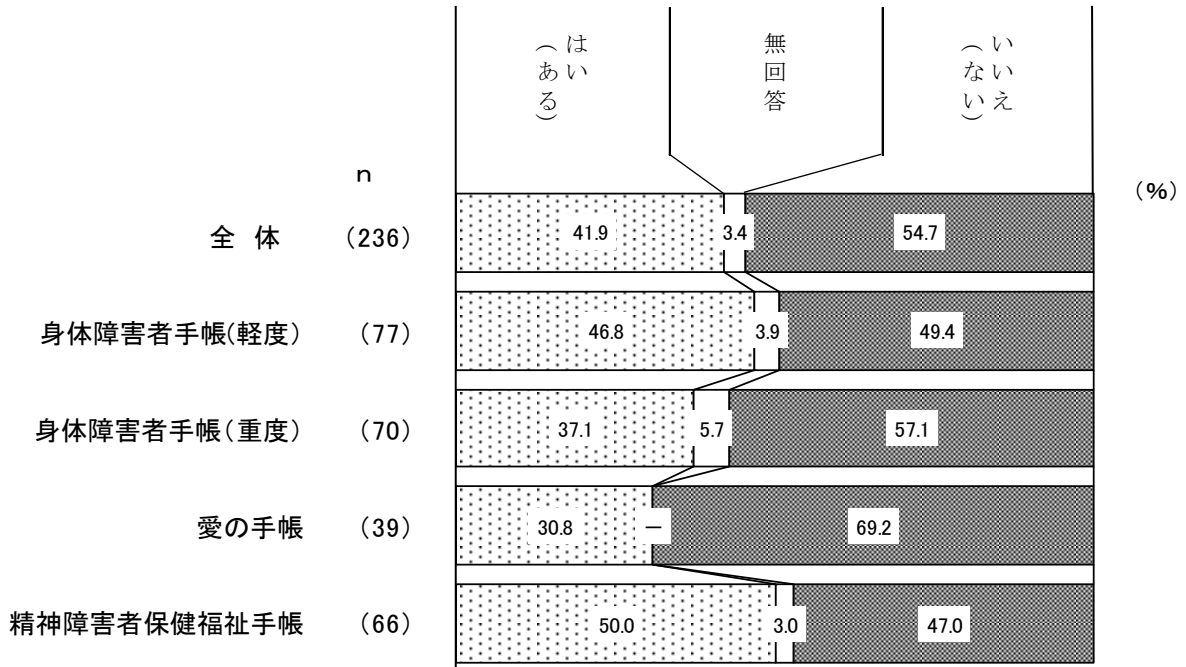
5.1.3. 仕事や職場への不安や不満の有無

◆仕事や職場への不安や不満は「いいえ（ない）」が5割台半ば

(問18で「1. はい」とお答えの方に)

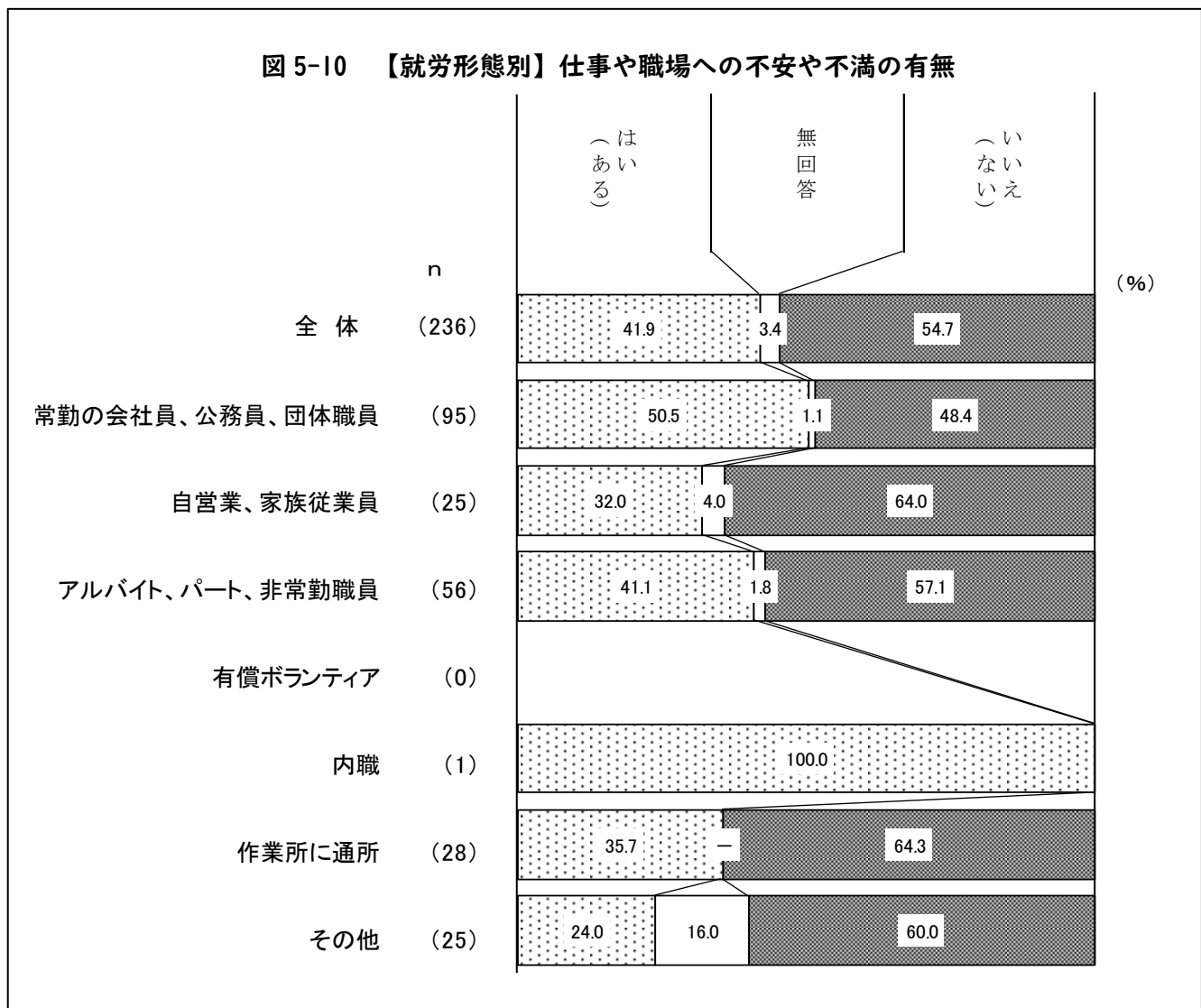
問18-3. あなた(あて名の方ご本人)は、現在の仕事に関して不安や不満はありますか。(〇は1つ)

図5-9 【所持手帳別】仕事や職場への不安や不満の有無



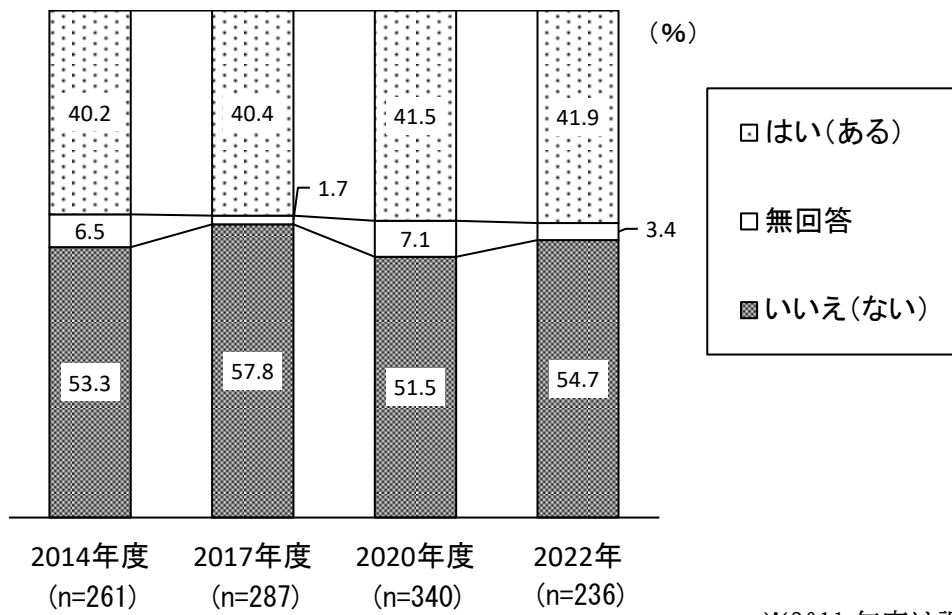
現在、就労されている方に仕事の不安や不満の有無をきいたところ、全体としては「いいえ（ない）」が5割台半ばとなっているが、精神障害者保健福祉手帳所持者や身体障害者手帳所持者（軽度）で「はい（ある）」が他と比べてやや高くなっており、特に精神障害者保健福祉手帳所持者で「はい（ある）」が「いいえ（ない）」を上回っている。

図 5-10 【就労形態別】仕事や職場への不安や不満の有無



現在、就労されている方に仕事の不安や不満の有無をきいたところ、就労形態別でみると、「常勤の会社員、公務員、団体職員」で「はい (ある)」が半数を超えている。

図 5-11 【経年比較】仕事や職場への不安や不満の有無



※2011年度は調査項目なし。

仕事や職場への不安や不満の有無を経年変化で見ると、大きな変化はみられない。

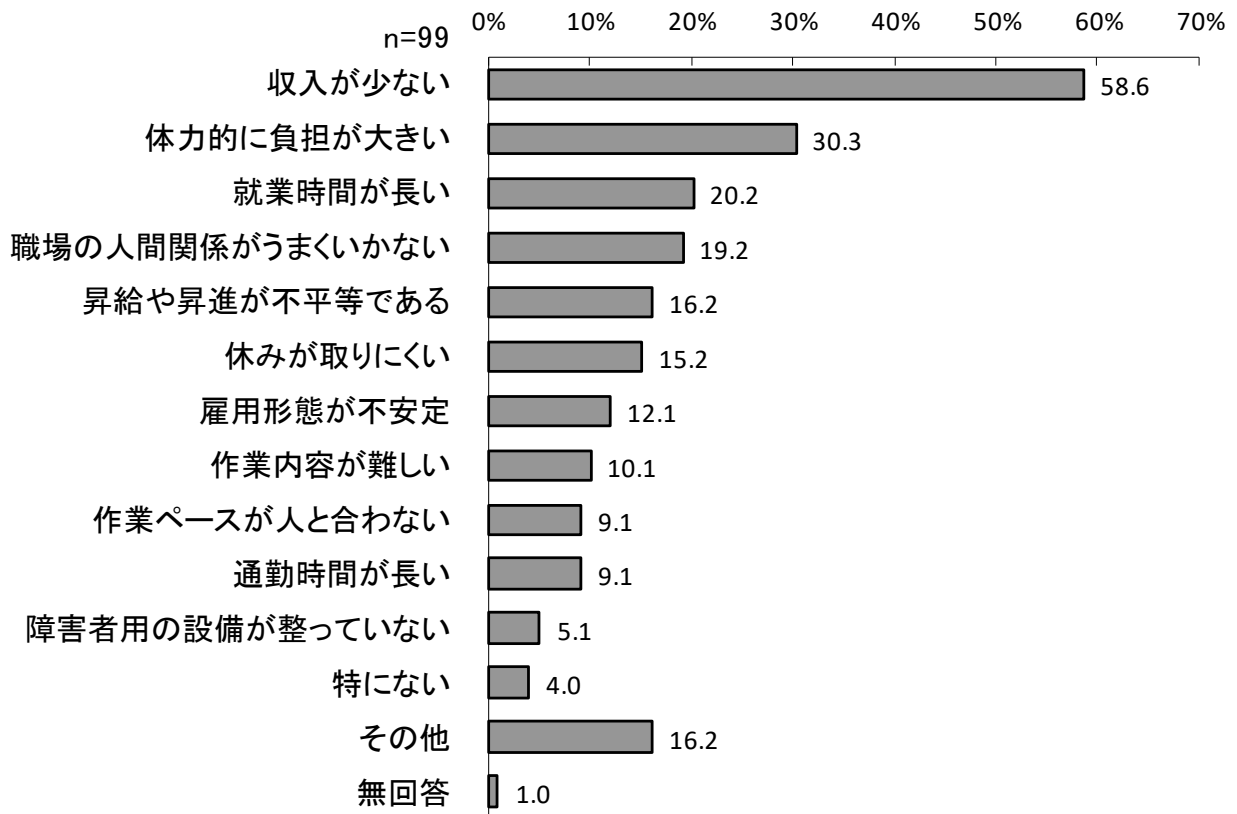
5.1.3.1. 仕事や職場への不安や不満

◆仕事や職場への不安や不満は「収入が少ない」が最も高い

(問 18-3 で「1. はい」とお答えの方に)

問 18-3-1. あなた(あて名の方ご本人)は、現在の仕事に関してどのような不安や不満がありますか。(あてはまるものすべてに○)

図 5-12 仕事や職場への不安や不満



仕事や職場への不安や不満があると回答した方に、その内容をきいたところ、「収入が少ない」が最も高くなっており、次いで「体力的に負担が大きい」「就業時間が長い」「職場の人間関係がうまくいかない」となっている。

図 5-13 【所持手帳別】上位 5 項目 仕事や職場への不安や不満

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=36	収入が少ない 63.9	体力的に負担 が大きい 30.6	就業時間が長 い 25.0	昇給や昇進が 不平等である 19.4	雇用形態が不 安定 16.7
身体障害者手帳(重度) n=26	収入が少ない 42.3	職場の人間関係がうまくい かない／体力的に負担が大きい 23.1	就業時間が長 い 19.2	作業内容が難 しい／休みが 取りにくい／作 業ペースが人 と合わない／ 昇給や昇進が 不平等である 11.5	
愛の手帳 n=12	収入が少ない 66.7	作業内容が難しい／就業時間 が長い 16.7	休みが取りにくい／体力的に負 担が大きい／障害者用の設備 が整っていない／昇給や昇進 が不平等である 8.3		
精神障害者保健福祉手帳 n=33	収入が少ない 54.5	体力的に負担 が大きい 39.4	職場の人間関 係がうまくい かない 33.3	就業時間が長 い 27.3	休みが取りにく い 24.2

仕事や職場への不安や不満の内容を所持手帳別で見ると、いずれの手帳所持者も「収入が少ない」の割合が最も高くなっている。



図 5-14 【経年比較】上位 5 項目 仕事や職場への不安や不満  
 <身体障害者手帳>

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度(軽度) n=36	収入が少ない 63.9	体力的に負担 が大きい 30.6	就業時間が長 い 25.0	昇給や昇進が 不平等である 19.4	雇用形態が不 安定 16.7
2022年度(重度) n=26	収入が少ない 42.3	職場の人間関係がうまくい かない/体力的に負担が大きい 23.1	就業時間が長 い 19.2	作業内容が難 しい/休みが 取りにくい/作 業ペースが人 と合わない/ 昇給や昇進が 不平等である 11.5	
2020年度(軽度) n=42	収入が少ない 47.6	体力的に負担 が大きい 16.7	休みが取りにく い 14.3	昇給や昇進が 不平等である 11.9	雇用形態が不 安定 9.5
2020年度(重度) n=41	収入が少ない 43.9	体力的に負担 が大きい 26.8	職場の人間関 係がうまくい かない 14.6	昇給や昇進が 不平等である 12.2	雇用形態が不 安定 9.8
2017年度(軽度) n=48	収入が少ない 43.8	体力的に負担 が大きい 33.3	休みが取りにく い/昇給や昇進 が不平等である 22.9	就業時間が長 い 20.8	
2017年度(重度) n=37	収入が少ない 56.8	昇給や昇進が 不平等である 32.4	休みが取りにく い 29.7	雇用形態が不 安定 24.3	体力的に負担 が大きい 21.6
2014年度(軽度) n=29	収入が少ない 69.0	体力的に負担 が大きい 31.0	昇給や昇進が 不平等である 27.6	休みが取りにく い 24.1	就業時間が長 い/雇用形態 が不安定 20.7
2014年度(重度) n=21	収入が少ない 57.1	体力的に負担が大きい/雇用 形態が不安定 14.3	休みが取りにくい/就業時間が 長い/職場の人間関係がうまく いかない/通勤時間が長い 9.5		
2011年度 n=152	収入が少ない 27.6	休みが取りにく い 12.5	体力的に負担 が大きい 11.8	雇用形態が不 安定 5.9	就業時間が長 い/障害者用 の設備が整っ ていない/昇給 や昇進が不平 等である/通勤 時間が長い 3.9

※2011年度の調査では重度と軽度をわけていない。

<愛の手帳>

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=12	収入が少ない 66.7	作業内容が難しい／就業時間が長い 16.7	休みが取りにくい／体力的に負担が大きい／障害者用の設備が整っていない／昇給や昇進が不平等である 8.3		
2020年度 n=26	収入が少ない 46.2	体力的に負担が大きい 11.5	作業内容が難しい／作業ペースが人と合わない／雇用形態が不安定／昇給や昇進が不平等である／通勤時間が長い 7.7		
2017年度 n=18	収入が少ない 55.6	体力的に負担が大きい 22.2	休みが取りにくい／職場の人間関係がうまくいかない 16.7	通勤時間が長い 11.1	
2014年度 n=28	収入が少ない 46.4	職場の人間関係がうまくいかない 32.1	作業ペースが人と合わない／障害者用の設備が整っていない／通勤時間が長い 17.9		
2011年度 n=79	収入が少ない 43.0	職場の人間関係がうまくいかない 7.6	休みが取りにくい／作業ペースが人と合わない／通勤時間が長い 6.3		

<精神障害者保健福祉手帳>

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=33	収入が少ない 54.5	体力的に負担が大きい 39.4	職場の人間関係がうまくいかない 33.3	就業時間が長い 27.3	休みが取りにくい 24.2
2020年度 n=38	収入が少ない 60.5	職場の人間関係がうまくいかない 31.6	体力的に負担が大きい 21.1	雇用形態が不安定／昇給や昇進が不平等である 18.4	
2017年度 n=21	収入が少ない 76.2	体力的に負担が大きい 42.9	休みが取りにくい／職場の人間関係がうまくいかない 38.1	雇用形態が不安定 23.8	
2014年度 n=34	収入が少ない 76.5	雇用形態が不安定 47.1	体力的に負担が大きい 29.4	職場の人間関係がうまくいかない 23.5	休みが取りにくい／就業時間が長い 20.6
2011年度 n=29	収入が少ない 51.7	職場の人間関係がうまくいかない 24.1	体力的に負担が大きい 17.2	作業ペースが人と合わない 13.8	雇用形態が不安定／障害者用の設備が整っていない／昇給や昇進が不平等である 10.3

仕事や職場への不安や不満の内容を経年比較でみると、すべての手帳所持者においていずれの年度も「収入が少ない」が最も高くなっている。

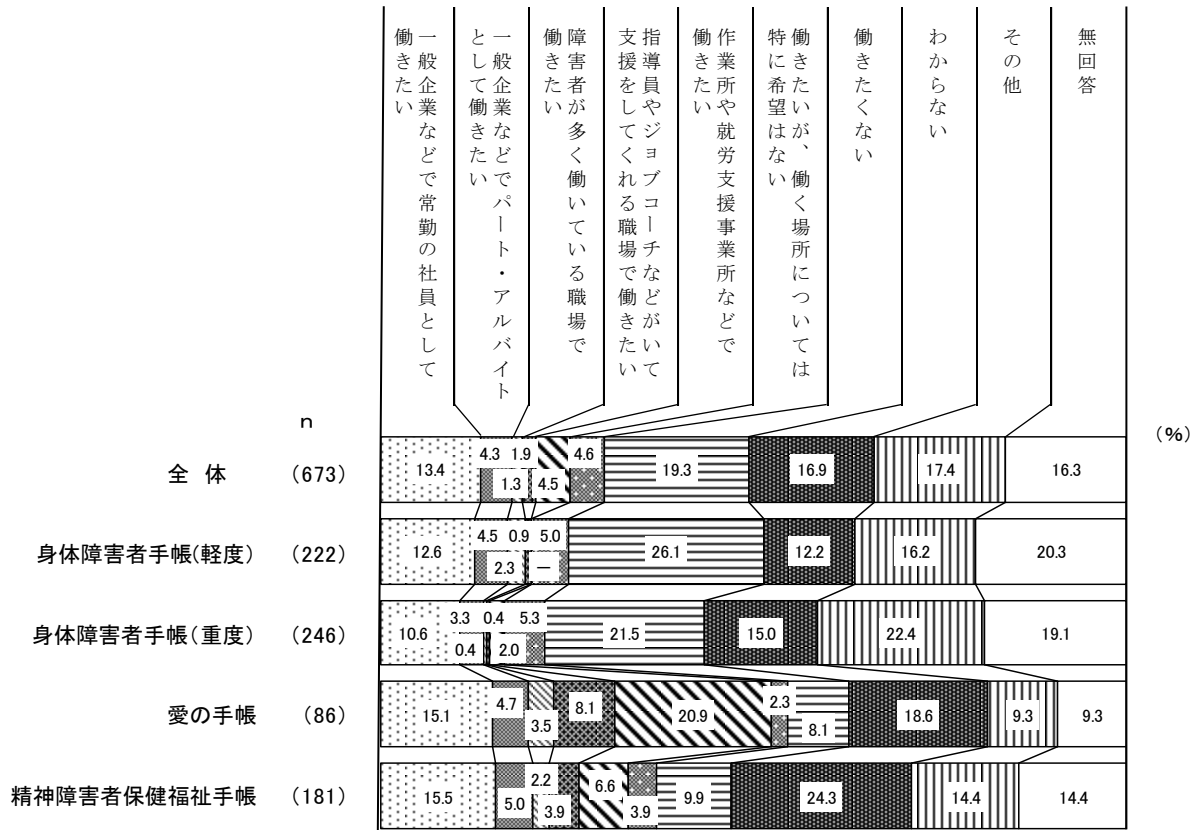
5.2. 希望する働き方

◆希望する働き方は、「一般企業などで常勤の社員として働きたい」が1割台前半

(全員の方に)

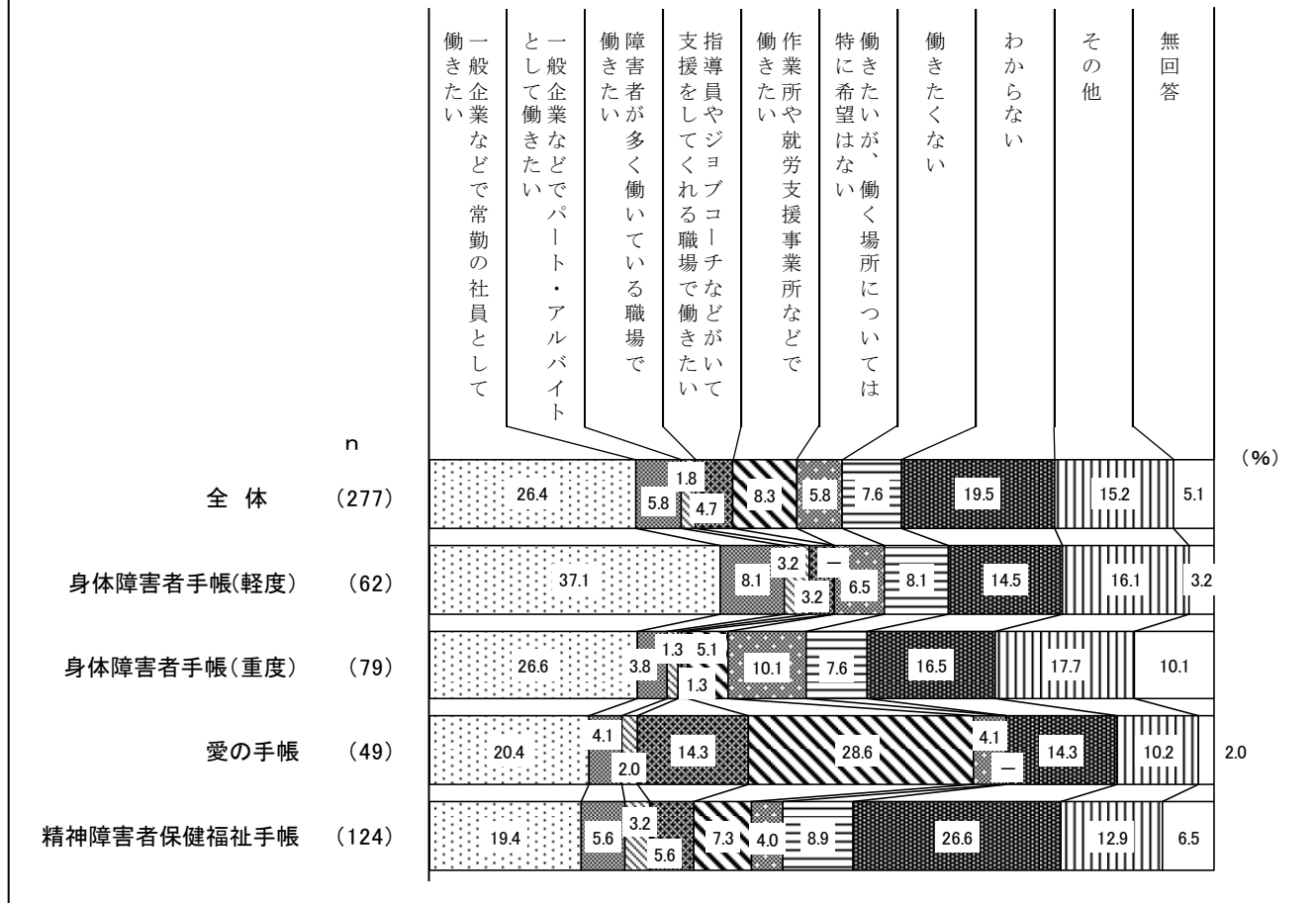
問19. あなた(あて名の方のご本人)は、今後、どのように働きたいと思いますか。(〇は1つ)

図5-15 【所持手帳別】希望する働き方



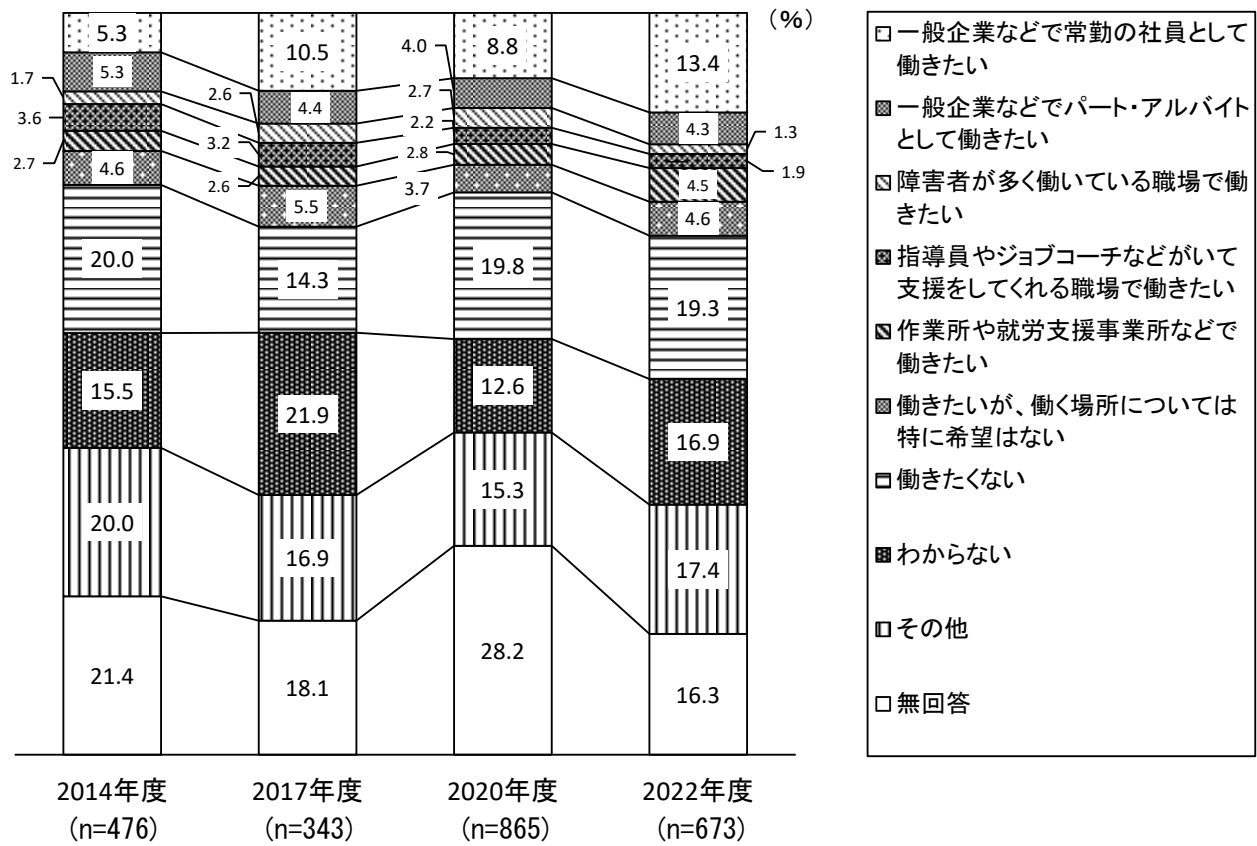
現在、就労されていない方に希望する働き方をきいたところ、全体では「働きたくない」が約2割で最も高く、「働きたい」の中では、「一般企業などで常勤の社員として働きたい」が1割台前半と最も高くなっている。所持手帳別では、愛の手帳所持者で「作業所や就労支援事業所などで働きたい」が最も高くなっている。

図 5-16 【所持手帳別】生産年齢人口（15歳以上 65歳未満）の希望する働き方



生産年齢人口の希望する働き方をきいたところ、身体障害者手帳所持者では「一般企業などで常勤の社員として働きたい」、愛の手帳所持者では「作業所や就労支援事業所などで働きたい」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「わからない」が最も高くなっている。

図 5-17 【経年比較】希望する働き方



※2011年度は複数回答形式であったため、比較対象外とする。

希望する働き方を経年比較で見ると、2020年度に比べ「一般企業などで常勤の社員として働きたい」が4.6ポイント増加している。

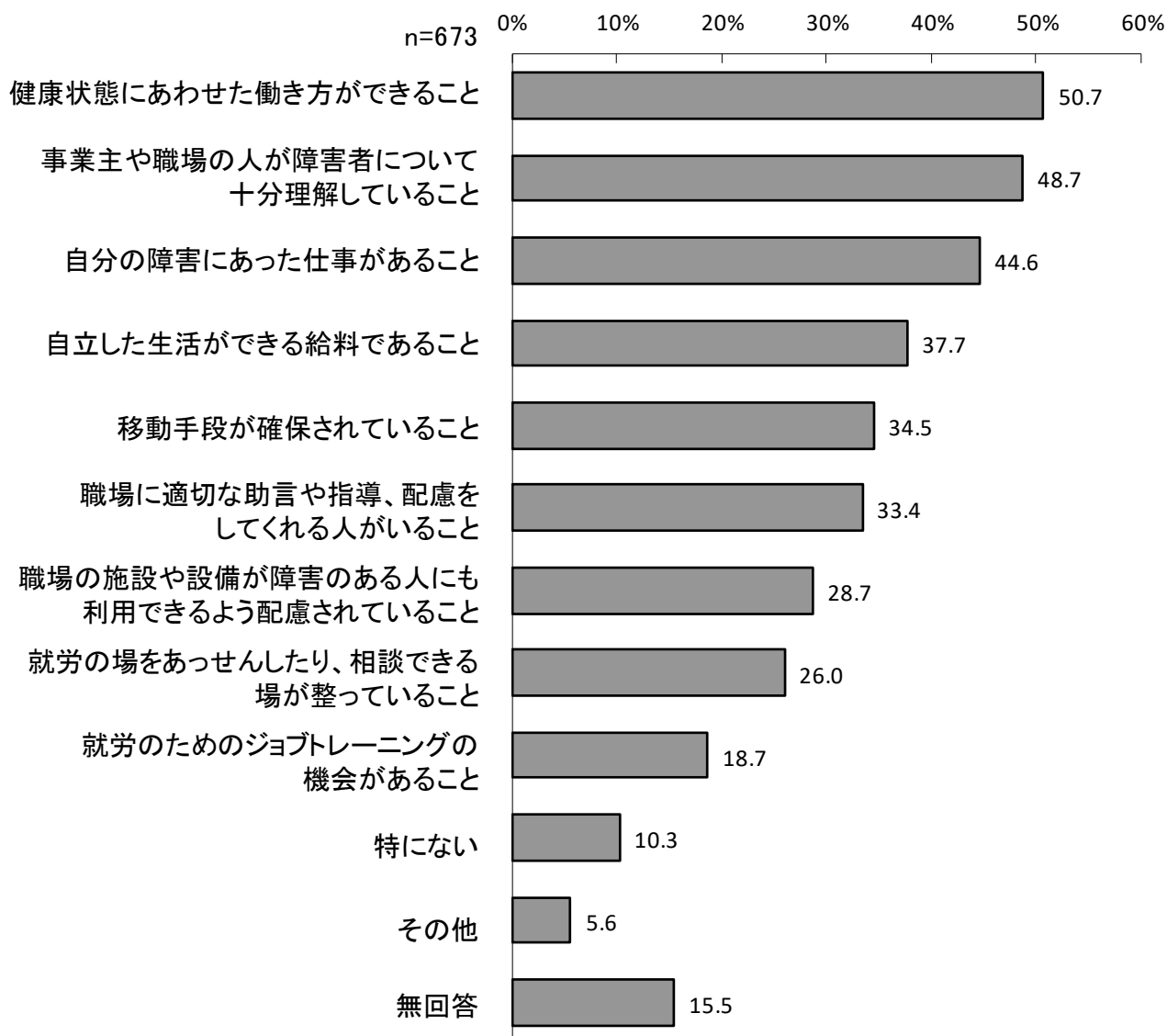
5.3. 障害者が働くための環境整備

◆働く環境として大切なことは「健康状態にあわせた働き方ができること」が約5割

(全員の方に)

問 20. あなた(あて名の方ご本人)は、障害者が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

図 5-18 障害者が働くための環境整備



障害者が働くために大切な環境整備は、「健康状態にあわせた働き方ができること」が最も高くなっており、次いで「事業主や職場の人が障害者について十分理解していること」「自分の障害にあった仕事があること」「自立した生活ができる給料であること」となっている。

図 5-19 【所持手帳別】上位 5 項目 障害者が働くための環境整備

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=222	健康状態にあ わせた働き方 ができること 46.8	事業主や職場 の人が障害者 について十分 理解しているこ と 45.9	自分の障害に あった仕事 があること 43.2	移動手段が確 保されているこ と 37.8	職場の施設や 設備が障害の ある人にも利 用できるよう配 慮されているこ と 34.7
身体障害者手帳(重度) n=246	健康状態にあ わせた働き方 ができること 48.0	事業主や職場 の人が障害者 について十分 理解しているこ と 41.5	自分の障害に あった仕事 があること 37.0	移動手段が確 保されているこ と 32.5	自立した生活 ができる給料 であること 31.3
愛の手帳 n=86	事業主や職場 の人が障害者 について十分 理解しているこ と 64.0	自分の障害に あった仕事 があること 59.3	職場に適切な 助言や指導、 配慮をしてくれ る人がいること 58.1	健康状態にあ わせた働き方 ができること 47.7	自立した生活 ができる給料 であること 45.3
精神障害者保健福祉手帳 n=181	健康状態にあ わせた働き方 ができること 59.7	事業主や職場 の人が障害者 について十分 理解しているこ と 51.9	自分の障害に あった仕事 があること 50.8	自立した生活 ができる給料 であること 44.2	職場に適切な 助言や指導、 配慮をしてくれ る人がいること 39.8

障害者が働くための環境整備を所持手帳別に見ると、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳では「健康状態にあわせた働き方ができること」が、愛の手帳では「事業主や職場の人が障害者について十分理解していること」が最も高くなっている。

図 5-20 【経年比較】上位 5 項目 障害者が働くための環境整備

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=673	健康状態にあ わせた働き方 ができること 50.7	事業主や職場 の人が障害者 について十分 理解しているこ と 48.7	自分の障害に あった仕事 があること 44.6	自立した生活 ができる給料 であること 37.7	移動手段が確 保されているこ と 34.5
2020年度 n=865	健康状態にあ わせた働き方 ができること 50.2	事業主や職場 の人が障害者 について十分 理解しているこ と 48.2	自分の障害に あった仕事 があること 44.6	職場に適切な 助言や指導、 配慮をしてくれ る人がいること 36.1	自立した生活 ができる給料 であること 34.7
2017年度 n=645	事業主や職場 の人が障害者 について十分 理解しているこ と 58.0	健康状態にあ わせた働き方 ができること 55.3	自分の障害に あった仕事 があること 50.7	職場に適切な 助言や指導、 配慮をしてくれ る人がいること 43.4	自立した生活 ができる給料 であること 41.6
2014年度 n=772	事業主や職場 の人が障害者 について十分 理解しているこ と 51.0	健康状態にあ わせた働き方 ができること 48.3	自分の障害に あった仕事 があること 47.8	職場に適切な 助言や指導、 配慮をしてくれ る人がいること 40.2	自立した生活 ができる給料 であること 37.7
2011年度 n=860	事業主や職場 の人が障害者 について十分 理解しているこ と 50.0	健康状態にあ わせた働き方 ができること 44.8	自分の障害に あった仕事 があること 44.4	職場に適切な 助言や指導、 配慮をしてくれ る人がいること 37.9	自立した生活 ができる給料 であること 32.7

障害者が働くための環境整備を経年比較で見ると、いずれの年度においても、「事業主や職場の人が障害者について十分理解していること」「健康状態にあわせた働き方ができること」が上位にあげられている。



## 6. 健康福祉サービスについて

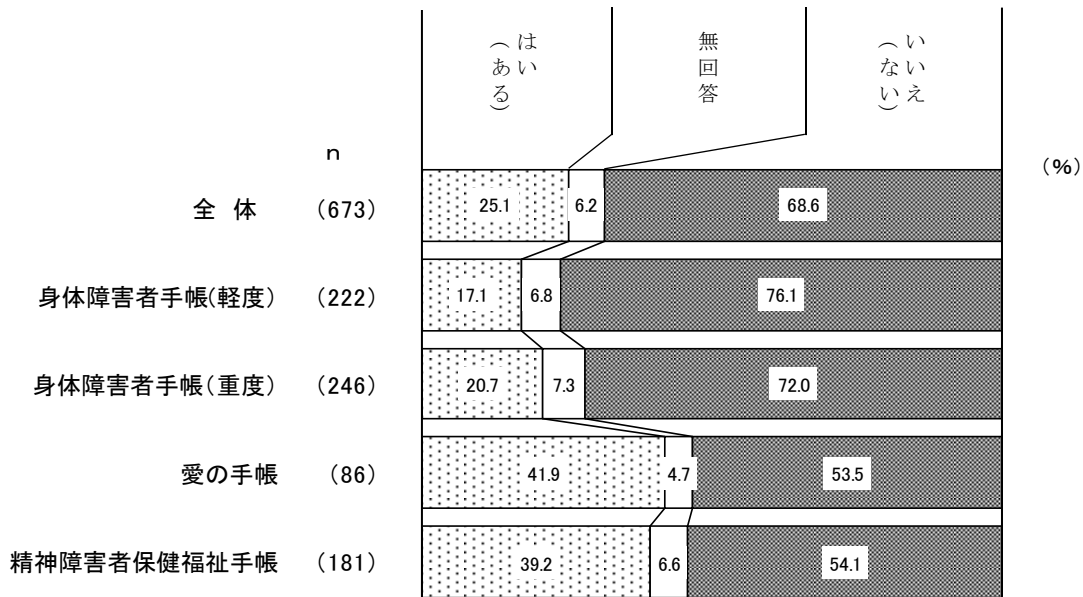
### 6.1. 相談サービスの利用有無

◆相談サービスの利用は愛の手帳及び精神障害者保健福祉手帳所持者では「ある」が約4割

(全員の方に)

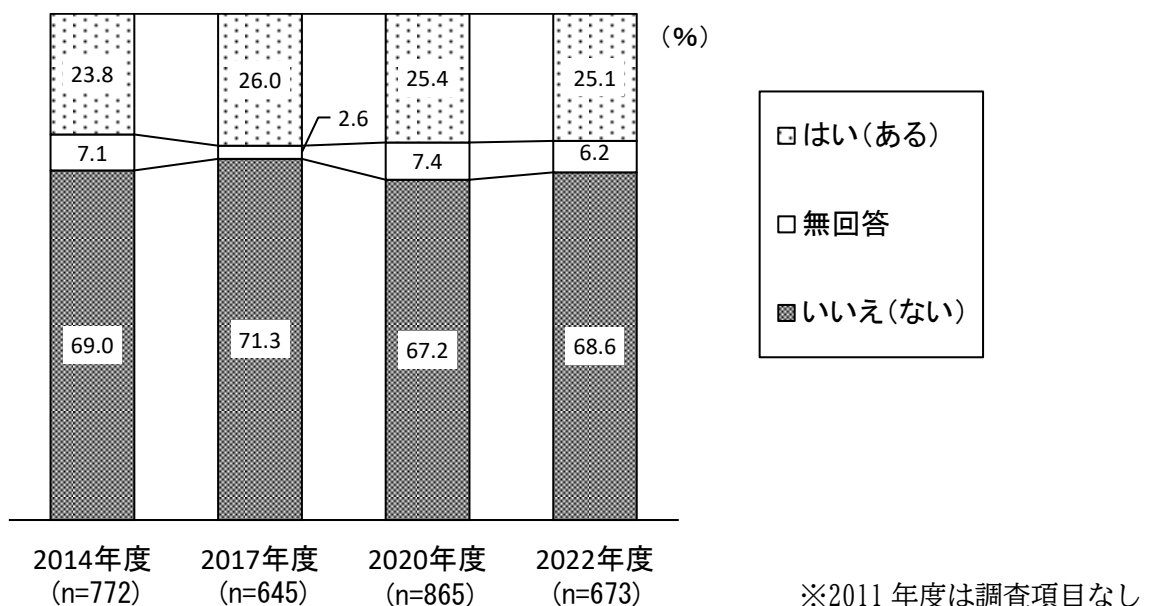
問21. あなた(あて名の方ご本人)は、過去1年の間に、相談サービスを利用したことがありますか。  
(○は1つ)

図6-1 【所持手帳別】相談サービスの利用有無



過去1年間の相談サービスの利用の有無は、「はい(ある)」が愛の手帳及び精神障害者保健福祉手帳所持者で約4割となっている。

図6-2 【経年比較】相談サービスの利用有無



過去1年間の相談サービスの利用の有無を経年比較でみると、大きな変化はみられない。

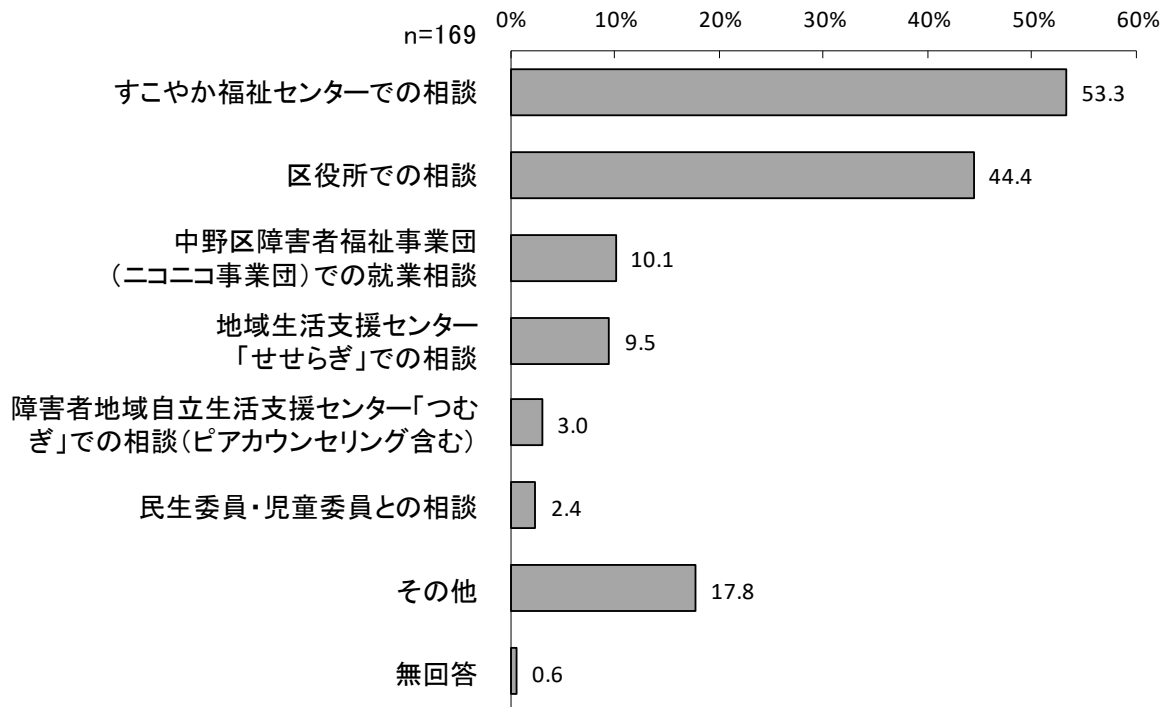
6.1.1. 利用した相談サービス

◆利用した相談サービスは「すこやか福祉センターでの相談」が5割台前半

(問21で「1. はい」とお答えの方に)

問21-1. 利用した相談サービスをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図6-3 利用した相談サービス



相談サービスを利用したと回答した方に、利用したサービスをきいたところ、「すこやか福祉センターでの相談」が5割台前半と最も高くなっており、次いで「区役所での相談」「中野区障害者福祉事業団(ニコニコ事業団)での就業相談」「地域生活支援センター『せせらぎ』での相談」となっている。

図 6-4 【所持手帳別】上位 5 項目 利用した相談サービス

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=38	区役所での相談 47.4	すこやか福祉センターでの相談 44.7	中野区障害者福祉事業団(ニコニコ事業団)での就業相談 5.3	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 2.6	—
身体障害者手帳(重度) n=51	区役所での相談 52.9	すこやか福祉センターでの相談 45.1	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 7.8	民生委員・児童委員との相談 5.9	中野区障害者福祉事業団(ニコニコ事業団)での就業相談 3.9
愛の手帳 n=36	すこやか福祉センターでの相談 61.1	区役所での相談 50.0	中野区障害者福祉事業団(ニコニコ事業団)での就業相談 22.2	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 5.6	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談(ピアカウンセリング含む) 2.8
精神障害者保健福祉手帳 n=71	すこやか福祉センターでの相談 56.3	区役所での相談 40.8	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 18.3	中野区障害者福祉事業団(ニコニコ事業団)での就業相談 15.5	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談(ピアカウンセリング含む) 5.6

利用した相談サービスを所持手帳別で見ると、身体障害者手帳所持者では「区役所での相談」が、その他手帳所持者では「すこやか福祉センターでの相談」が最も高くなっている。

図 6-5 【経年比較】上位 5 項目 利用した相談サービス

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=169	すこやか福祉センターでの相談 53.3	区役所での相談 44.4	中野区障害者福祉事業団(ニコニコ事業団)での就業相談 10.1	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 9.5	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談(ピアカウンセリング含む) 3.0
2020年度 n=220	すこやか福祉センターでの相談 52.7	区役所での相談 38.2	中野区障害者福祉事業団(ニコニコ事業団)での就業相談 11.4	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 8.6	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談(ピアカウンセリング含む) 2.7
2017年度 n=168	区役所での相談 51.8	すこやか福祉センターでの相談 48.8	中野区障害者福祉事業団(ニコニコ事業団)での就業相談 13.7	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 7.7	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談(ピアカウンセリング含む) 4.8
2014年度 n=184	区役所での相談 49.5	すこやか福祉センターでの相談 39.7	中野区障害者福祉事業団(ニコニコ事業団)での就業相談 17.9	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 11.4	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談(ピアカウンセリング含む) 3.8
2011年度 n=860	区役所での相談 21.2	保健福祉センターでの相談 13.1	中部すこやか福祉センターでの相談 4.7	中野区障害者福祉事業団(ニコニコ事業団)での就業相談 3.8	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 3.4

利用した相談サービスを経年比較で見ると、2020年度以降は「すこやか福祉センターでの相談」が第1位となっている。

6.2. 障害福祉サービス

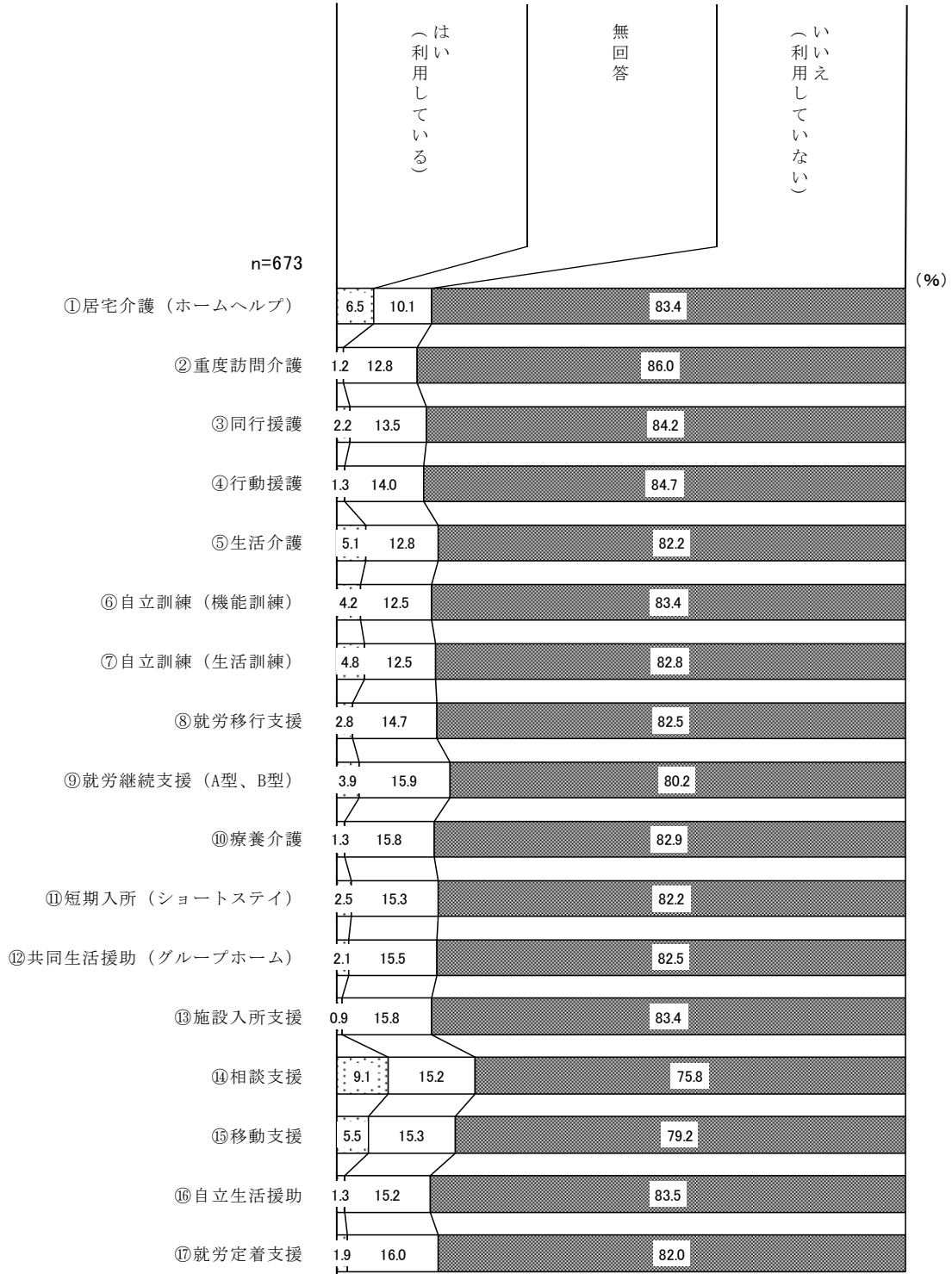
6.2.1. 障害福祉サービスの利用状況

◆障害福祉サービスの利用は「相談支援」「居宅介護（ホームヘルプ）」が多い

（全員の方に）

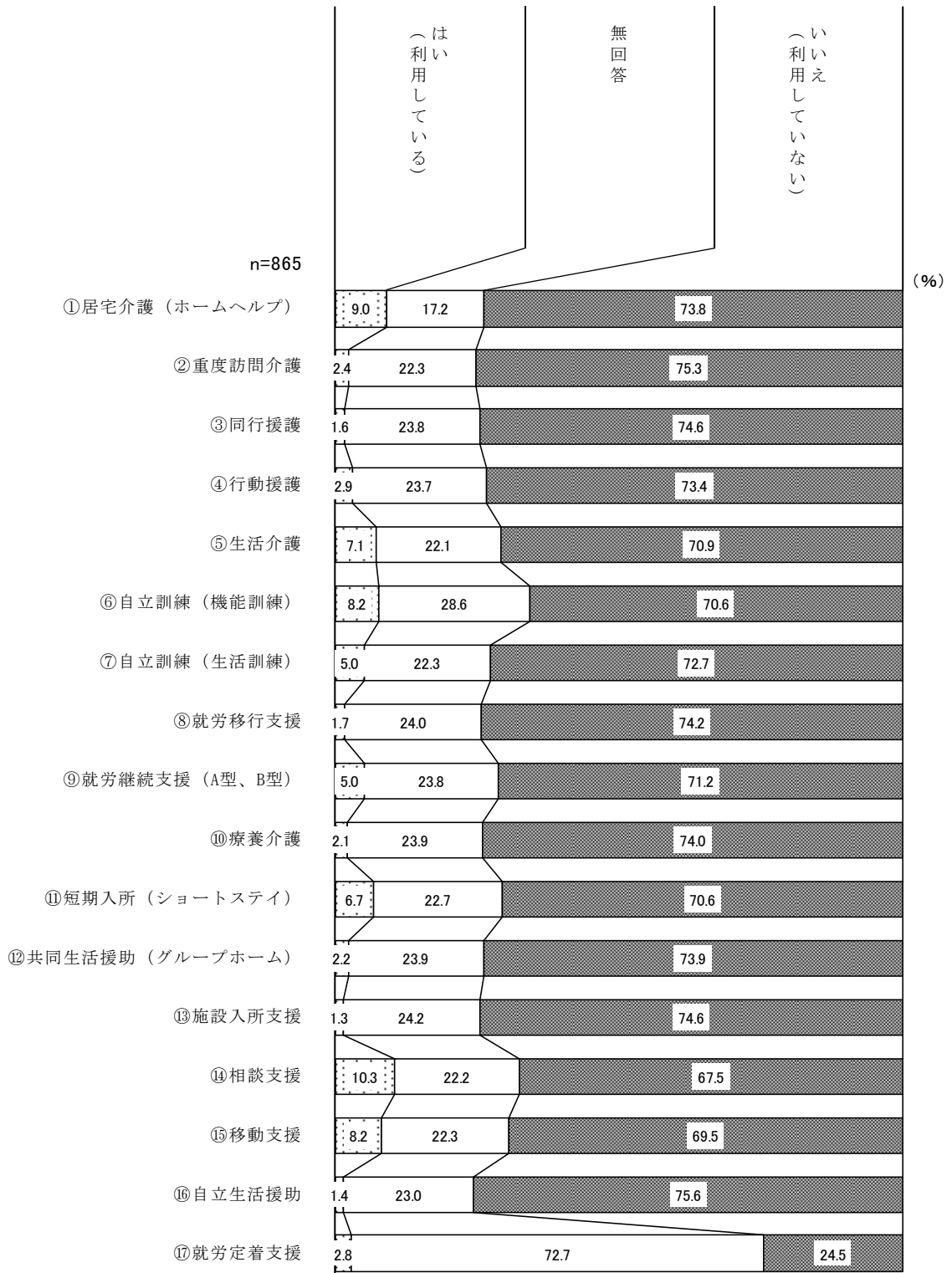
問 22. あなた（あて名の方ご本人）は、次のサービスを利用していますか。（それぞれ〇は1つ）

図 6-6 障害福祉サービスの利用状況（2022 年度）



障害福祉サービスの利用状況は、全体として利用は少ないが、多いものから「相談支援」「居宅介護（ホームヘルプ）」「移動支援」「生活介護」の順となっている。

図 6-7 障害福祉サービスの利用状況（2020 年度）



障害福祉サービスの利用状況は、2022 年は 2020 年に比べ、「短期入所（ショートステイ）」が 4.2 ポイント、「自立訓練（機能訓練）」が 4.0 ポイントの減少となっている。

6.2.2. 障害福祉サービスの利用意向

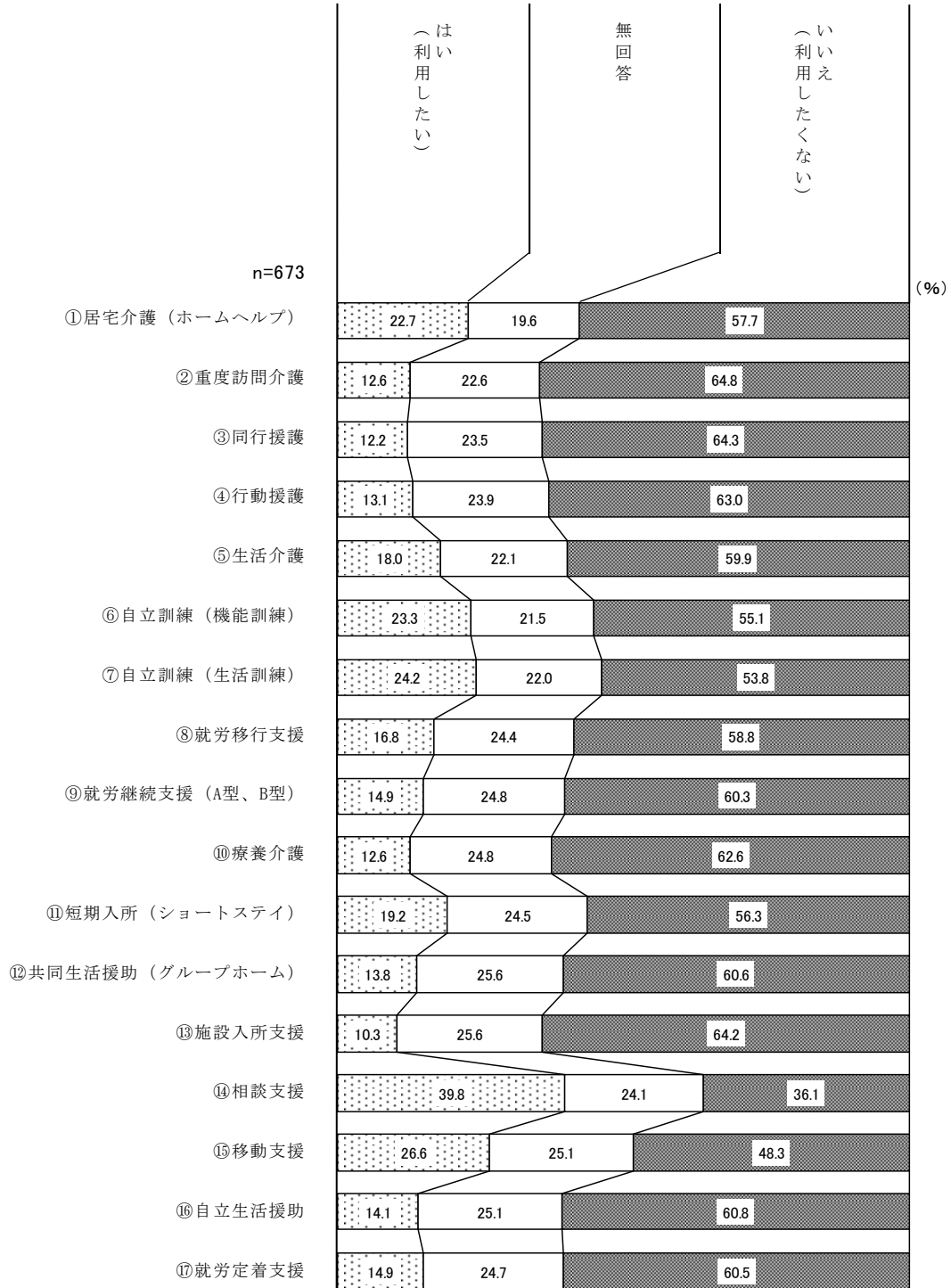
◆今後利用したい障害福祉サービスは「相談支援」が約4割

(全員の方に)

問 22. あなた(あて名の方ご本人)は、次のサービスを今後利用したいと考えますか。

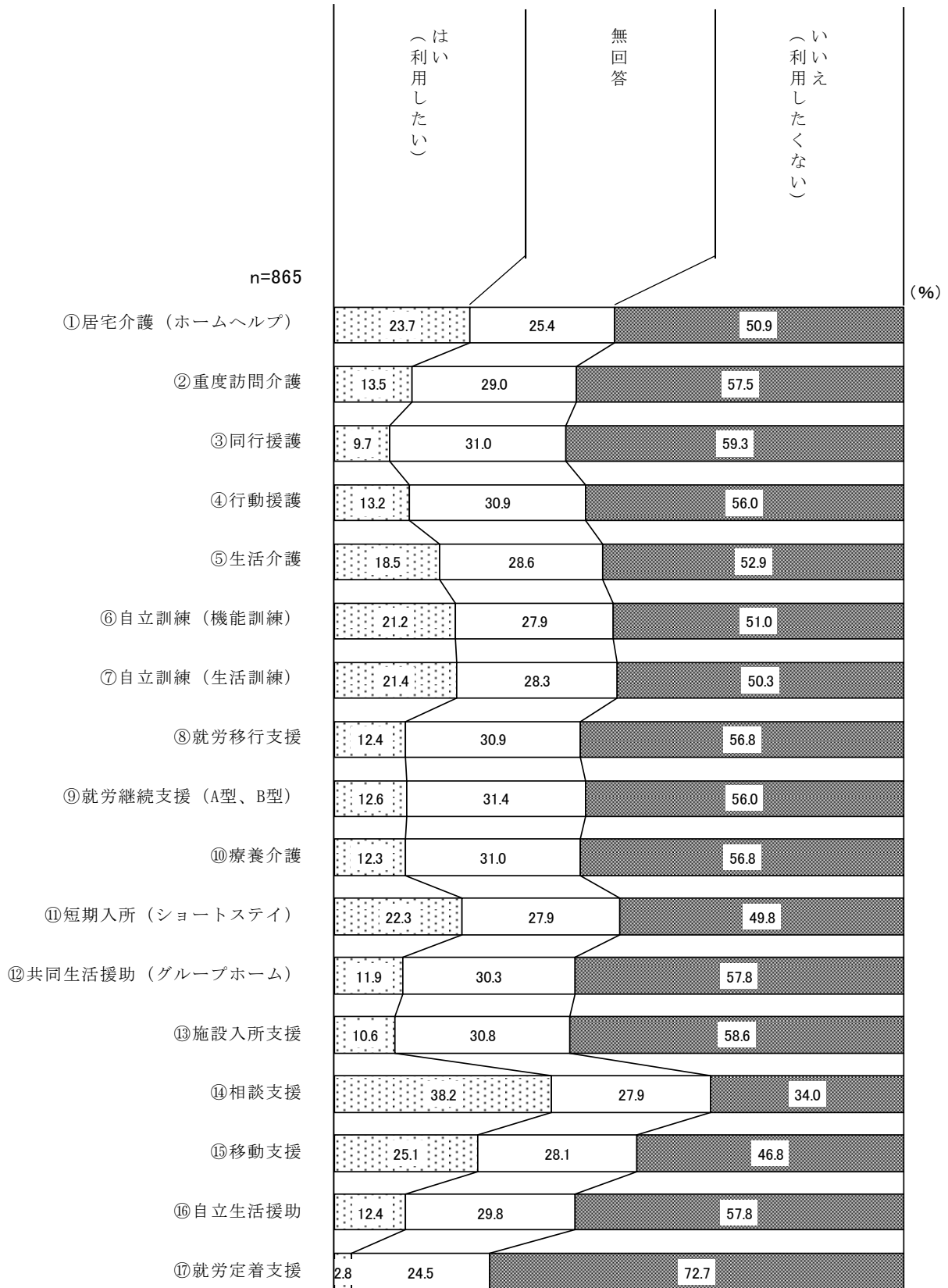
(それぞれ〇は1つ)

図 6-8 障害福祉サービスの利用意向 (2022 年度)



今後利用したいサービスとしては、「相談支援」が約4割と最も高くなっている。

図 6-9 障害福祉サービスの利用意向（2020 年度）



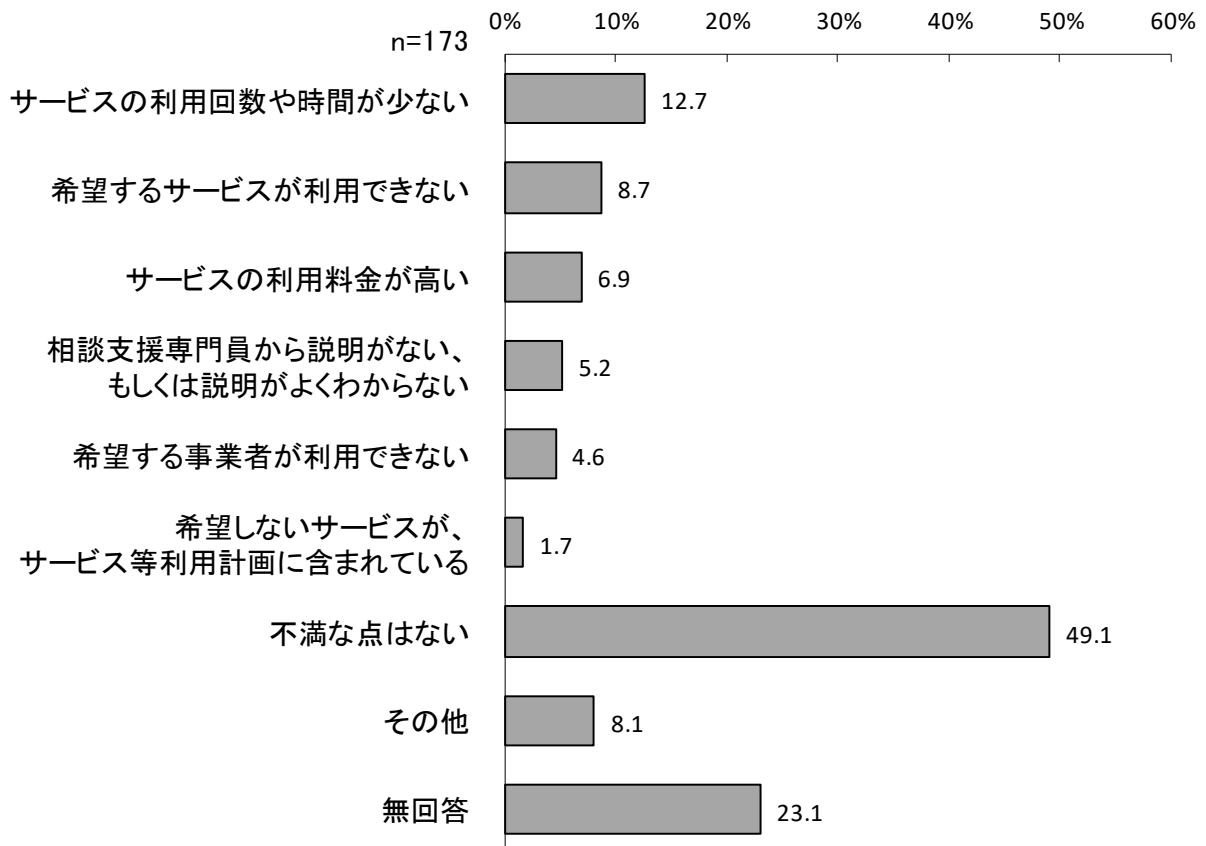
今後利用したいサービスは、2022 年度は 2020 年度に比べ、「就労定着支援」が 12.1 ポイント、「就労移行支援」が 4.4 ポイントの増加となっている。

6.2.3. サービス等利用計画について不満に思うこと

◆サービス等利用計画について、不満に思うことは「サービスの利用回数や時間が少ない」が1割台前半

(問22の「現在利用していますか」の設問で、1つ以上「1. はい」とお答えの方に)  
 問22-1. あなた(あて名の方ご本人)がサービス等利用計画について、不満に思うことを次の中から選んでください。(あてはまるものすべてに○)

図6-10 サービス等利用計画について不満に思うこと



サービス等利用計画については「不満な点はない」が最も高いが、不満に思う点の中では、「サービスの利用回数や時間が少ない」が1割台前半となっており、次いで「希望するサービスが利用できない」「サービスの利用料金が高い」となっている。



図 6-11 【所持手帳別】上位5項目 サービス等利用計画について不満に思うこと

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=31	不満な点はない 29.0	サービスの利用回数や時間が少ない 9.7	希望するサービスが利用できない／相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない 6.5		希望しないサービスが、サービス等利用計画に含まれている／サービスの利用料金が低い 3.2
身体障害者手帳(重度) n=69	不満な点はない 46.4	サービスの利用回数や時間が少ない 13.0	希望するサービスが利用できない／サービスの利用料が高い 8.7		希望する事業者が利用できない／相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない 4.3
愛の手帳 n=47	不満な点はない 55.3	サービスの利用回数や時間が少ない 12.8	希望するサービスが利用できない 8.5	希望する事業者が利用できない／相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない 4.3	
精神障害者保健福祉手帳 n=60	不満な点はない 55.0	希望するサービスが利用できない 10.0	希望する事業者が利用できない／サービスの利用回数や時間が少ない 8.3		サービスの利用料が高い／相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない 6.7

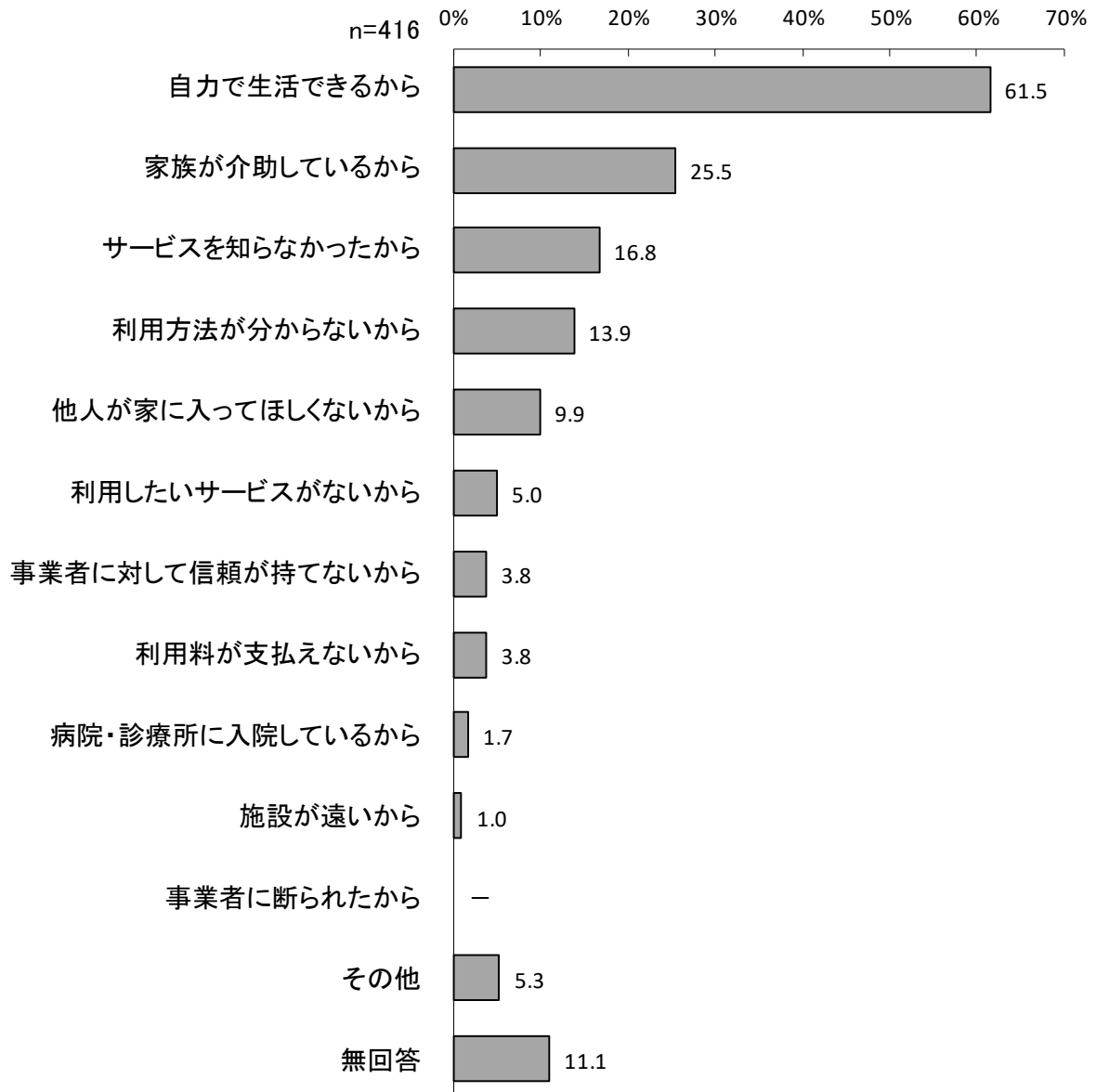
サービス等利用計画について不満に思うことを所持手帳別で見ると、いずれの手帳所持者も「不満な点はない」が最も高いが、不満に思う点の中では、身体障害者手帳所持者及び愛の手帳所持者において「サービスの利用回数や時間が少ない」、精神障害者保健福祉手帳所持者において「希望するサービスが利用できない」が最も高くなっている。

6.2.4. 障害福祉サービスを利用していない理由

◆障害福祉サービスを利用していない理由は、「自力で生活できるから」が最も高い

(問 22 の「現在利用していますか」の設問で、全てに「2. いいえ」とお答えの方に)  
 問 22-2. 障害福祉サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 6-12 障害福祉サービスを利用していない理由



障害福祉サービスを利用していない理由は、「自力で生活できるから」が約6割と最も高くなっている。

図 6-13 【所持手帳別】上位5項目 障害福祉サービスを利用していない理由

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=154	自力で生活できるから 70.8	家族が介助しているから 24.7	サービスを知らなかったから 13.6	他人が家に入ってほしくないから 8.4	利用方法が分からないから 7.8
身体障害者手帳(重度) n=145	自力で生活できるから 64.1	家族が介助しているから 28.3	サービスを知らなかったから 13.1	利用方法が分からないから 10.3	他人が家に入ってほしくないから 4.1
愛の手帳 n=33	自力で生活できるから 42.4	家族が介助しているから 36.4	利用方法が分からないから 30.3	サービスを知らなかったから 18.2	他人が家に入ってほしくないから/事業者に対して信頼が持てないから 15.2
精神障害者保健福祉手帳 n=107	自力で生活できるから 48.6	サービスを知らなかったから 25.2	利用方法が分からないから 22.4	家族が介助しているから 20.6	他人が家に入ってほしくないから 18.7

障害福祉サービスを利用していない理由を所持手帳別で見ると、すべての手帳所持者で「自力で生活できるから」が最も高くなっている。

図 6-14 【経年比較】上位5項目 障害福祉サービスを利用していない理由

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=416	自力で生活できるから 61.5	家族が介助しているから 25.5	サービスを知らなかったから 16.8	利用方法が分からないから 13.9	他人が家に入ってほしくないから 9.9
2020年度 n=408	自力で生活できるから 65.7	家族が介助しているから 26.7	利用方法が分からないから 11.3	利用したいサービスがないから 10.3	サービスを知らなかったから 9.8
2017年度 n=354	自力で生活できるから 58.8	家族が介助しているから 25.7	サービスを知らなかったから 14.7	利用したいサービスがないから 11.9	利用方法が分からないから 11.3
2014年度 n=627	自力で生活できるから 37.5	家族が介助しているから 27.6	利用方法が分からないから 9.7	他人が家に入ってほしくないから 9.3	サービスを知らなかったから 8.8
2011年度 n=656	自力で生活できるから 54.4	家族が介助しているから 30.8	利用方法が分からないから/サービスを知らなかったから 11.6	他人に家へ入ってほしくないから 7.3	

障害福祉サービスを利用していない理由を経年比較で見ると、いずれの年度においても「自力で生活できるから」が最も高くなっている。

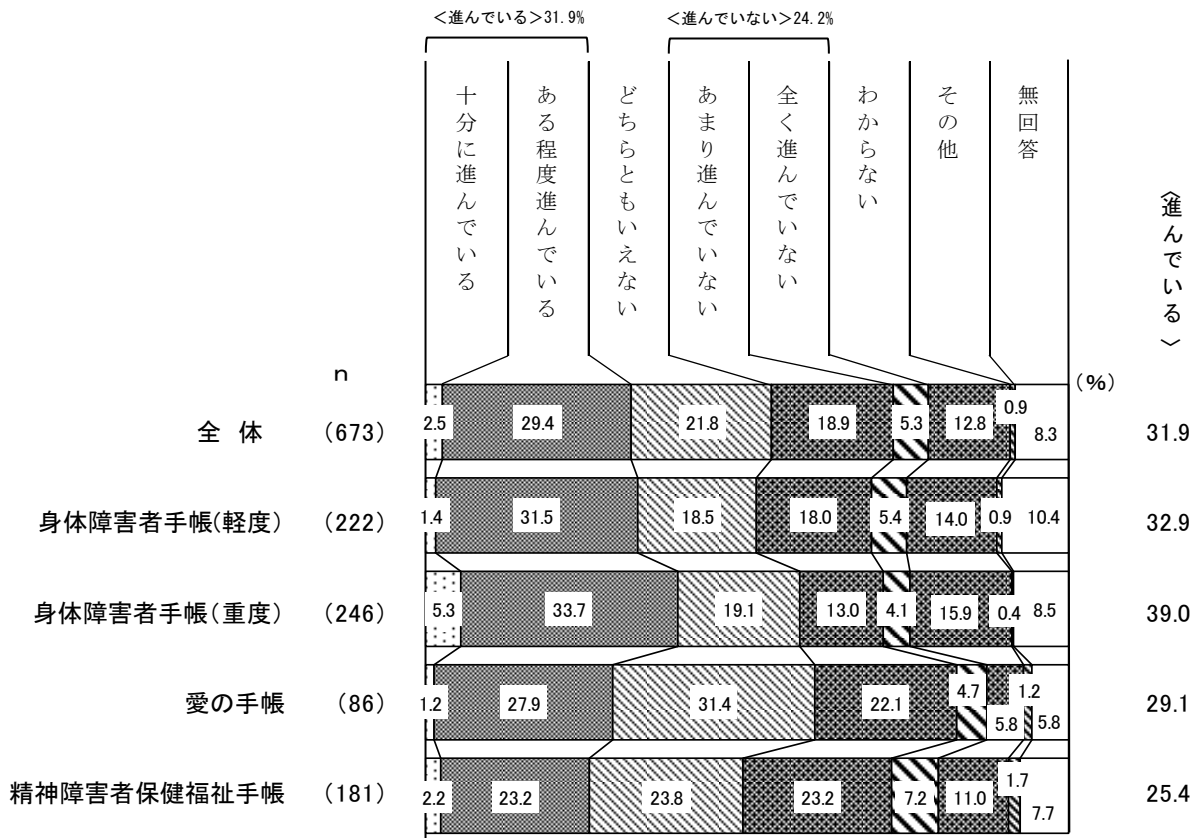
6.3. 障害者に対する理解

◆障害者に対する理解は<進んでいる>が約3割

(全員の方に)

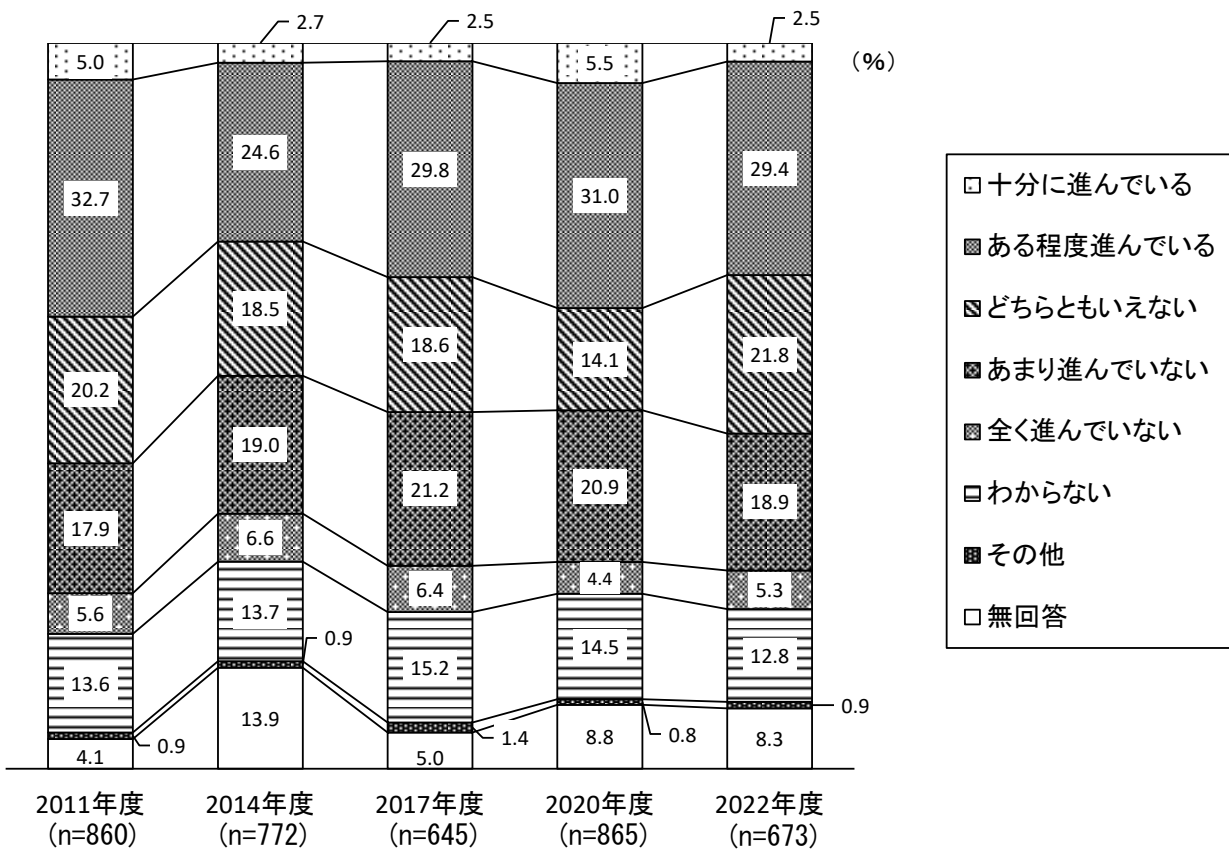
問 23. 障害に対する理解はどの程度進んでいると思いますか。(〇は1つ)

図 6-15 【所持手帳別】 障害者に対する理解



障害者に対する理解は、「十分に進んでいる」と「ある程度進んでいる」を合わせた<進んでいる>が約3割となっている。

図 6-16 【経年比較】 障害者に対する理解



障害者に対する理解を経年比較で見ると、2022年度は2020年度に比べ<進んでいる>が4.6ポイント減少している。

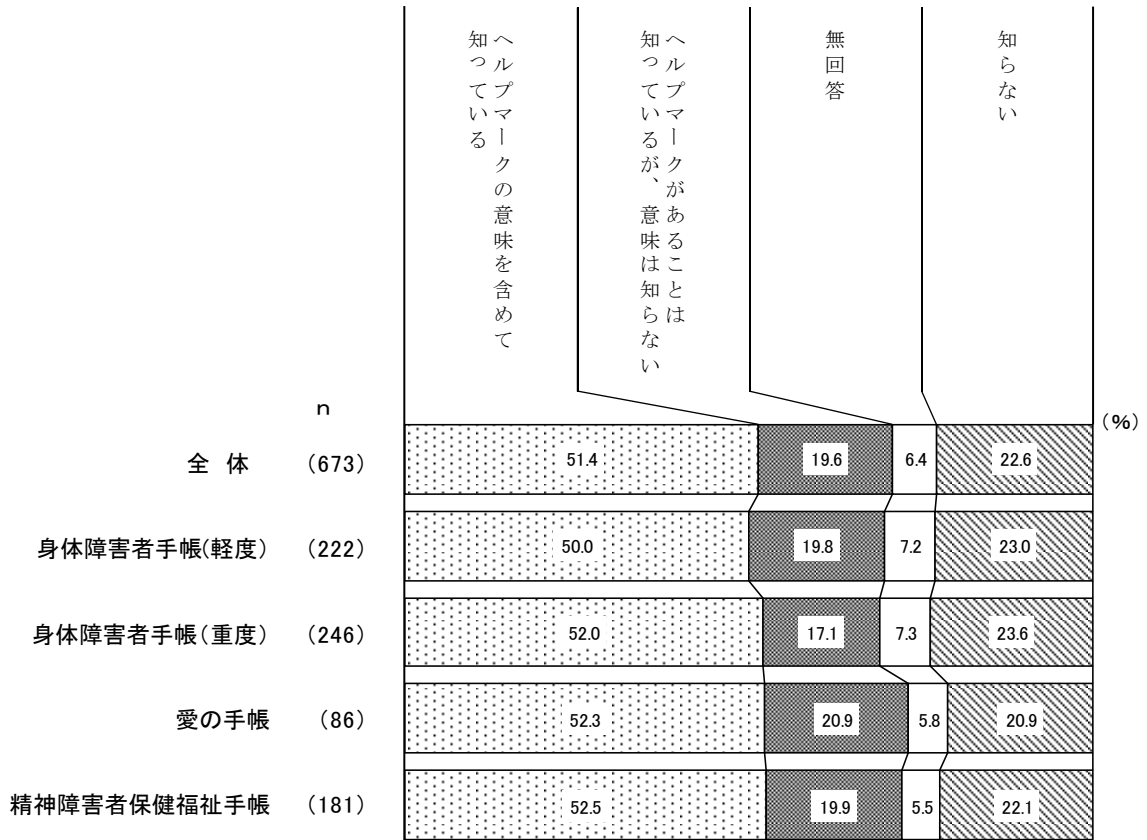
6.4. ヘルプマークの認知度

◆ヘルプマークの意味を含めて知っているのは全体の約5割

(全員の方に)

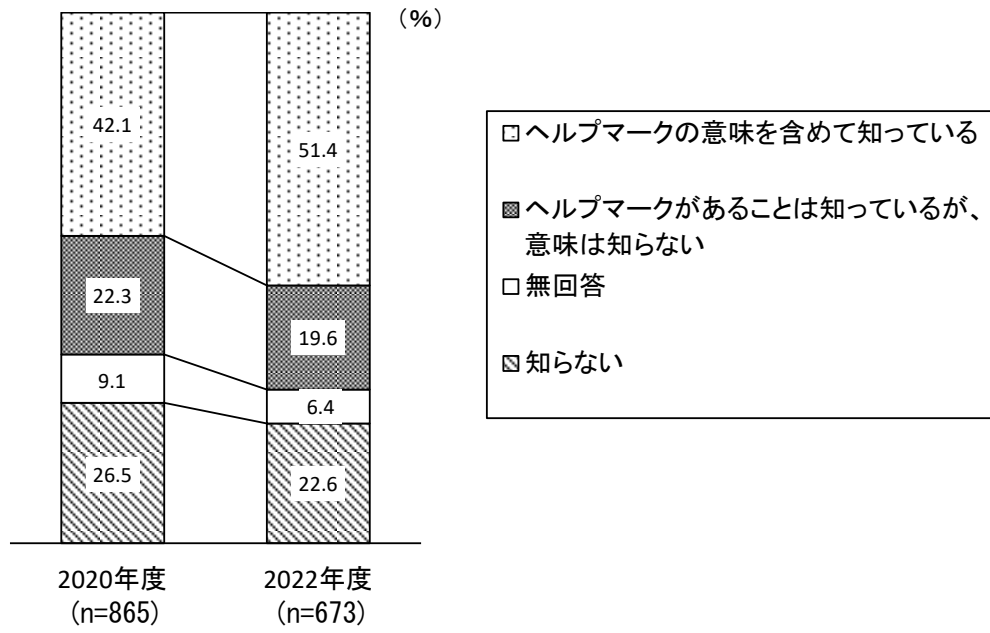
問 24. あなた (あて名の方ご本人) はヘルプマークを知っていますか。(〇は1つ)

図 6-17 【所持手帳別】 ヘルプマークの認知度



ヘルプマークの認知度は、「ヘルプマークの意味を含めて知っている」が各手帳所持者で5割から5割台前半となっている。

図 6-18 【経年比較】ヘルプマークの認知度



ヘルプマークの認知度を経年比較でみると、2022年度は2020年度に比べ「ヘルプマークの意味を含めて知っている」が9.3ポイント増加している。

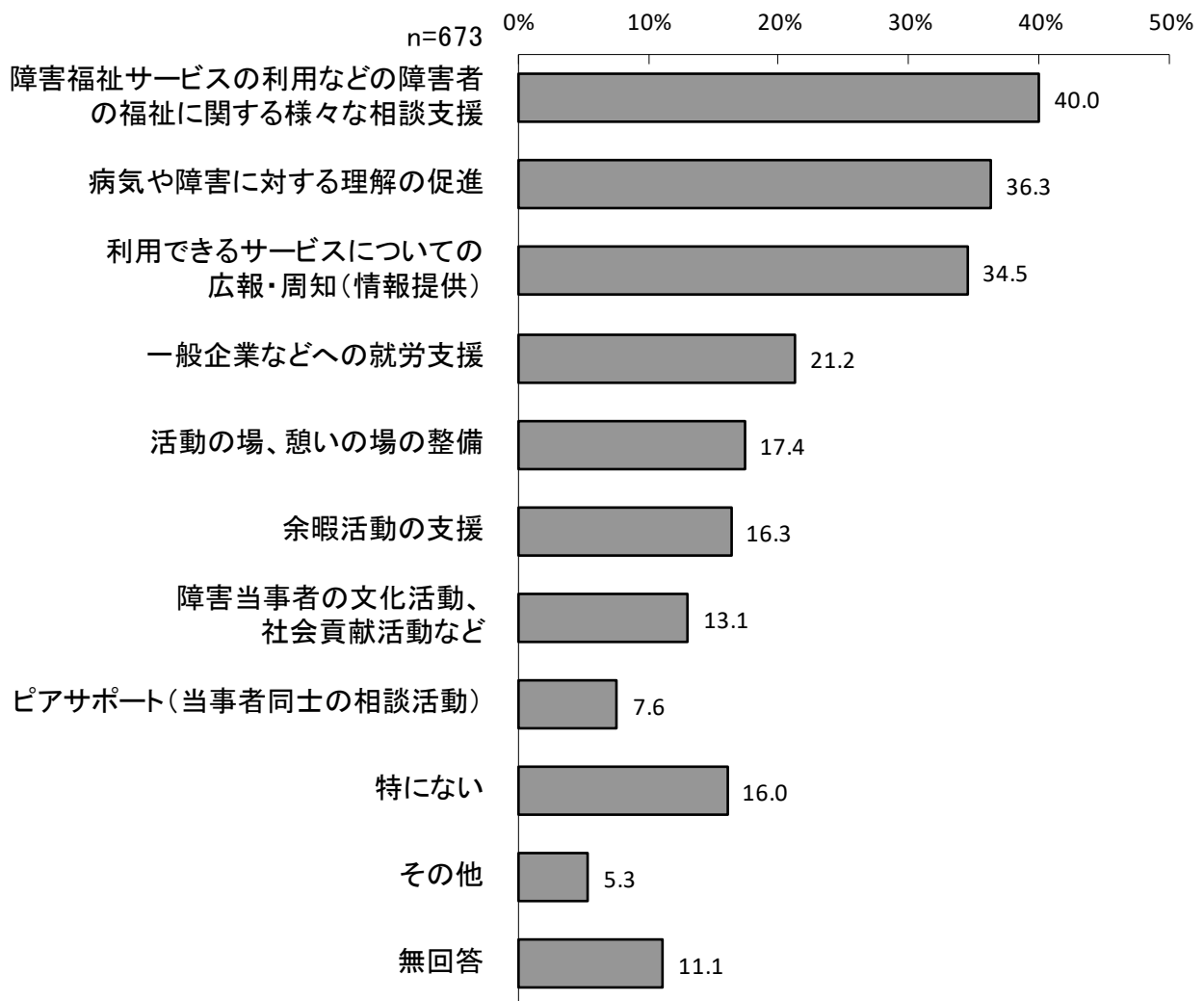
6.5. 充実して欲しい施策

◆充実してほしい施策は「障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援」が4割

(全員の方に)

問 25. あなた(あて名の方ご本人)は次の施策のうち、特に充実してほしいと思うものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

図 6-19 充実してほしい施策



充実してほしい施策は、「障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援」が4割と最も高く、次いで「病気や障害に対する理解の促進」、「利用できるサービスについての広報・周知(情報提供)」「一般企業などへの就労支援」となっている。



図 6-20 【所持手帳別】上位5項目 充実してほしい施策

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=222	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 38.7	利用できるサービスについての広報・周知(情報提供) 34.7	病気や障害に対する理解の促進 26.1	一般企業などへの就労支援 18.0	活動の場、憩いの場の整備 15.8
身体障害者手帳(重度) n=246	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 35.4	病気や障害に対する理解の促進 33.7	利用できるサービスについての広報・周知(情報提供) 32.9	余暇活動の支援 15.0	活動の場、憩いの場の整備 14.6
愛の手帳 n=86	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 54.7	病気や障害に対する理解の促進 48.8	利用できるサービスについての広報・周知(情報提供) 43.0	余暇活動の支援 38.4	一般企業などへの就労支援 34.9
精神障害者保健福祉手帳 n=181	病気や障害に対する理解の促進 44.8	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 40.9	利用できるサービスについての広報・周知(情報提供) 33.1	一般企業などへの就労支援 32.0	活動の場、憩いの場の整備 17.7

充実してほしい施策を所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者、愛の手帳所持者では、「障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援」が、精神障害者保健福祉手帳所持者では「病気や障害に対する理解の促進」が最も高くなっている。

図 6-21 【経年比較】上位5項目 充実してほしい施策

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=673	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 40.0	病気や障害に対する理解の促進 36.3	利用できるサービスについての広報・周知(情報提供) 34.5	一般企業などへの就労支援 21.2	活動の場、憩いの場の整備 17.4
2020年度 n=865	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 37.5	病気や障害に対する理解の促進 35.3	利用できるサービスについての広報・周知(情報提供) 31.1	一般企業などへの就労支援 17.7	活動の場、憩いの場の整備 14.9
2017年度 n=645	病気や障害に対する理解の促進 42.6	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 39.5	利用できるサービスについての広報・周知(情報提供) 34.6	一般企業などへの就労支援 24.3	余暇活動の支援 20.6
2014年度 n=772	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 40.3	利用できるサービスについての広報・周知(情報提供) 37.3	病気や障害に対する理解の促進 36.1	一般企業などへの就労支援 20.3	活動の場、憩いの場の整備 18.5
2011年度 n=860	病気や障害に対する理解の促進 36.7	利用できるサービスについての広報・周知(情報提供) 32.9	ホームヘルプサービス(居宅介護、重度訪問介護、移動支援など) 24.5	就労移行支援や就労継続支援を行う事業所や作業所などの働く場の整備 18.7	一般企業などへの就労支援 18.4

充実して欲しい施策を経年比較でみると、2022年度と2020年度では大きな変化がみられないが、2014年度以降は「障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援」の順位が高くなっている。

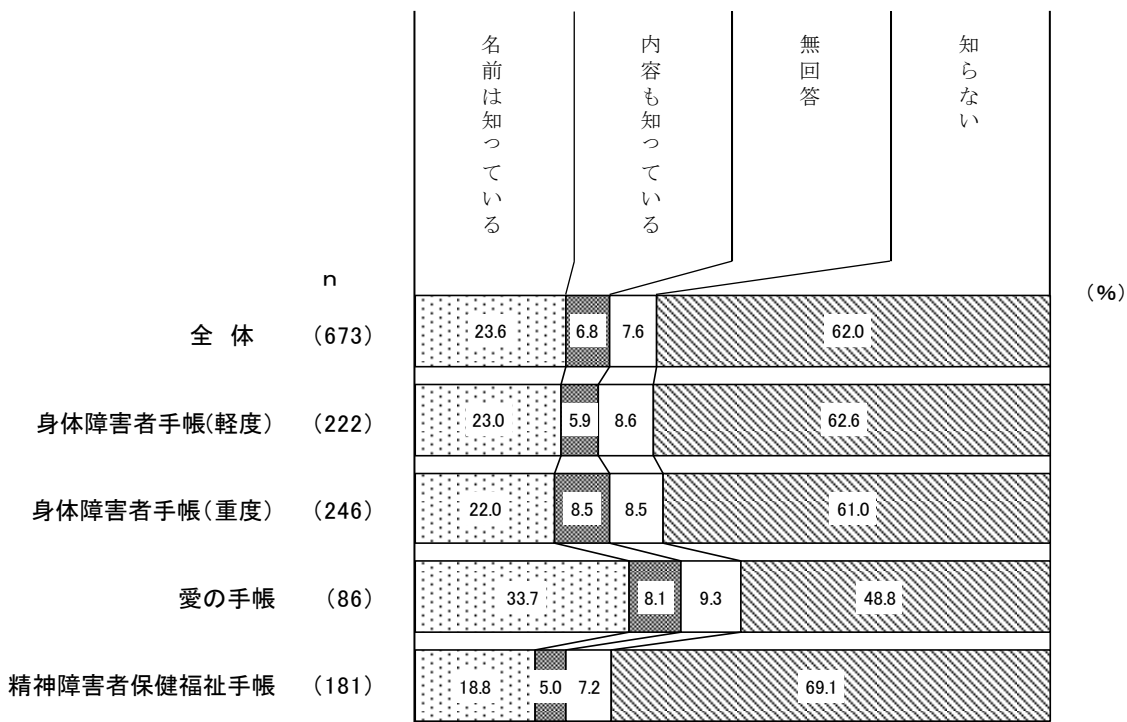
6.6. 障害者差別解消法の認知度

◆障害者差別解消法の認知度は、「知らない」が6割台前半

(全員の方に)

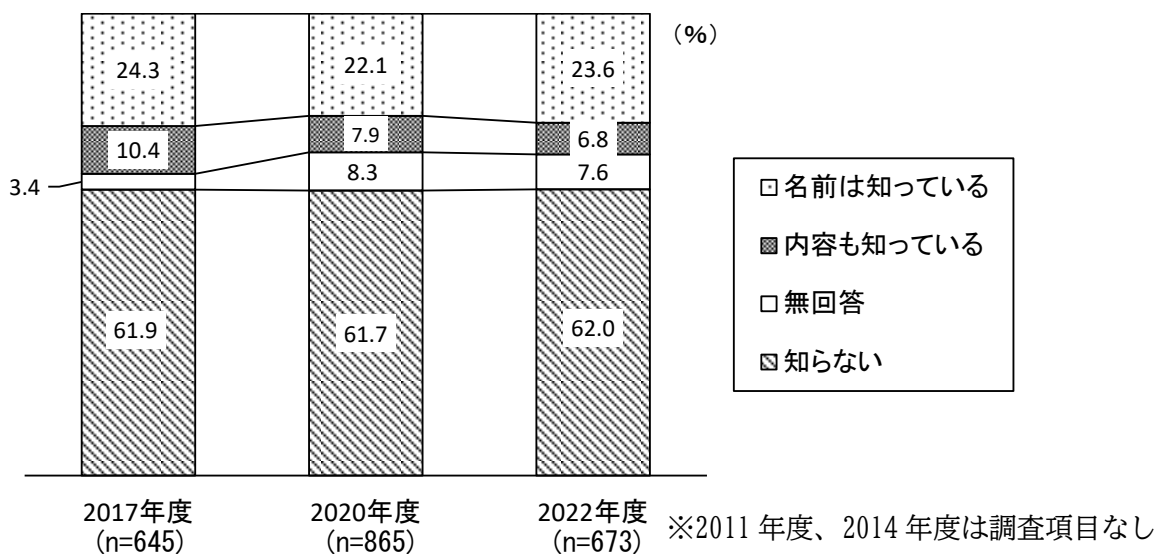
問 26. 障害のある人への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(〇は1つ)

図 6-22 障害者差別解消法の認知度



障害者差別解消法の認知度は、全体では「知らない」が6割台前半となっており、特に精神障害者保健福祉手帳所持者では約7割となっている。

図 6-23 【経年比較】障害者差別解消法の認知度



障害者差別解消法の認知度を経年比較でみると、大きな変化はみられない。

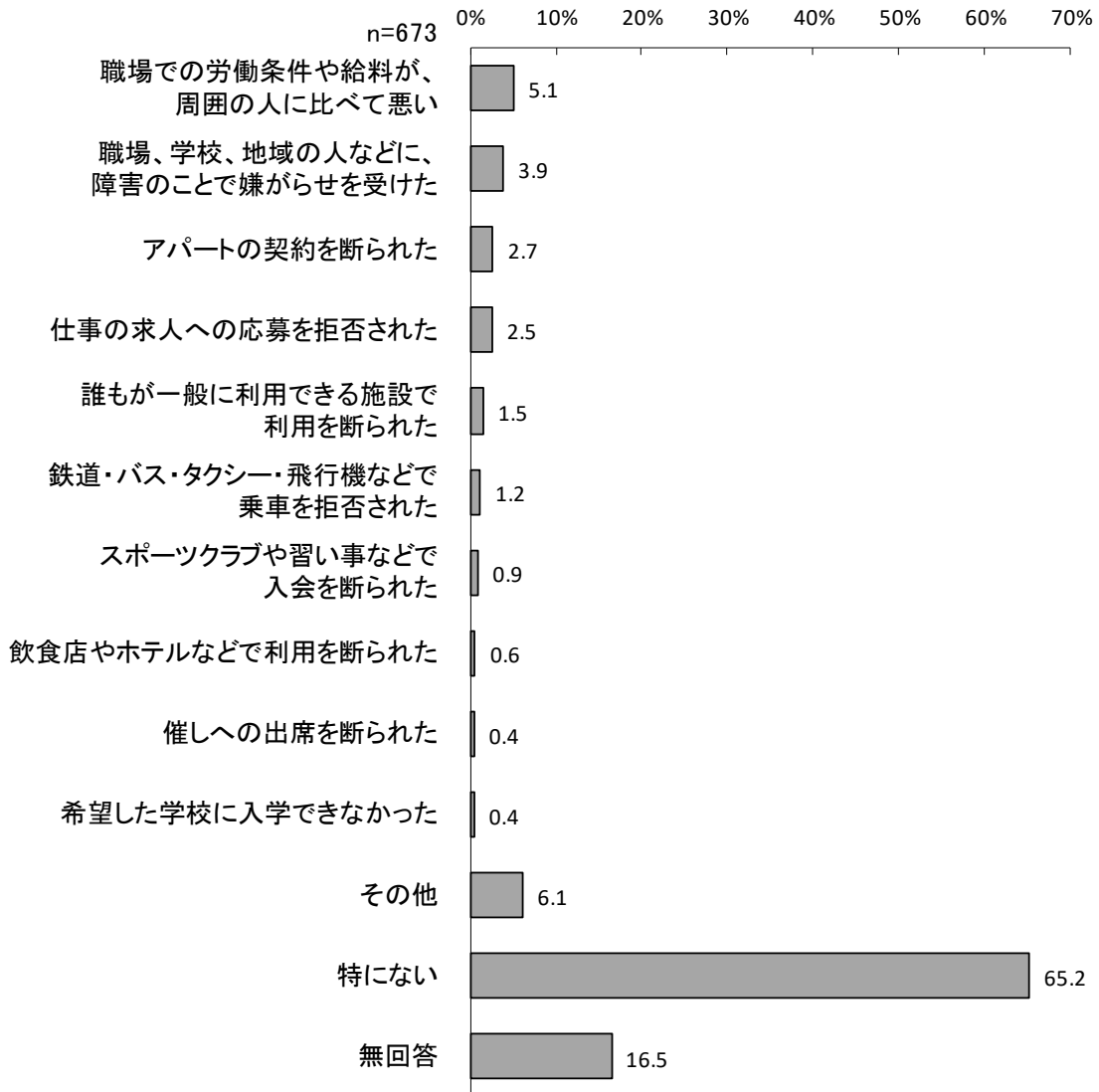
6.7. 障害を理由に、差別的な対応を受けたこと

◆障害を理由に、差別的な対応を受けたことについて「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い」が最も高い

(全員の方に)

問 27. あなた（あて名の方ご本人）は過去3年間の間に、日常生活の中で、障害を理由に、差別的な対応を受けたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

図 6-24 障害を理由に、差別的な対応を受けたこと



障害を理由に、差別的な対応を受けたことは「特にない」が最も多いが、差別的な対応を受けた点の中では、「職場の労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い」が最も高く、次いで「職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた」「アパートの契約を断られた」「仕事の求人への応募を拒否された」となっている。

図 6-25 【所持手帳別】上位5項目 障害を理由に、差別的な対応を受けたこと

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=222	職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い 5.0	職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた 3.2	仕事の求人への応募を拒否された 2.7	誰もが一般に利用できる施設で利用を断られた 1.4	アパートの契約を断られた 0.9
身体障害者手帳(重度) n=246	鉄道・バス・タクシー・飛行機などで乗車を拒否された／職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い 3.3	職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた 2.8	職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた 2.8	アパートの契約を断られた 2.4	仕事の求人への応募を拒否された 1.6
愛の手帳 n=86	職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた 8.1	職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い 4.7	誰もが一般に利用できる施設で利用を断られた／飲食店やホテルなどで利用を断られた 2.3	アパートの契約を断られた／スポーツクラブや習い事などで入会を断られた／仕事の求人への応募を拒否された／希望した学校に入学できなかった 1.2	1.2
精神障害者保健福祉手帳 n=181	職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い 8.8	アパートの契約を断られた／職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた 6.1	仕事の求人への応募を拒否された 5.0	誰もが一般に利用できる施設で利用を断られた 2.2	2.2

障害を理由に、差別的な対応を受けたことを所持手帳別で見ると、身体障害者手帳所持者（軽度）では「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い」、身体障害者手帳所持者（重度）では「鉄道・バス・タクシー・飛行機などで乗車を拒否された／職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い」、愛の手帳所持者では「職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い」が最も高くなっている。

## 6.8. 障害への配慮で特に嬉しいと感じたこと

(全員の方に)

問 28. あなた（あて名の方ご本人）もしくはご家族が日常生活の中で、周りの方から受けた障害への配慮で特に嬉しいと感じたことがありましたら、ご自由にお書きください。

障害への配慮で特に嬉しいと感じたことを自由に記入していただいたところ、165 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

## 公共交通について 28 件

- 駅などで、行動だけでなく、ひと言お手伝いしますか、とのお声がけを頂くと、とても嬉しいものです。今後も、気をつけて、他をたよらずに生活していこうと、気持ちが温かくなります。すごい字で申し訳ありません。(90 歳以上)
- 電車を利用する際に、優先席を利用している普通の乗客が、数年前と比べて、サッと席をゆずっていただけるようになったと感謝しています。(65~69 歳)
- タクシーのりばで順番をゆずってもらった。(50~54 歳)
- ヘルプマークを身につけていることに気付き、電車やバスの中で席を譲って下さったこと。視覚障害者なので「お気持ちだけいただきます。」と断わっていますが、気にかけて声をかけて下さったのが嬉しかったです。視覚障害者用のヘルプマークがあったら良いかとも思いましたが、逆につきとばされたり等の嫌がらせを受けやすいという話も聞くので、難しいところです。(45~49 歳)
- 飛行機に乗った際、荷物を頭上の荷物入れに入れる必要があったが、私の身長では届かないため、周りが助けてくれて、荷物を入れてくれた。(30~34 歳)

## 仕事・職場について 14 件

- ウツをカミングアウトしたときに職場でなにがきっかけでパニックになってしまうのかの聞き取りをしてくれた。私は PC のせいでウツになってしまったので、PC を使わないで出来る作業にまわしてもらえた。きんちょうすると多弁になってしまうのでウツだときづかれづらいのですが、わかってくれる人とはたらけると気が楽になる (40~44 歳)
- 職場において、体調に応じて休むことが出来る。ゆとりを持たせるための社員という扱いで、休むことへの罪悪感を軽減してくれている。また、就業時間・テレワークなど自由がきく。障害の理解に務めていると共に、人権が尊重され区別なく職務につける。(55~59 歳)
- 気圧の変化や季節の変わり目で体調を崩し易く、休みが取りたい事へ理解を示してもらえる点。また、周りの音が気になり易いので、耳栓やイヤーマフなど、音に対する対策などを許してもらえる点。(30~34 歳)
- 聴覚障害は”みえない障害”と呼ばれたりもしていますが、自分から積極的に「聞きとれませんでした！何と言ったんですか？」と声をあげることや、座席決めで「ここが一番聞きとりやすいのでここでいいですか？」とアピールをしてきました。職場内での理解も進み、「ここでいい？」と率先して私の席を確保してくれたりなど配慮して下さるようになったことが嬉しかったです。自分ができることは最大限やって、それでも障害の特性上できない、という点は他の人の業務に回すなどまずはやってみる精神で過ごす、自分の経験値も上がってきていると最近感じております。(20~24 歳)
- 障がい者とみず、その人個人として個性として見ていただいたこと。聴覚障がいあるけど、出来ないことではないから頑張れと上司に言われたこと。(30~34 歳)

## — II 調査結果の分析 障害者調査 —

- 中野区障害福祉事業団の就業に関する手あつい支援で息子は通常の就労を継続して、先日優秀勤続表彰いただきました。本当に感謝しています。これからも支援よろしくお願い致します。ありがとうございました。(30~34歳)

### 友人・知人について 7件

- 友人が疲れやすいのを理解してくれたこと。すぐに「帰りたい休みたい」と言っても、「いいよ」と言ってくれる。社会の理解は得られないが、身近な人が分かってくれるのは生きていける気持ちになる。(－)
- 俳句を続けています。句会でも代筆を俳句仲間に依頼することが増え、退会を相談したことがありますが、仲間から「障害のある人はいっぱいいるの、ひとりじゃないのよ」と言われ、今も続けています。(80~84歳)
- ほとんどの方がいつも全く変らぬ態度で受けとめているように感じられ嬉しく思っています。(－)
- 塾の先生から、医師の話と一緒に聞きたいと病気に理解を示してくれたこと。(－)

### 医療機関について 7件

- 障害があると伝えた時の話。A病院では精神障害があると伝えると、医師から、「気のせい、もちよう」と心ないことを言われた。(他院でもけっこう言われる。)しかし、B院では、「ふーん。そっか、OK」と鼻がつまった一！位のノリで言われて、ずっと心が軽くなった。普通扱いがいかにうれしいことなのか、すごく感じたし、わかった。気がついた。普通が必要。とても。(45~49歳)
- 最近定期的に通院していた歯医者が休診になり、新しい歯医者に健診に行きました。新しい事に順応するのが苦手で、体が固まっているのを時間をかけて優しく進めて下さる皆さんに感謝しました。(45~49歳)

### 経済的支援について 7件

- 傷病手当金を頂きながら療養に集中できることがとてもありがたいです。色々な事を見つめなおしたり自分と向き合う時間もとれています。公園などを無料で利用できるのもありがたいです。新宿御苑の方々の受付の対応はいつも好きです。(35~39歳)

### 店舗について 4件

- お店などに行くと「指ししボード」があることは嬉しい。目に見える情報を増やして欲しい。(25~29歳)
- コーヒーショップなど席まではこんでくれた。(50~54歳)
- 主人と2人で買物に出かけた時に買った品物をカゴから袋に入れている時に私の格好が大変に見えたのか「おてつだいしましょうか？」と声をかけられた。幸い主人がいたので丁寧におことわりしたが、その時はとても嬉しく感じた。(65~69歳)
- 健聴者と差別なく接してくれる店員さんがいらっしやっした。まわりが騒々しく、補聴器をつけていても店員さんが言っていることが聞きとれなかった中、店員さんみずから筆談して下さった。とても嬉しかったです。(45~49歳)

### 家族について 4件

- 娘とのメールのやりとり。(55~59歳)
- ペースメーカーが入って居て、そして腎ぞう病で人工透析一歩手前です。家族がクスリなどをもらいに行ってくれて居ます。そしてクスリも沢山飲んで居ます。助かってます。病院の付そい等です。(85~89歳)

### 学校について 3件

- 車イスで段差などで危なかった時周りの人が手を差し伸べて助けてくれたことはありがたかったです。何度もあります。学校に通い、学内での介助を親がやるものと思っていましたが介助員の方を付けていただき、とてもありがたいです。中野区住んでいてありがたく感謝しています(母)(10～14歳)

### その他 91件

- 母を車イスで連れて行くとき、スーパーなどで道を開けてくださる方がいらっしゃるとうれいいです。ドアやエレベーターをゆずってくれることなど小さな親切がうれしいです。(90歳以上)
- 多くの方が小生の電気式発声機での会話を理解しようと真剣に聴いてくれる。(85～89歳)
- 町の中で、困っていると、若い方なども声をかけていただき、嬉しかったです。(65～69歳)
- 障害がわかった時に大きく、ゆっくり話してくれるのはありがたいと思った。(50～54歳)
- パニック時にサポートしてもらえた。ヘルプマークのおかげかもしれない。(35～39歳)
- 外出時すれちがった若者が一緒に歩いてくれて、これからどうするのと聞かれタクシーで帰宅を告げるとアプリでタクシーを呼んで乗せてくれました。とてもうれしく有難かった。横断歩道も私の歩幅に合わせて歩いてくれて一緒に渡って来れた。同居している家族より親切でうれしかった。若者も親切な人が多く感謝しています。(80～84歳)
- 障害者意識を持たずに普通に接してくれる時(85～89歳)
- 町中で声をかけられて、誘導や、周りの情報入手の手助けをしてもらった。(45～49歳)
- 区役所での相談の際、理解しやすいように、ゆっくり分かりやすく説明して頂けたこと。(35～39歳)
- そっとしといてくれる。(50～54歳)
- 歩行練習中に頑張ると応援してもらえた。(10～14歳)

## 7. 自由回答

### 7.1. 日常生活で困っていること

(全員の方に)

問 29. 日常生活で困っていることがありましたら、ご自由にお書きください。

日常生活で困っていることを自由に記入していただいたところ、188 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

#### 福祉サービスについて 20 件

- 私は精神障害 3 級です。手帳取得による恩恵として、公共交通機関の割引などありますが、そもそも、自身の症状の兼ね合いからバスや電車（主に地下鉄など）を利用する事が出来ません。その為、あまり恩恵を感じる事はありません。（45～49 歳）
- おむつの助成はありますが、現在トイレトレーニング中のため、日中のトレーニングパットについては自費で購入しています（数年にわたり）。選べる品物のバリエーションをふやしてほしいです。（5～9 歳）
- 目的地まで電車やバスでは向かえない時は、タクシーの利用することが多くなった。10 代、20 代の頃とは、体への負担が変わりキツク感じるようになった。福祉タクシー券の助成があることは知っているが、自分の階級では対象外なので 4 級の階級でも対象となると費用の負担からとても助かります。（30～34 歳）

#### 相談について 4 件

#### 経済的問題について 6 件

#### 公共交通について 4 件

- バス等を利用したくても、段差があったり、ノンステップでも停車場所によっては乗車不可能なものもありました。（80～84 歳）

#### 住まいについて 14 件

- 介護認定はついているので、介護用品はレンタルして生活に支障はないのですが、外出はほぼ車いすなので、アパートから出かける時に階段があり、そこにスロープをかけて車いすを降ろさないと行かないので、それが、一人では不可能。家族にそれをしてもらわなければならない、思った時、自由に外出できる所にうつりたいのですが、なかなか、無いのが、今後の課題です。（65～69 歳）

#### 施設について 4 件

- 療育センターへの入所を考えているが、満員となっている為入所する事ができない。（0～4 歳）

#### 医療機関について 2 件



## 障害への理解・配慮について 6件

- 予約時は電話でしかできないのが困っている。FAXで予約は過去にはあったが、取り止めにしている不満。メールは×。コンビニのレジに「耳マーク」シールが、商品の下にあって見えなくて困った。(区外のコンビニ) (45~49歳)
- 見た目が健康そうなので、ヘルプマークを付けていてもほとんど無視されてしまったり、理解を得ることができない。(25~29歳)
- ①自治体・行政機関からの情報が墨字のみで送られてくる。また封とうに点字や拡大文字等の記載が無い。②テレビのニュース速報や外国人のインタビュー等字まくテロップのみの情報が入手できない。③手続きの自動化による各種端末が視覚障害者も利用できるようになっていない。④飲食店の注文端末がタッチパネル対応になっている為、視覚障害者が利用できない。⑤店舗の無人化、駅等、公共交通機関の無人化により、人的なサポートを受けたくても容易に受けられない。(45~49歳)
- 視覚障害がありますが、スマホを持って歩いている人(見ながら歩いている人)はぶつかってくる(45~49歳)

## 一人の時や緊急・災害時の対応について 5件

- 災害があった時の避難場所が分からない。避難場所での生活になった時の不安。生活できるか。(5~9歳)
- 同居家族(2世帯)が就労時の災害 在宅酸素を使用している為、停電や地震などの災害時に不安がある。(85~89歳)
- 日中1人である時に来客があると出られない。日中1人である時に転倒した場合の不安がある。(85~89歳)

## 障害・病気・年齢・体調について 50件

- 内部機能障害のため「まわりから100%障害をもっているか」というように伝わるか心配です。(55~59歳)
- 精神障害とメニエール病を持っている。メニエールは難病なのに支援がない。枠に入れてほしい。めまいや聴覚過敏が出てしまうと、会話にならない。でも見た目はヘッドホン(イヤホン)してる普通の人に見えるので、苦しさが、全く伝わらない。精神障害においても調子が悪い時は外に出ないので、外出していることを知られると、何?元気じゃん!と言われ、仮病扱いになる。手帳でバスや庭園などの割引をしてもらう時も同じ。普通の見ただからうたがわれてしまい、時間がかかる。(45~49歳)
- けい光灯のとりかえがむずかしい。(55~59歳)
- 家族がいない時、来客のベルがきこえない(50~54歳)
- 家事に時間がかかってしまう。(思うように身体が動かない)忘れることや次に何をやるか分からなくなってしまうことがある(身体の動きが止まってしまう)(50~54歳)
- ハンデが無ければ色々出来るのではと、思う事があり、それでツラくなる。(35~39歳)
- 両足、関節が不自由なので、どうしても、外出がむずかしい場合が多くて、困りますので、余り、外出しなくなっています。(85~89歳)
- 医院迄のタクシーに乗る程ではないが(距離)、一人で歩いて行くのがつらくなった。受診に行けなくなり、困っている。薬はヘルパーさんに頼んでいる。孫や子供に車を頼みたいが、各々みんな忙しくて頼めない。(90歳以上)

## 交流の機会について 2件

- 障害がある事を表に出して話したり会ったり出来る人がいない。(50~54歳)

**就労について** 9件

- 障害者雇用でムリせず働きたいのに、パート・アルバイトばかりで手取り18万もいかないので配偶者に万が一があった際に支えられない。ムリに一般就労しているせいで、片づけ、食事がおろそかになる。(25~29歳)
- 体調が安定しない為、就業が難しいこと。(50~54歳)
- 正規の職業につきにくい。また、日常的な家事などが負担になりやすい。(30~34歳)

**情報提供について** 5件

- 事故や遅延があった時にホームのボードだけではなく、電車の中の電子機器にも情報が欲しい。(25~29歳)

**区内の環境整備について** 14件

- 伝い歩きしかできないので何か補助していただける支柱等があると有難い(60~64歳)
- 階段しかない場所は心臓に負担がかかるので困る。休みたくてもベンチなどがあまり見あたらない。(35~39歳)
- 自転車の危険性をもっと把握して欲しい。(高齢者、障害のある人は特に恐ろしい)歩道での走行、信号を止まらず進んで来る等、避けきれず、又察知できず危険な場面が日常的にある。(80~84歳)
- 電動車椅子での外出時、歩きスマホや自転車が怖い。歩道と車道との段差が角度が移動しにくい場所がある。(75~79歳)

**将来・親(家族)亡き後への不安** 9件

- 現在は妻(83才)に依存した生活をしているので大きな不便はないが、妻が健康を害した場合には生活は殆んど不成立となる。(85~89歳)
- 現在は生活できているので問題はないが、これから年をとっていった時に介助してくれる家族も年を取るのでは不安を感じる。(60~64歳)
- 身よりがいなくて先々が不安を感じる(60~64歳)
- 徐々に歩けなくなってきているので今後は不安(60~64歳)

**家族への支援について** 2件

**その他** 32件

- 今は殆どない 配偶者で互いに補っている(90歳以上)
- 自分は声が出ないので、それなりに納得しているが、家族の方が気をつかい苦労しているのかもしれない。故に困っている事は自分よりも家族の方に有るのかなとも思うが、わからない…(75~79歳)
- できると思われてフォローしてもらえないことがある。手続きが1人でできないことがある。携帯電話の契約で余計なオプションをたくさん申し込まされてしまった。断われなかった。(40~44歳)
- 乗物について、電車、バスに歩行キを車内に搬入しても座席に置けない、施設にエレベーターがない。道路について、雨水の為とは思いますが(道路両側)傾斜が怖い。(80~84歳)

## 7.2. 健康福祉行政全体への意見・要望

(全員の方に)

問 30. 健康福祉行政に関することや今回の調査について、ご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

健康福祉行政に関することや今回の調査について、要望や意見を自由に記入していただいたところ、131 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

## 福祉サービスについて 13 件

- 福祉行政サービスにもっと予算を組んでもらいたい。(65～69 歳)
- 移動支援をしてくれるヘルパーさんがなかなかみつきません。以前お願いした所は子の問題行動によりことわれました。子はその方を好いていたのに急に来なくなり心のくずれがあり一時不安定になりました。ヘルパーさんでも理解がないのは大変残念に思いました。(5～9 歳)
- 毎年配布していただくタクシー券にはほんとうに助かっております。(雨の日や坂の上にある施設に行く時など) 美術展に無料で入場できることや割引があることも有難く利用させていただいております。障がい、高齢、独居、で将来の不安はありますが、地域包括支援センターにご相談すればよいとの事で心強いです。(85～89 歳)
- 現在受けているサービス(身体障害者手帳、難病支援)に自分が該当することを知らなかったので、実際に享受するのに数年を費やしました。今は区の対応に満足しています。(75～79 歳)
- ガイドヘルパーだけでは足りない。(－)

## 相談について 3 件

- 本人の親です。相談できる場所があるのがありがたいです。適正に「相談できること」が自立なのではないか、と思っています。だれも、一人で生きられません。子どもの場合は10才で、障害(内部障害で日常生活で困ることは少ないと思いますが)不登校、家族の悩みなど困ることが多岐にわたります。私も調べて相談することが大変な時があります。本人が大変な時 大変だ、困っていると聞いてもらえる所があるんだとわかるように育てたい、と思っています。わかりにくくてごめんなさい。まずは、「困っていることを話せる所」行政に求めることと考えています。(10～14 歳)
- 見た目でわからない発達障害者は、普通に健常者扱い。しかし実際は、生きていくのも生活するのも働くのも大変です。親が色々なところに(区内)相談の電話をしていたが、なかなか理解が難しいようだ。学校も国から支援の指示があっても実際対応できる先生はいない。母がいつも「発達障害の子供を育てた人、発達障害の本を沢山よんで理解しないと対応は難しい、一人一人違う」といっているが、行政が一丸となって発達障害者の支援にとりくんでほしい。親は相談窓口、支援する窓口、障害者の親の輪が必要とのことでした。(－)

## 障害への理解・配慮について 4 件

- 調査が、福祉行政の改善や進歩になれば良いと思います。障害は、それを持っている人にしか分からない部分は多々ですから、全ての人が、サポートしてくれる、世界が希ましいですが・・・障害あっても、出来る事はなるべく自分です、努力も必要かと。それでも出来ない時は、誰でも手を貸してくれる世の中になればと。(65～69 歳)
- この調査自体が視覚障害者自ら内容を読み記入するものとなっていない。(45～49 歳)

情報提供について 14 件

- 障害者への理解が進んでいないと思うので、広報活動等力を入れていただけると良いと思います。(50～54 歳)
- 様々な施設で割引サービスがあるのだが、表示されていなくてサービスを知らずにお金を払った事があります。もっと表示をしてほしい。(40～44 歳)
- 障害者に限らず、誰でも病気やけがで身体が不自由になる可能性があります。どんな人にとっても、暮しやすい街にする為に、子供の時からの教育や、健康福祉に関する情報を充実していただけると、ありがたいです。(60～64 歳)
- 最近、障害者の就労支援サービスがあることを知りました。もっと広く認知されるようにして欲しいと思います。(50～54 歳)
- 障害者でも、自立できるくらいの収入がある仕事の種類を知りたい。(30～34 歳)
- 障害者に対するいろいろなサービス、いろいろあるようですが生きていく上で必要な事ですので困った時には利用できる人がスムーズにできるよう、知らなかったという事がないように。そんな世の中になってくれたらうれしいなあつくづく感じました。いろいろお世話をして下さる方々、親切で本当にありがたいです。ありがとうございます。(25～29 歳)

施設について 4 件

今後の不安について 3 件

本調査について 31 件

- 入院中なので本人はすべて病院での看護、介助、健康管理等すべて頼っていますので、回答が殆んど出来ず調査参考にならず昨年も対象者で返答しにくいので困ったこと思い出しました。(85～89 歳)
- 施行内容を知る事ができる様な広報資料をこのような調査票の送付時に同封するなどして欲しい。(55～59 歳)
- 調査の結果が行政に反映され、多くの方が生き易くなって欲しいです。(50～54 歳)
- 調査の回答をネットでできるようになったらいい。手帳申請等も、わざわざ窓口に行ったりするのが大変なので、極力ネットで済ますことが出来たら良いと思う(25～29 歳)
- この調査の結果については区ホームページに丁寧に報告をしていただいているが、この調査が中野区の福祉サービス向上にどのように生かされているのか、そのあたりを見える化していただけるとありがたいです。よろしくお願いします。(45～49 歳)
- 障害者は、その障害の種類も多く、十把一絡げにまとめることはできないと思うが、それに対して、抽出が 1,500 人というのは少なく感じた。特に、身体、発達、精神、難病をまとめて同じ質問というのは無理があると思う。(30～34 歳)
- ネットでも答えられるようにすれば、回答者も集計者もコスト(負担)を減らすことができるので、行政機関は、他の様々な手続き等も含めてもっと IT 化を進めて欲しい。(50～54 歳)

その他 59 件

- 障害の有無や程度に関わらず、希望する人全員が、仕事を通して社会に関われるようにしてほしい。特に官公庁で率先してそうした仕事の場を作り、雇用してほしい。障害者があたり前にふつうの人に混じって働いている社会になってほしい。(70～74 歳)
- 今回の調査で健康福祉サービスを知りました。今は必要ないですが、知って良かったと思います。障害者手帳をもらう際に障害福祉課へ行きましたが、とても親切に必要なことが受けられる支援を

教えて頂きました。手続きに必要な書類もまとめて頂いて大変助かりました。ICDを入れていて、満員電車をさげたいので（圧迫がよくないそうなので）タクシー券が助かっています。3級になるともらえないそうなので等級がさがるのが少し不安です。（35～39歳）

- 尽力して頂いてありがとうございます。精神疾患は見た目では分からないところがあるために、一般の人には理解しにくい病気だと思っています。社会に出ても煙たがられます。また障害者側も「頑張って当たり前だ」という高圧的な人もおり、双方ともに課題があります。先天性の特性や性格の部分と後天性の統合失調に症状は分けて、考えていただきたいです。難しいと思いますが、よろしくをお願いします。（-）
- 誰でも障害者になる場合があると思います。老人になっても自由に外出できて人として豊かな生活を送られるような人が増えたらいいなと思います。時々（車イスでも）外食出来たり買い物に自由に行けたり、贅沢は言いません。誰でも日常の生活が楽しみが送れることが望みです。映画館に行きたい、デパートにも行きたいなど。大変なお仕事だと思います。施設や窓口で助けてくれてありがとうございます。（45～49歳）
- 今後、医療の進歩から障害者が増加すると考えられる。ケガや病気回復される障害者として日常生活をおくって行くケースが多様化していく為、ますます早期対応をもとめられる。（60～64歳）



# 施設入所者調査

---

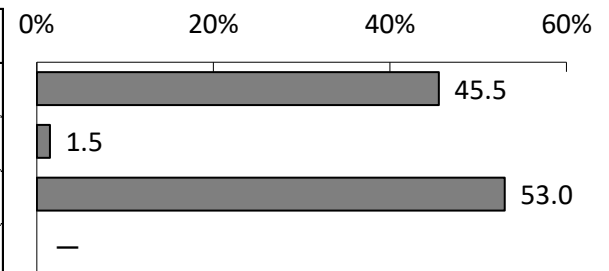




## 1. 回答者の属性

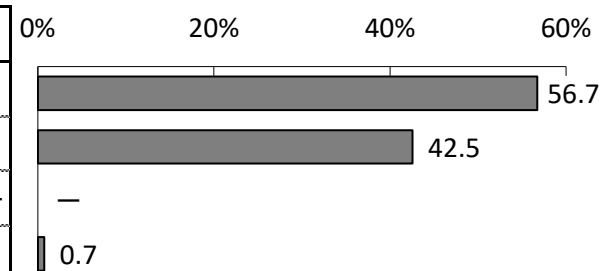
### 1.1. アンケートの回答者

	基数	構成比(%)
本人(代筆を含む)	61	45.5
家族	2	1.5
その他の人	71	53.0
無回答	—	—
全 体	134	100.0



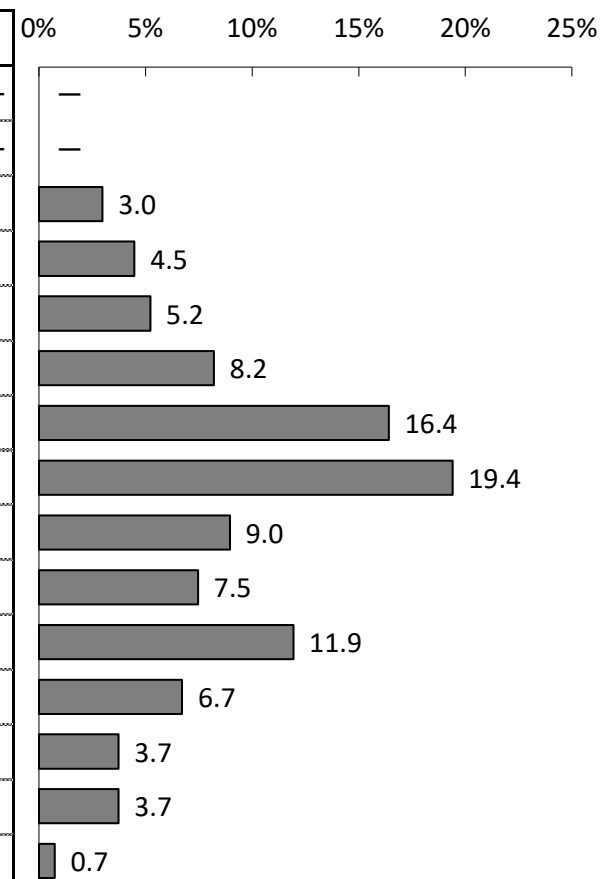
### 1.2. 性別

	基数	構成比(%)
男性	76	56.7
女性	57	42.5
その他	—	—
無回答	1	0.7
全 体	134	100.0



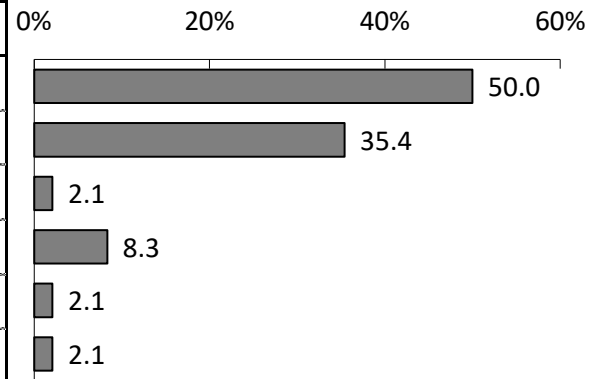
### 1.3. 年齢

	基数	構成比(%)
20歳未満	—	—
20～24歳	—	—
25～29歳	4	3.0
30～34歳	6	4.5
35～39歳	7	5.2
40～44歳	11	8.2
45～49歳	22	16.4
50～54歳	26	19.4
55～59歳	12	9.0
60～64歳	10	7.5
65～69歳	16	11.9
70～74歳	9	6.7
75～79歳	5	3.7
80歳以上	5	3.7
無回答	1	0.7
全 体	134	100.0



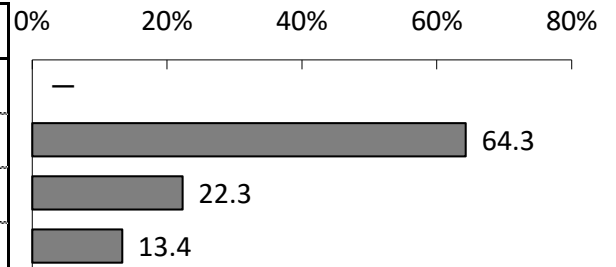
1.4. 身体障害者手帳の等級

	基数	構成比(%)
1級	24	50.0
2級	17	35.4
3級	1	2.1
4級	4	8.3
5級	1	2.1
6級	1	2.1
全 体	48	100.0



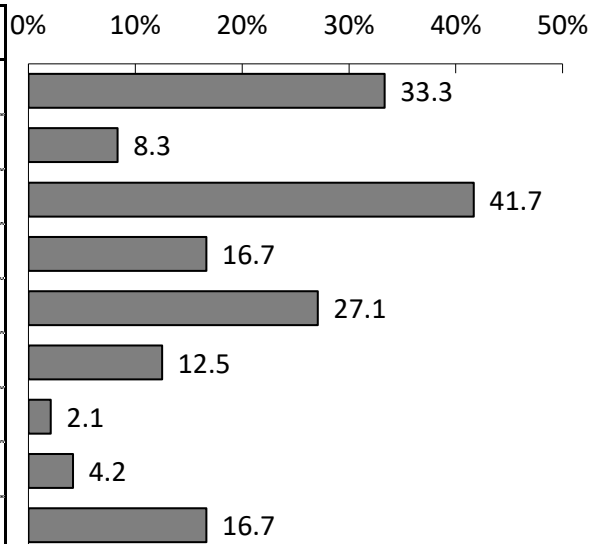
1.5. 愛の手帳の度数

	基数	構成比(%)
1度	—	—
2度	72	64.3
3度	25	22.3
4度	15	13.4
全 体	112	100.0

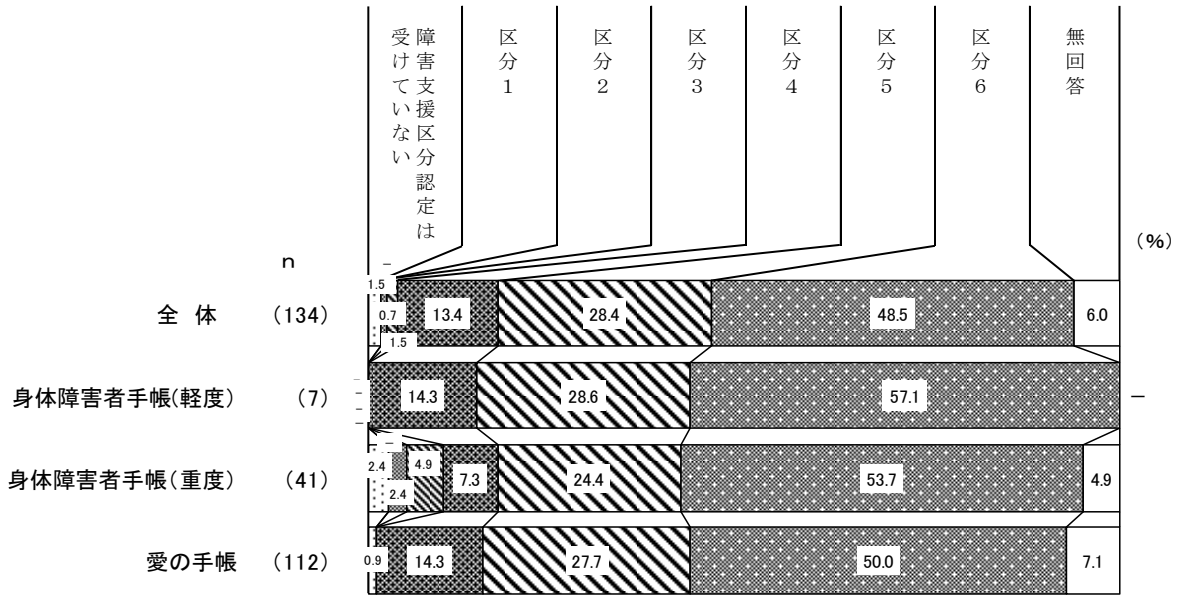


1.6. 身体障害者手帳に記載された障害名（複数回答）

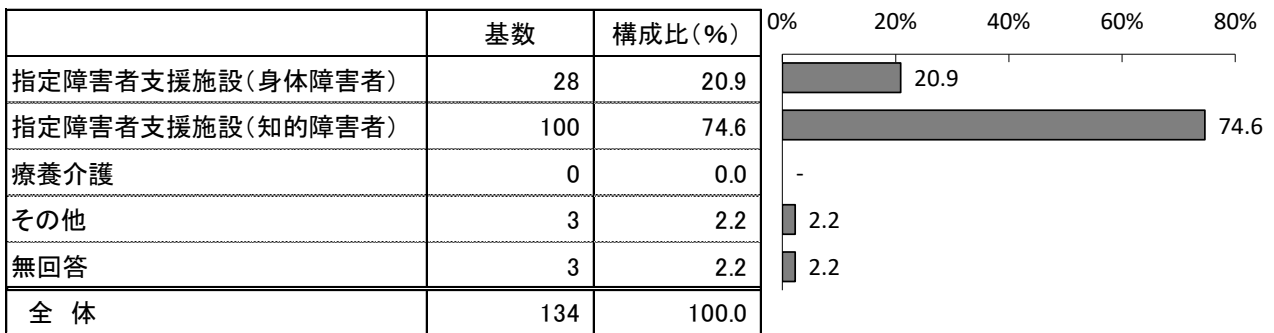
	基数	構成比(%)
上肢機能障害	16	33.3
聴覚障害・平衡機能障害	4	8.3
下肢機能障害	20	41.7
音声・言語・そしゃく機能障害	8	16.7
体幹機能障害	13	27.1
肢体不自由(脳性まひ)	6	12.5
内部機能障害	1	2.1
視覚障害	2	4.2
その他	8	16.7
全 体	78	100.0



1.7. 障害支援区分



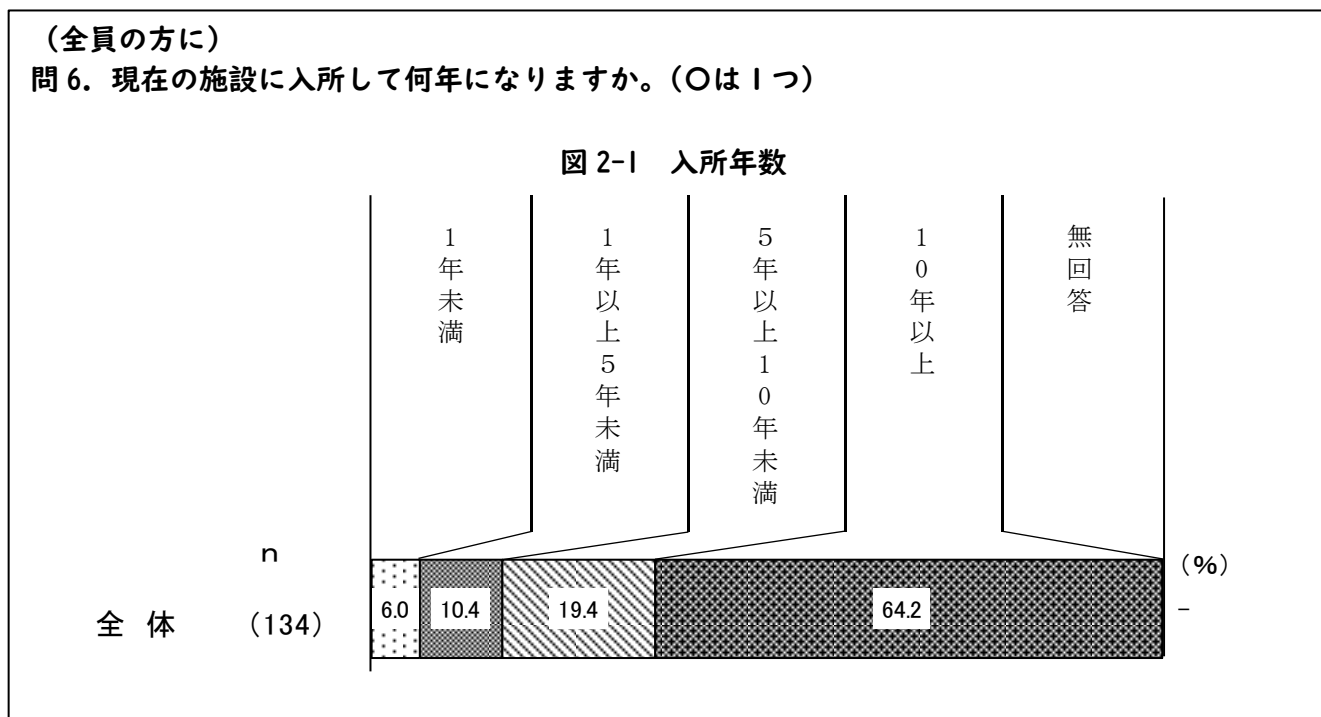
1.8. 入所施設の種類



## 2. 入所について

### 2.1. 入所年数

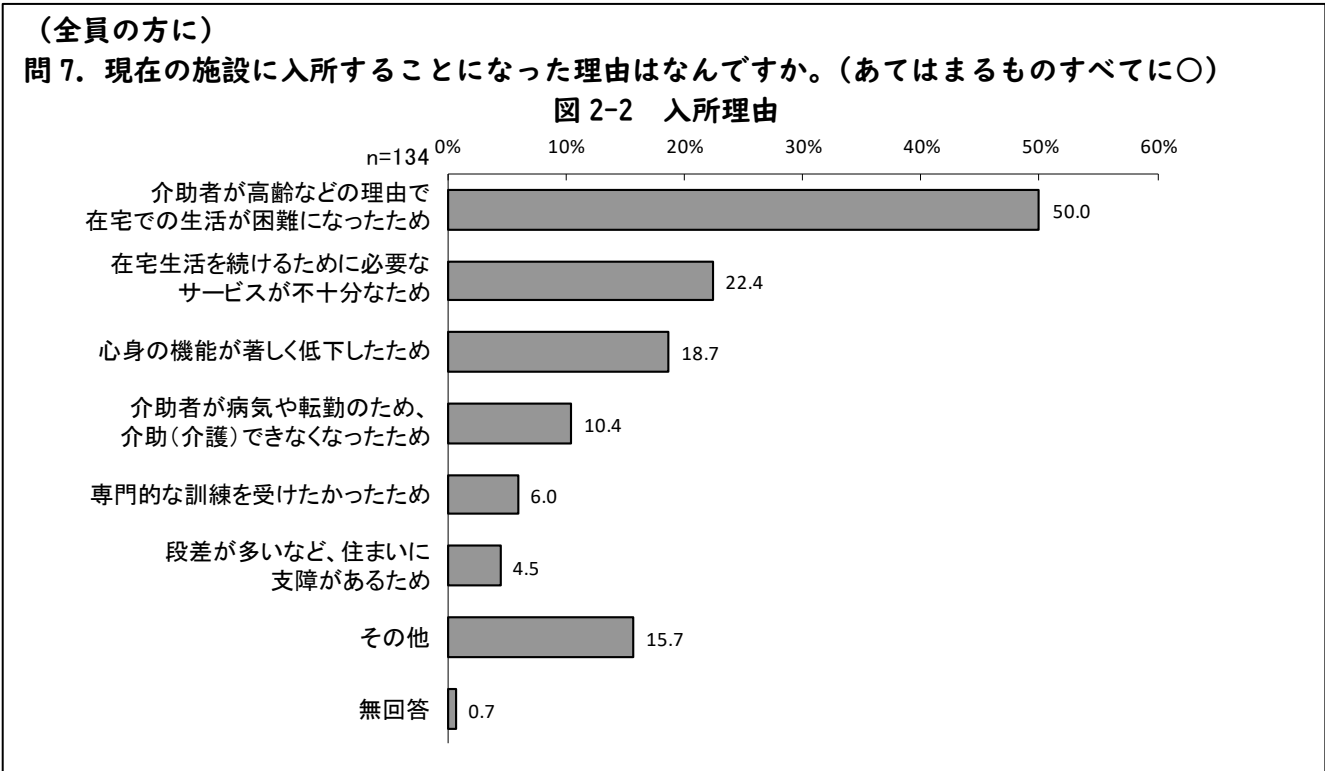
◆入所年数は「10年以上」が6割台半ば



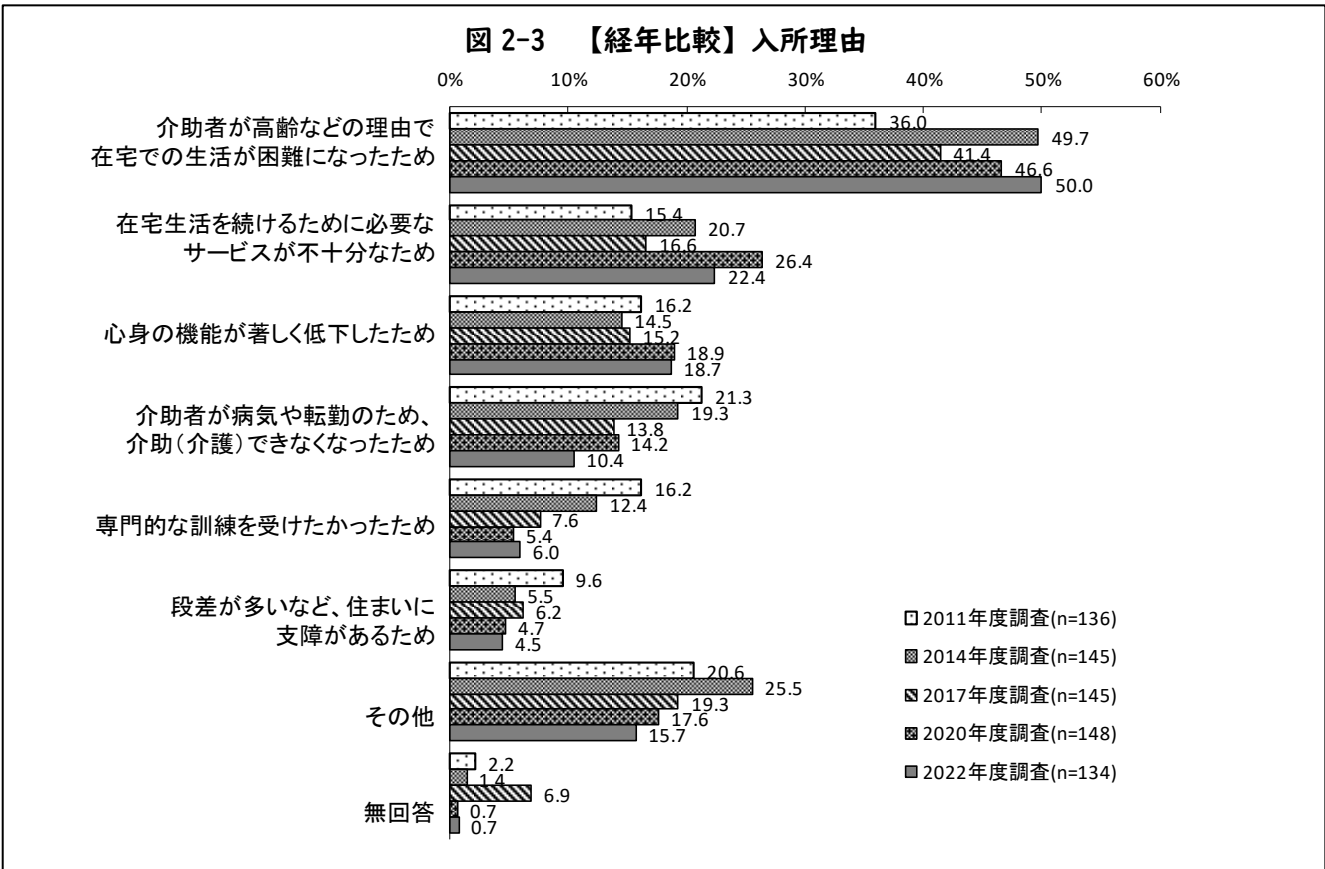
入所年数は「10年以上」が6割台半ばと最も高くなっている。

2.2. 入所理由

◆施設への入所理由は「介助者が高齢などの理由で在宅での生活が困難になったため」が最も高い

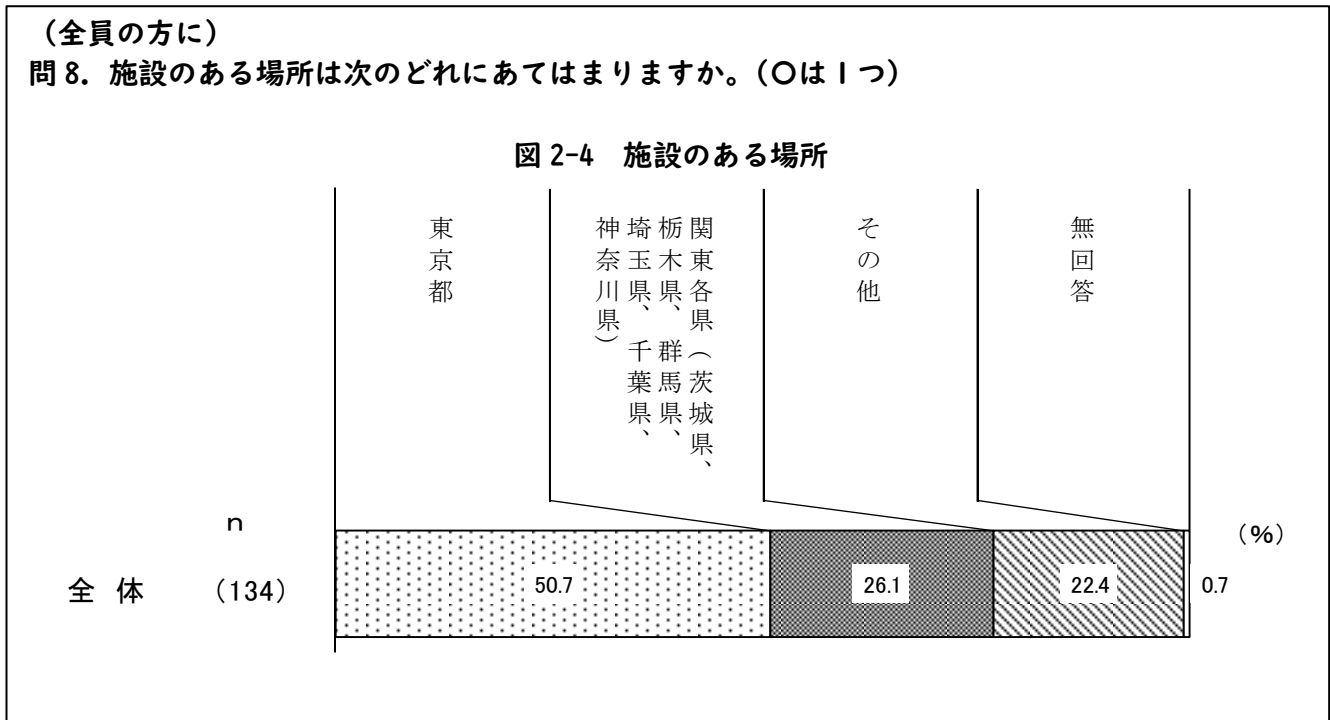


現在の施設に入所することになった理由は「介助者が高齢などの理由で在宅での生活が困難になったため」が最も高く、次いで「在宅生活を続けるために必要なサービスが不十分なため」「心身の機能が著しく低下したため」「介助者が病気や転勤のため、介助(介護)できなくなったため」となっている。



2.3. 施設の場所

◆施設の場所は、「東京都」が最も多い



現在の施設の場所は「東京都」が最も高くなっている。

### 3. 今後の生活について

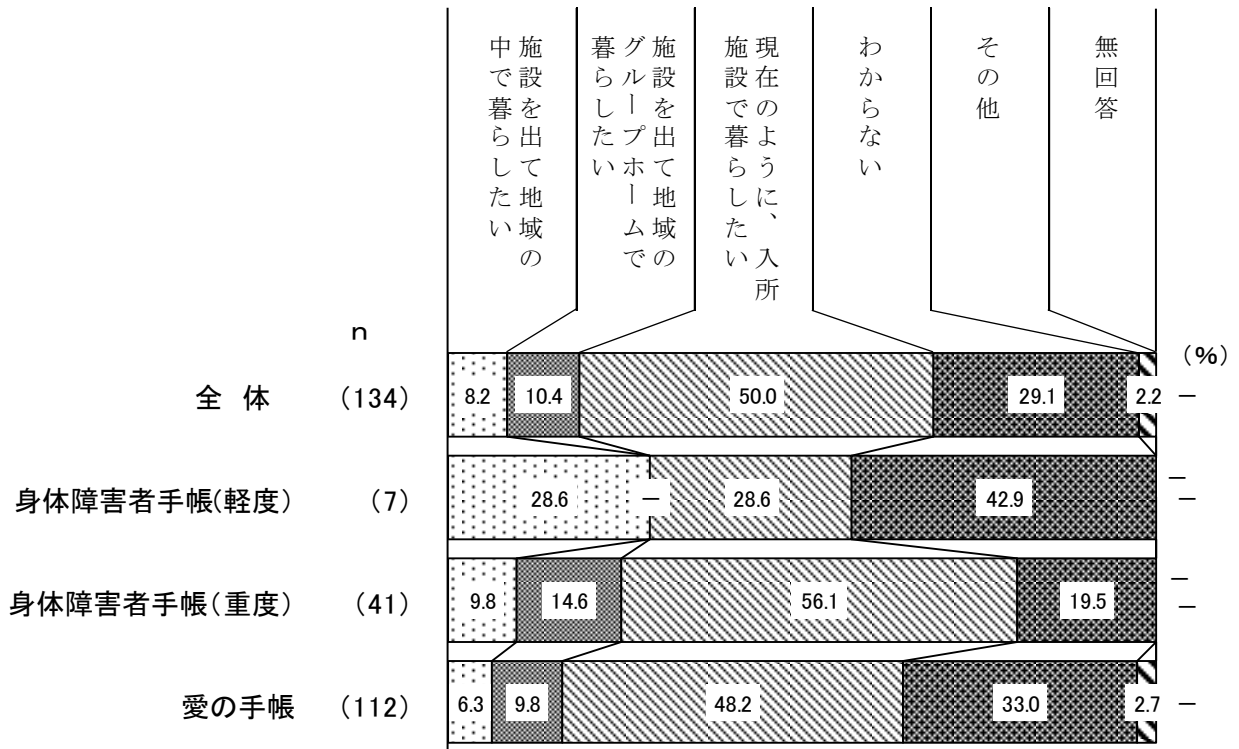
#### 3.1. 生活したい場所

◆今後、生活したい場所は「現在のように、入所施設で暮らしたい」が5割

(全員の方に)

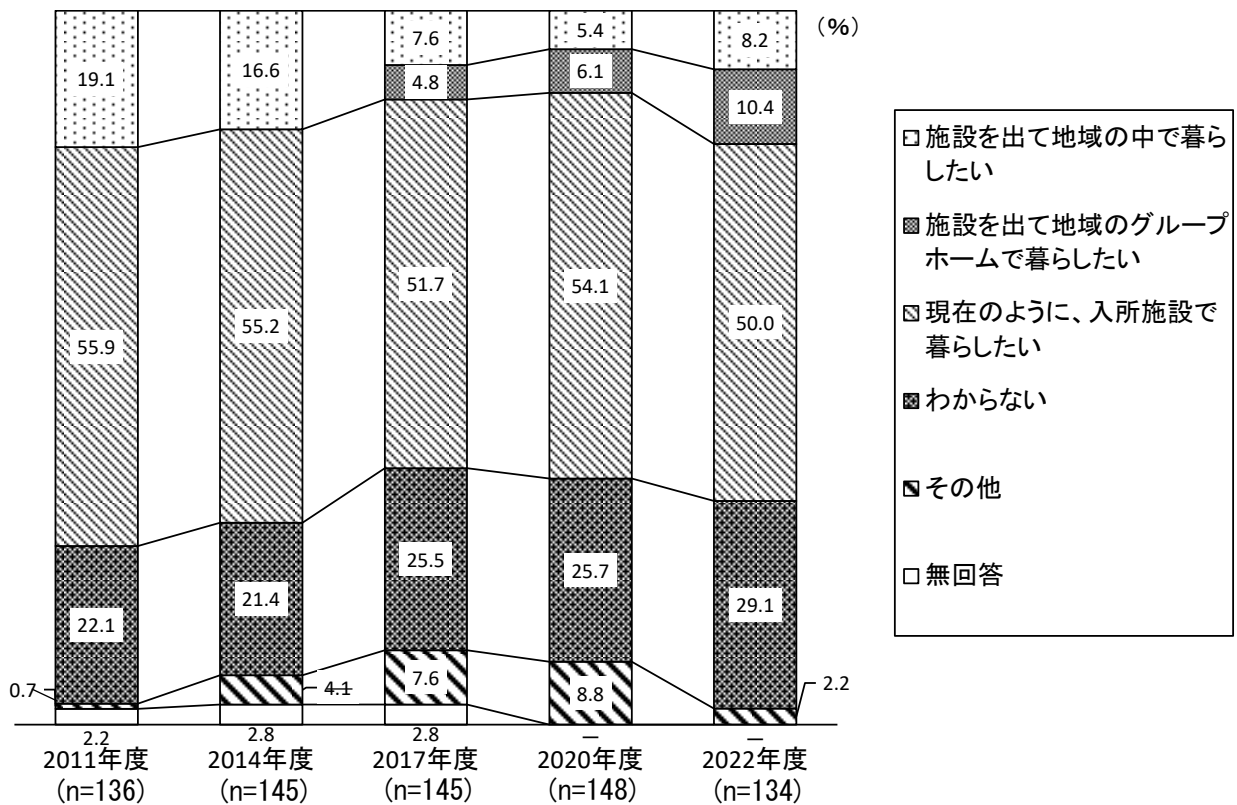
問9. 今後、どこで生活したいですか。(〇は1つ)

図 3-1 【所持手帳別】生活したい場所



今後、生活したい場所は、「現在のように、入所施設で暮らしたい」が最も高くなっている。

図 3-2 【経年比較】生活したい場所



※2011年度・2014年度は「施設を出て地域のグループホームで暮らしたい」の選択肢はなし。

今後生活したい場所を経年比較でみると、2022年度は2020年度と比べ「施設を出て地域の中で暮らしたい」が2.8ポイント、「施設を出て地域のグループホームで暮らしたい」が4.3ポイント増加している。



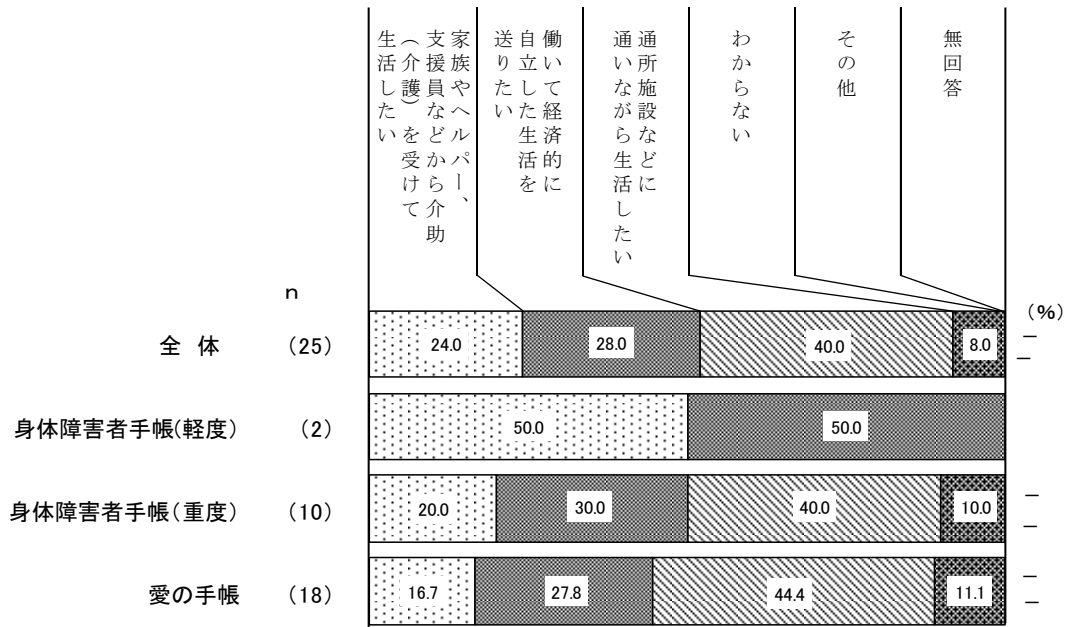
3.2. 施設退所後の生活

◆施設退所後の生活は「通所施設などに通いながら生活したい」が4割

(問9で「1」または「2」に○をつけた方に)

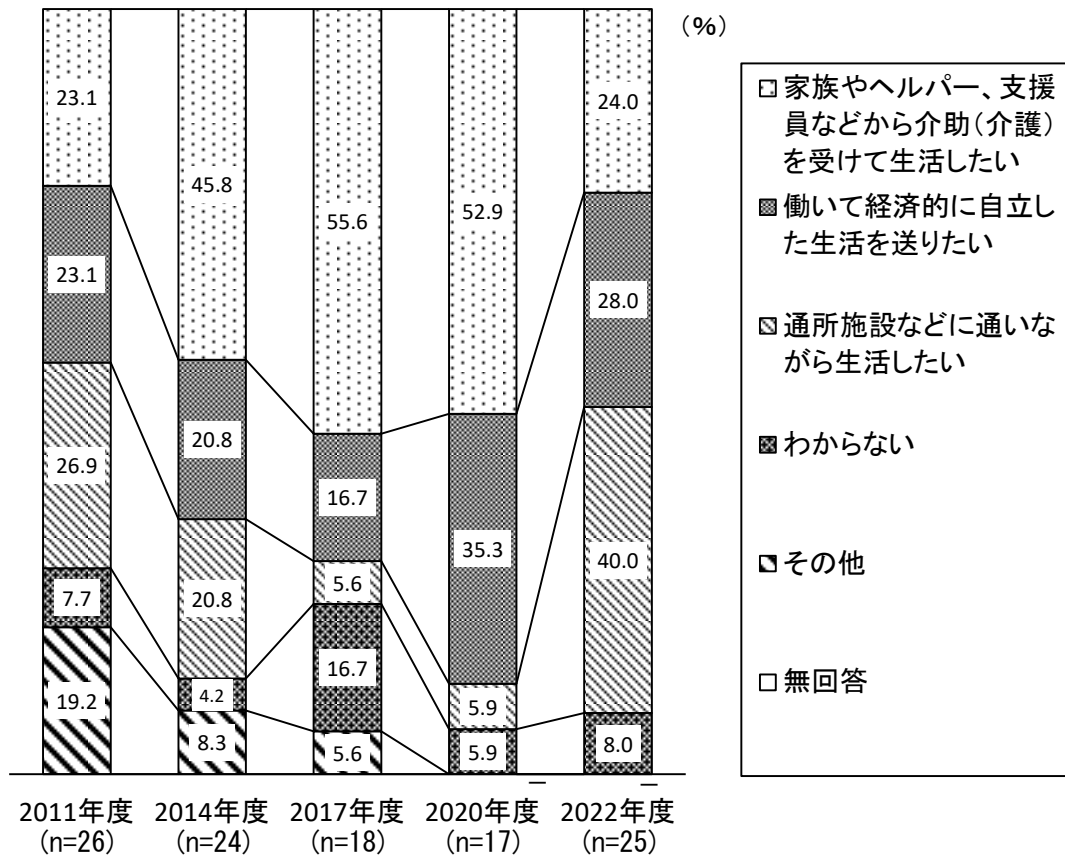
問9-1. 仮に施設を退所するとしたら、どのような生活を送りたいですか。(○は1つ)

図3-3 【所持手帳別】施設退所後の生活



基数が少ないため、グラフは参考までの掲載とする。

図 3-4 【経年比較】施設退所後の生活



基数が少ないため、グラフは参考までの掲載とする。

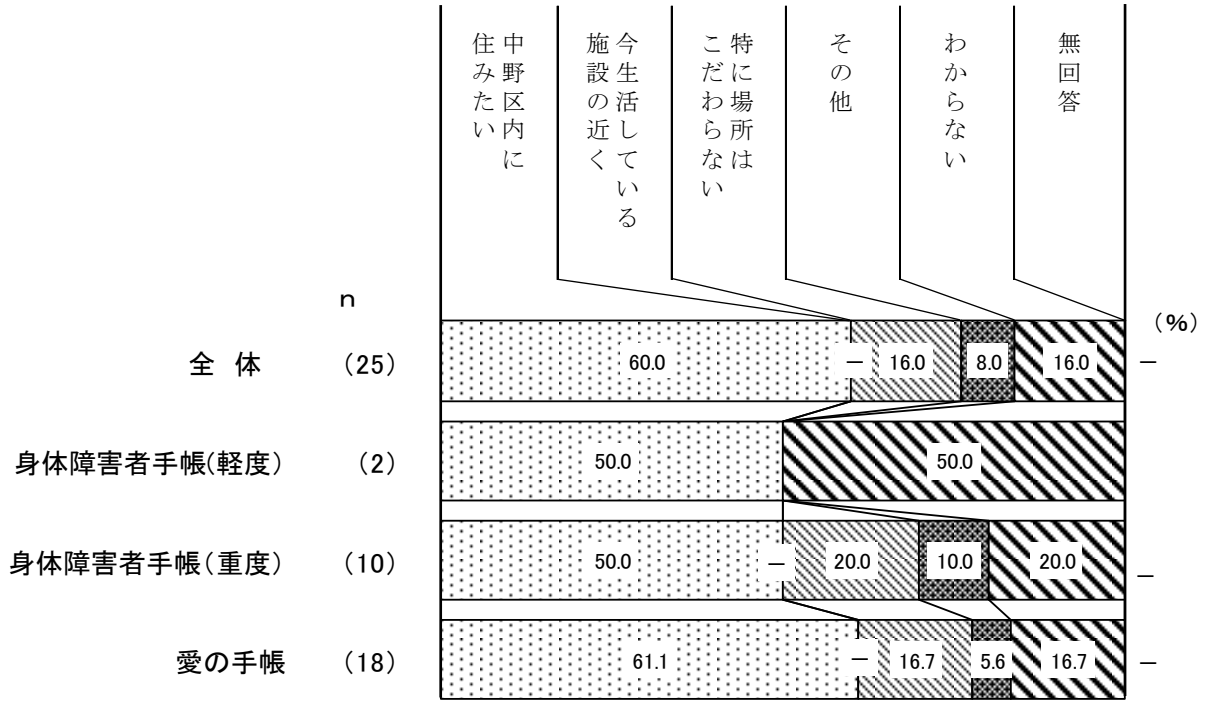
3.2.1. 施設退所後に住みたい場所

◆施設退所後は「中野区内に住みたい」が6割

(問9で「1」または「2」に○をつけた方に)

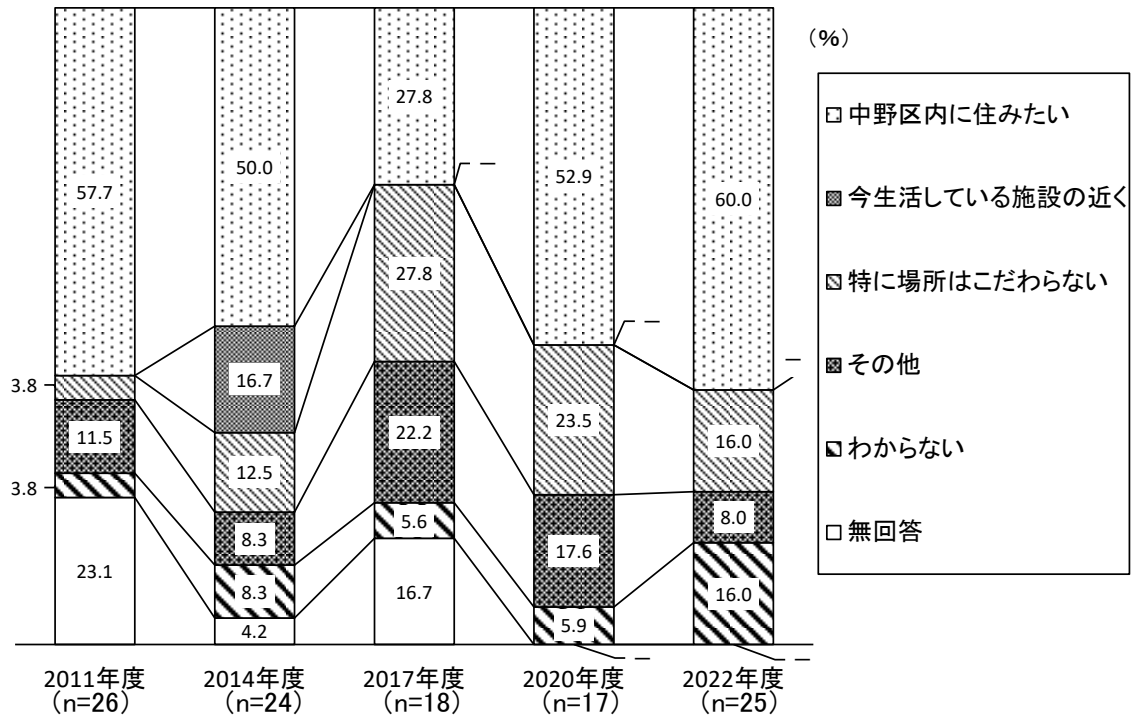
問9-2. 施設を退所したら、どこに住みたいですか。(○は1つ)

図3-5 【所持手帳別】施設退所後にどこに住みたいか



基数が少ないため、グラフは参考までの掲載とする。

図 3-6 【経年比較】施設退所後に住みたい場所



※2011年度は「今生活している施設の近く」の選択肢はなし

基数が少ないため、グラフは参考までの掲載とする。

## 4. 自由回答

### 4.1. 健康福祉行政全体への意見・要望

(全員の方に)

問 10. 健康福祉行政全体や今回の調査について、ご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

健康福祉行政全体や今回の調査について、要望や意見を自由に記入していただいたところ、14人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

- 中野区の作業所に通いたい。(35～39歳)
- 自宅近くでコロナワクチンを接種できるクリニックが増えてほしい。(25～29歳)
- 障害者が安心して生活できるホームを作って頂きたいです。(50～54歳)
- 家で生活できるのが一番ベストだと思います。なかなか思うようにはいかないです。施設に入所していることが常に不便でたまりません。この娘の人生でしょうね。少しでも施設で楽しく過ごしてくれることが一番だと思います。皆様にあたたかく見守ってくださることをお願いしたいです。(母)(50～54歳)
- 早く区立のGHを作って欲しい。(30～34歳)
- 身体(車イス)や高次脳に対応したGHを区内に増やして欲しい。早く施設を出て、中野に戻りたい。(50～54歳)
- 行動障害があっても、地域で住めるような社会的資源の充実。相談窓口の設置等、望みます。(50～54歳)



# 発達支援等調査

---

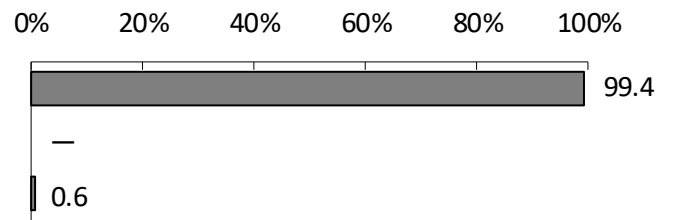




## 1. 回答者の属性

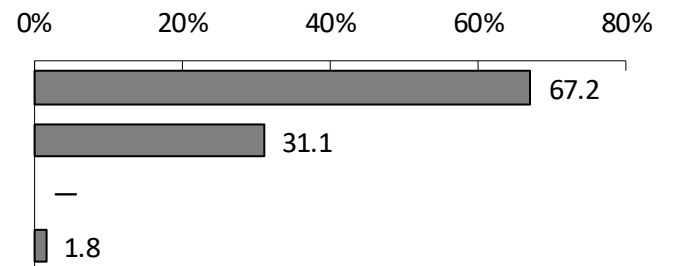
### 1.1. アンケートの回答者

	基数	構成比(%)
家族	339	99.4
その他の人	—	—
無回答	2	0.6
全体	341	100.0



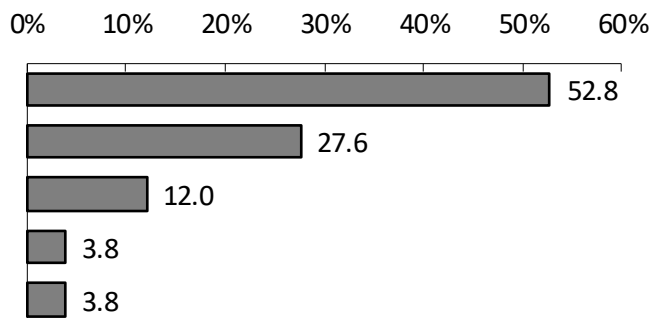
### 1.2. 性別

	基数	構成比(%)
男性	229	67.2
女性	106	31.1
その他	—	—
無回答	6	1.8
全体	341	100.0



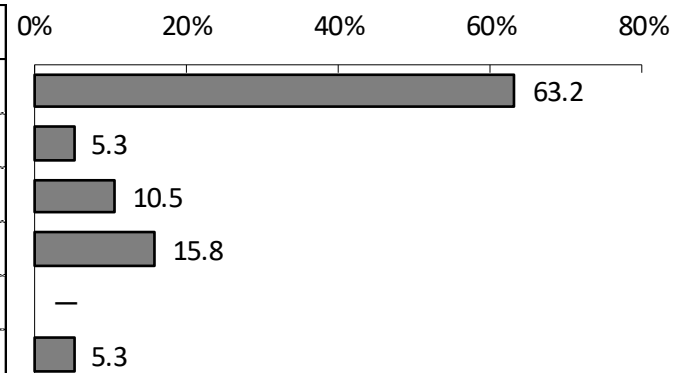
### 1.3. 年齢

	基数	構成比(%)
0～5歳	180	52.8
6～9歳	94	27.6
10～14歳	41	12.0
15～18歳	13	3.8
無回答	13	3.8
全体	341	100.0



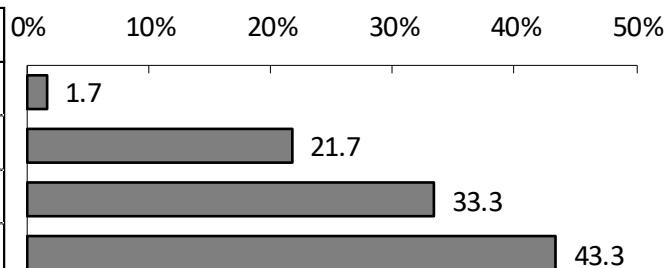
1.4. 身体障害者手帳の等級

	基数	構成比(%)
1級	12	63.2
2級	1	5.3
3級	2	10.5
4級	3	15.8
5級	—	—
6級	1	5.3
全 体	19	100.0



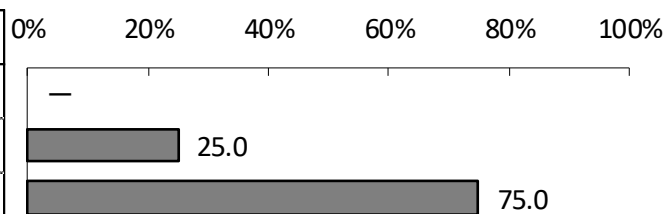
1.5. 愛の手帳の度数

	基数	構成比(%)
1度	1	1.7
2度	13	21.7
3度	20	33.3
4度	26	43.3
全 体	60	100.0

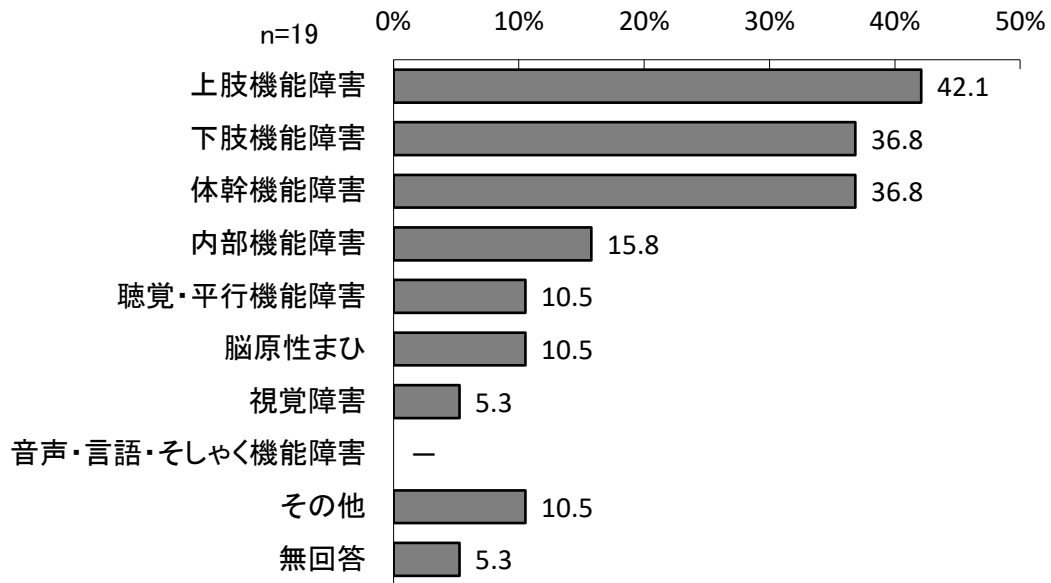


1.6. 精神障害者保健福祉手帳の等級

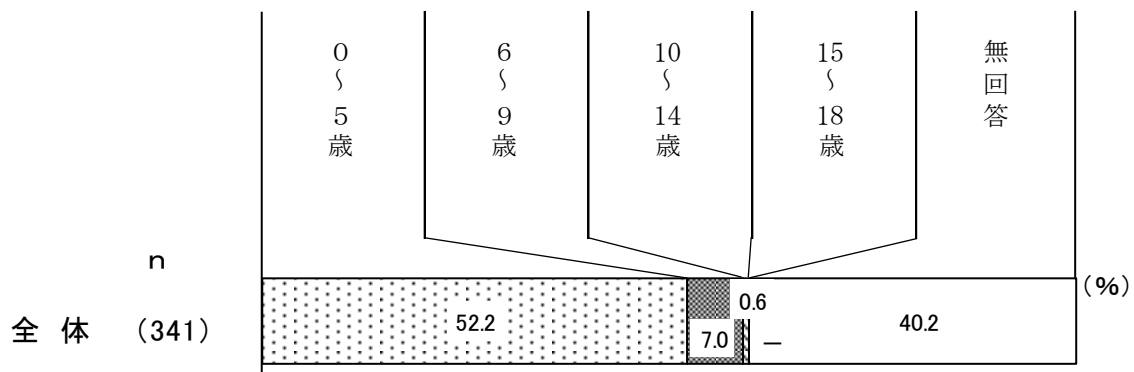
	基数	構成比(%)
1級	—	—
2級	1	25.0
3級	3	75.0
全 体	4	100.0



1.7. 身体障害者手帳に記載された障害名（複数回答）

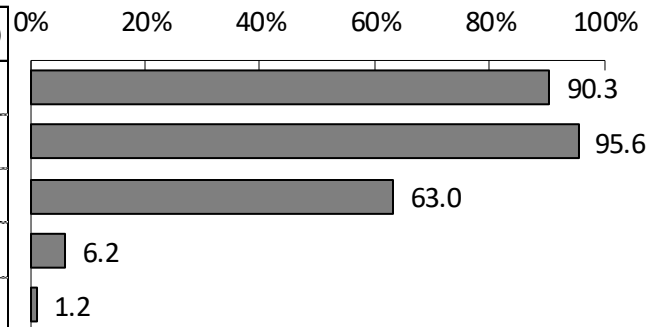


1.8. 診断に関することで気がついた年齢（把握時点が複数ある場合は直近のもの）



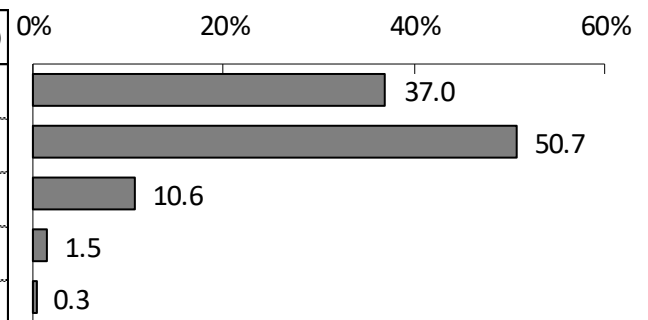
1.9. 家族構成（複数回答）

	基数	構成比(%)
父	308	90.3
母	326	95.6
兄弟姉妹	215	63.0
その他	21	6.2
無回答	4	1.2
全体	341	100.0



1.9.1. 兄弟姉妹の人数

	基数	構成比(%)
0人	126	37.0
1人	173	50.7
2人	36	10.6
3人	5	1.5
無回答	1	0.3
全体	341	100.0



1.10. 所持手帳別年齢

上段：(人) 下段：(%)

	全体	0 ～ 5 歳	6 ～ 9 歳	10 ～ 14 歳	15 ～ 18 歳	無 回 答
全体	341	180	94	41	13	13
	100.0	52.8	27.6	12.0	3.8	3.8
手帳非所持者	263	108	19	2	—	134
	100.0	41.1	7.2	0.8	—	51.0
身体障害者手帳(軽度)	6	4	2	—	—	—
	100.0	66.7	33.3	—	—	—
身体障害者手帳(重度)	13	6	2	3	1	1
	100.0	46.2	15.4	23.1	7.7	7.7
愛の手帳	60	19	23	10	6	2
	100.0	31.7	38.3	16.7	10.0	3.3
精神障害者保健福祉手帳	4	—	2	1	1	—
	100.0	—	50.0	25.0	25.0	—

## 2. 医療的ケア等について

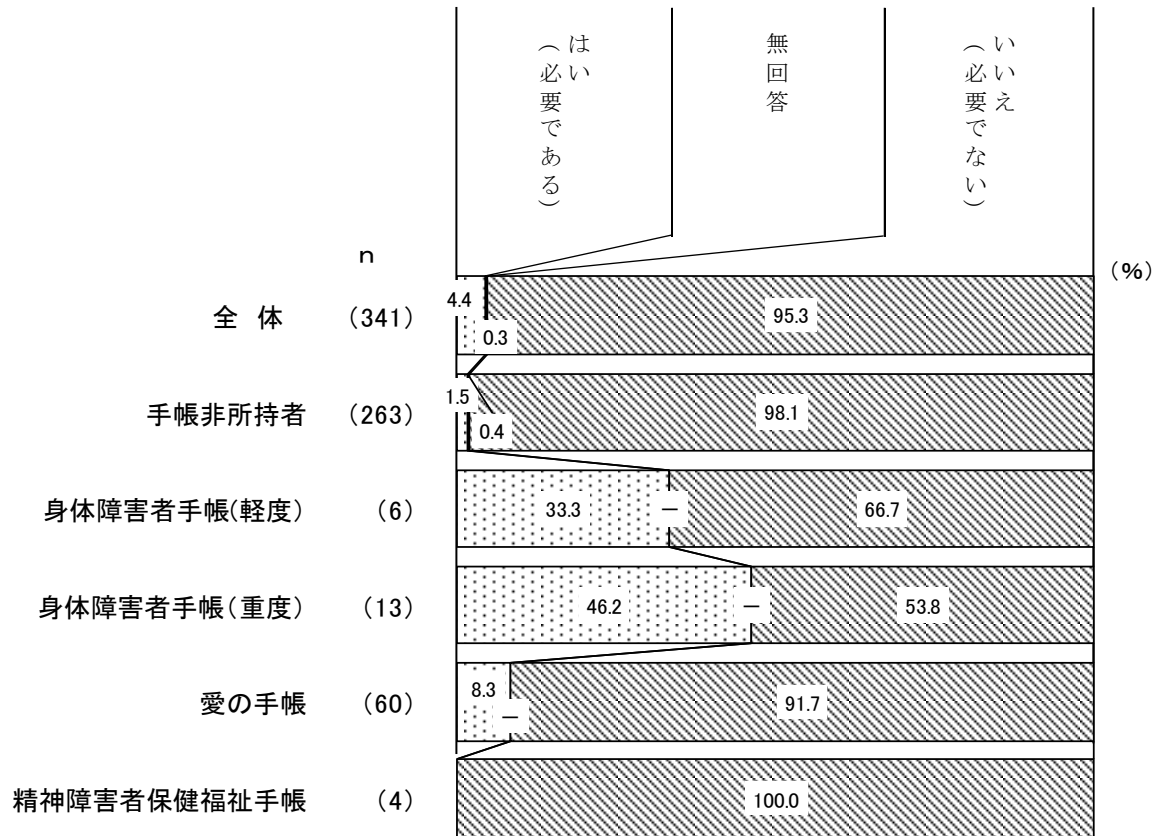
### 2.1. 医療的ケアの必要性

#### ◆医療的ケアが「必要である」方は身体障害者手帳（重度）所持者で高い

（全員の方に）

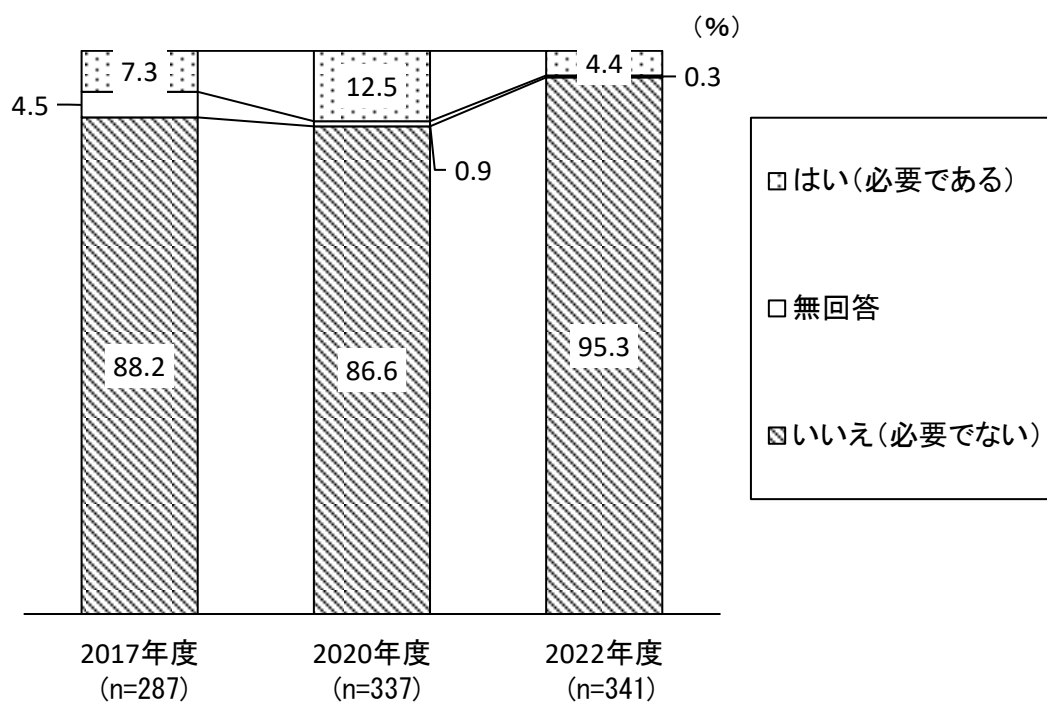
問 5. お子さん（あて名の方ご本人）は日常的に医療的ケアが必要ですか。（○は1つ）

図 2-1 【所持手帳別】医療的ケアの必要性



医療的ケアの必要性は他と比べて身体障害者手帳所持者で「はい（必要である）」が高くなっている。

図 2-2 【経年比較】医療的ケアの必要性



医療的ケアの必要性を経年比較で見ると、2022年度は2020年度と比べ「はい（必要である）」が8.1ポイント減少し、「いいえ（必要でない）」が8.7ポイント増加している。

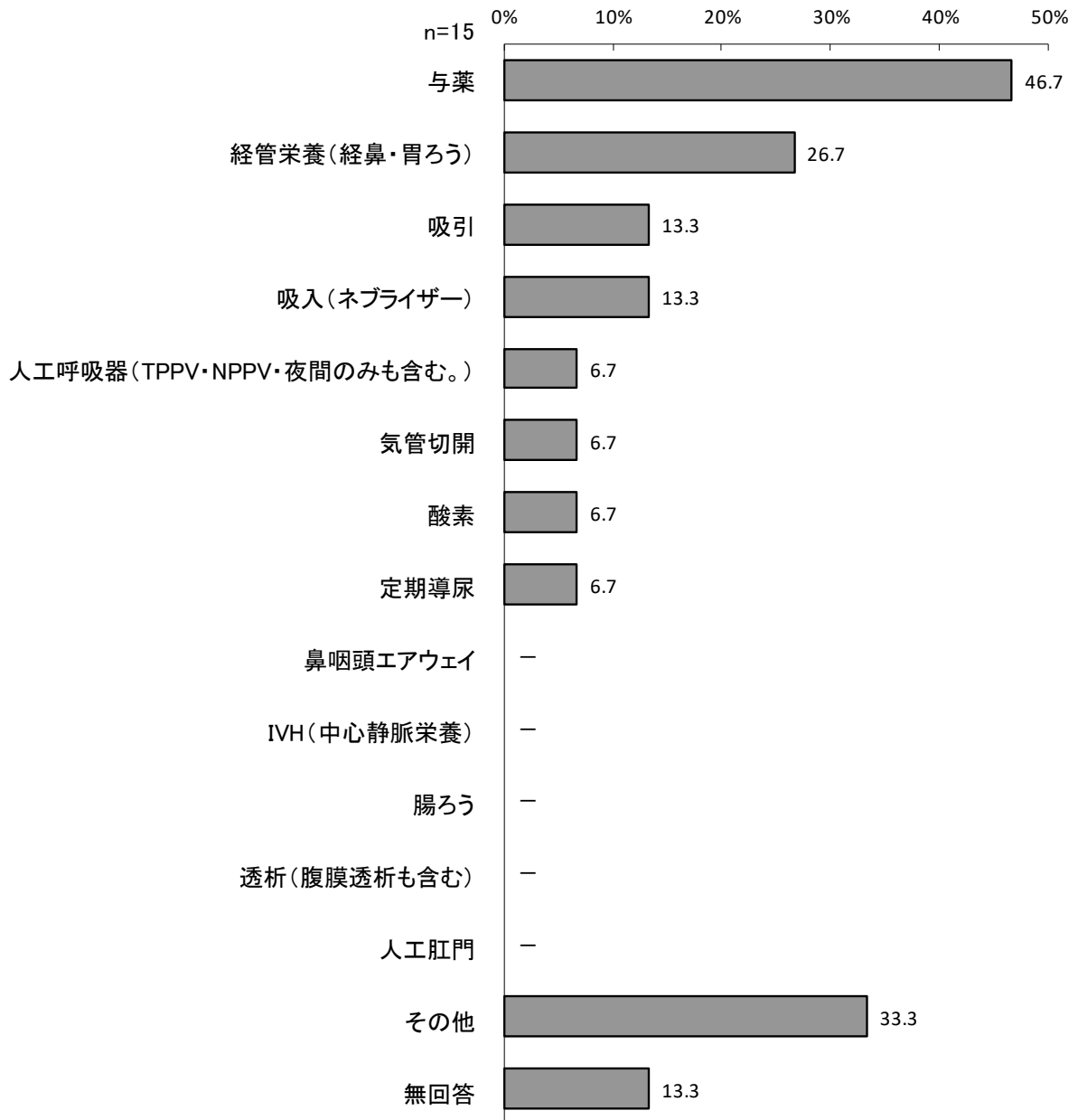
2.1.1. 医療的ケアの内容

◆日常的に必要な医療的ケアは「与薬」が最も高い

(問5で「1. はい」とお答えの方に)

問5-1. 日常的にどのような医療的ケアが必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 2-3 医療的ケアの内容



日常的に必要な医療的ケアは「与薬」が最も高く、次いで「経管栄養(経鼻・胃ろう)」「吸引」「吸入(ネブライザー)」となっている。

図 2-4 【経年比較】 上位 5 項目 医療的ケアの内容

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=15	与薬 46.7	経管栄養(経鼻・胃ろう) 26.7	吸引／吸入(ネブライザー) 13.3		人工呼吸器(TPPV・NPPV・夜間のみも含む)／気管切開／酸素／定期導尿 6.7
2020年度 n=42	与薬 31.0	吸引 28.6	経管栄養(経鼻・胃ろう) 26.2	吸入(ネブライザー) 23.8	気管切開 16.7
2017年度 n=21	与薬 57.1	吸入(ネブライザー) 23.8	酸素 19.0	人工呼吸(TPPV・NPPV・夜間のみも含む)／吸引／経管栄養(経鼻・胃ろう) 14.3	

基数が少ないため、経年比較は参考までの掲載とする。



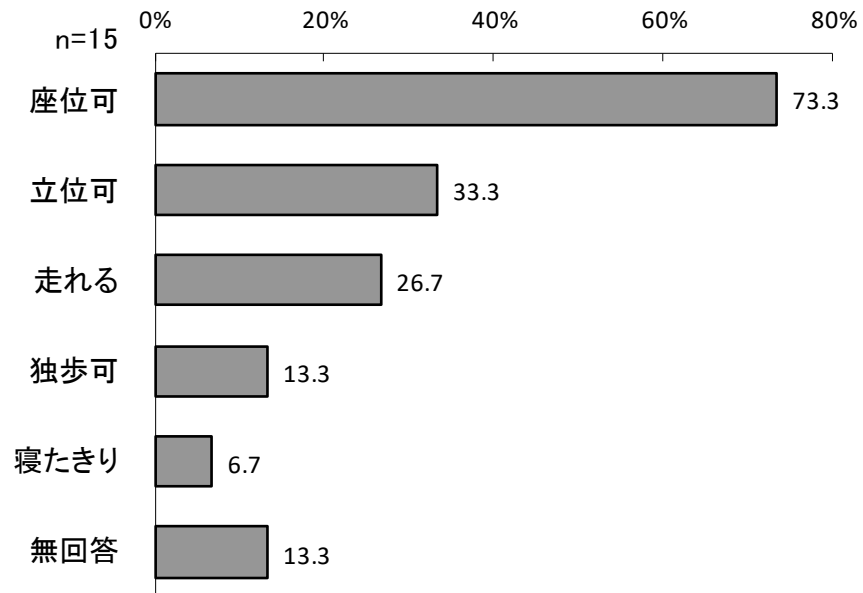
2.1.2. 身体能力について

◆医療的ケアが「必要である」方の身体能力については「座位可」が最も高い

(問5で「1. はい」とお答えの方に)

問5-2. 身体能力についてお答えください。(あてはるものすべてに○)

図 2-5 身体能力について



身体能力は「座位可」が最も高く、次いで「立位可」「走れる」「独歩可」となっている。

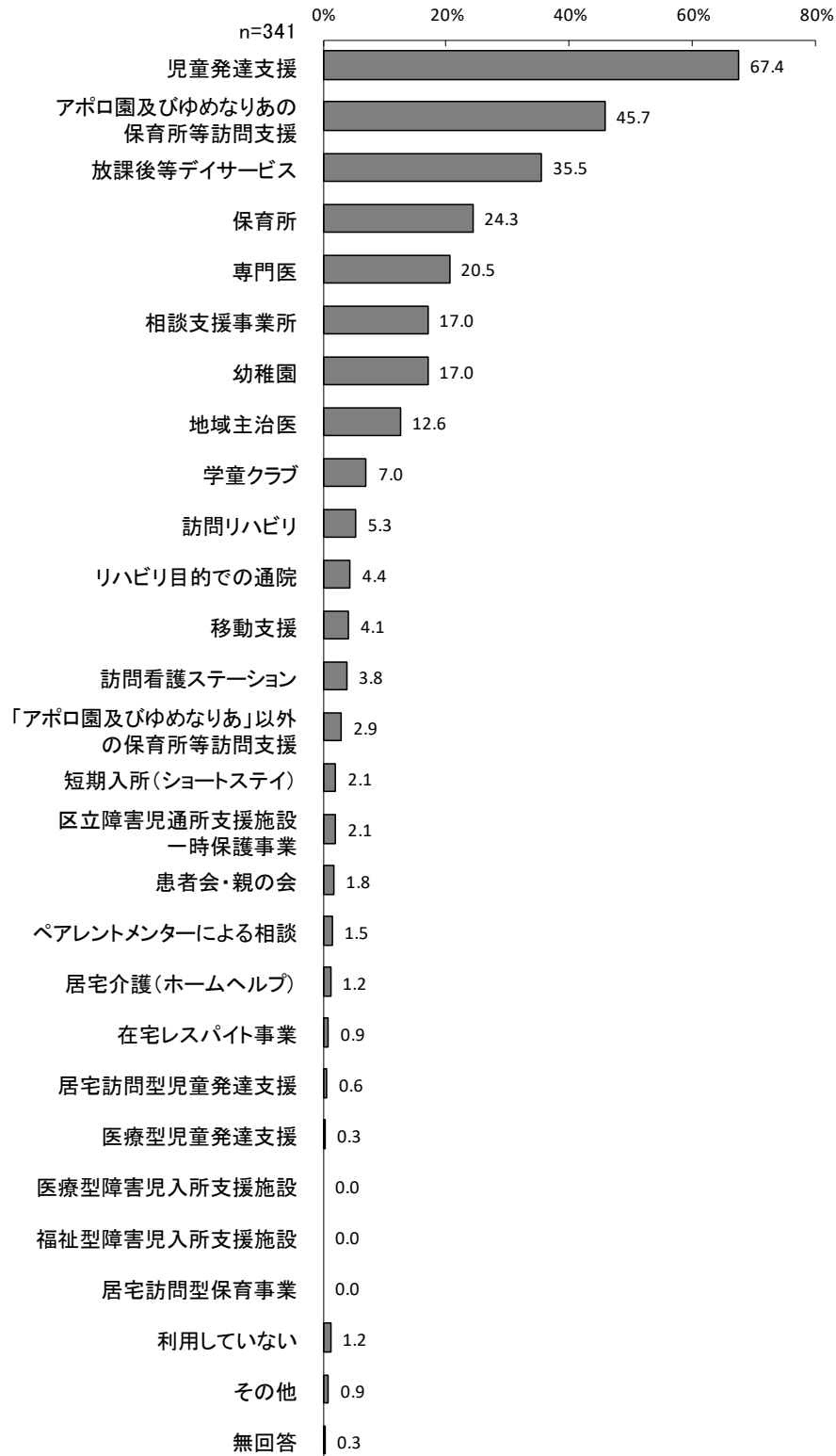
2.2. サービス等の利用状況

◆サービス等の利用状況は「児童発達支援」が6割台後半

(全員の方に)

問4. 次のサービス等を現在、利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

図 2-6 サービス等の利用状況



サービス等の利用状況は、「児童発達支援」が最も高く、次いで「アポロ園及びゆめなりあの保育所等訪問支援」「放課後等デイサービス」「保育所」となっている。

図 2-7 【経年比較】上位 5 項目 サービス等の利用状況

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=341	児童発達支援 67.4	アポロ園及びゆめなりあの保育所等訪問支援 45.7	放課後等デイサービス 35.5	保育所 24.3	専門医 20.5
2020年度 n=337	放課後等デイサービス 44.2	専門医 28.8	児童発達支援 16.3	相談支援事業所 11.6	アポロ園及びゆめなりあの保育園等巡回訪問支援 11.3
2017年度 n=287	児童発達支援 34.1	専門医 31.4	放課後等デイサービス 30.3	幼稚園 12.9	移動支援 11.1

サービス等の利用状況を経年比較でみると、2022年度は2020年度に比べ「児童発達支援」の割合が高くなっている。また、2021年度から開始した「アポロ園及びゆめなりあの保育所等訪問支援」も高い割合となっている。

図 2-8 【年齢別】サービス等の利用状況

(%)

区分	有効回答数(件)	児童発達支援	アポロ園及びゆめなりの保育所等訪問支援	放課後等デイサービス	保育所	専門医	相談支援事業所	幼稚園	地域主治医	学童クラブ	訪問リハビリ
全体	341	67.4	45.7	35.5	24.3	20.5	17.0	17.0	12.6	7.0	5.3
0～5歳	180	96.1	76.7	—	37.2	11.7	10.0	27.8	9.4	0.6	6.1
6～9歳	94	39.4	14.9	74.5	12.8	37.2	26.6	6.4	23.4	21.3	5.3
10～14歳	41	24.4	—	87.8	—	24.4	24.4	—	4.9	4.9	2.4
15～18歳	13	23.1	—	76.9	—	15.4	23.1	—	7.7	—	—

区分	通院リハビリ目的での	移動支援	訪問看護ステーション	アポロ園及びゆめなりの保育所等訪問支援以外の	短期入所(ショートステイ)	区立障害児通所支援施設一時保護事業	患者会・親の会	ペアレントメンターによる相談	居宅介護(ホームヘルプ)	在宅レスパイト事業	居宅訪問型児童発達支援
全体	4.4	4.1	3.8	2.9	2.1	2.1	1.8	1.5	1.2	0.9	0.6
0～5歳	2.8	—	5.0	5.0	1.1	1.1	1.1	0.6	0.6	0.6	0.6
6～9歳	6.4	8.5	—	1.1	—	3.2	3.2	3.2	1.1	1.1	—
10～14歳	7.3	4.9	4.9	—	4.9	—	2.4	—	2.4	—	—
15～18歳	—	23.1	—	—	15.4	7.7	—	7.7	—	—	—

区分	医療型児童発達支援	医療型障害児入所支援施設	福祉型障害児入所施設	居宅訪問型保育事業	利用していない	その他	無回答
全体	0.3	—	—	—	1.2	0.9	0.3
0～5歳	—	—	—	—	0.6	0.6	—
6～9歳	1.1	—	—	—	—	—	—
10～14歳	—	—	—	—	4.9	2.4	—
15～18歳	—	—	—	—	7.7	—	7.7

図 2-9 【所持手帳別】サービス等の利用状況

(%)

区分	有効回答数 (件)	児童発達支援	アポロ園及び ゆめなりの 保育所等訪問 支援	放課後等 デイサービス	保育所	専門医	相談支援事業所	幼稚園	地域主治医	学童クラブ	訪問リハビリ
全体	341	67.4	45.7	35.5	24.3	20.5	17.0	17.0	12.6	7.0	5.3
手帳非所持者	263	73.0	52.9	29.3	26.2	14.4	12.5	19.8	9.5	6.5	2.3
身体障害者手帳(軽度)	6	83.3	50.0	16.7	33.3	83.3	33.3	—	33.3	—	16.7
身体障害者手帳(重度)	13	61.5	15.4	30.8	23.1	61.5	53.8	7.7	30.8	—	38.5
愛の手帳	60	45.0	23.3	63.3	15.0	30.0	23.3	8.3	18.3	11.7	11.7
精神障害者保健福祉手帳	4	25.0	—	75.0	25.0	75.0	75.0	—	50.0	—	—

区分	通院 リハビリ 目的での	移動 支援	訪問 看護 ステーション	アポロ園及び ゆめなりの 保育所等訪問 支援	短期入所 (ショートステイ)	区立障害児 通所支援 施設一時 保護事業	患者会・親の会	ペアレント メンター による相談	居宅介護 (ホームヘルプ)	在宅レス パイト事業	居宅訪問型 児童発達 支援
全体	4.4	4.1	3.8	2.9	2.1	2.1	1.8	1.5	1.2	0.9	0.6
手帳非所持者	1.1	1.5	0.8	3.4	0.4	1.9	0.8	1.9	—	0.4	0.4
身体障害者手帳(軽度)	16.7	—	16.7	—	—	—	16.7	—	—	—	—
身体障害者手帳(重度)	46.2	30.8	46.2	—	15.4	7.7	7.7	—	23.1	7.7	—
愛の手帳	8.3	11.7	8.3	1.7	8.3	—	3.3	—	1.7	1.7	1.7
精神障害者保健福祉手帳	—	25.0	—	—	25.0	25.0	—	—	—	—	—

区分	医療型 児童発達 支援	医療型 障害児 入所 施設	福祉型 障害児 入所 施設	居宅 訪問型 保育 事業	利用 してい ない	その他	無 回 答
全体	0.3	—	—	—	1.2	0.9	0.3
手帳非所持者	—	—	—	—	1.5	1.1	0.4
身体障害者手帳(軽度)	16.7	—	—	—	—	—	—
身体障害者手帳(重度)	—	—	—	—	—	—	—
愛の手帳	—	—	—	—	—	—	—
精神障害者保健福祉手帳	—	—	—	—	—	—	—

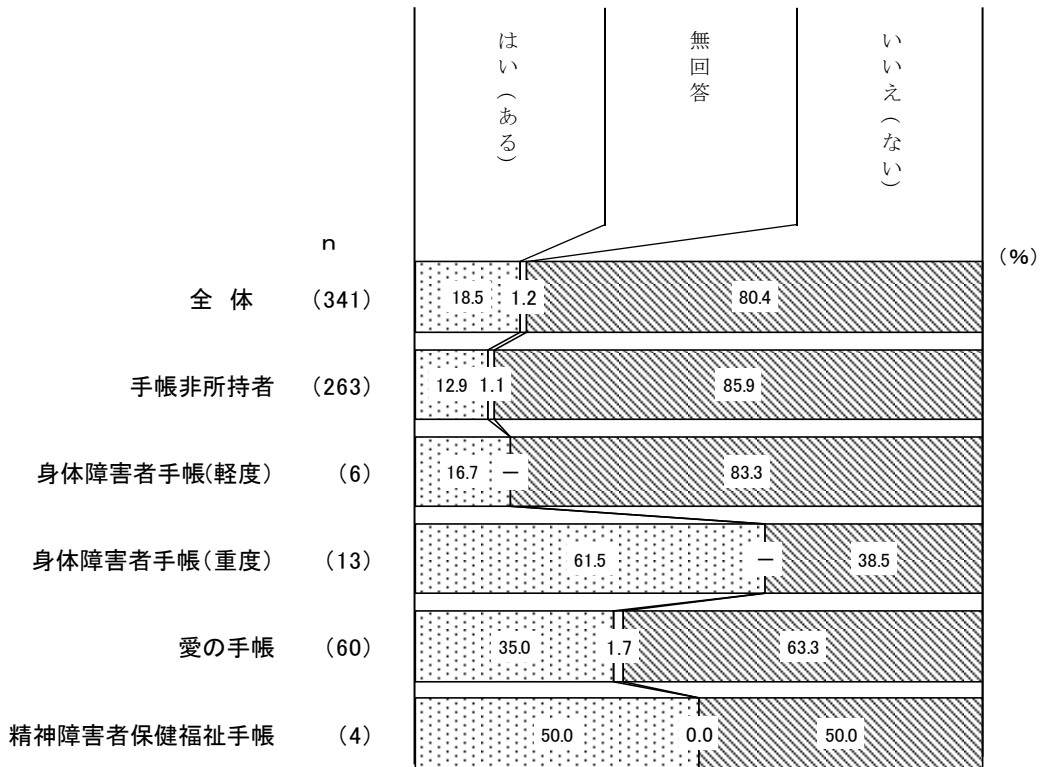
2.2.1. これまで利用できなかったサービス等の有無

◆これまで利用できなかったサービス等は「ない」が約8割

(全員の方に)

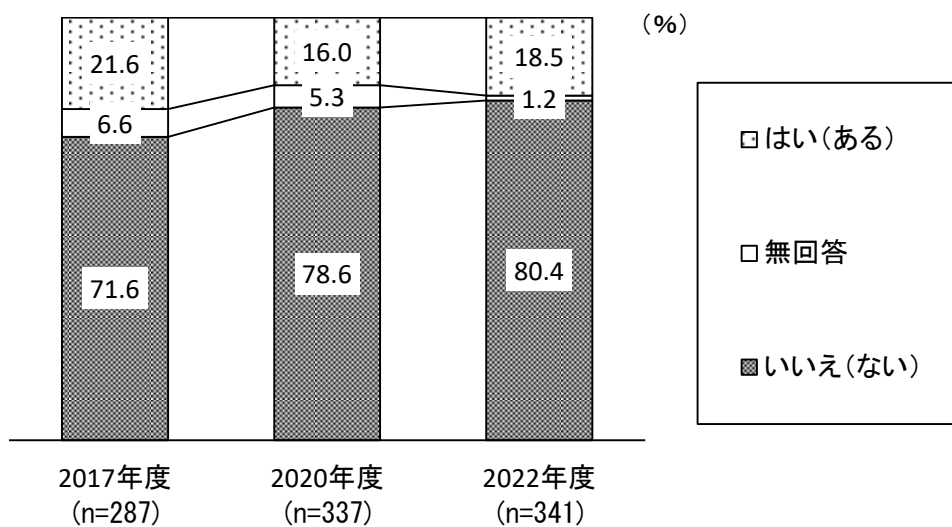
問4-1. これまで利用できなかったサービス等がありますか。(○は1つ)

図2-10 【所持手帳別】これまで利用できなかったサービス等の有無



これまで利用できなかったサービス等の有無は、他と比べて身体障害者手帳所持者（重度）で「はい(ある)」の割合が高くなっている。

図2-11 【経年比較】これまで利用できなかったサービス等の有無



これまで利用できなかったサービス等の有無について、2022年度と2020年度では大きな変化はみられない。

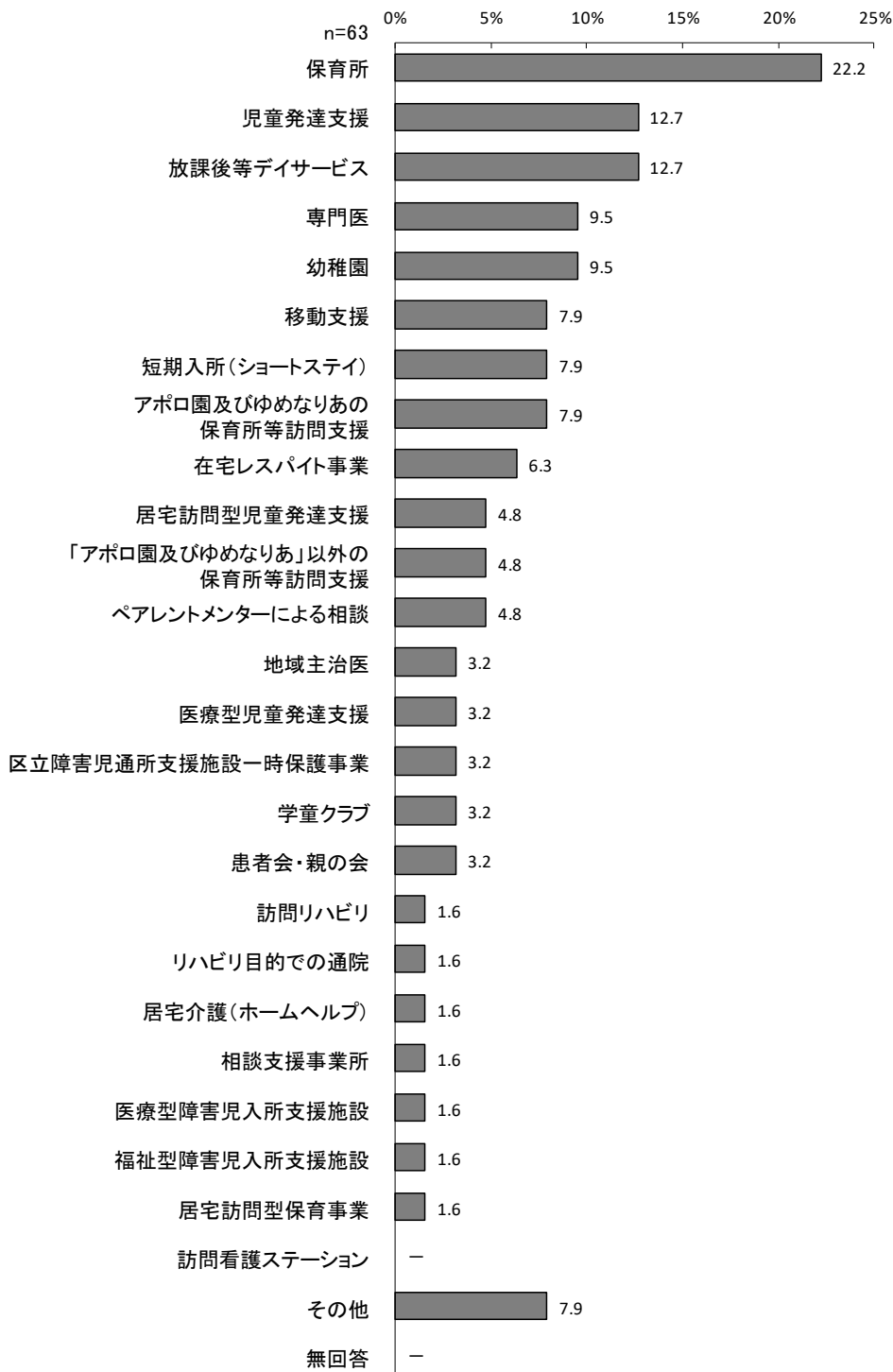
2.2.2. 利用できなかったサービス等

◆利用できなかったサービス等は「保育所」が2割台前半

(問4-1で「1. はい」とお答えの方に)

問4-2. 利用できなかったサービス等は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図2-12 利用できなかったサービス等



利用できなかったサービス等は「保育所」が最も高く、次いで「児童発達支援」「放課後等デイサービス」「専門医」「幼稚園」となっている。

図 2-13 【経年比較】上位 5 項目 利用できなかったサービス等

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=63	保育所 22.2	児童発達支援／放課後等デイサービス 12.7	専門医／幼稚園 9.5		
2020年度 n=54	短期入所(ショートステイ)／幼稚園 18.5	保育所 16.7	放課後等デイサービス／学童クラブ 14.8		
2017年度 n=62	幼稚園 25.8	保育所 24.2	児童発達支援 19.4	短期入所 11.3	移動支援 9.7

利用できなかったサービス等を経年比較でみると、2022年度は2020年度と比べ「保育所」「児童発達支援」が増加している。



### 3. 児童福祉法のサービスについて

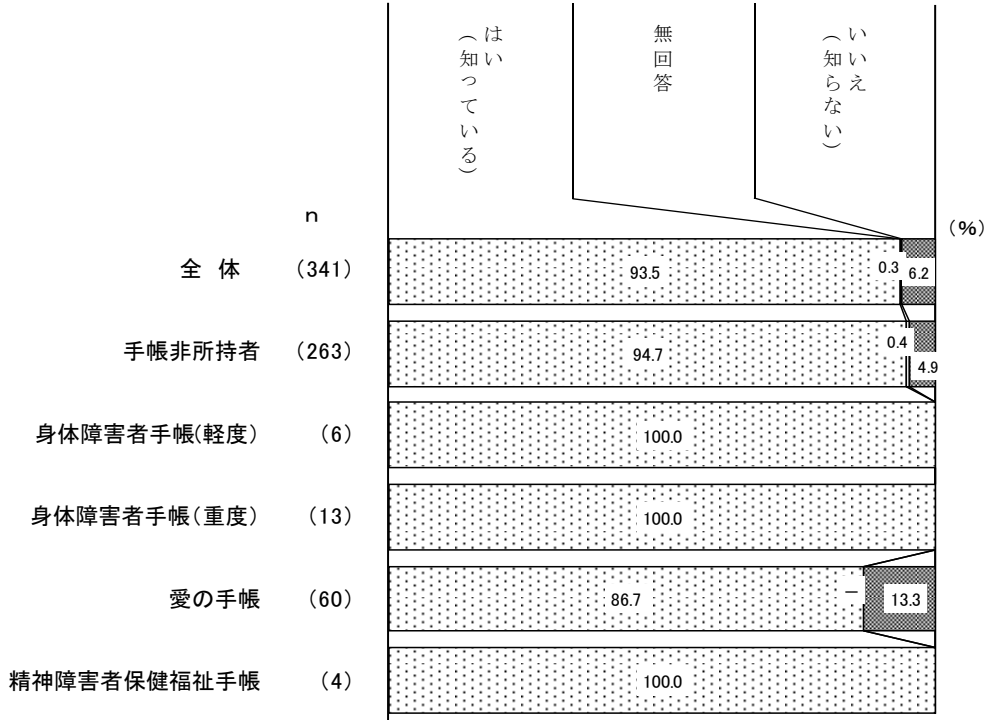
#### 3.1. 児童発達支援の認知度

##### ◆児童発達支援を「知っている」方は9割台前半

(全員の方に)

問7. 児童発達支援について、これまでに見たり聞いたりして知っていましたか。(〇は1つ)

図 3-1 【所持手帳別】 児童発達支援の認知度



児童発達支援の認知度は、「はい」の割合が9割台前半となっている。

図 3-2 【年齢別】 児童発達支援の認知度

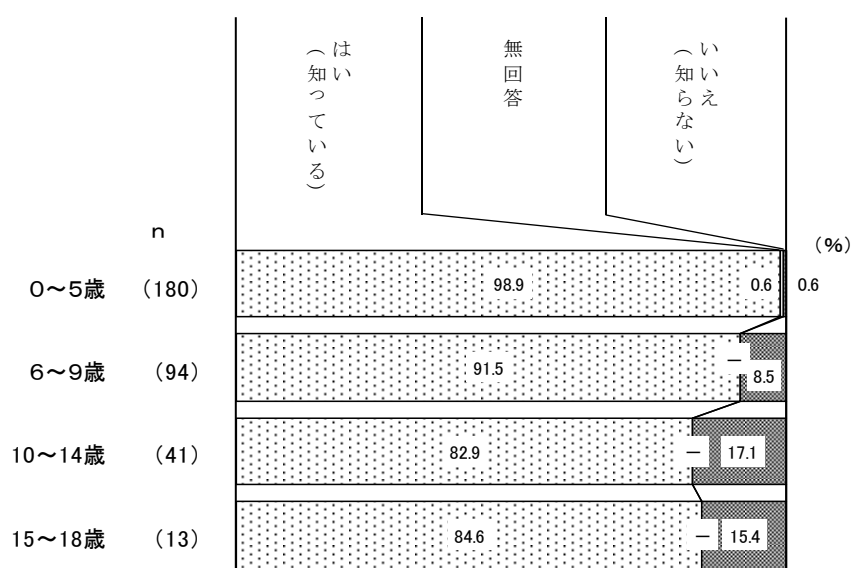
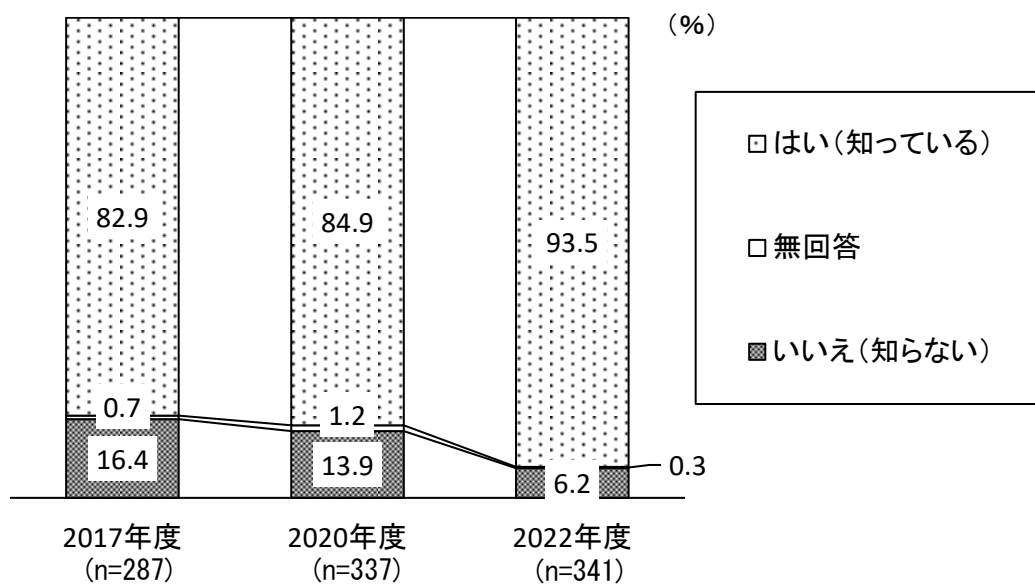


図 3-3 【経年比較】 児童発達支援の認知度



児童発達支援の認知度を経年比較で見ると、2022年度は2020年度と比べ「はい(知っている)」が8.6ポイント増加し、「いいえ(知らない)」が7.7ポイント減少している。

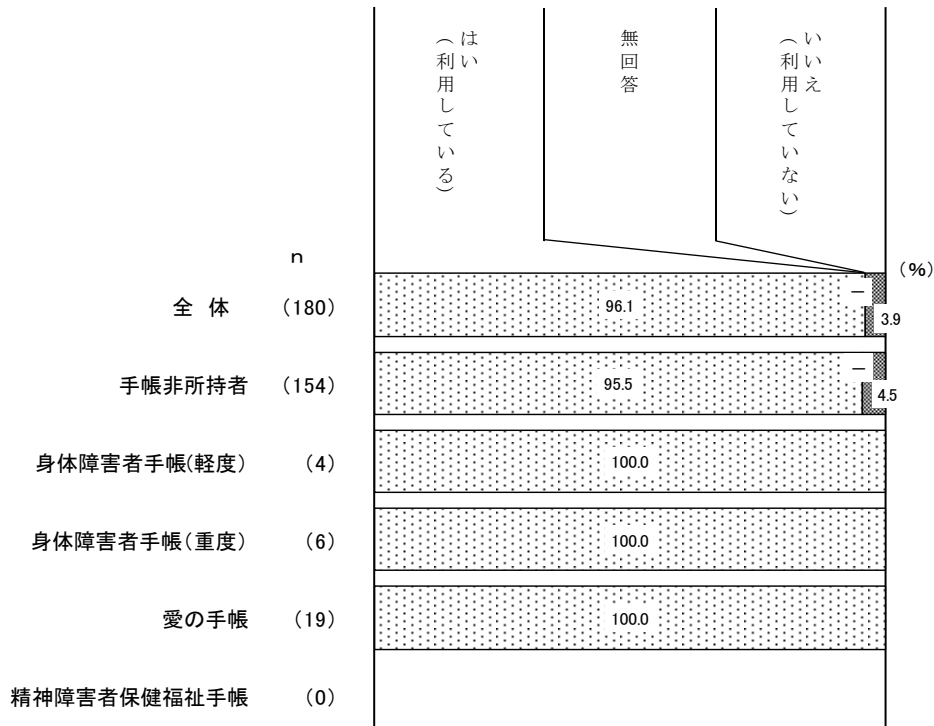
3.2. 児童発達支援の利用状況

◆児童発達支援を「利用している」方は9割台半ば

(全員の方に)

問8. 児童発達支援を現在、利用していますか。(○は1つ)

図3-4 【所持手帳別】児童発達支援の利用状況(5歳以下)



児童発達支援の利用の有無は、5歳以下で「はい(利用している)」の割合が9割台半ばとなっている。

図3-5 【年齢別】児童発達支援の利用状況(5歳以下)

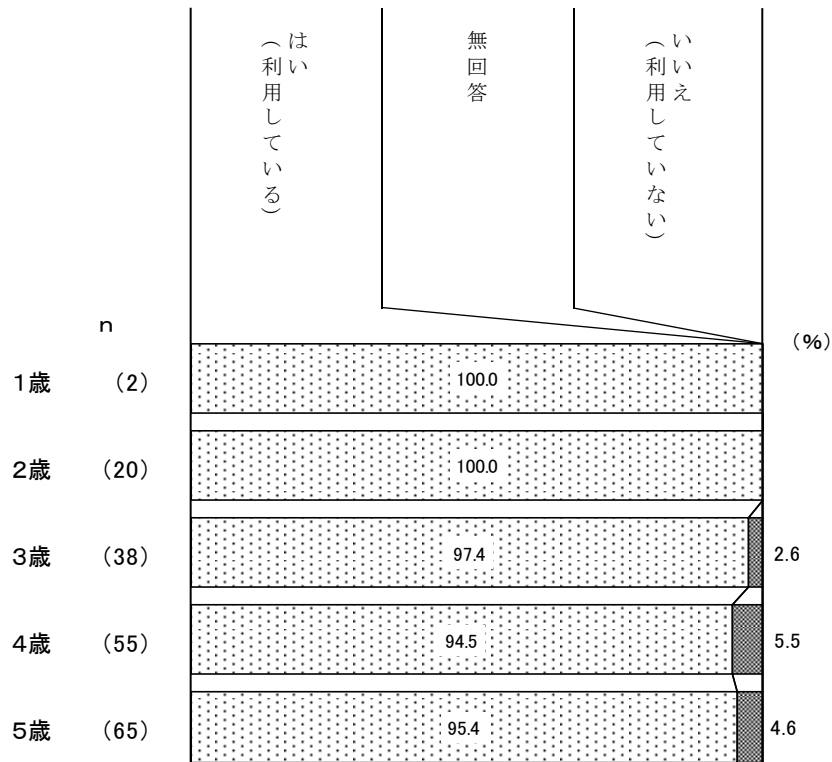
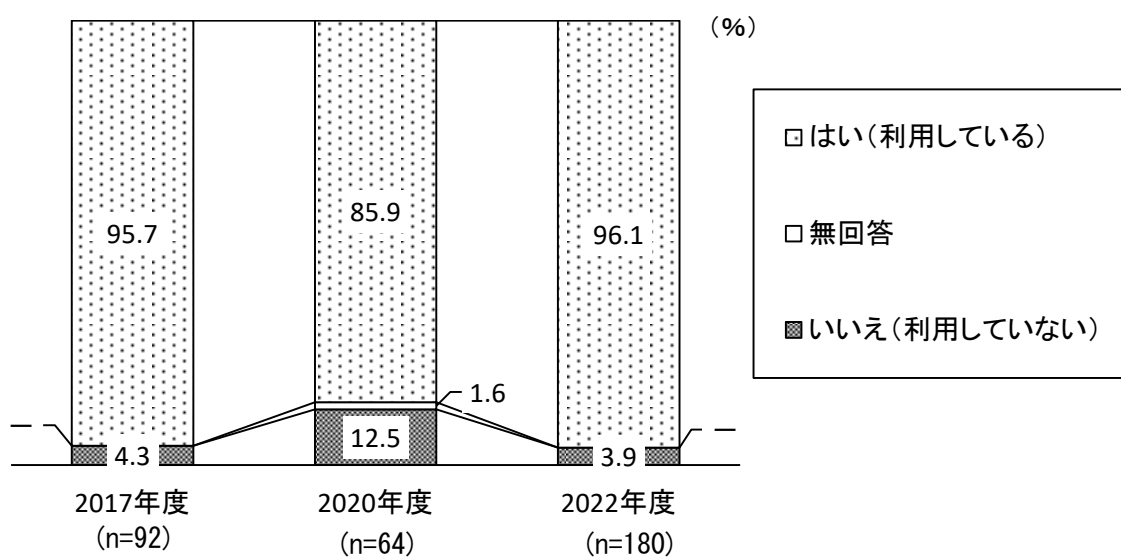


図 3-6 【経年変化】児童発達支援の利用状況（5歳以下）



児童発達支援の利用の有無を経年比較でみると、2022年度は2020年度と比べ「はい(利用している)」が10.2ポイント増加し、「いいえ(利用していない)」が8.6ポイント減少している。

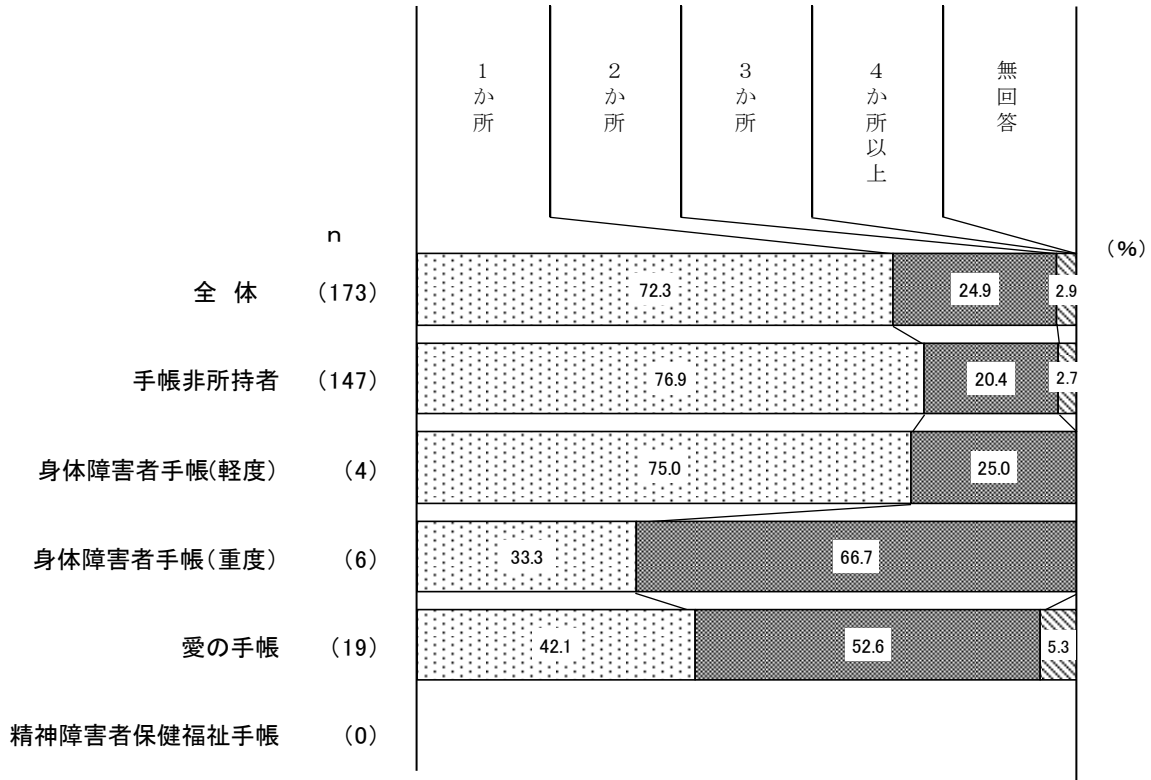
3.2.1. 利用している児童発達支援事業所数

◆利用している児童発達支援事業所は「1か所」の利用が7割台前半

(問8で「1. はい」とお答えの方に)

問8-1. 現在、利用している児童発達支援事業所は何か所ですか。(〇は1つ)

図3-7 【所持手帳別】利用している児童発達支援事業所(5歳以下)



現在、利用している児童発達支援事業所は、5歳以下の全体で「1か所」が7割台前半、「2か所」が2割台半ばとなっている。

図3-8 【年齢別】利用している児童発達支援事業所数(5歳以下)

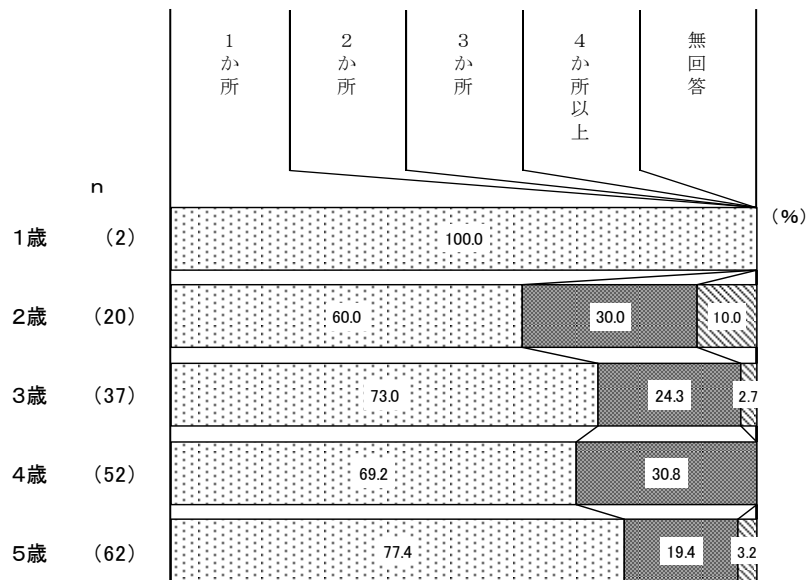
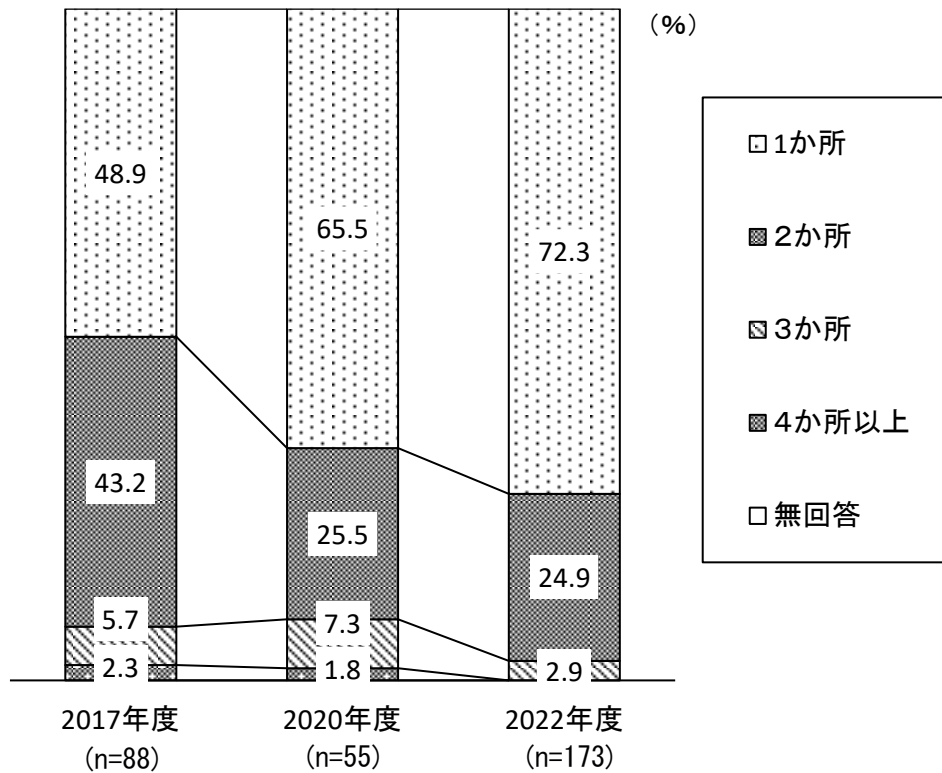


図 3-9 【経年比較】利用している児童発達支援事業所数（5歳以下）



利用している児童発達支援事業所を経年比較でみると、2022年度は2020年度と比べ「1か所」が6.8ポイント増加しているのに対し、「2か所」が微減、「3か所」は4.4ポイント減少している。

3.2.2. 児童発達支援事業所に通う日数

◆児童発達支援事業所に通う日数は「月に2、3日」が約4割

(問8で「1. はい」とお答えの方に)

問8-2. 現在、利用している児童発達支援事業所には、週にどの程度通われていますか。複数か所利用している場合は、全部合わせた日数をお答えください。(〇は1つ)

図3-10 【所持手帳別】児童発達支援事業所に通う日数(5歳以下)

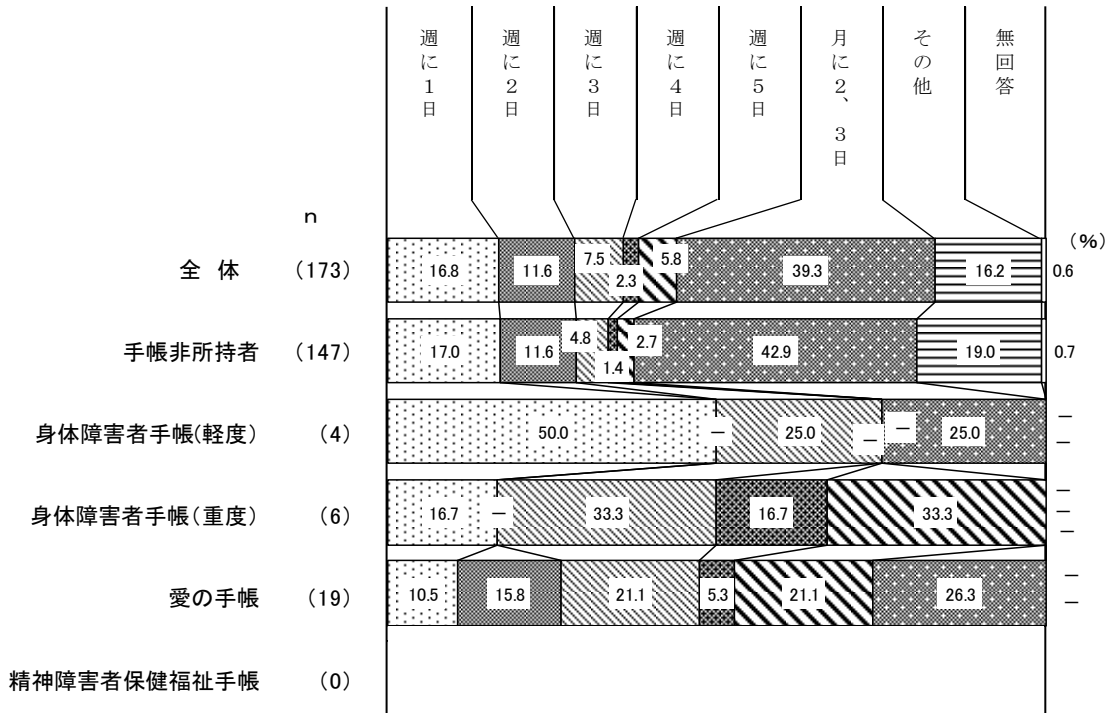
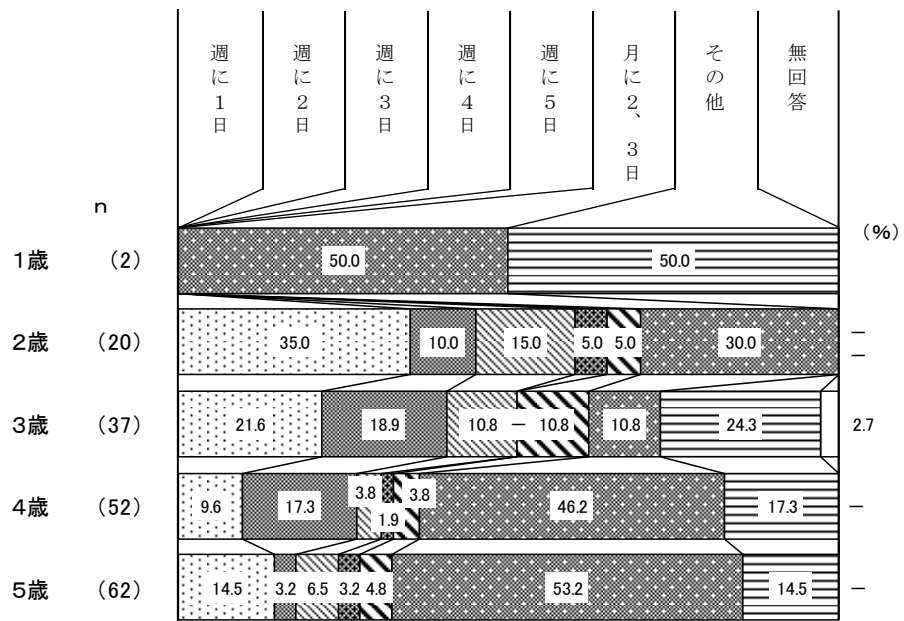


図3-11 【年齢別】児童発達支援事業所に通う日数(5歳以下)



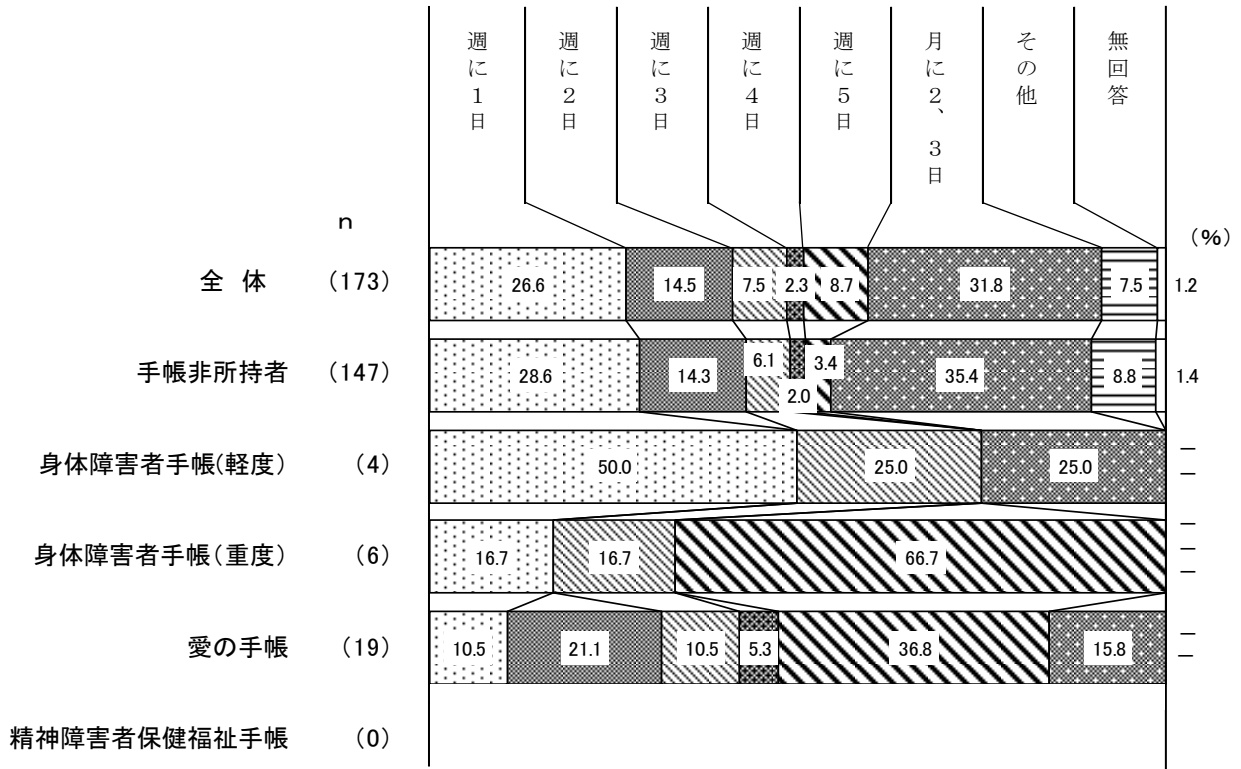
3.2.3. 児童発達支援を希望する利用日数

◆児童発達支援を希望する利用日数は「月に2、3日」が約3割

(問8で「1. はい」とお答えの方に)

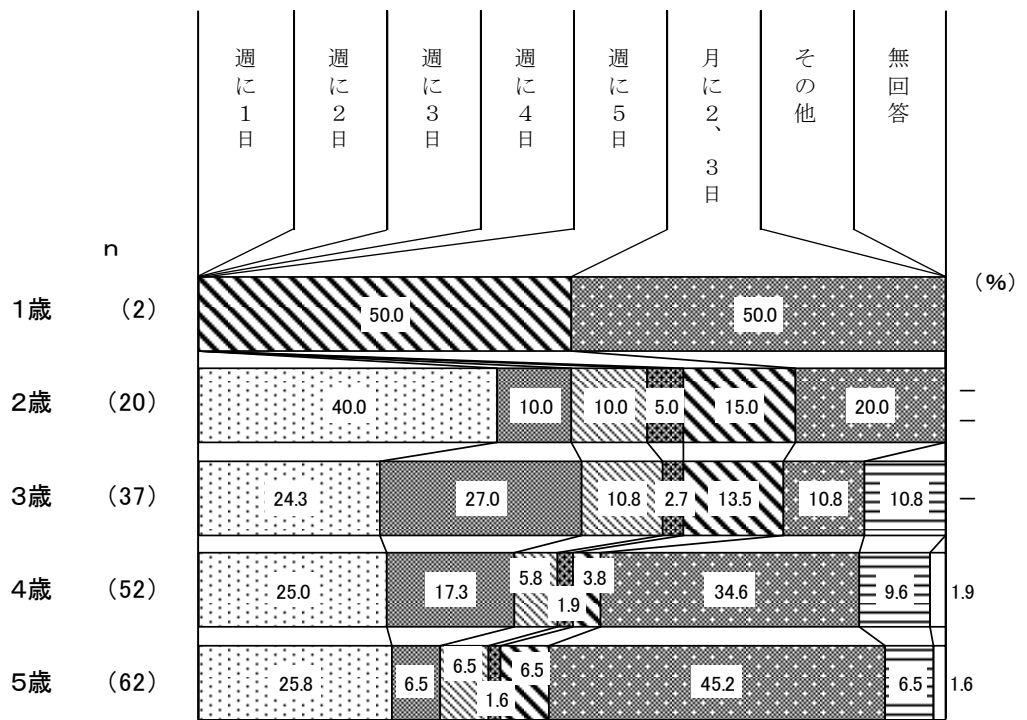
問8-3. 児童発達支援について、希望する利用日数はどの程度ですか。(〇は1つ)

図3-12 【所持手帳別】児童発達支援を希望する利用日数(5歳以下)



児童発達支援を希望する利用日数は、5歳以下で「月に2、3日」が約3割と高くなっている。

図3-13 【年齢別】児童発達支援を希望する利用日数(5歳以下)





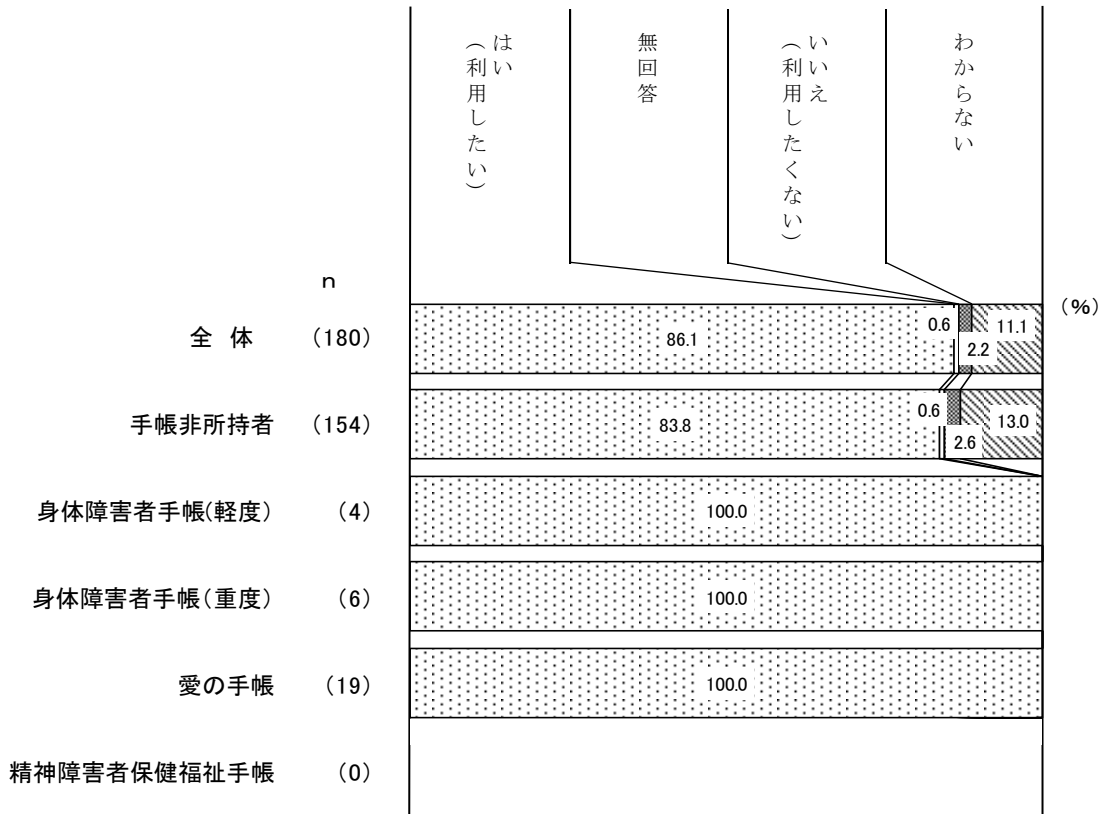
3.3. 児童発達支援の利用意向

◆児童発達支援を今後「利用したい」方は8割台半ば

(全員の方に)

問9. 児童発達支援を今後、利用したいですか。(○は1つ)

図3-14 【所持手帳別】児童発達支援の利用意向(5歳以下)



児童発達支援の利用意向は、5歳以下で「はい(利用したい)」が8割台半ばとなっている。

図3-15 【年齢別】児童発達支援の利用意向(5歳以下)

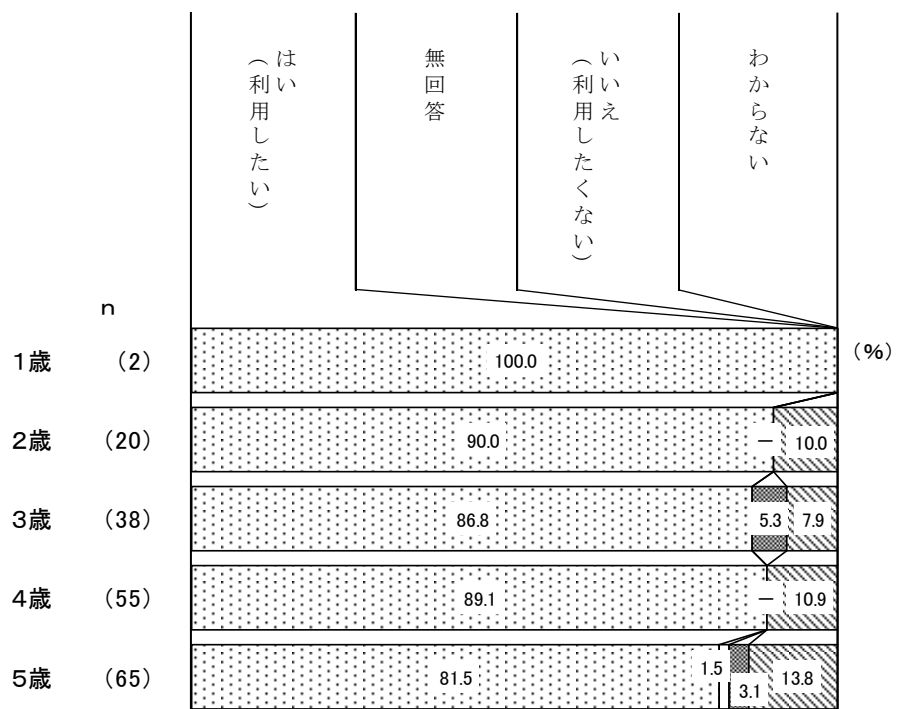
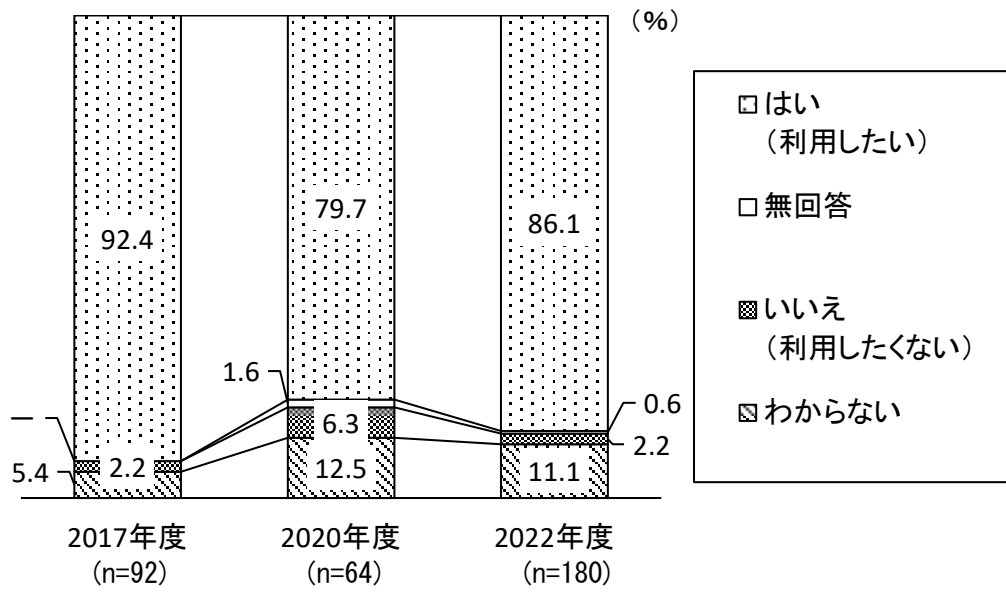


図 3-16 【経年比較】 児童発達支援の利用意向（5歳以下）



児童発達支援の利用意向を経年比較でみると、2022年度は2020年度と比べ、「はい（利用したい）」が6.4ポイント増加している。

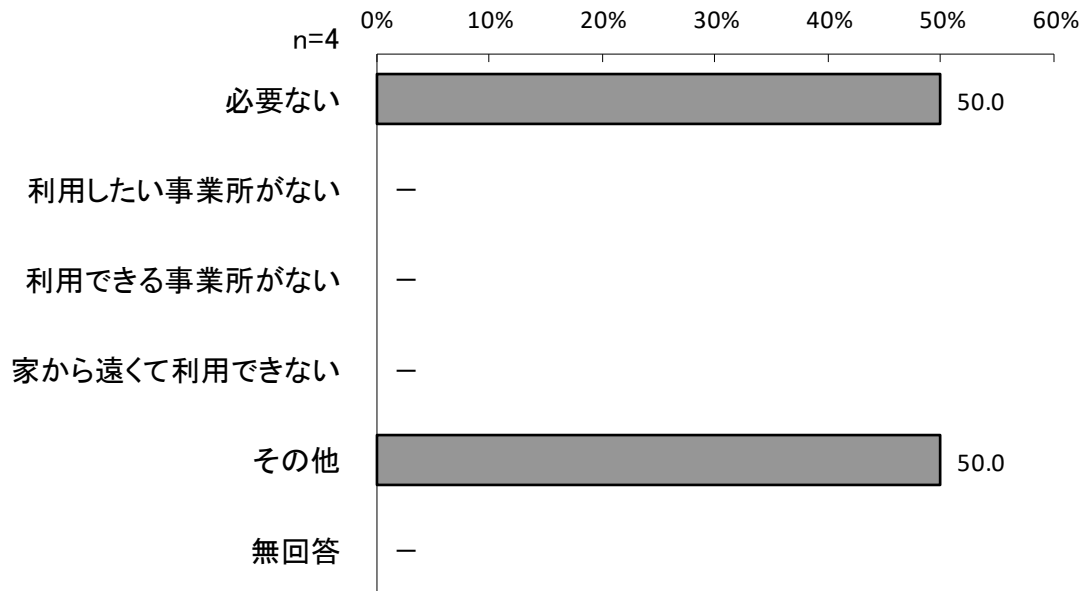
3.3.1. 児童発達支援を利用したくない理由

◆児童発達支援を利用したくない理由は「必要ない」が最も高い

(問9で「2. いいえ」とお答えの方に)

問9-1. 児童発達支援を利用したくない理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

図3-17 児童発達支援を利用したくない理由(5歳以下)



基数が少ないため、グラフは参考までの掲載とする。

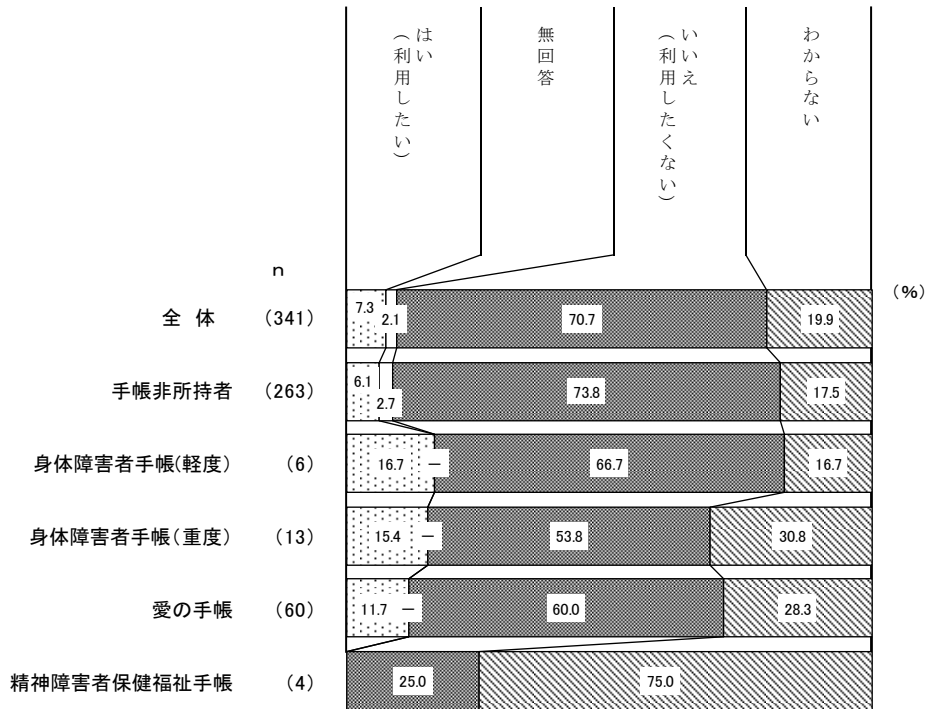
3.4. 居宅訪問型児童発達支援の利用意向

◆居宅訪問型児童発達支援の利用意向は身体障害者手帳所持者で1割台半ば

(全員の方に)

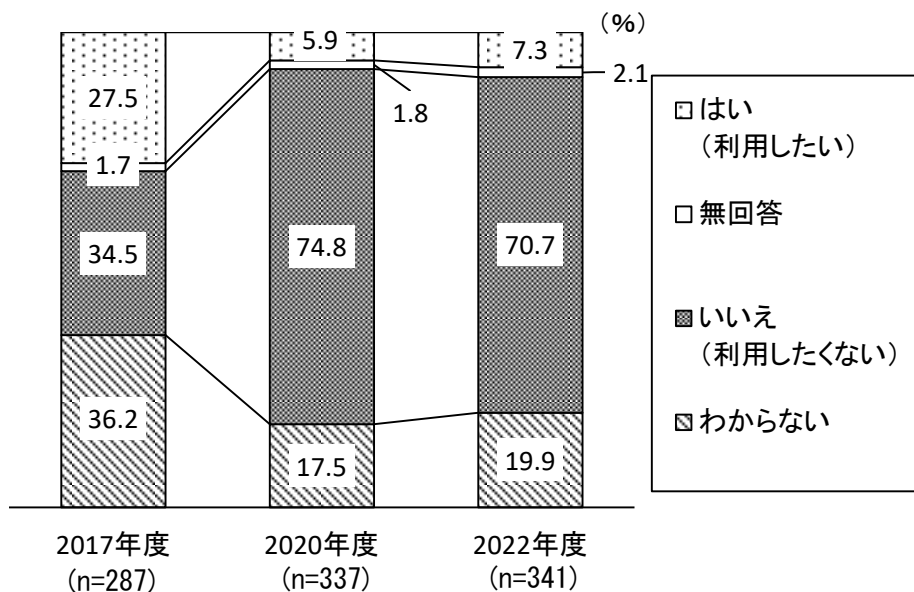
問 10. 居宅訪問型児童発達支援を、今後利用したいですか。(○は1つ)

図 3-18 【所持手帳別】居宅訪問型児童発達支援の利用意向



居宅訪問型児童発達支援の利用意向は、身体障害者手帳所持者(軽度・重度)で「はい(利用したい)」が1割台半ば、愛の手帳所持者で約1割となっている。

図 3-19 【経年比較】居宅訪問型児童発達支援の利用意向



居宅訪問型児童発達支援の利用意向を経年比較でみると、2020年度以降は「いいえ(利用したくない)」が7割を超えている。

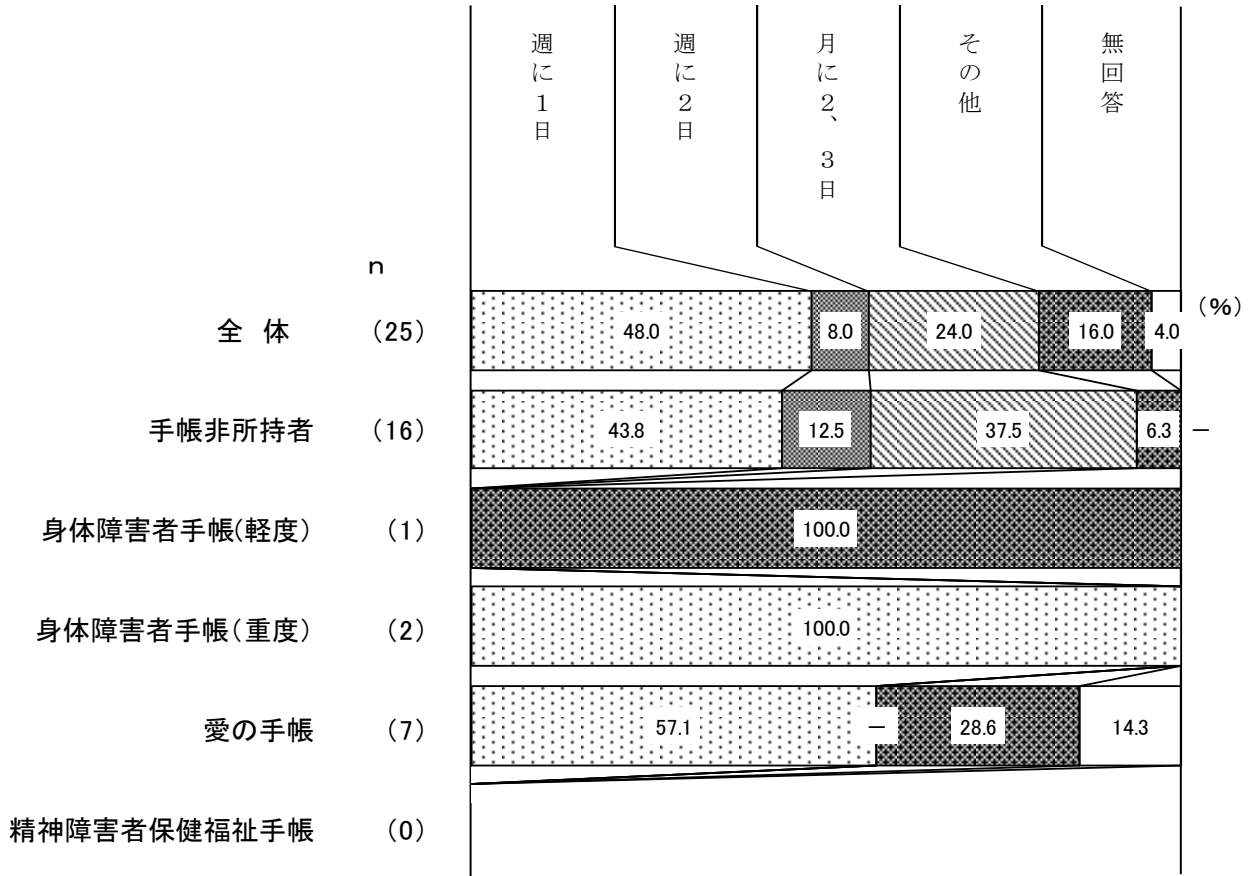
3.4.1. 利用したい日数

◆利用したい日数は「週に1日」が4割台後半

(問10で「1. はい」とお答えの方に)

問10-1. どの程度の日数を利用したいですか。(〇は1つ)

図3-20 【所持手帳別】利用したい日数



基数が少ないため、グラフは参考までの掲載とする。

3.5. 放課後等デイサービスの認知度

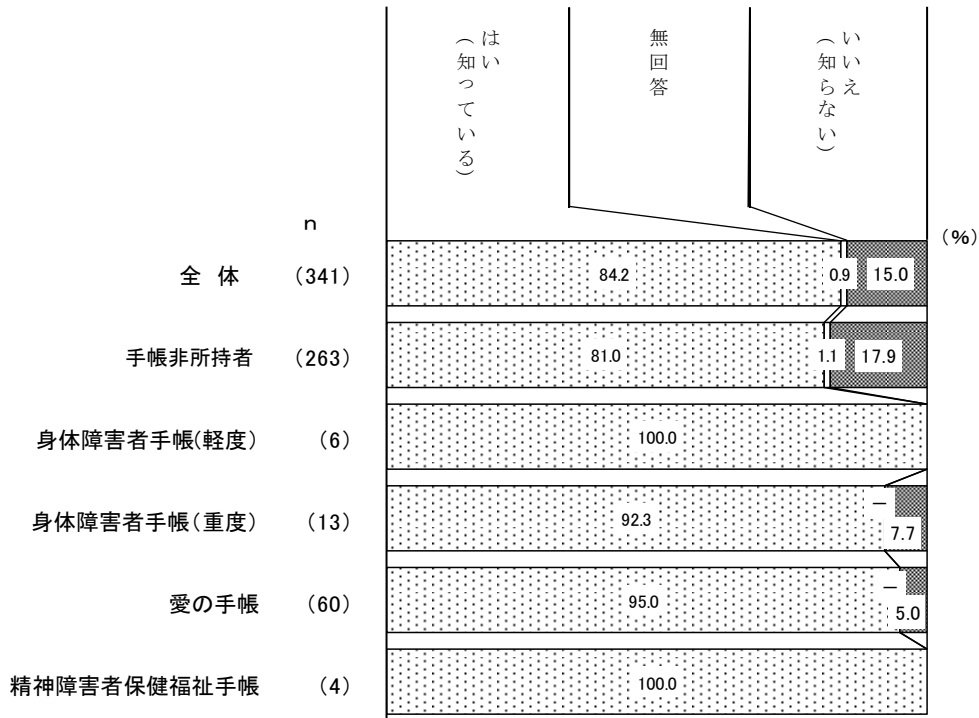
◆放課後等デイサービスを「知っている」方は8割台半ば

(全員の方に)

問11. 放課後等デイサービスについて、これまでに見たり聞いたりして知っていましたか。

(〇は1つ)

図 3-21 【所持手帳別】放課後等デイサービスの認知度



放課後等デイサービスの認知度は、「はい (知っている)」が8割台半ばとなっている。

図 3-22 【所持手帳別】放課後等デイサービスの認知度 (6歳以上)

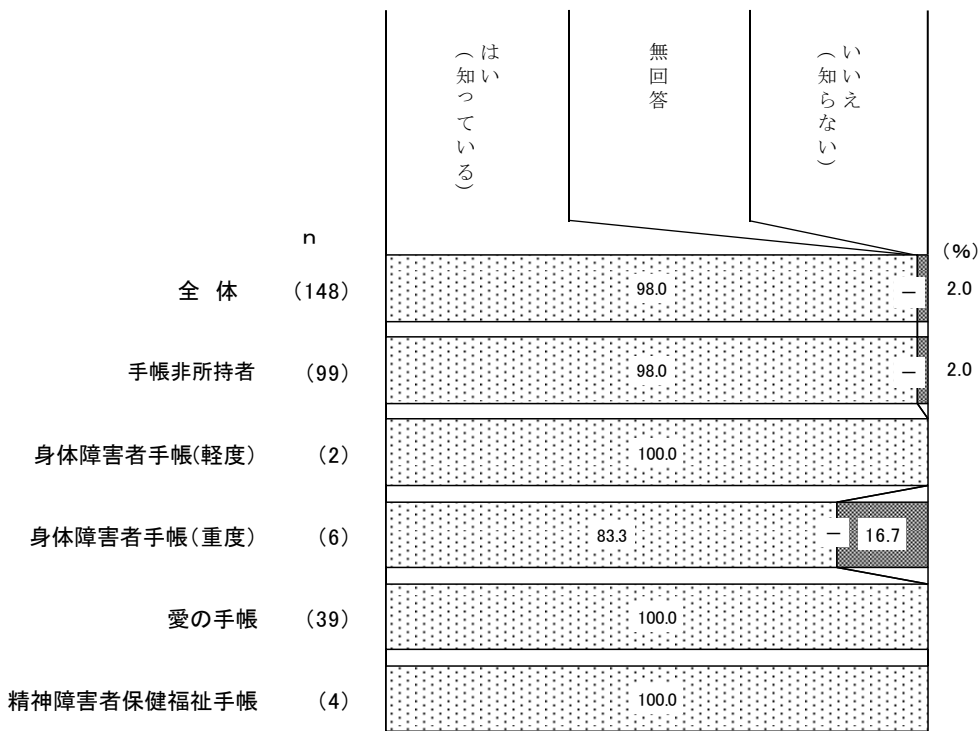


図 3-23 【年齢別】放課後等デイサービスの認知度

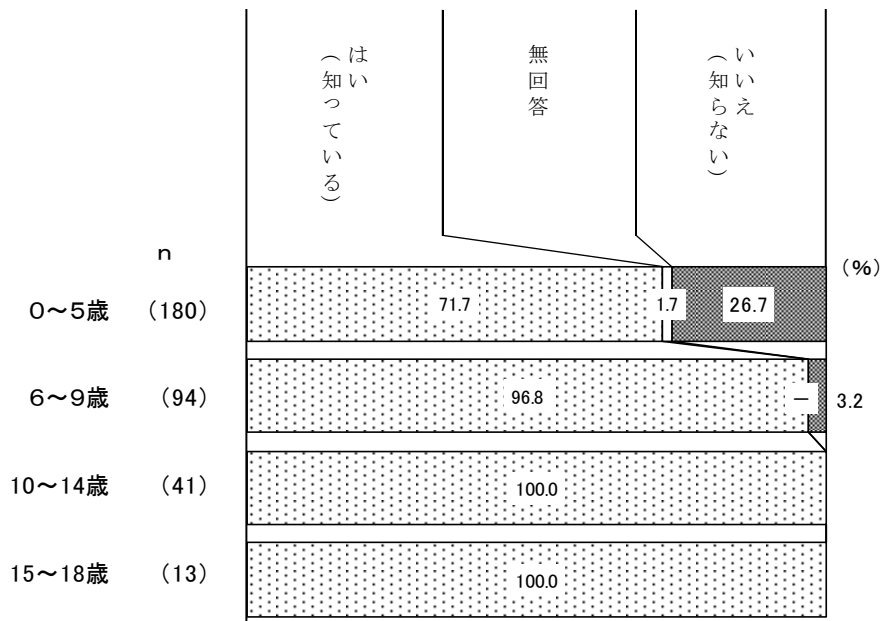
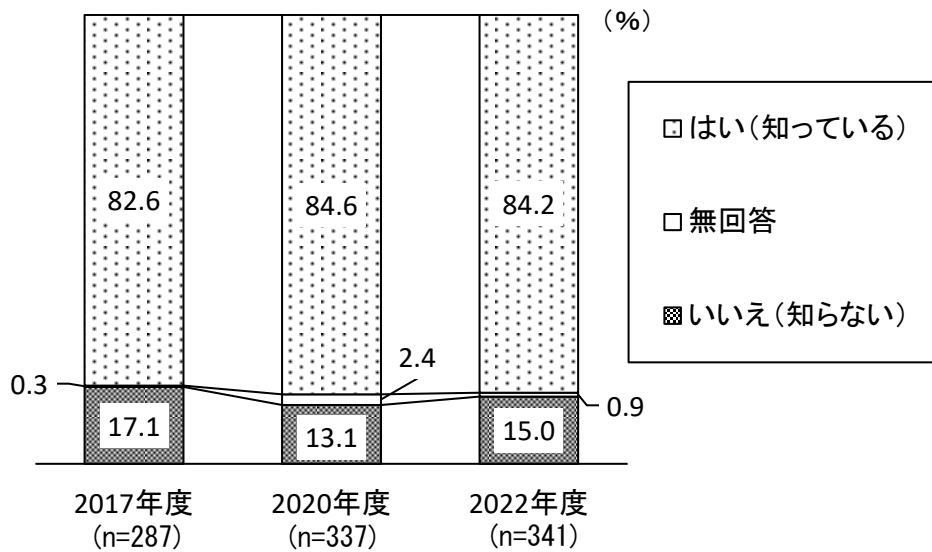


図 3-24 【経年比較】放課後等デイサービスの認知度



放課後等デイサービスの認知度を経年比較でみると、大きな変化はみられない。

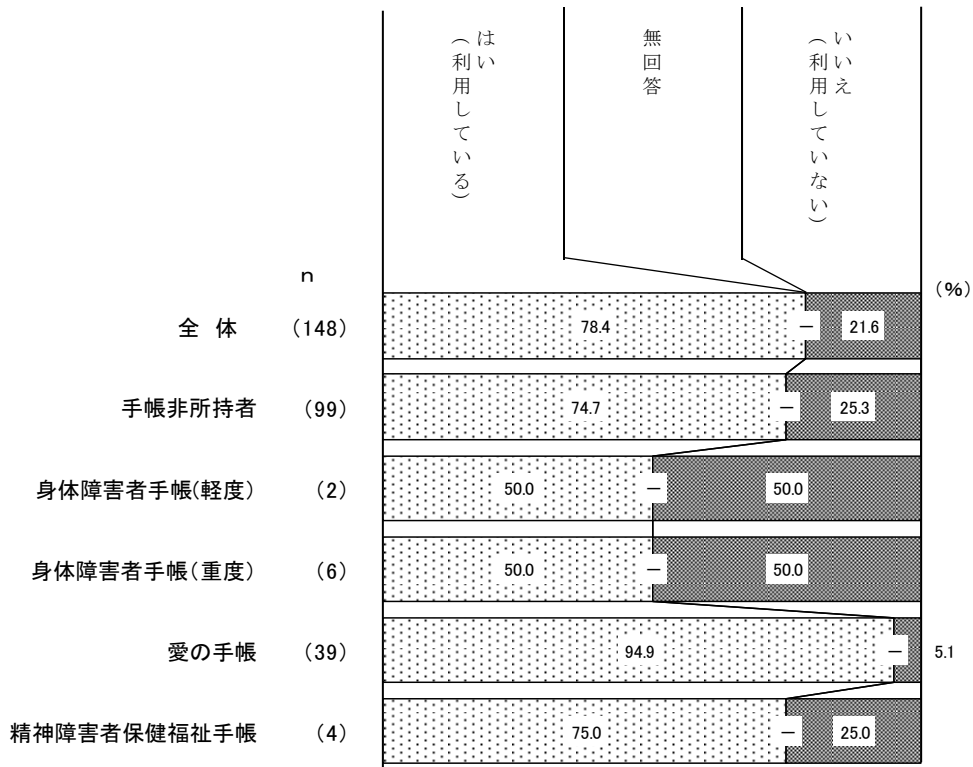
3.6. 放課後等デイサービスの利用状況

◆放課後等デイサービスを「利用している」方は7割台後半

(全員の方に)

問 12. 放課後等デイサービスを現在、利用していますか。(〇は1つ)

図 3-25 【所持手帳別】放課後等デイサービスの利用状況 (6歳以上)



放課後等デイサービスの利用状況は、6歳以上では「はい (利用している)」が7割台後半となっている。

図 3-26 【年齢別】放課後等デイサービスの利用状況 (6歳以上)

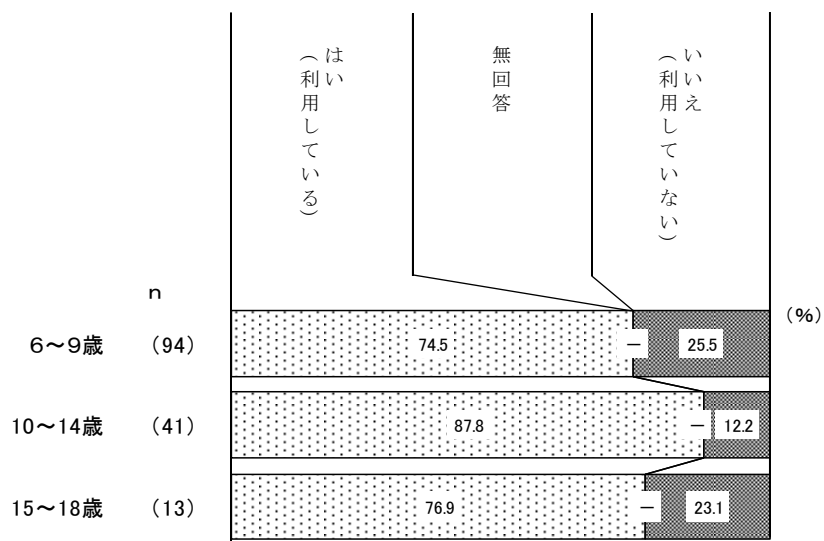
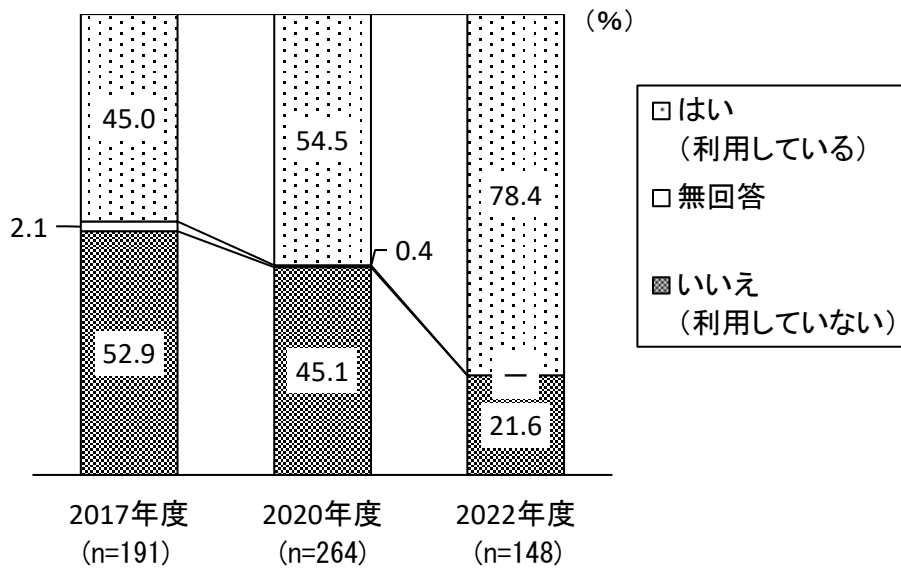




図 3-27 【経年比較】放課後等デイサービスの利用状況（6歳以上）



放課後等デイサービスの利用状況を経年比較でみると、2022年度は2020年度と比べ、「はい（利用している）」が23.9ポイント増加し、「いいえ（利用していない）」が23.5ポイント減少している。

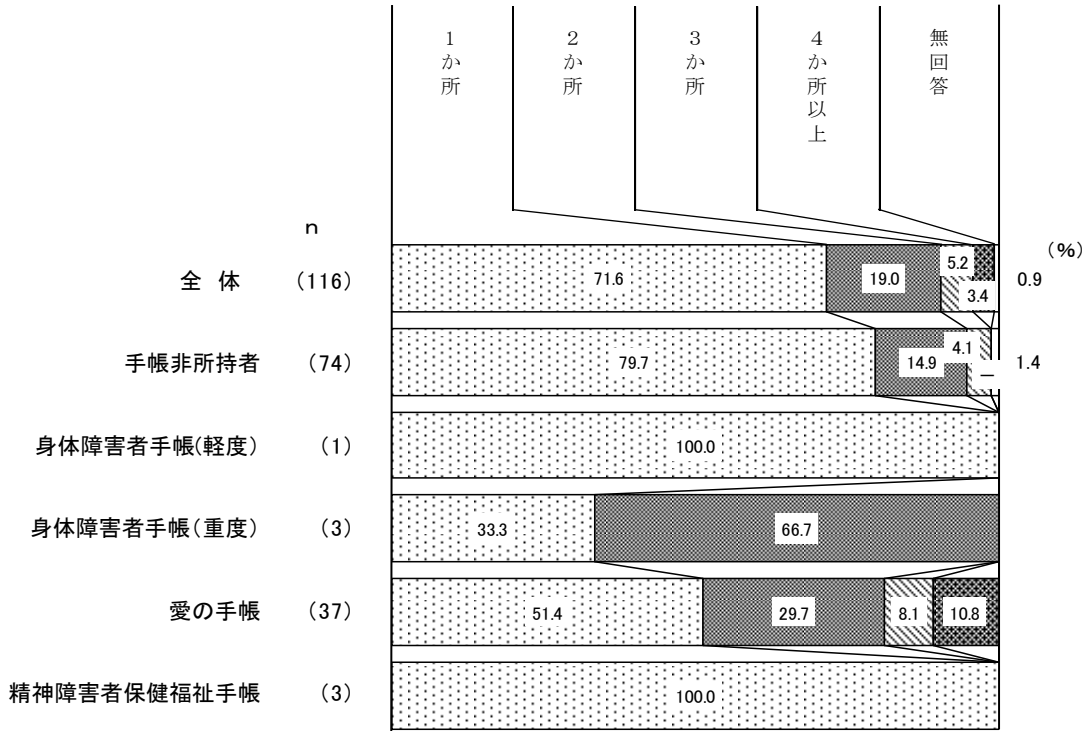
3.6.1. 利用している放課後等デイサービス事業所数

◆現在、利用している放課後等デイサービス事業所は「1か所」が約7割

(問12で「1. はい」とお答えの方に)

問12-1. 現在、利用している放課後等デイサービス事業所は何か所ですか。(〇は1つ)

図3-28 【所持手帳別】利用している放課後等デイサービス事業所(6歳以上)



現在、利用している放課後等デイサービス事業所は、6歳以上では「1か所」が約7割となっている。

図3-29 【年齢別】利用している放課後等デイサービス事業所数(6歳以上)

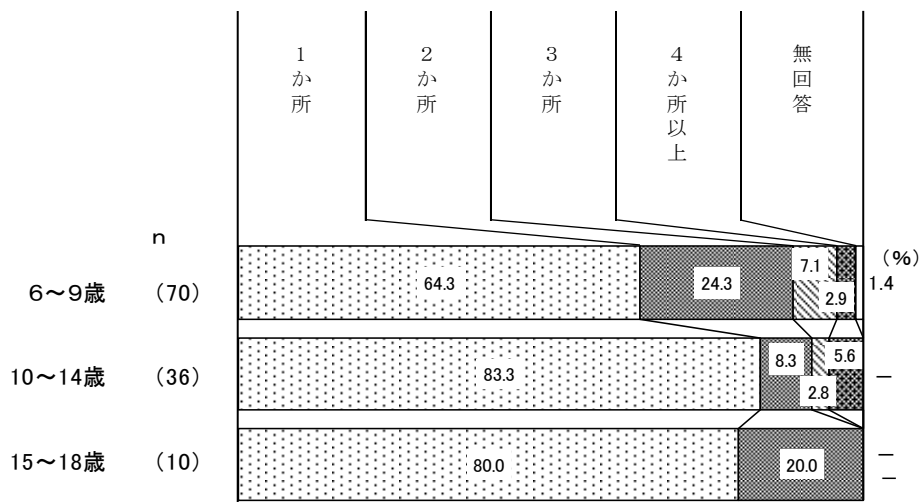
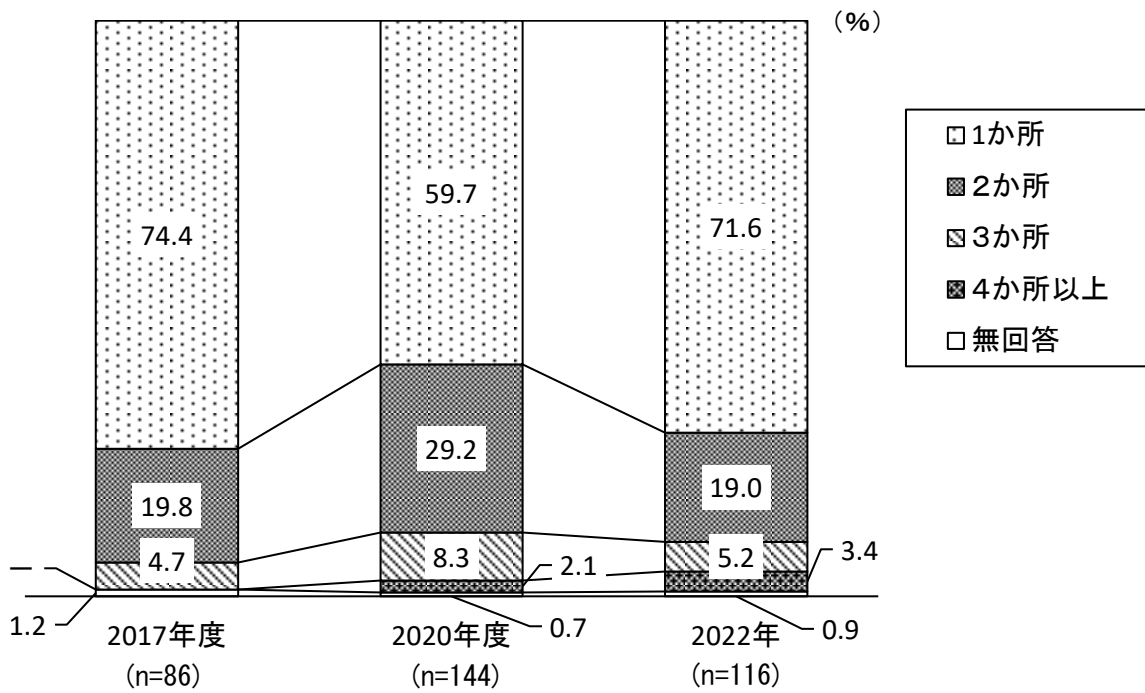


図 3-30 【経年比較】利用している放課後等デイサービス事業所数（6歳以上）



利用している放課後等デイサービス事業所を経年比較でみると、2022年度は2020年度に比べ、「1か所」が11.9ポイント増加し、「2か所」が10.2ポイント減少している。

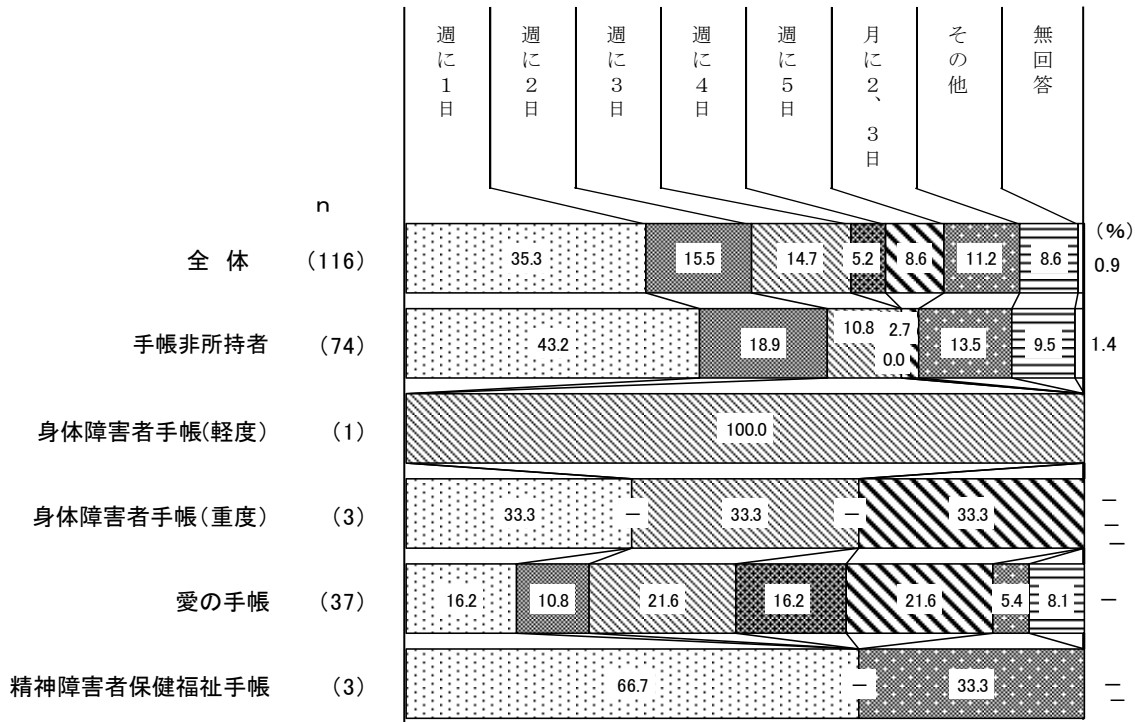
3.6.2. 放課後等デイサービス事業所に通う日数

◆放課後等デイサービス事業所に通う日数は「週1日」「週2日」を合わせて約5割

(問12で「1. はい」とお答えの方に)

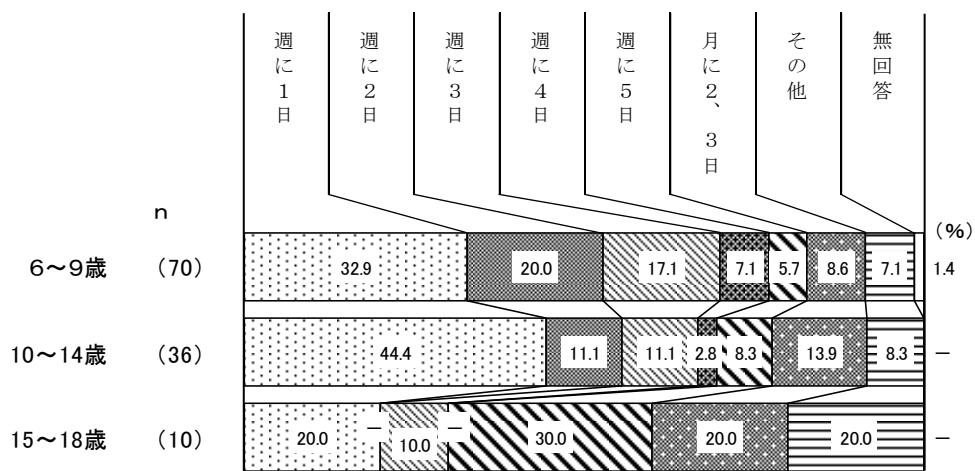
問12-2. 現在、利用している放課後等デイサービス事業所には、週にどの程度通われていますか。複数か所利用している場合は、全部合わせた日数をお答えください。(〇は1つ)

図3-31 【所持手帳別】放課後等デイサービスを希望する利用日数(6歳以上)



放課後等デイサービス事業所に通う利用日数は、6歳以上では「週1日」「週2日」を合わせて約5割となっている。

図3-32 【年齢別】放課後等デイサービス事業所に通う日数(6歳以上)



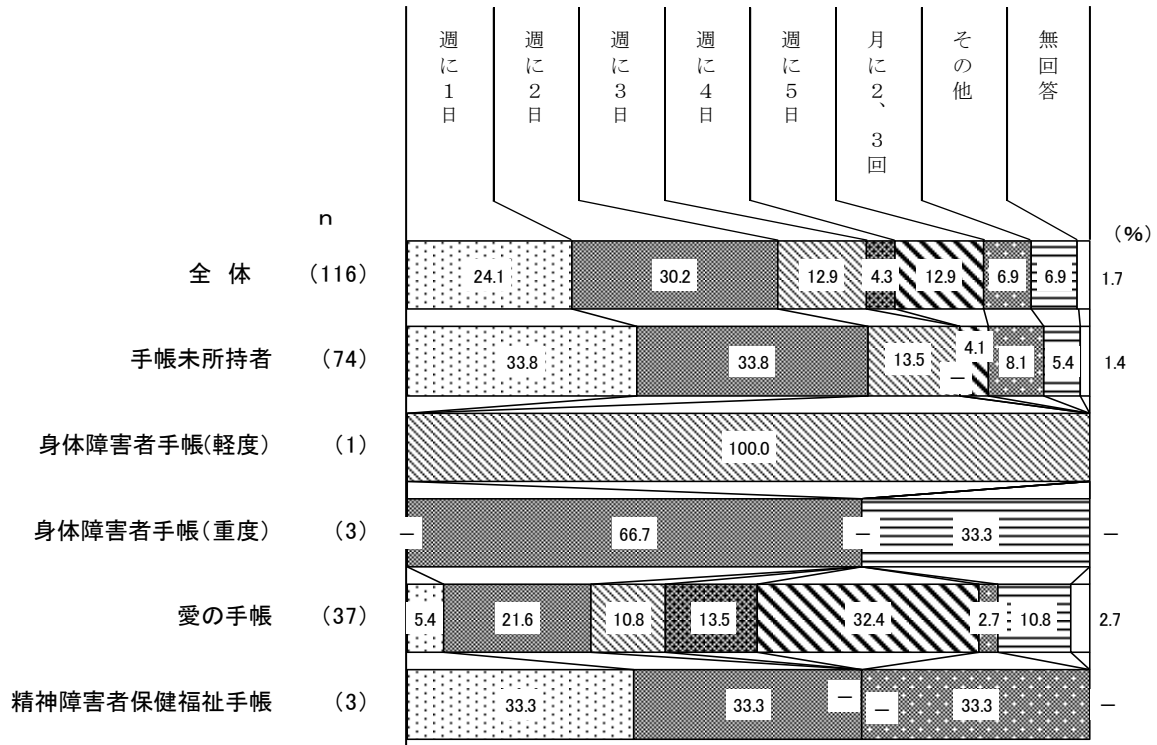
3.6.3. 放課後等デイサービス事業所を希望する利用日数

◆放課後等デイサービスを希望する利用日数は「週に2日」が約3割

(問12で「1. はい」とお答えの方に)

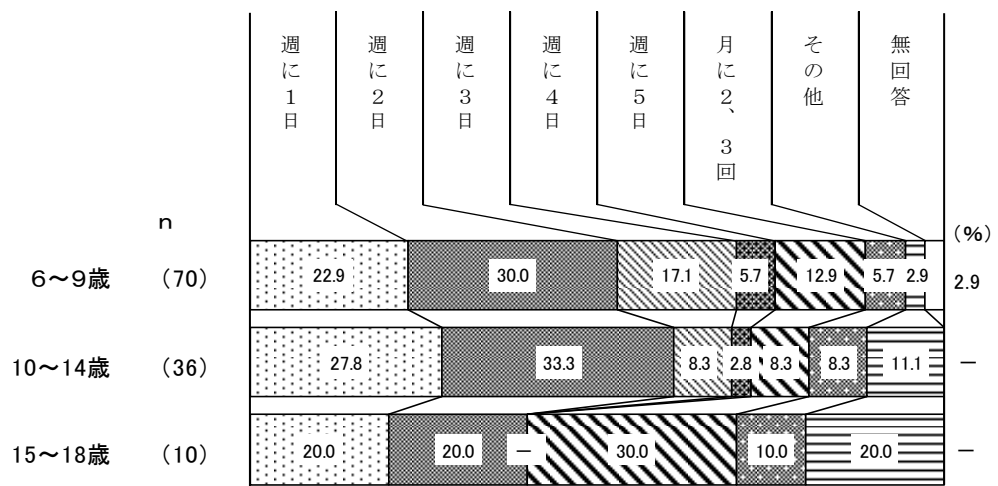
問12-3. 放課後等デイサービスについて、希望する利用日数はどの程度ですか。(〇は1つ)

図3-33 【所持手帳別】放課後等デイサービスを希望する利用日数(6歳以上)



放課後等デイサービスを希望する利用日数は、「週に2日」が約3割と最も高くなっている。

図3-34 【年齢別】放課後等デイサービスを希望する利用日数(6歳以上)



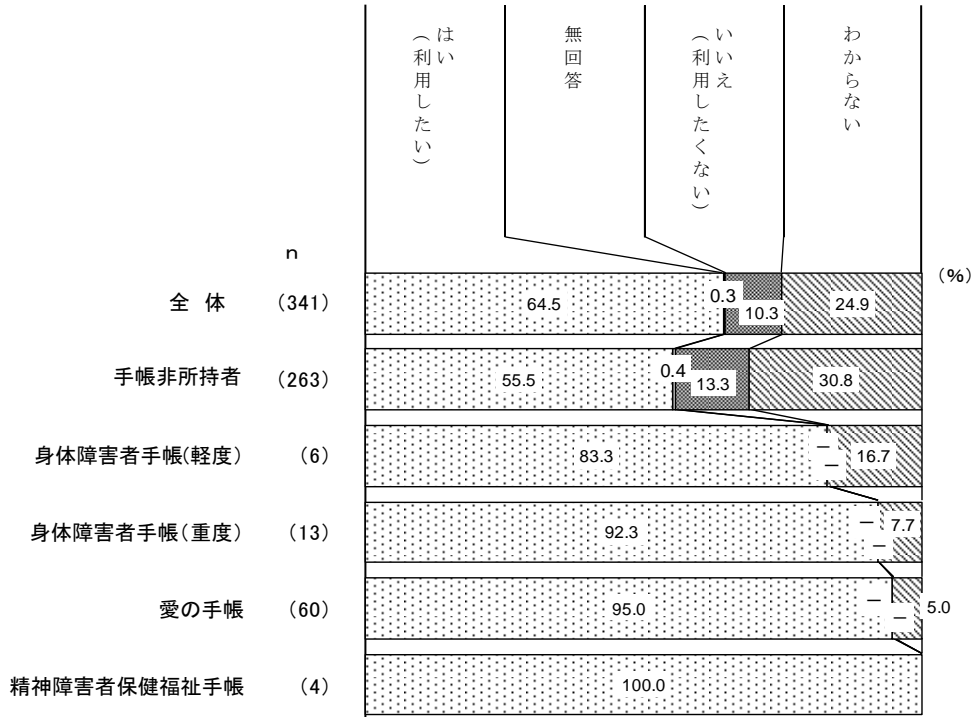
3.7. 放課後等デイサービスの利用意向

◆放課後等デイサービスを今後利用「利用したい」方は6割台半ば

(全員の方に)

問 13. 放課後等デイサービスを今後、利用したいですか。(○は1つ)

図 3-35 【所持手帳別】放課後等デイサービスの利用意向



放課後等デイサービスの利用意向は、「はい (利用したい)」が6割台半ばとなっている。

図 3-36 【年齢別】放課後等デイサービスの利用意向 (6歳以上)

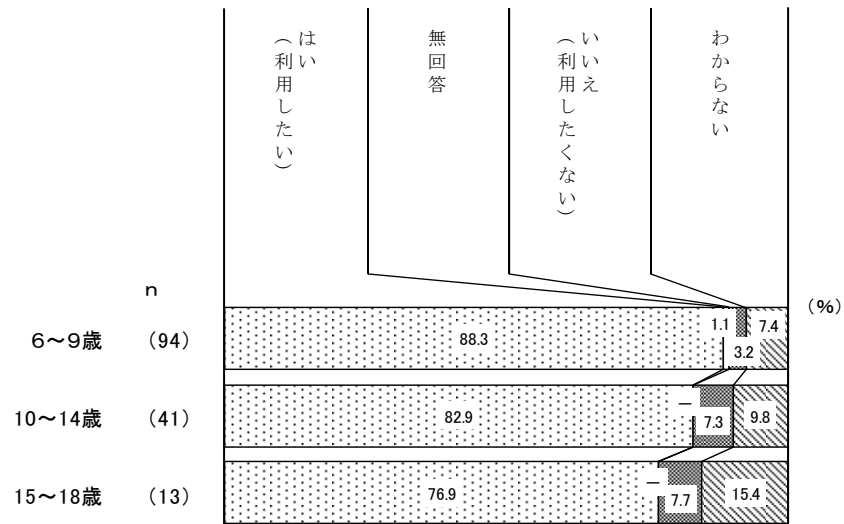
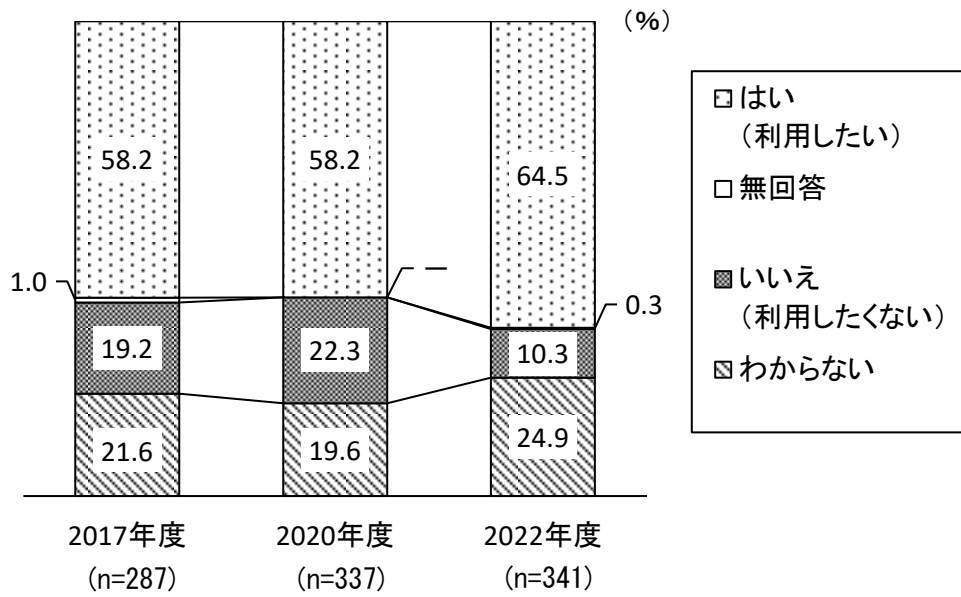


図 3-37 【経年比較】放課後等デイサービスの利用意向



放課後等デイサービスの利用意向を経年比較で見ると、2022年度は2020年度に比べ、「はい (利用したい)」が6.3ポイント増加し、「いいえ (利用したくない)」が12ポイント減少している。

### 3.7.1. 放課後等デイサービスを利用したくない理由

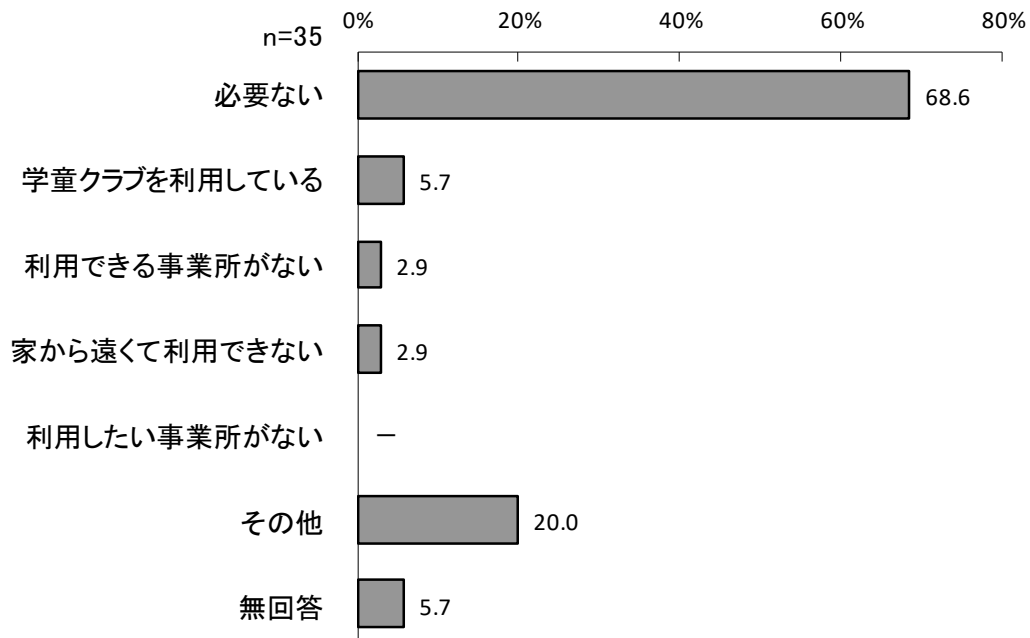
#### ◆放課後等デイサービスを利用したくない理由は「必要ない」が6割台後半

(問13で「2.いいえ」とお答えの方に)

問13-1. 放課後等デイサービスを利用したくない理由はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

図3-38 放課後等デイサービスを利用したくない理由



放課後等デイサービスを利用したくない理由は、「必要ない」が最も高く、次いで「学童クラブを利用している」「利用できる事業所がない」「家から遠くて利用できない」となっている。



3.8. 区外の事業所を利用している理由

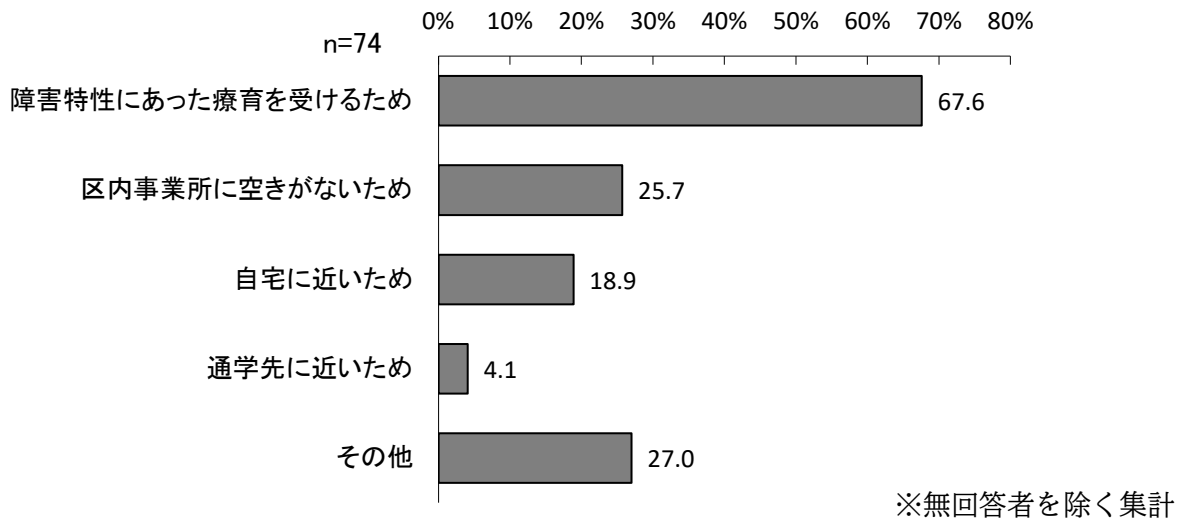
◆区外の事業所を利用している理由は「障害特性にあった療育を受けるため」が5割

(区外の児童発達支援や放課後等デイサービス事業所を利用している方に)

問 14 区外の児童発達支援や放課後等デイサービスの事業所を利用している方にお尋ねします。区外の事業所を利用している理由はどのようなことですか。

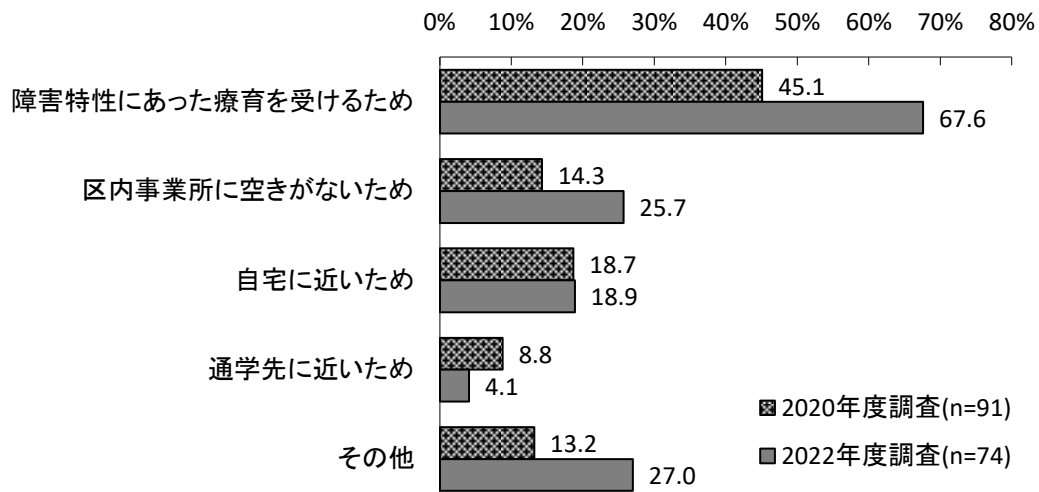
(あてはまるものすべてに○)

図 3-39 区外の事業所を利用している理由



区外の事業所を利用している理由は、「障害特性にあった療育を受けるため」が最も高く、次いで「区内事業所に空きがないため」「自宅に近いため」となっている。

図 3-40 【経年比較】区外の事業所を利用している理由



区外の事業所を利用している理由を経年比較でみると、「障害特性にあった療育を受けるため」が22.5ポイント、「区内事業所に空きがないため」が11.4ポイントの増加となっている。

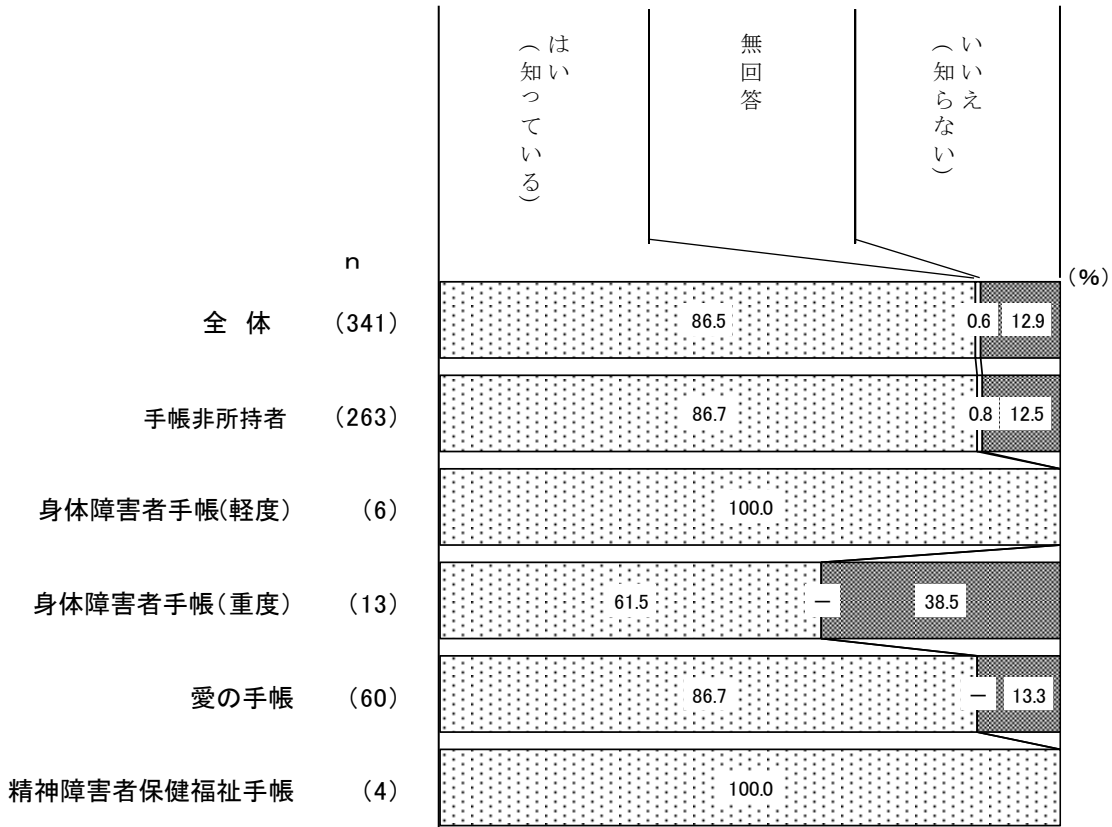
3.9. 保育所等訪問支援の認知度

◆保育所等訪問支援を「知っている」方は8割台半ば

(全員の方に)

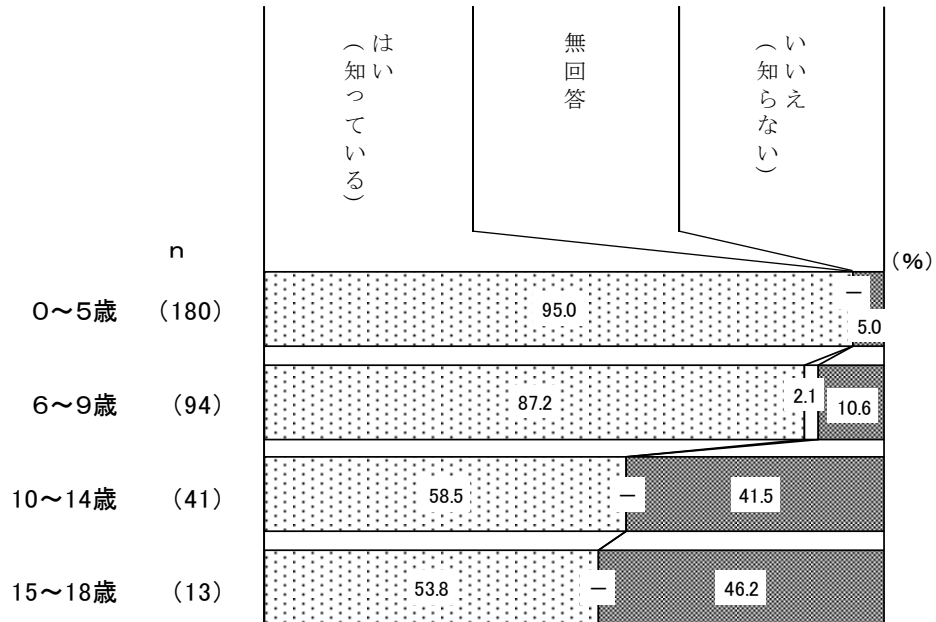
問 15. 保育所等訪問支援について、これまでに見たり聞いたりして知っていましたか。(○は1つ)

図 3-41 【所持手帳別】 保育所等訪問支援の認知度

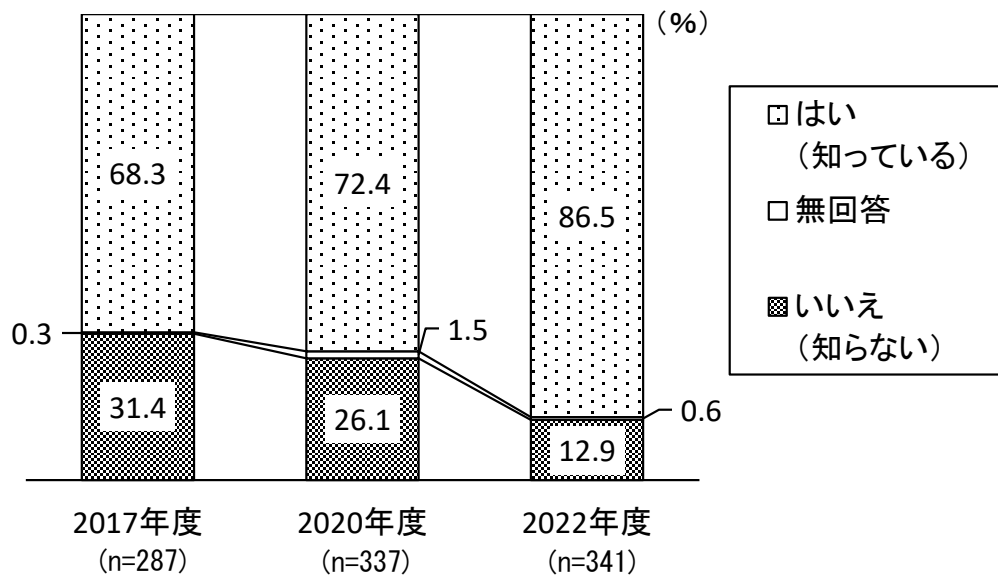


保育所等訪問支援の認知度は、「はい (知っている)」が8割台半ばと高くなっている。

問 3-42 【年齢別】 保育所等訪問支援の認知度



問 3-43 【経年比較】 保育所等訪問支援の認知度



保育所等訪問支援の認知度を経年比較でみると、2022年度は2020年度と比べ、「はい (知っている)」が14.1ポイント増加し、「いいえ (知らない)」が13.2ポイント減少している。

3.10. 保育所等訪問支援の利用意向

◆保育所等訪問支援を今後「利用したい」方は5歳以下において7割台半ば

(全員の方に)

問 16. 保育所等訪問支援を今後、利用したいですか。(〇は1つ)

図 3-44 【所持手帳別】保育所等訪問支援の利用意向

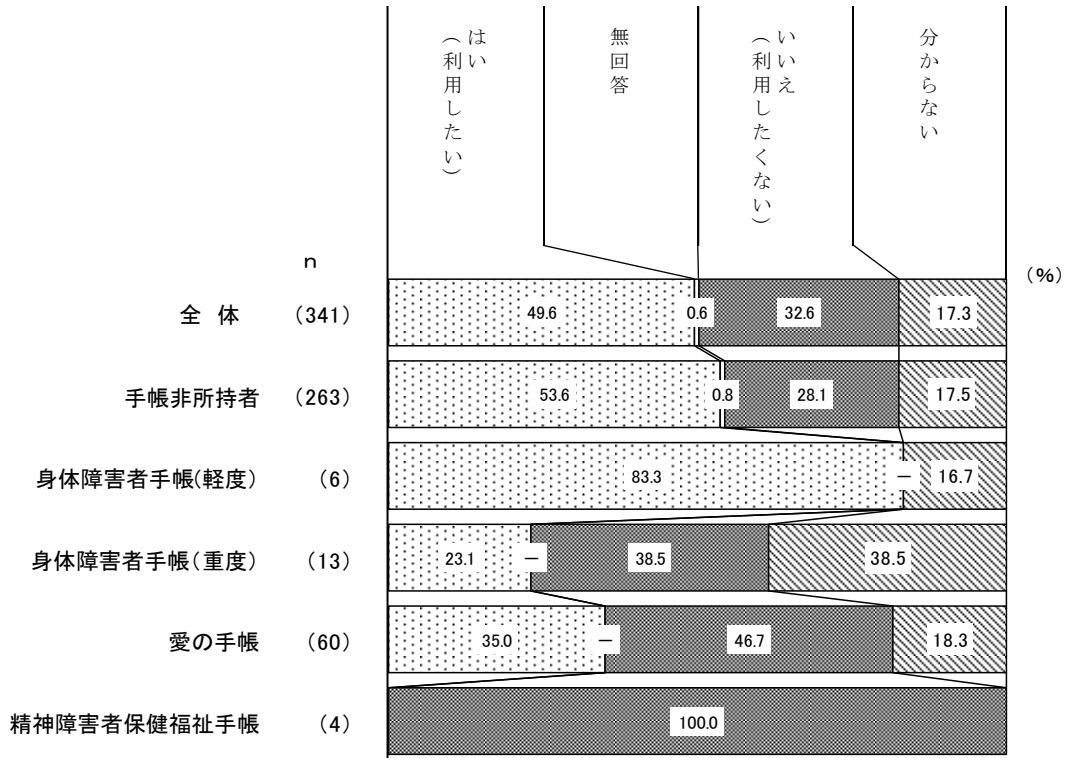
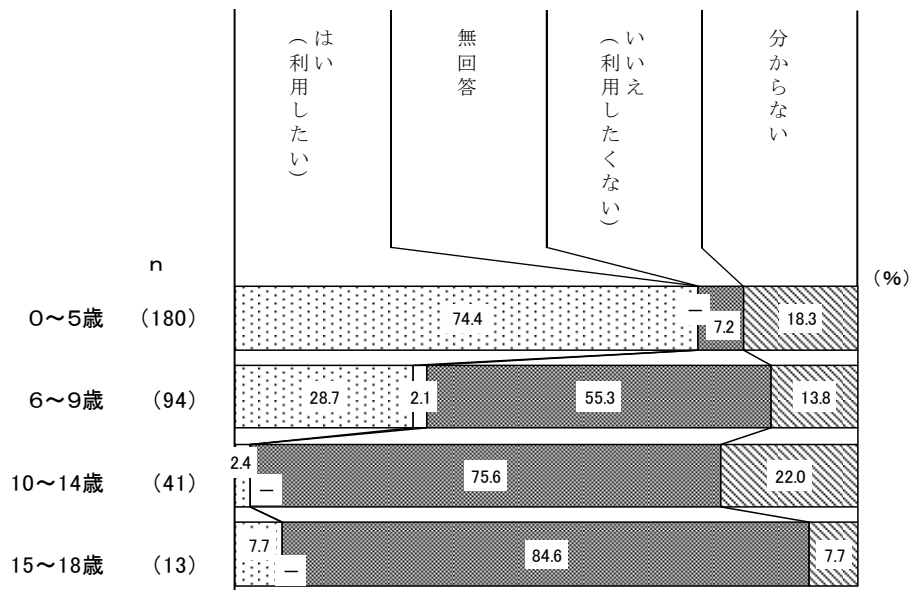
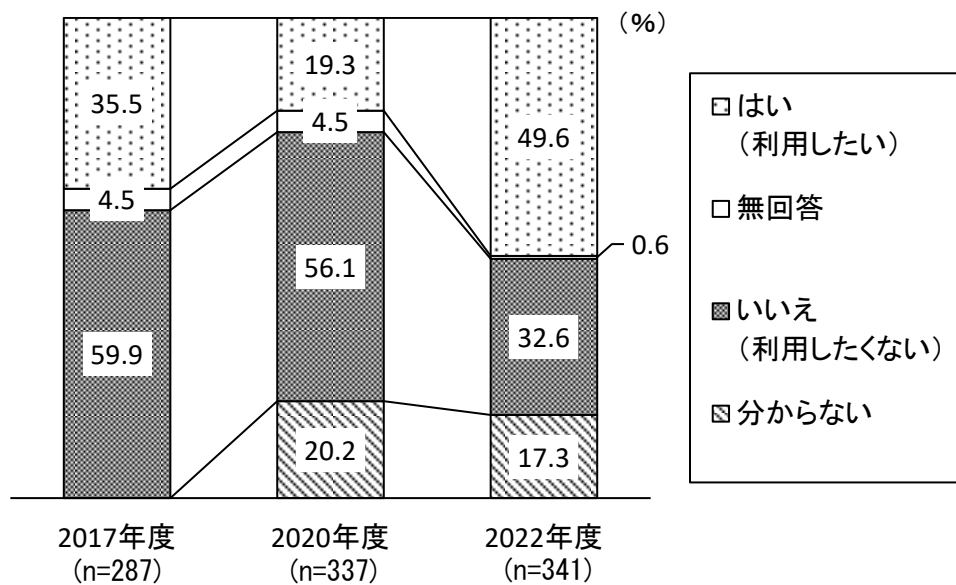


図 3-45 【年齢別】保育所等訪問支援の利用意向



保育所等訪問支援の利用意向は、5歳以下では「はい (利用したい)」が7割台半ばと高くなっている。

図 3-46 【経年比較】 保育所等訪問支援の利用意向



※2017年度は「分からない」の選択肢はなし

保育所等訪問支援の利用意向を経年比較で見ると、2022年度は2020年度と比べ、「はい(利用したい)」が30.3ポイント増加し、「いいえ (利用したくない)」が23.5ポイント減少している。

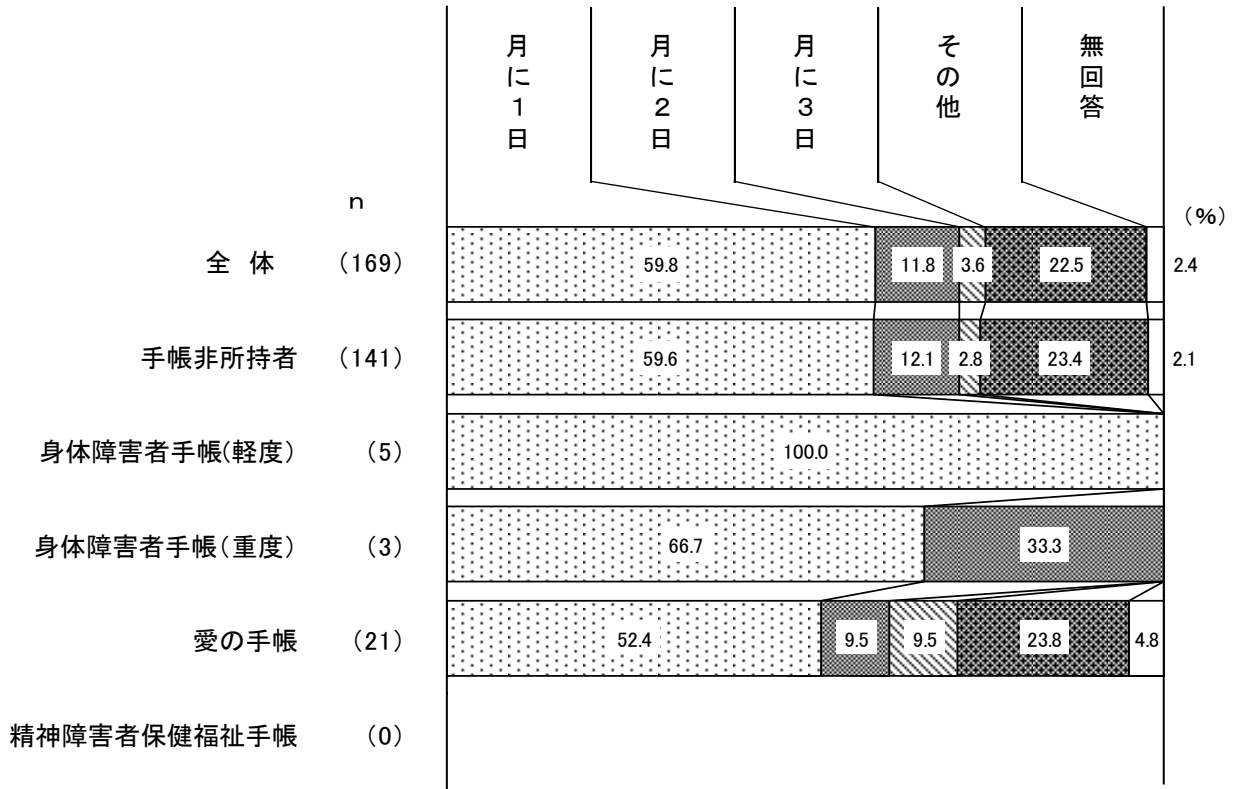
3.10.1. 保育所等訪問支援の希望利用日数

◆保育所等訪問支援の希望利用日数は「月に1日」が約6割

(問16で「1. はい」とお答えの方に)

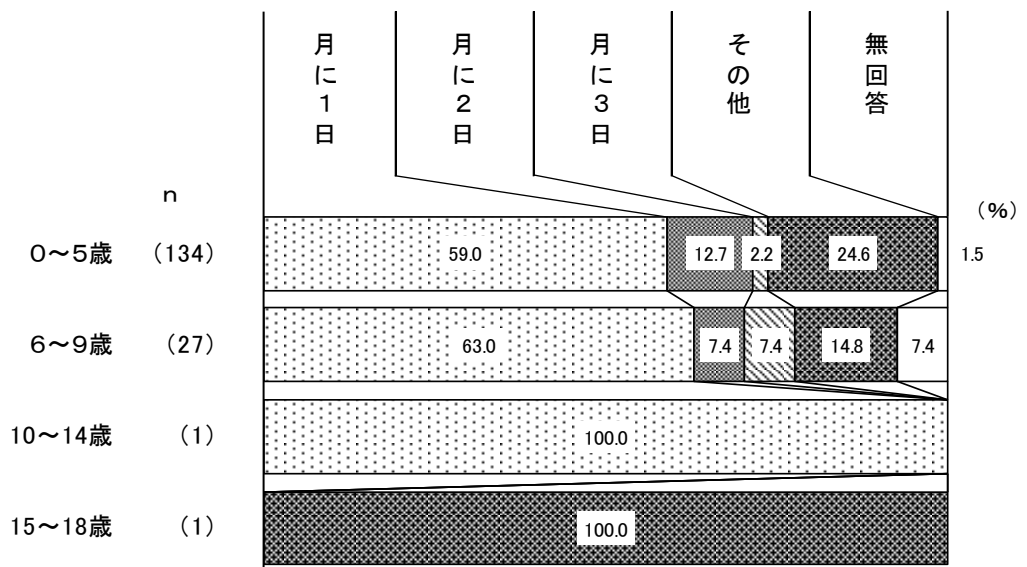
問16-1. 保育所等訪問支援を、どの程度利用したいですか。(〇は1つ)

図3-47 【所持手帳別】保育所等訪問支援の希望利用日数



保育所等訪問支援の希望利用日数は、「月に1日」が約6割と最も高くなっている。

図3-48 【年齢別】保育所等訪問支援の希望利用日数



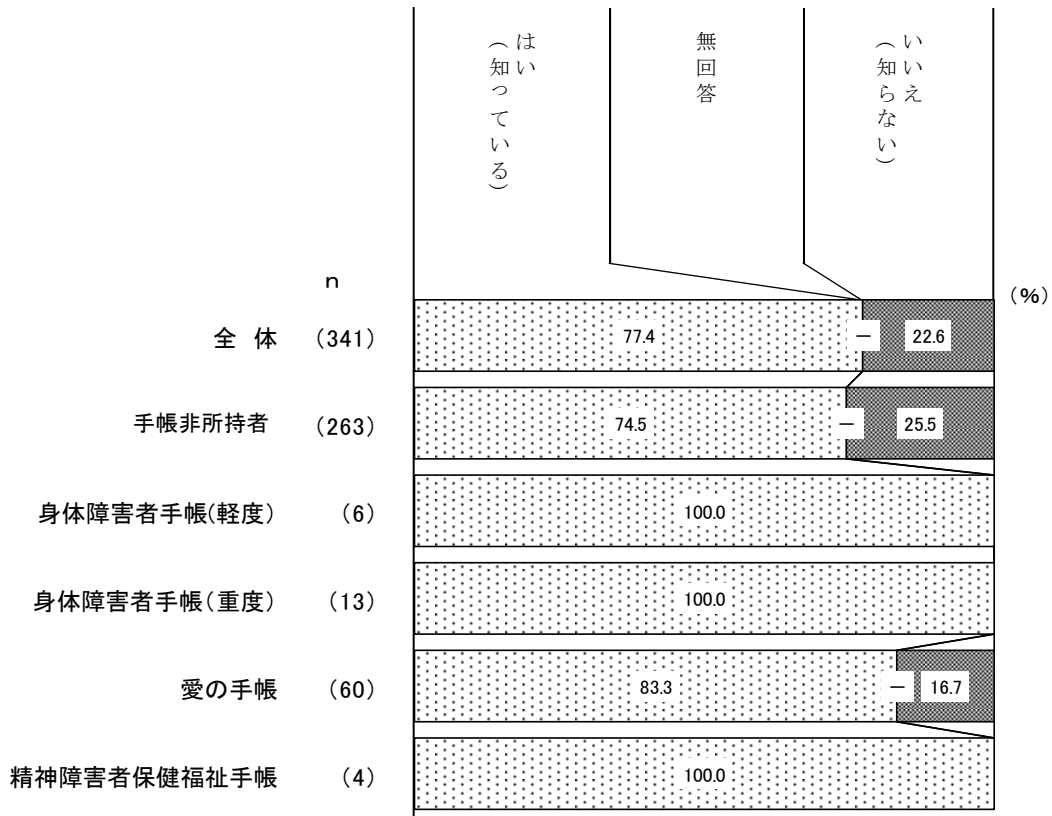
3.11. 障害児相談支援の認知度

◆障害児相談支援を「知っている」方は7割台後半

(全員の方に)

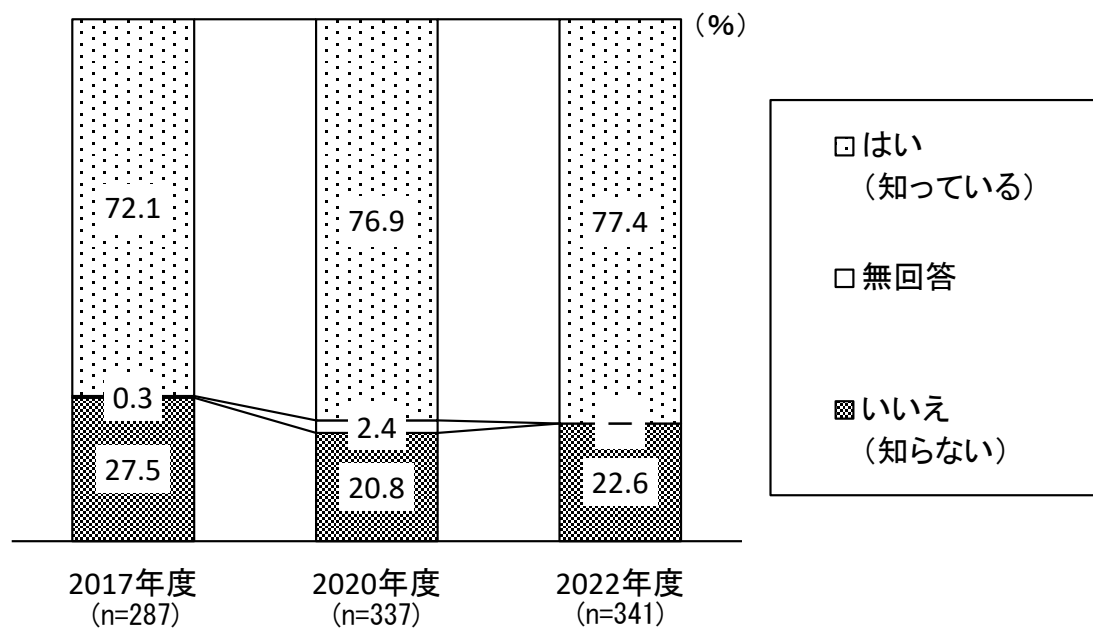
問 17. 障害児相談支援について、これまでに見たり聞いたりして知っていましたか。(〇は1つ)

図 3-49 【所持手帳別】 障害児相談支援の認知度



障害児相談支援の認知度は、「はい (知っている)」が7割台後半となっている。

図 3-50 【経年比較】障害児相談支援の認知度



障害児相談支援の認知度を経年比較で見ると、2020年度以降大きな変化はみられない。



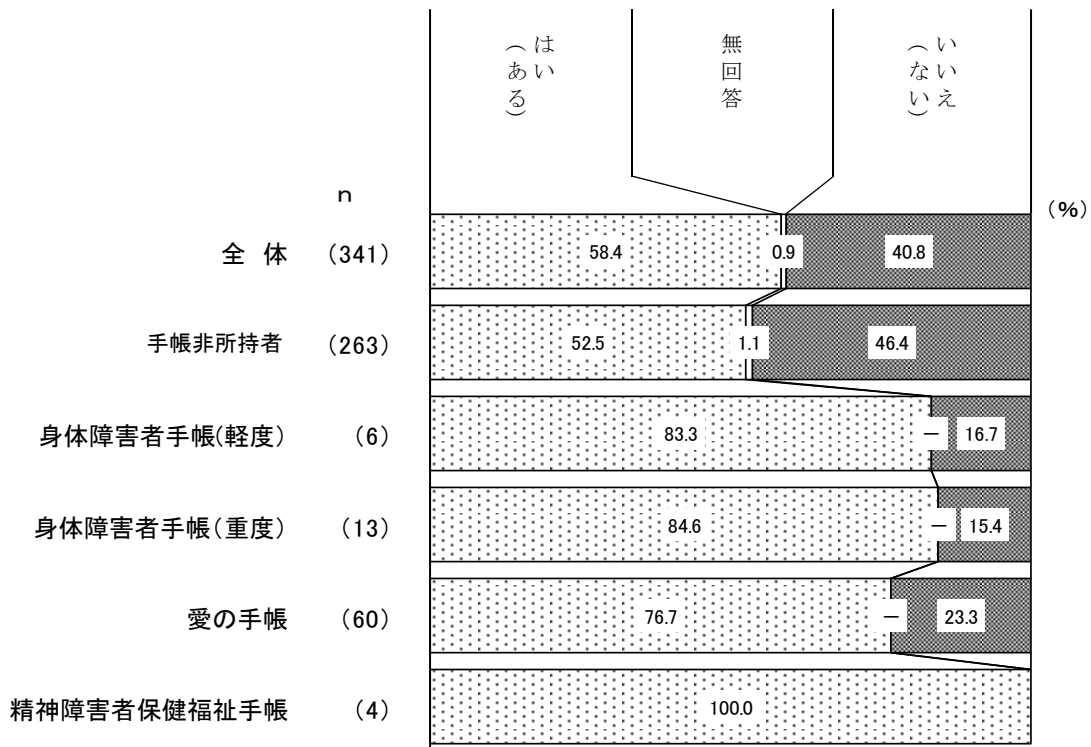
3.12. 障害児相談支援（障害児相談支援事業所）の利用状況

◆障害児相談支援（障害児相談支援事業所）を利用したことが「ある」方は5割台後半

（全員の方に）

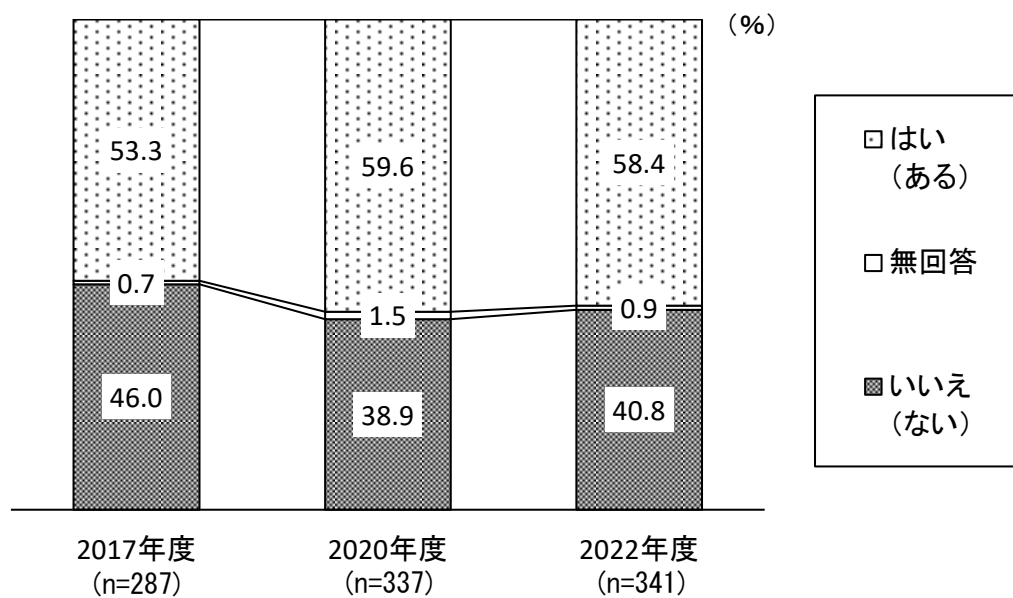
問 18. 障害児相談支援（障害児相談支援事業所）を利用したことがありますか。（○は1つ）

図 3-51 【所持手帳別】障害児相談支援（障害児相談支援事業所）の利用状況



障害児相談支援（障害児相談支援事業所）の利用状況は、「はい（ある）」が5割台後半となっている。

図 3-52 【経年比較】障害児相談支援（障害児相談支援事業所）の利用状況



障害児相談支援（障害児相談支援事業所）の利用状況を経年比較で見ると、2020年度以降大きな変化はみられない。

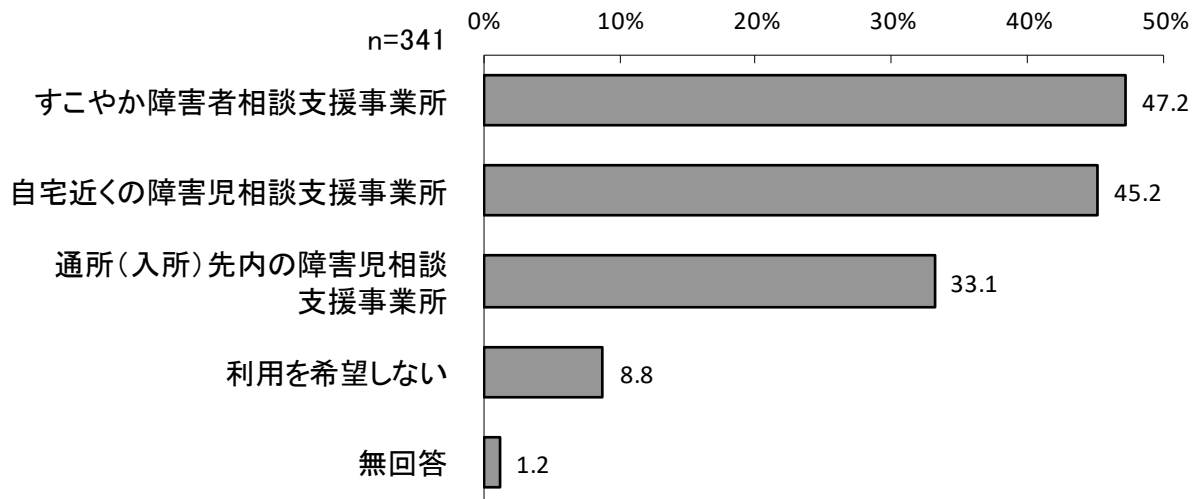
3.13. 障害児相談支援事業所の利用希望

◆利用を希望する障害児相談支援事業所は「すこやか障害者相談支援事業所」が4割台後半

(全員の方に)

問 19. 障害児支援利用計画を作成する際には、どこの障害児相談支援事業所の利用を希望しますか。  
(あてはまるものすべてに○)

図 3-53 障害児相談支援事業所の利用希望



障害児支援利用計画を作成する際、利用を希望する障害児相談支援事業所は、「すこやか障害者相談支援事業所」が最も高くなっており、次いで「自宅近くの障害児相談支援事業所」「通所(入所)先内の障害児相談支援事業所」となっている。

図 3-54 【所持手帳別】上位5項目 障害児相談支援事業所の利用希望

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
手帳非所持者 n=263	すこやか障害者相談支援事業所 44.1	自宅近くの障害児相談支援事業所 43.7	通所(入所)先内の障害児相談支援事業所 31.6	利用を希望しない 11.0	—
身体障害者手帳(軽度) n=6	すこやか障害者相談支援事業所 66.7	自宅近くの障害児相談支援事業所／通所(入所)先内の障害児相談支援事業所 50.0	—	利用を希望しない —	—
身体障害者手帳(重度) n=13	自宅近くの障害児相談支援事業所 69.2	すこやか障害者相談支援事業所 46.2	通所(入所)先内の障害児相談支援事業所 38.5	利用を希望しない —	—
愛の手帳 n=60	すこやか障害者相談支援事業所 58.3	自宅近くの障害児相談支援事業所 46.7	通所(入所)先内の障害児相談支援事業所 40.0	利用を希望しない 1.7	—
精神障害者保健福祉手帳 n=4	すこやか障害者相談支援事業所 75.0	自宅近くの障害児相談支援事業所／通所(入所)先内の障害児相談支援事業所 25.0	—	利用を希望しない —	—

図 3-55 【経年比較】上位 5 項目 障害児相談支援事業所の利用希望

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=341	すこやか障害者相談支援事業所 47.2	自宅近くの障害児相談支援事業所 45.2	通所(入所)先内の障害児相談支援事業所 33.1	利用を希望しない 8.8	-
2020年度 n=337	すこやか障害者相談支援事業所 45.7	自宅近くの障害児相談支援事業所 30.9	通所(入所)先内の障害児相談支援事業所 22.6	利用を希望しない 19.6	-
2017年度 n=287	すこやか障害者相談支援事業所 38.7	自宅近くの障害児相談支援事業所 35.5	通所(入所)先内の障害児相談支援事業所 24.4	利用を希望しない 18.1	-

障害児相談支援事業所の利用希望を経年比較でみると、いずれの年度も「すこやか障害者相談支援事業所」が第1位にあげられているが、2022年度は2020年度と比べ、「自宅近くの障害児相談支援事業所」が14.3ポイント、「通所(入所)先内の障害児相談支援事業所」が10.5ポイント増加している。

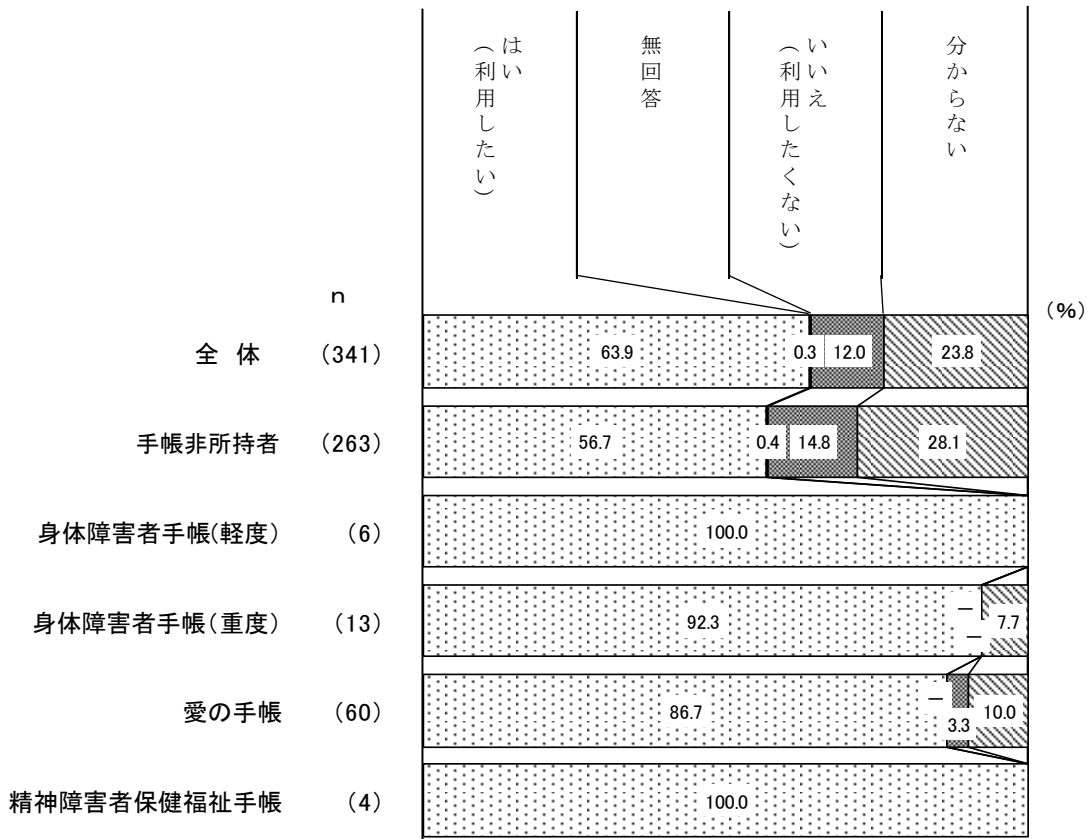
3.14. 障害児相談支援の利用意向

◆障害児相談支援を今後「利用したい」方は6割台前半

(全員の方に)

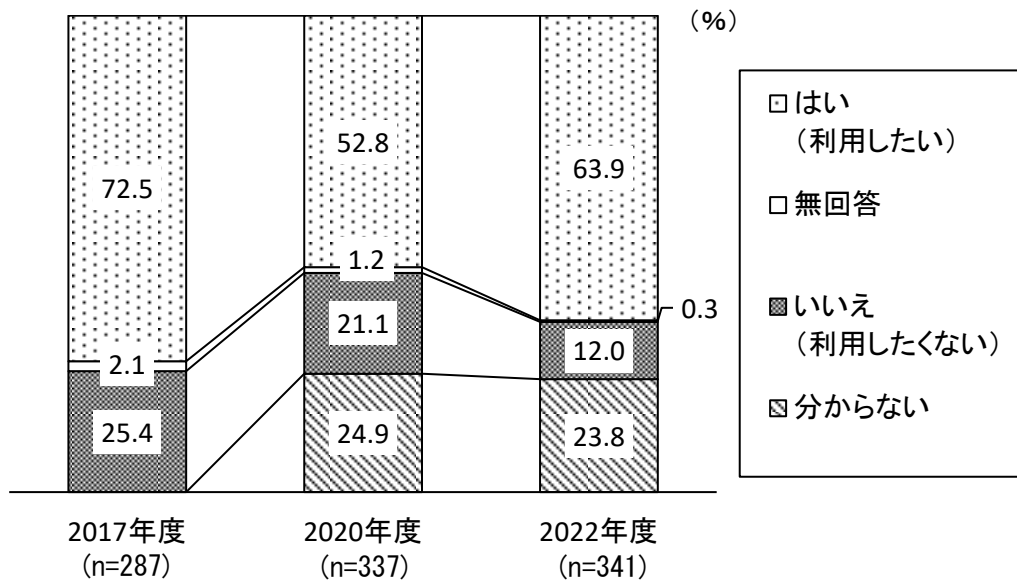
問 20. 障害児相談支援を今後、利用したいですか。(〇は1つ)

図 3-56 【所持手帳別】障害児相談支援の利用意向



障害児相談支援の利用意向は、「はい (利用したい)」が6割台前半となっている。

図 3-57 【経年比較】障害児相談支援の利用意向



※2017年度は「分からない」の選択肢はなし

障害児相談支援の利用意向を経年比較でみると、2020年度に「はい (利用したい)」が大きく減少したものの、2022年度は2020年度と比べ、「はい (利用したい)」が11.1ポイント増加し、「いいえ (利用したくない)」が9.1ポイント減少している。

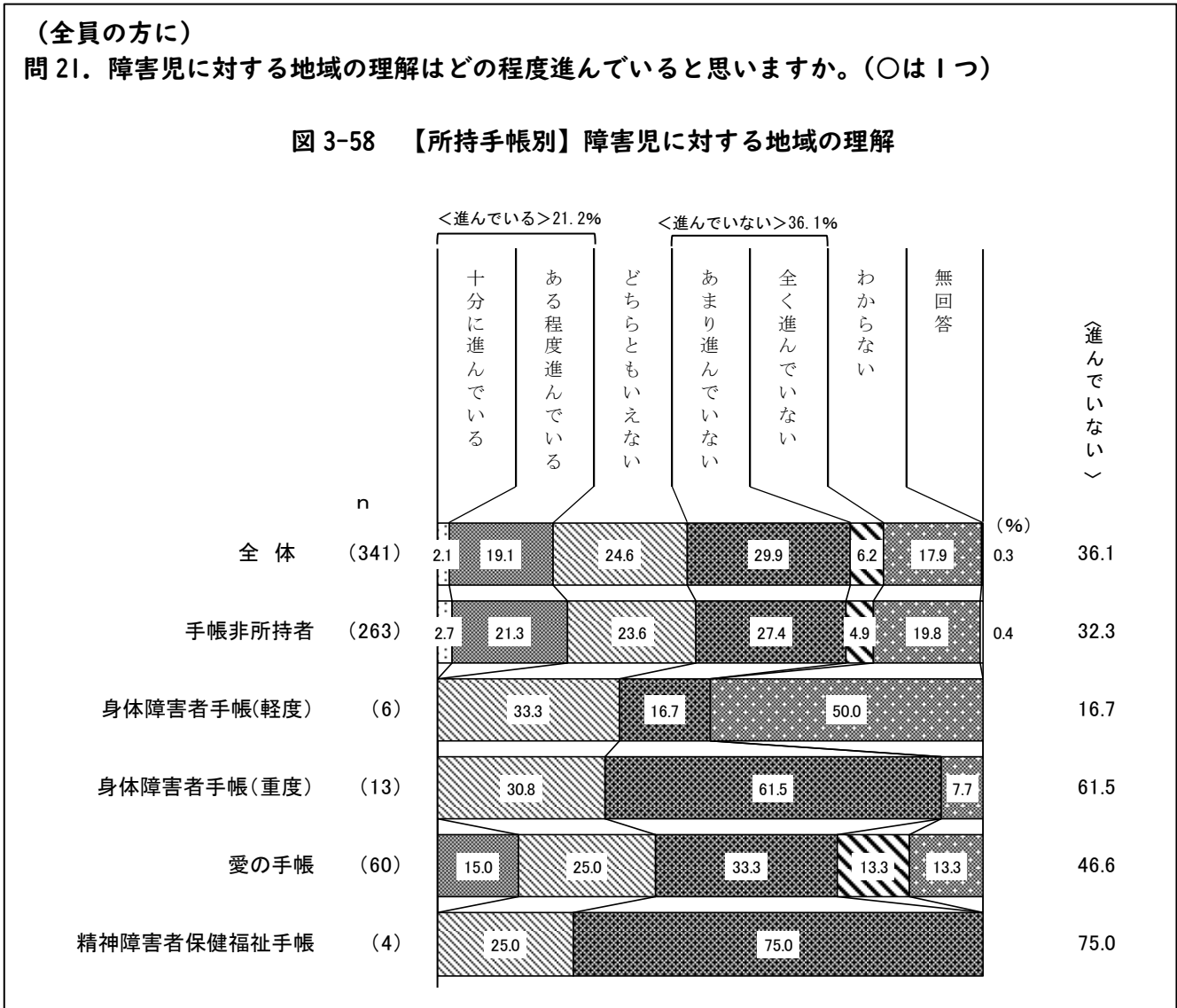
3.15. 障害児に対する地域の理解

◆障害児に対する地域の理解は、＜進んでいない＞が3割台半ば

(全員の方に)

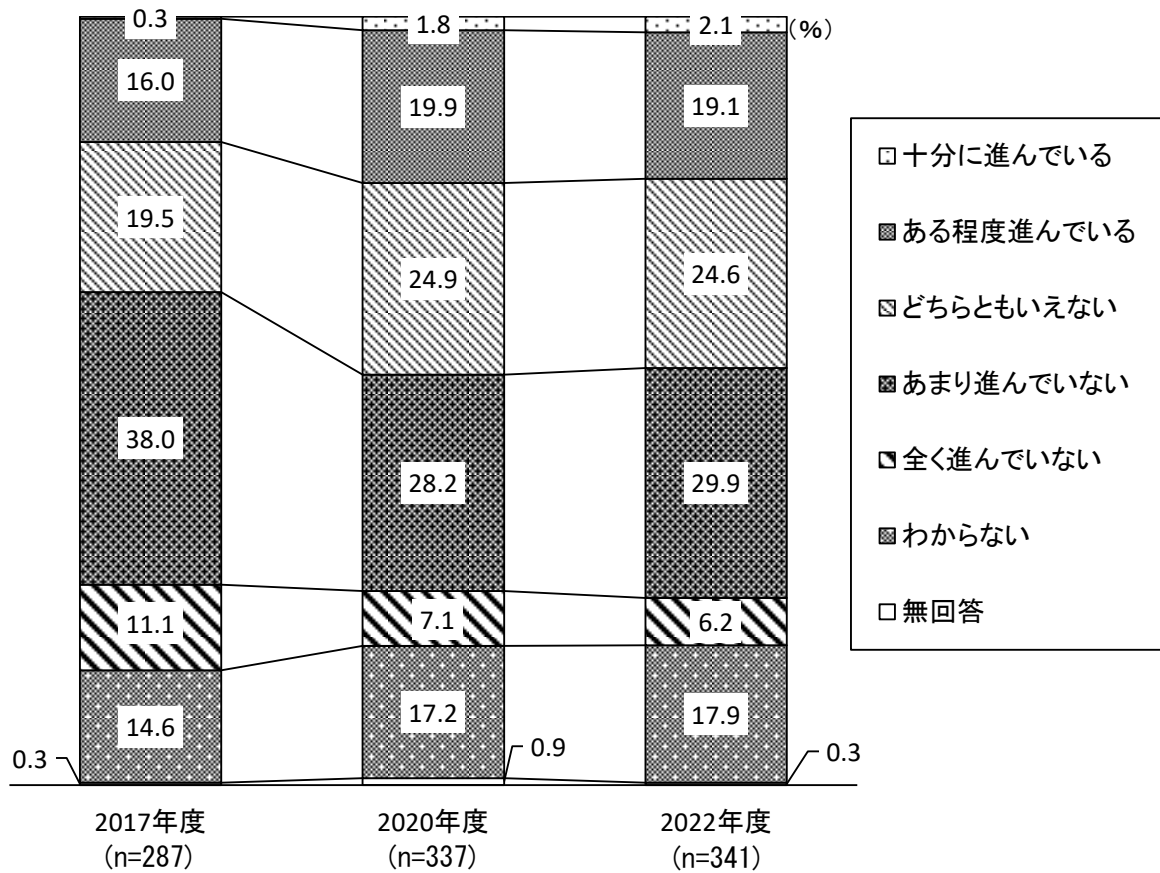
問 21. 障害児に対する地域の理解はどの程度進んでいると思いますか。(○は1つ)

図 3-58 【所持手帳別】障害児に対する地域の理解



障害児に対する地域の理解は、「あまり進んでいない」と「全く進んでいない」を合わせた＜進んでいない＞が3割台半ばとなっている。

図 3-59 【経年比較】障害児に対する地域の理解



障害児に対する地域の理解を経年比較でみると、2022年度は2020年度に比べて大きな変化はみられない。



3.16. 充実してほしい施策・サービス

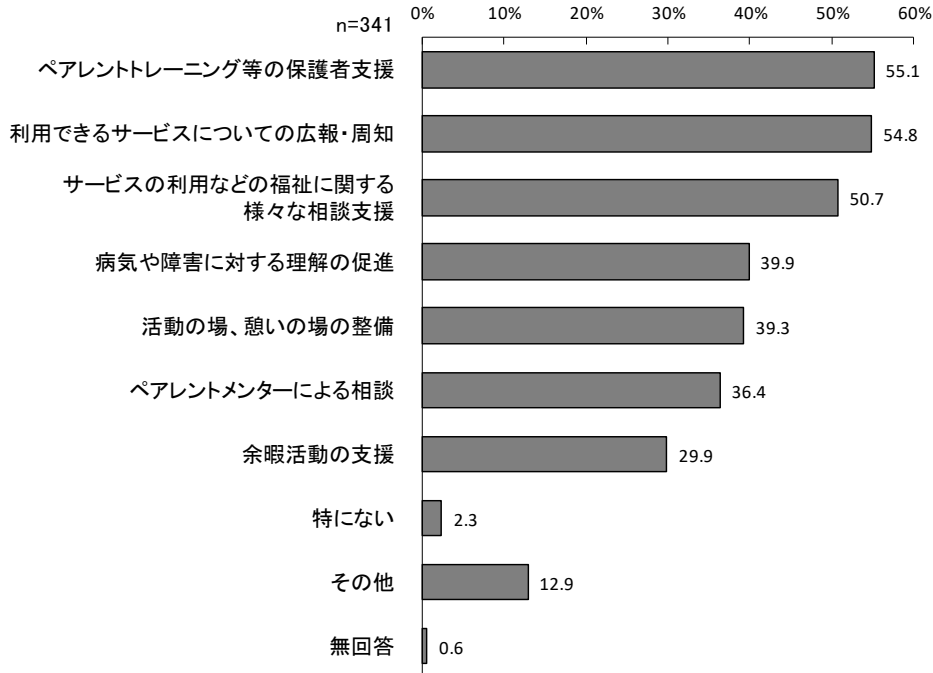
◆充実してほしい施策は「ペアレントトレーニング等の保護者支援」「利用できるサービスについての広報・周知」が5割台半ば

(全員の方に)

問 22. 次の施策・サービス等、特に充実してほしいと思うものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

図 3-60 充実してほしい施策・サービス



充実してほしい施策は、「ペアレントトレーニング等の保護者支援」が最も高くなっており、次いで「利用できるサービスについての広報・周知」「サービスの利用などの福祉に関する様々な相談支援」「病気や障害に対する理解の促進」となっている。

図 3-61 【経年比較】上位5項目 充実してほしい施策・サービス

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2022年度 n=341	ペアレントトレーニング等の保護者支援 55.1	利用できるサービスについての広報・周知 54.8	サービスの利用などの福祉に関する様々な相談支援 50.7	病気や障害に対する理解の促進 39.9	活動の場、憩いの場の整備 39.3
2020年度 n=337	利用できるサービスについての広報・周知 51.3	サービスの利用などの福祉に関する様々な相談支援 46.3	ペアレントトレーニング等の保護者支援/病気や障害に対する理解の促進 42.7		活動の場、憩いの場の整備 35.0
2017年度 n=287	利用できるサービスについての広報・周知 55.7	ペアレントトレーニング等の保護者支援 54.0	サービスの利用などの福祉に関する様々な相談支援 52.6	病気や障害に対する理解の促進 50.9	活動の場、憩いの場の整備 38.3

充実して欲しい施策・サービスを経年比較でみると、2022年度は2020年度と比べ、「ペアレントトレーニング等の保護者支援」が12.4ポイント増加し、第1位にあげられている。

## 4. 自由回答

### 4.1. 日常生活で困っていること

(全員の方に)

問 23. 日常生活や就園・就学・進路・就職等で困っていることがありましたら、ご自由にお書きください。

日常生活や就園・就学・進路・就職等で困っていることについて、要望や意見を自由に記入していただいたところ、158 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

#### 子どもの発達・障害の状態について 17 件

- こだわりが強く、気持ち、行動の切替に時間がかかるため、日常生活に支障があり、夫婦で疲弊していましたが、今は、療育施設・小児科医・すこやか福祉センター・保育所など、複数の相談先があり、支援を受けられるようになって本人が大きく変わり、両親も安心して過ごせるようになりました。(0～5歳)
- 一見分からない特性の為、就園・就学で不安があったり、実際に困った事もあった。児童の発達に関わる人に障害とは言わないけれど困っている事があるのを知って欲しい。神経科の先生や心理士の力(診断に関わった方々)は支援が必要なレベルだと言われます。IQに関して低い場合は支援の対象となるが、それ以外は支援が受けられないです。(6～9歳)
- 2歳から療育に通い始め、2年半経ちますが、人とのやりとりに関してはなかなか身につかず「かして」「みせて」など、の言葉が出てこないため、お友達との関係はあまり上手くいっていないように思います。今のところ、小学校の支援学級に通う予定ですが、障害の特性が年々強く出てきているため、勉強について行けるのか心配です。(0～5歳)

#### 子どもの進路・学校生活について 43 件

- 来年度就学になり支援級を希望しておりますが、学区内に支援級がないため、少々遠くの学校になります。送迎の保護者負担がかかるため、やりくり等含めて少し心配があります。中央区では支援級通学のためのバスがあるとのことなので、今後中野区でも検討して頂けると幸いです。(0～5歳)
- 小学校：知的障害のない自閉症児のために特別支援級(情緒級)を作って欲しい。今は通常級しか選択肢がなく、集団生活は困難なので就学自体をあきらめようか迷っている。少人数なら学べるのでホームスクーリング(家庭学習)を単位として認めて欲しい。学童：区立学童は利用枠が少なく、ポイント制になっていて入学・進級の直前まで結果がわからず怖くて利用出来ない。進級直前に学童に落選すると、親2名のうち1名が離職することになる。(6～9歳)
- 子どもに対して将来などの希望をあまり考えられずにいます。とにかく今を何とかしなければ将来はないと考える様になりました。「何になりたい」から「出来ることになる、なれるものになる」に変わりました。(6～9歳)
- 中学校生活の勉強。小学2年生レベルのワークを5年生でしているので、中学へ進んだ時の周りの理解が心配です。アンガーマネジメント等の成長が、体の成長と共に良くなって欲しい。知能は支援級ではなく、通常級ですが、読み書きが全くなので DG 教科書を上手く使って行って、少しでも成長して行って欲しいです!!(10～14歳)
- 言語障害の子どもを対象とした特別支援学級が都内に見当たらないので、一校でもあると良いと思います。同じ障害の子どものサークルなどを作って誘ってくれるような機会を設けて欲しい。(0～5歳)

- 我が子は小学生まで通常級に通っていましたが、中学進級にあたり、多感な時期を過ごす上でイジメにあったり、本人のメンタルが心配に感じたのでかなり悩みましたが、固定級へ移りました。わかっていたことですが、固定級は閉鎖的でそれが親にとっては安心に思える事もありますが、本人は他の子供とも関わりたい気持ちがある事、勉強も中学生の勉強がしたいと訴えて来ます。東京都内の一部地域や埼玉のように、情緒級をなぜ作ってもらえないのかなと思います。障害の度合いによっては多少のサポートがあれば通常の生活を送れる子供にとっては、勉強や学校生活を他の子供達と過ごせる場を提供してあげたいと心から思います。どうか情緒級の設立を検討願います。(10～14歳)
- 聴覚障害があっても手帳を取れるレベルではないので、今後本人が困り感を持ったまま健常者の中で生きていかないといけない。それに対してのフォローは大人になってしまうと何も無い。今年小学卒業なのですが、中学に入ると難聴学級も他区に行かねばならず、諦める事になるかと思っています。中学・高校・大学と全く情報保障などの情報も頂けないのですか。(—/—)
- 息子は現在2歳半のため、今後障害の程度によって進路が大きく変わってくるかと思っています。親として出来る限りの情報を集めてはおりますが、障害の種類や程度によって就園～就職までどんな選択肢が今現在はあるのか、知ることが出来たら良いなと思っております。中野にこのまま居住した場合、具体的にどんなところにお世話になれるのか見通しが少しでも欲しいです。(0～5歳)
- 来年小学校に就学するが、発達についてグレーなので、どういったサポートをしてもらえるのかが良く分からない。特に家庭で困っているという事がないが、どれ程、他のお子さんとは違うのかも良く分からない為、通所はしているものの、どれ程、困った事になるのかも分からない。本当に小学校に通ってから困った事になるのであれば、サポートは受けたいと考えている。(0～5歳)
- 発達障害があると診断され療育を3才から3年間行い、通常児と同じ学級に進学したが、不登校となった。発達検査で通常より高い知能指数があり、本人の特性と授業進度の速度で学校が辛いとの理由。学校生活に馴染めない場合の障害児の日常生活について困っている。(6～9歳)
- 就学で、重い障害があると通常の学校の中に居場所がなく、支援学校という隔離された環境しか与えられない事。本人が、人と過ごすのが好きでそこに苦しさがない性格でも、一般的な学校で多くの人と共に学ぶ事が出来ないのは、とても残念です。地域の小中学校の中に、今よりもっと様々な子供が共に学べる環境、制度を整えていくことにより、共生社会が作られていくと思う。(6～9歳)
- 現在、就学相談にて普通級か支援級のどちらへの就学がベストなのか相談中ですが、就学先が決まるとその後の相談は就学先の先生になるとのこと。先生方の転勤、クラス替えによる変更など相談先が変わる事や、利用しているサービス、施設との連携がないこと、都度どこへ相談したらよいか親が考え選択していかないといけないのかと思うと不安です。継続した、一貫性のある相談窓口があると安心できるのですが…。(6～9歳)

### サービスの利用について 21件

- 放課後等デイサービスの利用についても、もう少し利用開始の手続きが簡素化されると良い。ある程度、区で利用可能施設を把握して頂き、情報を共有してもらえたら助かる。(6～9歳)
- 娘は1日2回～3回浣腸が必要ですが、障害者としては認定されません。子どもショートステイを利用しようと問合せしたところ「浣腸は医療行為にあたるのでお預かりできません。」との返答でした。また「障害者手帳があれば、別の施設でお預かりできます。」とのこと。私が万が一入院などした際には長女を病院へ入院させる他、行き場が無いと児童相談所からも言われました。娘のように障害グレーゾーンの子供は行き場がなく、守ってくれるサービスがありません。(0～5歳)
- 医療的ケアは必要ないが、保育所で看護師が出勤している時のみの利用とされている。常勤看護師以外にパートの看護師がいた時もあったが、今はいないため、常勤看護師の急な休みに合わせて休む必要がある。また、週4回のみ利用と制限を受けたり、土曜日の保育は不可とされているので、仕事の融通が利かない。退院後も、午前中のみのお預かりが続き、「日常生活に支障なし」と診断さ

れているにも関わらず「疲れてしまうため」とやんわりと預かりを拒否されている様にも捉えられる。放課後デイサービスの情報がわかりにくく、見学等にも行けておらず、就学後の放課後が心配。また、学童では預かってもらえるのかなど、わかりにくく感じる。就学についても、なかなか進路が決まらず、それらにまつわる事（学童や通学等々）が押し寄せになり不安がある。（6～9歳）

- 区内、放課後デイサービスがとてまもなく、支援学校高等部が練馬区所在になり事業所を探すのが大変でした。発達障害やグレーの子対応のところと先天的に知的の子対応をハッキリ区別してあるといいと思うのですが。進路・就職に関しても、家族にとっても初めての経験になるので、見通し（情報や相談、在学中は学校が対応窓口になるんですよー。）があると選択にも余裕がでるのではないのでしょうか？（15～18歳）
- 障がいのある子が入園出来る保育園の枠（人数）が少なくて近くの保育園に入園出来ないこと。（0～5歳）
- 重心の子の利用出来る放課後デイサービスが中野区内には2ヶ所しかなく、定員が一杯になってしまふ（長期休みの時など特に）。もっと利用しやすくなってくるとありがたいのもうひとつくらい放課後デイの事業所を増やしていただきたいです。ぜひ誘致して下さい。（-）
- 我が家には障害の異なる未就学児が二人いるが、親一人で子ども二人と外出することが非常に困難。唯一、ゆめなりあだけは兄弟児の預かりがあったり、玄関が二重扉で子どもが飛び出さない仕様なので出かけられるが、他の民間の療育でさえ、子ども二人を連れて行くことが難しい。なので、障害児の一時保護の更なる充実や、移動支援の適応の拡大を希望する。（6～9歳）
- 動ける医療的ケア児を受け入れてくれるデイサービスが近くになく、家で親と子2人きりで過ごす事が多いです。親の心身の健康を保つためにも、子の社会性や自立を養うためにもそのような所を作って頂きたいです。今の状態で最適な療育サービスは何か、また近くにあるのかを知りたい。特にコミュニケーション発達。（0～5歳）

#### 子どもの居場所・活動の場について 6件

- 障害児の活動の場、憩の場があれば、家にばかりこもらずに過ごせるのではないかと考えています。小学校高学年以降の遊び場があればいいと思います。（10～14歳）
- 近くに安心して遊べる公園などが少なく、通園日以外はなかなか外に遊びに行くのが難しいです。（0～5歳）
- 就職後、休日に過ごせる（集まり的なことを区のイベントでやって欲しい）デイサービスのところがあると良い。（15～18歳）

#### 障害への理解・配慮について 9件

- 友人の話ですが、送迎ありの放デイの車が小学校に来てくれるのは便利だが、周囲の目（子どもたちの反応）が気になると話していました。たしかに、普通級しかない小学校だと、目立ちます。分け隔てのない理解…は大人よりも子どもたちの方が進んでいるように思えます。（6～9歳）
- よく落ち着きがないや、しつけがなってないと言われてしまい、なかなか障害のせいとは理解してもらえない。療育に通っているというだけで幼稚園の受入を断られた。（0～5歳）
- 現在小学校の普通級に通っています。どうにかこなせる事も増えてきましたが、苦手な事など上手く出来ない事もあります。先生方も、性格をわかって対応して下さいっていると思う点もありますが、もう少し療育への理解が深まると嬉しいです。（6～9歳）

#### 相談体制・情報提供について 29件

- 自分で調べないと必要な情報が出てこないため、区報や保育園等でも情報がわかるようにして欲しい。使える支援や、自分の子が該当するか等わからないため。（0～5歳）
- 就学に向けて、子供に合う放課後デイサービスを探すためすこやかに相談しました。知能検査結果

を提示し、困りごとや経過も詳しく説明したにもかかわらず、どの放デイが子供に合っているかというアドバイスがありませんでした。施設ごとに手法や特徴が違うので、代表的なところをいくつか回ってみて下さいと。その結果、7ヵ所見学してようやく合う所を見つけました。見学先で毎回同じ説明をしなければならず体力と気力の限界で疲れ果てました。主治医の先生によると、杉並区では区からそのようなアドバイスがあるそうです。(主治医は杉並の病院のため、中野区のすこやかに任せた方が良く思っていたとのこと。)個別か集団か、運動か机上か対象とする障害の程度(普通級か支援級か)など、大きな分類についてはある程度、専門家なら何がいいか見当がつくはずですが。素人の親がやみくもに片っ端から電話、訪問を繰り返す必要があるとは思えません。悩みと疲労が深まるばかりでした。仕事もずいぶん休み、収入も減りました。もっと踏み込んだ、専門的なアドバイスを期待します。最終的な判断は親がするにしても、2~3ヵ所候補を教えて頂ければずいぶん違ったと思います。(0~5歳)

- 就学に向けて、どの様な課題があるのか、どのような準備をする必要があるのか親だけではわかりません。小学校の見学をしたり、アドバイスを頂けると有難いです。(0~5歳)
- 就学相談の流れがわかりづらい。特にグレーゾーンの子については毎年、就学先の受け入れ態度が異なる(学校によっても違う)ため、準備を行いづらい。もっとオープンに情報公開して欲しい。また、区全体で方針は統一して欲しい。(6~9歳)
- 軽めのASDとの診断が下がったが、大人になった時どの程度一般の人達と一緒に働く事が出来るのか、相談出来る機会があると良い。同時にどの様な行政サービスを受けられるのか、知ることが出来る相談窓口があると日頃の不安が解消されると思う。(6~9歳)

#### 保護者の負担軽減・支援について 4件

- 来年度、就学を控えています。フルタイムで共働きの為不安を感じる。まだまだ母親がフルタイムで働いている人が少ないように思い、ワークライフバランスと言われているが、共働きで障がいのある子の子育てをしている家庭のことまでは、支援が足りていないように思えます。学校までの移動支援は今後、利用していかなければ働きづらく利用予定です。また、支援学校にも学童が併設される(送迎含め)ことを近い将来、実現できればよいと思います。(0~5歳)
- 自営業のため土日祝は仕事です。なのでもっと土日祝、子どもを預けられる場所を作って頂けたら嬉しいです。(6~9歳)

#### 療育・教育環境について 17件

- 吃音について、未就学児の支援は土曜にも実施されています。保育園等訪問支援も行っていますが、就学後は支援がなく、困っている家庭が多いと聞いています。学校の先生方にも理解がないばかりか「言葉の教室」も平日の日中帯で、通常の生活を犠牲にするのか、吃音の療育を諦めるのか、といった選択に迫られ、困り果て孤立しているようです。療育を優先した場合、学業や学校生活に遅れが生じることになれば、本末転倒ではないでしょうか。(0~5歳)
- 保護者や所属で主に関わる先生は、子どもの課題(出来ていないところ、足りないところ)に目がいきがちで、それがストレスにつながる人が多いのではと感じます。なので、児童発達に関わる専門家が子どもの良い所や保護者・所属の先生達の良い関わり(と思われるところ)に着目して指摘し共有出来る事で、ストレスがなくなったり、もっとのびのびとできたりする面もあるのではないかと思います。そういう視点を常に持つて頂くことは大切なのではと思います。(0~5歳)
- 保育園の民営化が進み、発達障害など少しの違いや変化に気づけるスキルのある経験のある先生が減り、業務内容にも余裕が無い事から見逃される支援が必要な子が多いと思う。その子自身やその子の周りの子のためにも、支援を受ける機会や早期支援に繋がる活動や保育士育成(私立保育士向け研修)や労働環境改善をお願いします。(0~5歳)
- 小学校での学習障害学級を作りたいです。息子はADHD(不注意)とASD、境界知能です。小1で通級に通っておりますが週1、1コマでは普通級には追いつけていません。支援級では

物足りず、かつ普通級ではついて行けず本人の精神的疲労は強くなっています。境界知能の子供は長時間過ごす学校で適切な支援を受けていないのが現状です。本人も親も精神的に満たされるよう、学習障害への支援をお願い致します。(6～9歳)

- 現在年長で、来年度小学校に入学します。3歳0ヵ月から吃音があり、流暢にお話しすることができません。今は月2回、ゆめなりあで言語聴覚士さんのトレーニングを受けたり、相談にのって頂いたりしていますが、小学生になると個別療育は受けられないとのこと。来年度からは吃音の相談やトレーニングを受けられないことに子供本人も保護者の私自身も大きな不安を抱えています。(0～5歳)
- 保育園での様子を毎月知りたいので保育所訪問支援の回数を増やして頂きたいです。自立出来ていないことが多く、加配の先生を付けて欲しいがどこに相談すべきか出来るものなのかよく分かりません。(0～5歳)
- IQが特に高く、発達障害を併せ持つ子供に対しての学習や支援について、情報も取組もかなり少なく、不登校のままほぼ自宅にいることに不安を感じます。渋谷区のギフテッド教育に関する事業の様に中野区でも何らかの取組を始めてもらいたいです。(6～9歳)

その他 12件

- 現在、療育センターに通っていますが、この先の進路について迷っています。又、小学校に入るタイミングでの進路についても、具体的なイメージがわからず、心配があります。療育センターに通う際の、他の兄弟の預け先を毎回考えなければならず、綱渡りをしているようです。保育園の一時保育も直ぐに埋まってしまったり、ファミリーサポートも予約できないこともあると、毎回必ず預けられる先があったら良いのに…と思います。(0～5歳)
- 感覚統合を整理しやすくするため、スイミングなど運動を積極的にやらせたいと思って近所(中野区)で探しました。スイミングは障害児(小中学校)の夏休み5日間/年しかなく、民間は1ヶ所ありましたがずっと“満”の状況で順番は来ません。毎週1回知的障害者(児)対象のスイミング教室を開催して下さい。(10～14歳)
- ユニバーサルベッドがなくてオムツ交換出来ずに困る場合が多くなりました。ギリギリ赤ちゃん用が使える時は赤ちゃん用を使いますが、危ないし大変なのでユニバーサルベッドと赤ちゃん用オムツ交換ベッドを兼用して普及させて欲しい。街中でのバリアフリー度合いはとても進んできていると思いますが、トイレ問題はまだまだ課題が多いと感じています。(0～5歳)
- 今は解消したが、子供が1才の時、在宅酸素を利用。保育園に入れず母の就労を維持して貰うことに非常に苦心した。医療ケア児の支援が充実すると良いと強く思った。就学相談を利用、入学にあたっては様子を見ることになった。7月頃学校から通級の提案があり、2学期～利用。もっと早くから通級で指導出来れば本人にもメリットが大きかったとの話があり、難しい判断だったと思うのでしようがないが、複雑な思いがあった。(6～9歳)
- 障害に対する理解が、色々な世代で広まって欲しいです。小学校内や、小学校の近くに放課後デイサービスがあって欲しい。障害者が就職しやすい世の中になって欲しいです。保育園で療育の存在を周知する案内があれば助かります。(6～9歳)
- とにかく情報が少ない。知らなかったことばかり。当事者にならなければ知るよしもないというのが現状。全てが不安。区報で療育センターの特集をしたのは良かった。家の子の障害とは違う子の障害についてもっと知りたいので、障害について、どんなことに困っているかなど特集して欲しい。日常生活では周囲の人の目が気になる、道を歩くのも騒ぐので困難。でも身体は健康なのでヘルパーさんと呼ぶ程ではないのかもと思う。そもそも雇うお金がない。障害のある子がいると通院その他で時間を取られるのでフルタイムで働けないのはとても悲しくなる。(6～9歳)
- 障害のある兄弟がいるため、きょうだい児です。本人は児童発達支援は終了となりますが、今後は兄弟の関係など困る事もありそうです。障害児本人の相談はありますが、きょうだい児のサポートもあると助かります。(0～5歳)

- ①子供が朝起きられず遅刻を繰り返すが、早く寝る様に言っても眠れないと言い親に隠れてスマホをいじっていたりしている。スマホを 9:30 以降取り上げる約束をしても友達からの連絡があるからと親に反抗する。その反抗の状況が激しく恐ろしい。②学校から配られる教科毎のプリント類を全く分類する、ファイルする、まとめる等が出来ない（バラバラくしゃくしゃで放置）。親が小学生時は手伝ったが中学出てしないのは困るので自分でやらう様促しても出来ない。このタイプの発達障害の子供へのトレーニング支援はどこかで受けられないだろうか。（放課後デイサービスにはない、専門家に相談するととても金額が高くて支払えないし継続できない）③行動の一つ一つが「先を見てない」幼稚なので、注意することになるが親は振り回され疲れ果てている。ex. 外出した汚れた手で冷蔵庫を開けるなど。（10～14 歳）

## 4.2. 健康福祉行政全体への意見・要望

(全員の方に)

問 24. 健康福祉行政に関することや今回の調査について、ご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

健康福祉行政に関することや今回の調査について、要望や意見を自由に記入していただいたところ、102人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

### 支援体制の整備・充実について 28件

- 保育園時代と比べて支援が薄い。支援側からすると、支援の優先順位が低いと言われ、通常学級だと個別の声かけが必要と言われるゾーンの人達はどのような支援を受けたら良いのか。受けられる支援が少ない。常設プレーパークのようなサードプレイスをたくさん作って欲しい。(6～9歳)
- 発達障害のある子の学校や施設が少ないと感じています。世田谷区はわりと充実しているのに対し、中野区はあまりなので改善があると嬉しいです。(0～5歳)
- 仕事をしながら通所できるサービスが少ない。ゆめなりあの通園サービスは頻繁に通わせるには勤務時間にかぶっており、その他のサービス提供している所へ連絡してみているものの、人数がいっぱいで通えなかったり、登園の時間が確保できなかったりで、十分な量のサービスが受け入れられないでいる。(現状、個別クラスで50分を月2回のみ)。共働きで通える所を増やして欲しい。(0～5歳)
- 両親が「働く」ことを、制限されることなく、子どもの発達を支援することができる環境にはまだ程遠いように思います。経済的理由から、働かざるを得ない、ただ、子どものために出来ることは100%したい、日々そのようなジレンマを抱えております。表出していないだけで、同じ悩みを抱えるご家庭は、少なくないのでは?と思います。(0～5歳)
- 学校に支援員さんがいらっしゃることで、子供が学校に行く安心に繋がっています。特性のある子はたくさんいるのですが、支援員さんは2人だけなので親の付き添いなどで補っている状態です。支援員さんを増やして頂けたら本当にありがたいです。主婦のパートとしても、平日働ける良いお仕事に思うのですが、認知度が低いので、たくさん募集をかけて頂けると嬉しいです!支援員さんにはいつも感謝しています。(6～9歳)
- 内科的に問題はないが病後児保育は利用出来ないと言われました。同じ子供なのに障害児は受け付けてもらえません。障害児の病後児保育などがあると一人親として助かります。(15～18歳)
- 誰でも待機児童等にならずに入所できる学童や放課後デイサービスを増やして欲しい。(6～9歳)
- 「ことばの教室」など言語発達に特化した支援があると助かる。現状、月1回の療養のみしか行っていないが、一般的な発達を促すようなプログラムにどうしてもなってしまうため、自分の子どもに適切かと聞かれると疑問がある。(0～5歳)
- 通級の利用についてもっと幅を拡げて欲しい。不登校の子供でも利用出来る様に考慮してもらいたい。(6～9歳)
- 1歳半健診で療育の紹介などあるが、窓口として「障害児」と名の付くところにいきなり案内されるのが親としてインパクトがある。ペアレントトレーニング、メンターは手厚くすべきだと思う。気持ちの整理やフォローなく療育が始まり、とても辛い時期があった。(0～5歳)

### 施設整備について 4件

- 区内の支援施設をもっと増やして欲しい。(0～5歳)
- 区立の療育センターを増やして欲しい。希望しても入れず、一日1時間足らずしか通えない民間の事業所を利用しているが、もう少し長時間トレーニングを受けたい。(0～5歳)



## 障害への理解・配慮について 5件

- 子どもを対象とする福祉では、ことさらインクルーシブという視点も大切だと思います。今日安心して過ごせるという事が何より大事ですが、その安心が将来まで続くのかと考えると障害のある子どもを支えるだけでなく、子供達全体がお互いを隣人と感じ、共にいて当たり前と感じながら過ごせる様に、分けすぎない環境を期待しています。(6～9歳)
- 障害等の不自由さや本人が抱える問題についてそれらを抱えていない方やその家族の皆様にも理解頂けるよう教育現場でそのような議題を取り上げて欲しい。子どものうちから共存の意味を理解し、助け合う世の中になって欲しいです。(10～14歳)
- 小学校で、各種障害についてもっと学ぶ機会があれば…と思っています。日本は隔離政策が多いですが、子供達のため、手もお金もかけて、もっと本来のダイバーシティを目指してもらいたいです。様々な体・心を持った人が世界にはたくさんいること、皆それぞれが自己実現をそれぞれの希望に沿ってかなえられる世の中であって欲しいです。どうかよろしくお願いします。(6～9歳)
- 区報で健康福祉、障害福祉に関して度々触れて下さることが、地域の理解に続いていると思います。ありがとうございます。(0～5歳)

## 相談体制・情報提供について 17件

- 現在、ゆめなりあに週2回と訪問リハビリ週2回通っているのですが、それは親が選択したもので、それらが今子どもにできるベストな事なのかが不安です。区の方には乳幼児健診で「何かあれば連絡ください。」と言ってもらえるが、定期的なフォローがなく適切な支援なのか、成長と共に見直しが必要なのでは？と幼稚園入園前に不安も感じています。特別なフォローが必要な子には1年に1回は保健師さんや社会福祉士さんとの面談があれば安心だと思います。お忙しいかと思いますが、よろしくお願い致します。(0～5歳)
- 我が子に支援が必要だと知る前は、このようなサービスや施設制度は何1つ存じ上げませんでした。しかし、わが子に必要と判断頂いてから、沢山の方に色々な事を教えて頂き、本当に良くして頂きました。感謝の気持ちばかりです。「様々な子がいる」という寛容な心は誰にでも持ち合わせて欲しいですが、私の様に必要な人に必要な情報が届く中野区のやり方がとてもいいと思いました!!(0～5歳)
- 当該はダウン症児ですが、すこやかセンターの職員へ親の会がないかたずねたところ、全く情報を持っておらず、アポロ園へ通うようになって情報をいただきました。すでに1才を過ぎていたので、0才児育児、しかも一人目で不安いっぱいでしたがすこやかセンターの方がダウン症の親の会の存在を認識し、早急に情報提供をしていただければ、私の様にさまよう期間がなくなると思います。行政自体がもっと情報を持ち、提供すべきであると考えます。(0～5歳)
- 情報がちらばっていて、欲しい情報が直ぐには入らない。ワンストップで案内してもらえたら嬉しい。誰にも教えて貰えないので、自分で調べて、ピンポイントで受給者証はすこやかセンター、移動支援は各自の事業所 etc…に問合せないといけない。中野区役所の1Fの障害福祉課に聞いても情報をちゃんと教えて貰えなかった。(0～5歳)
- 施設に入所待ちの方がたくさんいると聞いている。コロナの影響なのか、コロナ関係なく時代の影響の方が大きいかわからないが、手遅れになってから「発達が遅いから支援を受けた方が良い」と言われるよりも、一歳までの健診や予防接種などの小児科通院の際に子供との関わり方、接し方のアドバイスや簡易的な冊子などがあれば親側が気づけることもあるのではと感じる。基本的に区の福祉行政には感謝しています。ありがとうございます。(0～5歳)

## 本調査について 13件

- このようなアンケートは、どんどん行って欲しいです。子供が小さいうちは、困った事や気になる

事を気軽に相談する場所が多いが、成長していくにつれて少なくなっているためこのように伝える場があると少し助かります。(10～14歳)

- 色々変化を感じられる区政になっていると思います。これからは、アンケート、その結果の公表、トライ&エラーの公表など PDCA をきちんとまわした透明性の高い区制を望みます。福祉に関してもそう考えます。いつもありがとうございます。(0～5歳)

**その他** 35件

- 発達障害の疑い、傾向があるため個別療育を受けられることとなり、大きな変化が見られるようになって、本当にありがたく救われました。ただ、ここにいたるまで、一年ほど“3歳前後の男の子は手がかかるもの”“やんちゃの範疇”と思っており、毎日しんどいのに耐え続け“いつまで続くのか…”という先の見えない闇の中にいるような心地でした。保育園の同級生と比較して「ん??」ということが積み重なってきて初めて、もしかしてと思い、3歳児健診で相談してからはあらゆる支援の手が差し伸べられ、どんどん気持ちが悪くなりました。発達障害は見極めが難しいので、「育てにくい子」が問われるより、「日常生活に支障が出る困った状態が続いているか」問われた方が、もう少し早い段階で「うちの子のこと、相談してもよいのかな」と気付いたように思います。我が子を「育てにくい」と申告するのは、私にはなかなかハードルが高く認めづらかったです。中野区は、相談の一步が踏み出せば、順番待ちの期間はあっても、暖かく手厚い支援が受けられるので、本当に安心です。いつもありがとうございます。(0～5歳)
- 障害者向けのイベントをやって欲しい。(15～18歳)
- デイサービスや通級は息抜きになる様で、積極的に利用しています。他児や大人との関わりを通してコミュニケーションを学ぶ事が出来ている様に思います。ゲームが好きで、運動や他の事への興味が薄いので、好きになるきっかけ作りの場があると良いです。腰が重く連れ出すのがなかなか難しいのですが…。(10～14歳)
- ①引きこもり者増加を防ぐためにも健康福祉行政が充実することは大切だと思う。②また、サービス提供を NPO などの活用で充実させ、利用者の利用費の支出の負担が軽くなるとありがたい。(放課後デイサービスを希望しても待機する状態もある。充実した内容を提供する事が出来る組織・企業の場合のみなのかもしれないが。)放課後デイサービスの対象内容の種類自体も拡げてもらえるとありがたい。③働く母のために行政対応日に土曜も増やして欲しい。(10～14歳)
- 今回の様なアンケートはありがたいのですが、オンライン回答の導入を進めて欲しい。様々な書類を作成、提出するにあたり、書式が分かりにくい時がある。障害者家族(本人も含め)に対しての支援が増えるといい(経済的な)。情報をわかりやすく得られる様にして欲しい。ベビーカーで行けない場所がまだまだ沢山あるので改善して欲しい。未就学児でも気軽に預けられる場所があるといい。障害児向けのイベントや習い事を知りたい。子供を連れてたまま産婦人科で健診を受けたい(預けられないので)。(0～5歳)

## Ⅲ 調査票と単純集計



れいわ ねんど ねんど

# 令和4年度(2022年度)

しょうがいふくし いこうちょうさ

## 障害福祉サービス意向調査

しょうがいしゃちょうさ

### 《障害者調査》

ちょう さ ひょう

## 調査票

### 【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、できる限りあて名の方ご本人がお答えください。ご本人が答えることが  
難しい場合は、ご本人が答える支援をお願いします。ご本人が答えられない場合  
には、ご家族や介護されている方がご本人の意向を尊重してご記入ください。

2. 令和4年8月1日現在の状況でお答えください。

3. このアンケートは匿名です。名前・住所を書き添えていただく必要はありません。

4. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。

5. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。

6. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。

7. 「その他(具体的に )」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的にご記入  
ください。

8. ご記入いただきました調査票は、

れいわ ねん がつ にち かようび  
**令和4年10月11日(火曜日)までに**

三つ折りにした上で、同封した返信用封筒(切手不要)に入れて郵送してくださ  
い。

9. 調査報告書は、令和5年7月から、図書館、すこやか福祉センター、区ホームページ  
などでご覧になれる予定です。

10. 調査の内容や記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお  
問合せください。

なかのくけんこうふくし ぶしょうがいふくし かしょうがいしゃしきくすいしんがかり  
中野区健康福祉部 障害福祉課 障害者施策推進係

でんわ 電話 03-3228-8832 FAX 03-3228-5660

E-mail shogaihukusi@city.tokyo-nakano.lg.jp

質問の上に(全員のの方に)と記載のあるものは全員のの方が、(～の方に)とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

《あなた(あて名の方ご本人)の状況について、おうかがいします》

(全員のの方に) <回答者数：673>

問1 このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。(○は1つ)

- |                                       |            |
|---------------------------------------|------------|
| 1. あなた(あて名の方ご本人)が自分で回答(代筆を含む) (77.1%) |            |
| 2. ご家族 (16.6%)                        |            |
| 3. その他の人 (0.6%)                       | 無回答 (5.6%) |

(全員のの方に) <回答者数：673>

問2 あなた(あて名の方ご本人)の性別と年齢をお答えください。

(○は1つ、右づめで数字を記入)

- |      |                      |                      |                      |            |
|------|----------------------|----------------------|----------------------|------------|
| <性別> | 1. 男性 (51.0%)        | 2. 女性 (44.7%)        | 3. その他 (0.1%)        | 無回答 (4.2%) |
| <年齢> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 歳          |

(全員のの方に)

問3 あなた(あて名の方ご本人)の身体障害者手帳・愛の手帳(療育手帳)・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、等級または度数をお答えください。複数の手帳をお持ちの方は、それぞれの等級または度数についてお答えください。

(1) 身体障害者手帳(○は1つ) <回答者数：488>

- |               |               |               |            |
|---------------|---------------|---------------|------------|
| 1. 1級 (32.2%) | 2. 2級 (18.2%) | 3. 3級 (16.0%) |            |
| 4. 4級 (21.3%) | 5. 5級 (4.5%)  | 6. 6級 (3.7%)  | 無回答 (4.1%) |

(2) 愛の手帳(○は1つ) <回答者数：86>

- |               |               |               |            |
|---------------|---------------|---------------|------------|
| 1. 1度 (12.8%) | 2. 2度 (14.0%) | 3. 3度 (25.6%) |            |
| 4. 4度 (38.4%) |               |               | 無回答 (9.3%) |

(3) <sup>せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう</sup>精神障害者保健福祉手帳(○は1つ) <回答者数：181>

1. 1級 (12.2%)	2. 2級 (43.1%)	3. 3級 (39.2%)	無回答(5.5%)
---------------	---------------	---------------	-----------

(<sup>しんたいしょうがいしゃてちょう</sup>身体障害者手帳<sup>も</sup>をお持ちの方に) <回答者数：488>

問3-1 あなた(あて名の方ご本人)の<sup>しんたいしょうがいしゃてちょう</sup>身体障害者手帳に記載された<sup>しょうがいめい</sup>障害名をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. <sup>じょうしきのうしょうがい</sup> 上肢機能障害 (17.0%)	2. <sup>ちょうかくしょうがい</sup> 聴覚障害・ <sup>へいこうきのうしょうがい</sup> 平衡機能障害 (8.8%)
3. <sup>か しきのうしょうがい</sup> 下肢機能障害 (29.5%)	4. <sup>おんせい げんご</sup> 音声・言語・ <sup>きのうしょうがい</sup> そしゃく機能障害 (3.5%)
5. <sup>たいかんきのうしょうがい</sup> 体幹機能障害 (8.2%)	6. <sup>のうげんせい</sup> 脳原性まひ(0.6%)
7. <sup>ないぶきのうしょうがい</sup> 内部機能障害 (15.8%)	8. <sup>しかくしょうがい</sup> 視覚障害 (7.4%)
9. その他(26.0%)	無回答(10.0%)

(<sup>せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう</sup>精神障害者保健福祉手帳<sup>も</sup>をお持ちの方に) <回答者数：181>

問3-2 <sup>さしつか</sup>差し支えがなければ、あなた(あて名の方ご本人)の<sup>しんだんめい</sup>診断名をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. <sup>とうごうしつちようしょう</sup> 統合失調症 (23.2%)	
2. てんかん(5.5%)	
3. <sup>きぶんしょうがい そう びょう びょう</sup> 気分障害(躁うつ病、うつ病) (32.6%)	
4. アルコール、 <sup>やくぶついぞんしょう</sup> 薬物依存症(2.2%)	
5. <sup>しんけいしょう</sup> 神経症(5.5%)	
6. <sup>じんかく こうどう しょうがい</sup> 人格および行動の障害(3.9%)	
7. その他(27.1%)	無回答(23.2%)

(<sup>あい てちょう</sup>愛の手帳<sup>も</sup>をお持ちの方に)

問3-3 <sup>さしつか</sup>差し支えがなければ、あなた(あて名の方ご本人)の<sup>しんだんめい</sup>診断名をお答えください。  
(<sup>ちよくせつきにゆう</sup>直接記入)

( )

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>)<回答者数：673>

問4 あなた(あて名の<sup>な</sup>方<sup>かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)は、障害支援区分認定<sup>しょうがいしえんくぶんにんてい</sup>を受けていますか。(○は1つ)

1. 障害支援区分認定は受けていない(64.0%)	2. 区分1(2.4%)
3. 区分2(2.4%)	4. 区分3(1.8%)
6. 区分5(0.1%)	7. 区分6(0.6%)
	無回答(27.6%)

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>)<回答者数：673>

問5 あなた(あて名の<sup>な</sup>方<sup>かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)は介護保険の要支援・要介護認定<sup>かいごほけん ようしえん ようかいごにんてい</sup>を受けていますか。(○は1つ)

1. 要支援・要介護認定は受けていない(65.5%)	2. 要支援1(5.2%)
3. 要支援2(4.3%)	4. 要介護1(2.2%)
6. 要介護3(3.4%)	7. 要介護4(0.7%)
	8. 要介護5(1.5%)
	無回答(13.4%)

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>)<回答者数：673>

問6 あなた(あて名の<sup>な</sup>方<sup>かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)の家族構成<sup>かぞくこうせい</sup>をお答え<sup>こた</sup>ください。(○は1つ)

1. ひとり暮らし(30.3%)	2. 配偶者 <sup>はいぐうしや</sup> と同居 <sup>どうきよ</sup> (22.3%)
3. 配偶者 <sup>はいぐうしや</sup> と子ども <sup>こ</sup> と同居 <sup>どうきよ</sup> (12.5%)	4. 親 <sup>おや</sup> と同居 <sup>どうきよ</sup> (17.4%)
5. 親 <sup>おや</sup> と子ども <sup>こ</sup> と同居 <sup>どうきよ</sup> (0.4%)	6. 子ども <sup>こ</sup> と同居 <sup>どうきよ</sup> (6.8%)
7. その他 <sup>た</sup> (5.1%)	無回答(5.2%)



《あなた(あて名の方ご本人)のお住まいについておたずねします》

(全員のの方に) <回答者数：673>

問7 あなた(あて名の方ご本人)のお住まいは次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- |                                 |           |
|---------------------------------|-----------|
| 1. 持ち家(マンションも含む) (55.3%)        |           |
| 2. 公営住宅(都営・区営住宅など) (5.5%)       |           |
| 3. 民間賃貸住宅(アパート・マンションなど) (28.2%) |           |
| 4. グループホームなど(2.1%)              |           |
| 5. その他(3.7%)                    | 無回答(5.2%) |

(全員のの方に) <回答者数：673>

問8 あなた(あて名の方ご本人)の住宅で困っていることはありますか。(○は1つ)

- |              |               |           |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(29.7%) | 2. いいえ(63.4%) | 無回答(6.8%) |
|--------------|---------------|-----------|

(問8で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：200>

問8-1 住宅で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                              |           |
|------------------------------|-----------|
| 1. 部屋が狭い(35.5%)              |           |
| 2. バリアフリーになっていない(25.0%)      |           |
| 3. 家が老朽化している(42.0%)          |           |
| 4. 改修や建て替えができない(14.0%)       |           |
| 5. アパートなどの契約時の保証人がいない(14.5%) |           |
| 6. 立ち退きを迫られている(0.5%)         |           |
| 7. 自分の住みたい場所が見当たらない(5.0%)    |           |
| 8. その他(30.5%)                | 無回答(1.0%) |

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数：673>

問9 あなた(あて名の<sup>な</sup>方<sup>かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)は、将来<sup>しょうらい</sup>はどのようなところで生活<sup>せいかつ</sup>したいと思<sup>おも</sup>いますか。  
(○は1つ)

- |  |           |
|--|-----------|
| 1. 今の <sup>いま</sup> 住宅 <sup>じゅうたく</sup> に引き <sup>ひ</sup> 続き <sup>つづ</sup> 暮 <sup>く</sup> らしたい(53.9%)   |           |
| 2. 公 <sup>こう</sup> 営 <sup>えい</sup> 住宅 <sup>じゅうたく</sup> (都 <sup>と</sup> 営 <sup>えい</sup> ・区 <sup>く</sup> 営 <sup>えい</sup> 住宅 <sup>じゅうたく</sup> など)に入 <sup>に</sup> 居 <sup>ゆう</sup> したい(11.3%) |           |
| 3. グループ <sup>せい</sup> ホーム <sup>かつりよう</sup> 、生活 <sup>に</sup> 寮 <sup>ゆうきよ</sup> に入 <sup>に</sup> 居 <sup>ゆう</sup> したい(2.8%)  |           |
| 4. 施設 <sup>しせつ</sup> に入 <sup>に</sup> 所 <sup>しよ</sup> したい(3.7%)   |           |
| 5. わからない(16.3%)  |           |
| 6. その他 <sup>た</sup> (6.1%)   | 無回答(5.8%) |

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数：673>

問10 火事<sup>か</sup>や地震<sup>じしん</sup>などの災害<sup>さいがい</sup>に<sup>かん</sup>関して、障<sup>しょう</sup>害<sup>がい</sup>があるため<sup>しょうがい</sup>にあなた(あて名の<sup>な</sup>方<sup>かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)が不安<sup>ふあん</sup>を感じ<sup>かん</sup>ていることはあります<sup>か</sup>。(○は1つ)

- |              |               |           |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(57.8%) | 2. いいえ(38.9%) | 無回答(3.3%) |
|--------------|---------------|-----------|

(問10で「1. はい」とお答<sup>こた</sup>えの<sup>かた</sup>方に) <回答者数：389>

問10-1 不安<sup>ふあん</sup>を感じ<sup>かん</sup>ていることはどのようなこと<sup>か</sup>ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |           |
|---|-----------|
| 1. 災害 <sup>さいがい</sup> の内容 <sup>ないよう</sup> や避難 <sup>ひなん</sup> 指示 <sup>し</sup> 等 <sup>じ</sup> の情 <sup>じょう</sup> 報 <sup>ほう</sup> を入 <sup>に</sup> 手 <sup>て</sup> または理 <sup>り</sup> 解 <sup>かい</sup> できるか <sup>か</sup> どうか(29.8%)   |           |
| 2. 避難 <sup>ひなん</sup> 所 <sup>じょ</sup> 等 <sup>とう</sup> へ <sup>へ</sup> の移 <sup>い</sup> 動 <sup>どう</sup> が <sup>が</sup> できるか <sup>か</sup> どうか(54.5%)   |           |
| 3. 周 <sup>しゅう</sup> 囲 <sup>い</sup> の <sup>ひと</sup> 人 <sup>ひと</sup> や家 <sup>か</sup> 族 <sup>ぞく</sup> 等 <sup>とう</sup> に <sup>じょう</sup> 状 <sup>じょう</sup> 況 <sup>きょう</sup> や必 <sup>ひつ</sup> 要 <sup>よう</sup> な支 <sup>し</sup> 援 <sup>えん</sup> を <sup>つた</sup> え <sup>え</sup> る <sup>る</sup> こと <sup>こと</sup> が <sup>が</sup> できるか <sup>か</sup> どうか(30.3%) |           |
| 4. 周 <sup>しゅう</sup> 囲 <sup>い</sup> の <sup>ひと</sup> 人 <sup>ひと</sup> から <sup>ひつ</sup> 必 <sup>ひつ</sup> 要 <sup>よう</sup> な支 <sup>し</sup> 援 <sup>えん</sup> を <sup>う</sup> 受 <sup>う</sup> ける <sup>る</sup> こと <sup>こと</sup> が <sup>が</sup> できるか <sup>か</sup> どうか(35.7%)  |           |
| 5. 避難 <sup>ひなん</sup> 所 <sup>じょ</sup> 等 <sup>とう</sup> で <sup>ひつ</sup> 必 <sup>ひつ</sup> 要 <sup>よう</sup> な相 <sup>そう</sup> 談 <sup>だん</sup> 、介 <sup>かい</sup> 護 <sup>ご</sup> 、看 <sup>かん</sup> 護 <sup>ご</sup> 等 <sup>とう</sup> を <sup>う</sup> 受 <sup>う</sup> ける <sup>る</sup> こと <sup>こと</sup> が <sup>が</sup> できるか <sup>か</sup> どうか(40.4%)                  |           |
| 6. 避難 <sup>ひなん</sup> 所 <sup>じょ</sup> 等 <sup>とう</sup> に <sup>ひつ</sup> 必 <sup>ひつ</sup> 要 <sup>よう</sup> な設 <sup>せつ</sup> 備 <sup>び</sup> 、食 <sup>しょく</sup> 糧 <sup>りょう</sup> 、医 <sup>い</sup> 薬 <sup>やく</sup> 品 <sup>ひん</sup> 等 <sup>とう</sup> が <sup>あ</sup> る <sup>る</sup> か <sup>か</sup> どうか(50.4%)   |           |
| 7. 連 <sup>れん</sup> 絡 <sup>らく</sup> を <sup>あ</sup> い <sup>て</sup> と <sup>あ</sup> い <sup>て</sup> 相 <sup>あ</sup> 手 <sup>て</sup> が <sup>い</sup> ない <sup>ない</sup> (7.5%)   |           |
| 8. その他 <sup>た</sup> (12.9%)   | 無回答(0.8%) |

《あなた(あて名の方ご本人)の日常生活の介助や支援についておたずねします》

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数 : 673>

問11 あなた(あて名の方ご本人)の日常生活で介助を必要とすることはありますか。  
(○は1つ)

1. はい(43.8%)

2. いいえ(54.8%)

無回答(1.3%)

(問11で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数 : 295>

問11-1 日常生活で介助を必要とすることは具体的にどのようなことですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 食事(27.5%)

2. 食事の支度や片付けなどの家事(48.5%)

3. 排せつ(18.3%)

4. 入浴(35.6%)

5. 着替え(23.1%)

6. 薬の管理(36.3%)

7. 掃除・片付け(53.6%)

8. コミュニケーション(30.8%)

9. 外出(52.5%)

10. 日常の買物(49.2%)

11. お金の管理(36.3%)

12. その他(12.2%)

無回答(0.0%)

問11-2 あなた(あて名の方ご本人)の主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

1. 父(3.1%)

2. 母(18.3%)

3. 配偶者(22.4%)

4. 子ども(12.9%)

5. 近所の人、友人・知人(2.4%)

6. ホームヘルパー(12.2%)

7. ボランティア(0.0%)

8. その他(14.2%)

無回答(14.6%)

問11-3 主な介助者のほかに、あなた(あて名の方ご本人)を日常的に介助できる方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. いない(50.5%)

2. 父(10.8%)

3. 母(3.1%)

4. 配偶者(5.8%)

5. 子ども(12.2%)

6. 近所の人、友人・知人(3.1%)

7. ホームヘルパー(11.9%)

8. ボランティア(0.3%)

9. その他(12.5%)

無回答(2.7%)

(全員のの方に) <回答者数：673>

問12 あなた(あて名の方ご本人)の主な介助者が急病・事故などで介助が困難になった場合、どのようにしたいですか。(○は1つ)

1. 同居している家族に頼む(24.7%)
2. 同居していない家族や親戚に頼む(18.3%)
3. 介助(介護)や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用する(22.3%)
4. 施設の短期入所(ショートステイ)を利用する(8.6%)
5. その他(13.1%) 無回答(13.1%)

(全員のの方に) <回答者数：673>

問13 あなた(あて名の方ご本人)は、平日の日中は主にどのように過ごしていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅で過ごしている(62.0%)
2. 常勤で働いている(15.2%)
3. アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている(9.1%)
4. 就労移行支援や就労継続支援を行う事業所や作業所などに通っている(5.2%)
5. 身体機能や生活能力の向上のための訓練を行う事業所に通っている(5.5%)
6. 生活介護を行う事業所に通っている(2.8%)
7. 病院へ通院している(29.3%)
8. 学校(幼稚園等含む)に通っている(4.2%)
9. 趣味やスポーツ活動をしている(13.1%)
10. その他(7.9%) 無回答(3.3%)

あなた(あて名の方ご本人)の外出状況についておたずねします

(全員の方に) <回答者数：673>

問14 あなた(あて名の方ご本人)は、一週間に、どのくらい外出しますか。(○は1つ)

- |                    |                    |                  |
|--------------------|--------------------|------------------|
| 1. ほとんど毎日(33.9%)   | 2. 3~5日程度(31.8%)   | 3. 1~2日程度(19.0%) |
| 4. ほとんど外出しない(8.0%) | 5. まったく外出しない(3.6%) | 無回答(3.7%)        |

(全員の方に) <回答者数：673>

問15 あなた(あて名の方ご本人)の外出の主な目的は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 通勤や通学(26.0%)          | 2. 福祉施設や作業所などへの通所(12.6%) |
| 3. 買物(63.9%)             | 4. 通院(55.3%)             |
| 5. 趣味(21.1%)             | 6. スポーツ(7.6%)            |
| 7. ボランティアや地域行事への参加(3.4%) | 8. 友人と会うため(16.6%)        |
| 9. 散歩(39.1%)             | 10. 特にない(0.4%)           |
| 11. その他(8.5%)            | 無回答(2.8%)                |

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数：673>

問16 あなた(あて名の<sup>な</sup>方<sup>かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)が外出<sup>がいしゅつ</sup>する上<sup>うへ</sup>で妨<sup>さまた</sup>げになっていることはありますか。  
(○は1つ)

1. はい(38.5%)

2. いいえ(57.7%)

無回答(3.9%)

(問16で「1. はい」とお答え<sup>こた</sup>の方<sup>かた</sup>に) <回答者数：259>

問16-1 外出<sup>がいしゅつ</sup>する上<sup>うへ</sup>で妨<sup>さまた</sup>げになっていることは具体的<sup>ぐたいてき</sup>にどのようなことですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 道路<sup>どうろ</sup>や駅<sup>えき</sup>などの利用<sup>りよう</sup>が不便<sup>ふべん</sup>(34.7%)
2. 電車<sup>でんしゃ</sup>やバス<sup>つか</sup>を使<sup>つか</sup>っての移動<sup>いどう</sup>が不便<sup>ふべん</sup>(42.1%)
3. 利用<sup>りよう</sup>する建物<sup>たてもの</sup>の設備<sup>せつび</sup>が整備<sup>せいび</sup>されていない(13.9%)
4. 点字<sup>てんじ</sup>ブロック<sup>はそんなど</sup>が破損<sup>りよう</sup>等<sup>ふべん</sup>により利用<sup>りよう</sup>が不便<sup>ふべん</sup>(2.7%)
5. 介助<sup>かいじょしゃ</sup>者がいない(17.4%)
6. 情報<sup>じょうほう</sup>がない(8.1%)
7. 問<sup>と</sup>い合<sup>あ</sup>わせ先<sup>さき</sup>の連絡<sup>れんらく</sup>方法<sup>ほうほう</sup>が整備<sup>せいび</sup>されていないため、問<sup>と</sup>い合<sup>あ</sup>わせができない(4.6%)
8. まわり<sup>まわり</sup>の人の障<sup>しょう</sup>害<sup>がい</sup>者<sup>しや</sup>に対する理解<sup>りかい</sup>不足<sup>ふそく</sup>(19.3%)
9. 障<sup>しょう</sup>害<sup>がい</sup>を理由<sup>りゆう</sup>に施設<sup>しせつ</sup>などの利用<sup>りよう</sup>を拒否<sup>きよひ</sup>される(0.8%)
10. 適切<sup>てきせつ</sup>な指<sup>し</sup>導<sup>どう</sup>者<sup>しや</sup>がいない(4.6%)
11. 一緒<sup>いっしょ</sup>に行く仲<sup>い</sup>間<sup>なかま</sup>がいない(16.6%)
12. 障<sup>しょう</sup>害<sup>がい</sup>者<sup>しや</sup>参加<sup>さんか</sup>を想<sup>そう</sup>定<sup>てい</sup>していないため文字<sup>もじ</sup>表示<sup>ひょうじ</sup>や点字<sup>てんじ</sup>など配<sup>はい</sup>慮<sup>りよ</sup>がされていない(4.6%)
13. その他<sup>た</sup>(22.4%) 無回答(1.5%)

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数：673>

問17 あなた(あて名の<sup>な</sup>方<sup>かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)が、外出<sup>がいしゅつ</sup>に利用<sup>りよう</sup>する主<sup>おも</sup>な交通<sup>こうつう</sup>手段<sup>しゅだん</sup>は何<sup>なん</sup>ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |  |   |
|--|---|
| 1. 電車 <sup>でんしゃ</sup> 、地下鉄 <sup>ちかてつ</sup> (60.6%)   | 2. 路線 <sup>ろせん</sup> バス(52.5%)  |
| 3. 徒歩 <sup>とほ</sup> または車 <sup>くるま</sup> いす(45.0%)  | 4. 自転 <sup>じてんしゃ</sup> 車(18.7%)   |
| 5. タクシー(36.3%)   | 6. リフト <sup>りふと</sup> 付きタクシー(3.3%)  |
| 7. 自家用 <sup>じかようしや</sup> 車(家族 <sup>かぞく</sup> などが運 <sup>うん</sup> 転 <sup>てん</sup> )(16.0%)   | 8. 自家用 <sup>じかようしや</sup> 車(自分 <sup>じぶん</sup> で運 <sup>うん</sup> 転 <sup>てん</sup> )(5.6%) |
| 9. ボランティアによる移 <sup>い</sup> 送 <sup>そう</sup> サービス(1.2%)  | 10. 電動 <sup>でんどう</sup> 三輪 <sup>さんりん</sup> 車(電動 <sup>でんどう</sup> 車いす)(0.9%)             |
| 11. 障 <sup>しょう</sup> 害 <sup>がい</sup> 者 <sup>しや</sup> 福 <sup>ふく</sup> 社 <sup>しゃ</sup> 会 <sup>かい</sup> 館 <sup>かん</sup> や特 <sup>とく</sup> 別 <sup>べつ</sup> 支 <sup>し</sup> 援 <sup>えん</sup> 学 <sup>がく</sup> 校 <sup>こう</sup> などの送 <sup>そう</sup> 迎 <sup>げい</sup> バ <sup>バ</sup> ス(3.7%) |   |
| 12. その他 <sup>た</sup> (3.4%)  | 無回答(2.5%)   |

はたら  
《働くことについておたずねします》

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数: 673>

問18 あなた(あて名の<sup>な</sup>方<sup>かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)は、給料<sup>きゅうりょう</sup>など就労<sup>しゅうろう</sup>による定期的な<sup>ていきてき</sup>収入<sup>しゅうにゅう</sup>はありますか。  
(○は1つ)

1. はい(35.1%)    2. いいえ(61.5%) → 問19へ(次の<sup>つぎ</sup>ページ)    無回答(3.4%)

(問18で「1. はい」とお答え<sup>こた</sup>の方に<sup>かた</sup>) <回答者数: 236>

問18-1 あなた(あて名の<sup>な</sup>方<sup>かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)の現在の<sup>げんざい</sup>就労<sup>しゅうろう</sup>形態<sup>けいたい</sup>をお答え<sup>こた</sup>ください。(○は1つ)

- |  |  |
|--|--|
| 1. 常勤 <sup>じょうきん</sup> の会社員 <sup>かいしゃいん</sup> 、公務員 <sup>こうむいん</sup> 、団体職員 <sup>だんたいしよくいん</sup> (40.3%) | 2. 自営業 <sup>じえいぎょう</sup> 、家族従業員 <sup>かそくじゅうぎょういん</sup> (10.6%) |
| 3. アルバイト、パート、非常勤職員 <sup>ひじょうきんしよくいん</sup> (23.7%)  | 4. 有償ボランティア <sup>ゆうしょう</sup> (0.0%)                            |
| 5. 内職 <sup>ないしよく</sup> (0.4%)  | 6. 作業所 <sup>さきょうじょ</sup> に通所 <sup>つうしょ</sup> (11.9%)           |
| 7. その他 <sup>た</sup> (10.6%)  | 無回答(2.5%)  |

問18-2 あなた(あて名の<sup>な</sup>方<sup>かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)は、現在の<sup>げんざい</sup>仕事<sup>しごと</sup>をどのような<sup>ほうほう</sup>方法<sup>み</sup>で見つけましたか。(○は1つ)

- |   |  |
|---|--|
| 1. ハローワークの紹介 <sup>しょうかい</sup> (11.4%)   | 2. 学校 <sup>がっこう</sup> の紹介 <sup>しょうかい</sup> (9.7%)                    |
| 3. 役所 <sup>やくしょ</sup> の紹介 <sup>しょうかい</sup> (4.2%)   | 4. 友人 <sup>ゆうじん</sup> や知人 <sup>ちじん</sup> の紹介 <sup>しょうかい</sup> (5.9%) |
| 5. 障害者 <sup>しょうがいしゃ</sup> 就労支援 <sup>しゅうろうしえん</sup> 機関 <sup>きかん</sup> の利用 <sup>りよう</sup> (15.3%) | 6. 直接 <sup>ちよく</sup> 自分で探した <sup>さが</sup> (21.2%)                    |
| 7. 新聞 <sup>しんぶん</sup> や求人情報誌 <sup>きゅうじんじょうほうし</sup> で探した <sup>さが</sup> (4.7%)                   | 8. その他 <sup>た</sup> (18.2%)    無回答(9.3%)                             |

問18-3 あなた(あて名の<sup>な</sup>方<sup>かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)は、現在の<sup>げんざい</sup>仕事<sup>しごと</sup>に関して不安<sup>ふあん</sup>や不満<sup>ふまん</sup>はありますか。  
(○は1つ)

1. はい(41.9%)    2. いいえ(54.7%)    無回答(3.4%)

問18-3-1へ(次の<sup>つぎ</sup>ページ)

(問18-3で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：99>

問18-3-1 あなた(あて名の方ご本人)は、現在の仕事に関してどのような不安や不満がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                           |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 収入が少ない(58.6%)        | 2. 作業内容が難しい(10.1%)        |
| 3. 休みが取りにくい(15.2%)      | 4. 就業時間が長い(20.2%)         |
| 5. 作業ペースが人と合わない(9.1%)   | 6. 職場の人間関係がうまくいかない(19.2%) |
| 7. 体力的に負担が大きい(30.3%)    | 8. 雇用形態が不安定(12.1%)        |
| 9. 障害者用の設備が整っていない(5.1%) | 10. 昇給や昇進が不平等である(16.2%)   |
| 11. 通勤時間が長い(9.1%)       | 12. 特にない(4.0%)            |
| 13. その他(16.2%)          | 無回答(1.0%)                 |

(全員の方に) <回答者数：673>

問19 あなた(あて名の方ご本人)は、今後、どのように働きたいと思いますか。(○は1つ)

- |   |            |
|---|------------|
| 1. 一般企業などで常勤の社員として働きたい(13.4%)           |            |
| 2. 一般企業などでパート・アルバイトとして働きたい(4.3%)        |            |
| 3. 障害者が多く働いている職場で働きたい(1.3%)             |            |
| 4. 指導員やジョブコーチなどがいて支援をしてくれる職場で働きたい(1.9%) |            |
| 5. 作業所や就労支援事業所などで働きたい(4.5%)             |            |
| 6. 働きたいが、働く場所については特に希望はない(4.6%)         |            |
| 7. 働きたくない(19.3%)                        |            |
| 8. わからない(16.9%)                         |            |
| 9. その他(17.4%)                           | 無回答(16.3%) |



(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数：673>

問20 あなた(あて名<sup>な</sup>の方<sup>かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)は、障害者<sup>しょうがいしゃ</sup>が働く<sup>はたら</sup>ためには、どのような環境<sup>かんきょう</sup>が整<sup>ととの</sup>っていることが大切<sup>たいせつ</sup>だと思<sup>おも</sup>いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |  |            |
|--|------------|
| 1. 移動手段 <sup>いどうしゅだん</sup> が確保 <sup>かくほ</sup> されていること(34.5%)   |            |
| 2. 健康状態 <sup>けんこうじょうたい</sup> にあわせた働き方 <sup>はたらかた</sup> ができること(50.7%)   |            |
| 3. 事業主 <sup>じぎょうぬし</sup> や職場 <sup>しょくば</sup> の人が障害者 <sup>しょうがいしゃ</sup> について十分 <sup>じゅうぶん</sup> 理解 <sup>りかい</sup> していること(48.7%)                                 |            |
| 4. 自立 <sup>じりつ</sup> した生活 <sup>せいかつ</sup> ができる給料 <sup>きゅうりょう</sup> であること(37.7%)  |            |
| 5. 職場 <sup>しょくば</sup> の施設 <sup>しせつ</sup> や設備 <sup>せつび</sup> が障害 <sup>しょうがい</sup> のある人 <sup>ひと</sup> にも利用 <sup>りよう</sup> できるよう配慮 <sup>はいりょ</sup> されていること(28.7%) |            |
| 6. 職場 <sup>しょくば</sup> に適切な助言 <sup>てきせつじょげん</sup> や指導 <sup>しどう</sup> 、配慮 <sup>はいりょ</sup> をしてくれる人 <sup>ひと</sup> がいること(33.4%)                                     |            |
| 7. 自分 <sup>じぶん</sup> の障害 <sup>しょうがい</sup> にあった仕事 <sup>しごと</sup> があること(44.6%)   |            |
| 8. 就労 <sup>しゅうろう</sup> の場 <sup>ば</sup> をあっせんしたり、相談 <sup>そうだん</sup> できる場 <sup>ば</sup> が整 <sup>ととの</sup> っていること(26.0%)   |            |
| 9. 就労 <sup>しゅうろう</sup> のためのジョブトレーニング <sup>きかい</sup> の機会 <sup>きかい</sup> があること(18.7%)  |            |
| 10. 特 <sup>とく</sup> にない(10.3%)   |            |
| 11. その他 <sup>た</sup> (5.6%)  | 無回答(15.5%) |

《健康福祉サービスについておたずねします》

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数: 673>

問21 あなた(あて名の方<sup>な かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)は、過去1年<sup>かこ ねん</sup>の間に、相談<sup>さうだん</sup>サービスを利用<sup>りよう</sup>したことがありますか。(○は1つ)

1. はい(25.1%)

2. いいえ(68.6%)

無回答(6.2%)

(問21で「1. はい」とお答え<sup>こた</sup>の方に<sup>かた</sup>) <回答者数: 169>

問21-1. 利用<sup>りよう</sup>した相談<sup>さうだん</sup>サービスをお答え<sup>こた</sup>ください。(あてはまるものすべてに○)

1. 区役所<sup>くやくしょ</sup>での相談<sup>さうだん</sup>(44.4%)

2. すこやか福祉<sup>ふくし</sup>センターでの相談<sup>さうだん</sup>(53.3%)

3. 障害者<sup>しょうがいしゃ</sup>地域<sup>ちいき</sup>自立<sup>じりつ</sup>生活<sup>せいかつ</sup>支援<sup>しえん</sup>センター「つむぎ」での相談<sup>さうだん</sup>  
(ピアカウンセリング<sup>ふく</sup>含む)(3.0%)

4. 地域<sup>ちいき</sup>生活<sup>せいかつ</sup>支援<sup>しえん</sup>センター「せせらぎ」での相談<sup>さうだん</sup>(9.5%)

5. 民生<sup>みんせい</sup>委員<sup>いん</sup>・児童<sup>じどう</sup>委員<sup>いん</sup>との相談<sup>さうだん</sup>(2.4%)

6. 中野区<sup>なかのく</sup>障害者<sup>しょうがいしゃ</sup>福祉<sup>ふくし</sup>事業<sup>じぎょう</sup>団(ニコニコ事業<sup>じぎょう</sup>団)での就<sup>しゅう</sup>業<sup>ぎょう</sup>相談<sup>さうだん</sup>(10.1%)

7. その他<sup>た</sup>(17.8%)

無回答(0.6%)

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数：673>

問22 あなた(あて名の方<sup>な</sup>ご本人<sup>かた</sup>)は、次のサービス<sup>つぎ</sup>を利用<sup>りよう</sup>していますか。また今後<sup>こんご</sup>利用<sup>りよう</sup>したいと考<sup>かんが</sup>えますか。(①から⑦のそれぞれについて、「現在<sup>げんざい</sup>利用<sup>りよう</sup>しているか」と「今後<sup>こんご</sup>利用<sup>りよう</sup>したいか」の両方<sup>りょうほう</sup>を回答<sup>かいとう</sup>(番号<sup>ばんごう</sup>に○)してください)

	現在、利用 していますか			今後、利用 したいですか		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
①居宅介護(ホームヘルプ) 自宅で食事や入浴、排せつなどの介助を行うサービス	6.5%	83.4%	10.1%	22.7%	57.7%	19.6%
②重度訪問介護 重度の障害があり常に介護が必要な方に、自宅で食事や入浴、排せつなどの介助や外出時の移動の補助を行うサービス	1.2%	86.0%	12.8%	12.6%	64.8%	22.6%
③同行援護 視覚障害により移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援助などを行うサービス	2.2%	84.2%	13.5%	12.2%	64.3%	23.5%
④行動援護 知的障害や精神障害により行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービス	1.3%	84.7%	14.0%	13.1%	63.0%	23.9%
⑤生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービス	5.1%	82.2%	12.8%	18.0%	59.9%	22.1%
⑥自立訓練(機能訓練) 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能のために必要な訓練を行うサービス	4.2%	83.4%	12.5%	23.3%	55.1%	21.5%
⑦自立訓練(生活訓練) 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における生活能力向上のために必要な訓練を行うサービス	4.8%	82.8%	12.5%	24.2%	53.8%	22.0%

	現在利用 していますか			今後利用 したいですか		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
<b>⑧ 就労移行支援</b> <small>しゅうろういこうしえん</small> 通常 <small>つうじょう</small> の事業所 <small>じぎょうしょ</small> で働 <small>はたら</small> きたい方に、一定 <small>かた</small> の期間 <small>いっぺい</small> 、 就労 <small>しゅうろう</small> に必要な知識 <small>ひつよう</small> 及び能力 <small>ちしきおよ</small> の向上 <small>のうりよく</small> のための 訓練 <small>くんれん</small> を行うサービス <small>おこな</small>	2.8%	82.5%	14.7%	16.8%	58.8%	24.4%
<b>⑨ 就労継続支援(A型、B型)</b> <small>しゅうろうけいぞくしえん</small> 通常 <small>つうじょう</small> の事業所 <small>じぎょうしょ</small> で働 <small>はたら</small> くことが困難 <small>こんなん</small> な方に、就労 <small>しゅうろう</small> の機会 <small>きかい</small> の提供 <small>ていきょう</small> や生産活動 <small>せいさんかつどう</small> その他の活動 <small>た</small> の機会 <small>かつどう</small> の提供 <small>きかい</small> 、知識 <small>ちしき</small> や能力 <small>のうりよく</small> の向上 <small>こうじょう</small> のための訓練 <small>くんれん</small> を 行うサービス <small>おこな</small>	3.9%	80.2%	15.9%	14.9%	60.3%	24.8%
<b>⑩ 療養介護</b> <small>りょうようかいご</small> 医療 <small>いりょう</small> が必要な方 <small>ひつよう</small> で、常 <small>かた</small> に介護 <small>つね</small> を必要 <small>かいご</small> とする方 <small>ひつよう</small> に、 主 <small>おも</small> に昼間 <small>ひるま</small> に病院 <small>びょういん</small> 等 <small>など</small> において機能 <small>きのう</small> 訓練 <small>くんれん</small> 、 療養上 <small>りょうようじょう</small> の管理 <small>かんり</small> 、看護 <small>かんご</small> などを提供 <small>ていきょう</small> するサービス	1.3%	82.9%	15.8%	12.6%	62.6%	24.8%
<b>⑪ 短期入所(ショートステイ)</b> <small>たんきにゅうしょ</small> 在宅 <small>ざいたく</small> の障害者 <small>しょうがいしゃ</small> (児 <small>じ</small> )を介護 <small>かいご</small> する方が病気 <small>かた</small> の場合 <small>びょうき</small> などに、障害者 <small>しょうがいしゃ</small> が施設 <small>しせつ</small> に短期間入所 <small>たんきかんにゅうしょ</small> し、入浴 <small>にゅうよく</small> 、 排せつ <small>はい</small> 、食事 <small>しょくじ</small> の介護 <small>かいご</small> などを行うサービス <small>おこな</small>	2.5%	82.2%	15.3%	19.2%	56.3%	24.5%
<b>⑫ 共同生活援助(グループホーム)</b> <small>きょうどうせいかつえんじょ</small> 夜間 <small>やかん</small> や休日 <small>きゅうじつ</small> 、共同生活 <small>きょうどうせいかつ</small> を行う住居 <small>おこな</small> で、相談 <small>じゅうきょ</small> や日常生活上 <small>にちじょうせいかつじょう</small> の援助 <small>えんじょ</small> を行うサービス <small>おこな</small>	2.1%	82.5%	15.5%	13.8%	60.6%	25.6%
<b>⑬ 施設入所支援</b> <small>しせつにゅうしょしえん</small> 主として夜間 <small>しゅ</small> 、施設 <small>やかん</small> に入所 <small>しせつ</small> する障害者 <small>にゅうしょ</small> (児 <small>しょうがいしゃ</small> )に 対し <small>たい</small> 、入浴 <small>にゅうよく</small> 、排せつ <small>はい</small> 、食事 <small>しょくじ</small> の介護 <small>かいご</small> などの支援 <small>しえん</small> を 行うサービス <small>おこな</small>	0.9%	83.4%	15.8%	10.3%	64.2%	25.6%
<b>⑭ 相談支援</b> <small>そうだんしえん</small> 福祉 <small>ふくし</small> に関する問題 <small>かん</small> や介護者 <small>もんだい</small> からの相談 <small>かいごしや</small> に応じ <small>そうだん</small> て、必要 <small>おう</small> な情報 <small>ひつよう</small> の提供 <small>じょうほう</small> や助言 <small>ていきょう</small> などを行うサー ビス <small>じよげん</small>	9.1%	75.8%	15.2%	39.8%	36.1%	24.1%
<b>⑮ 移動支援</b> <small>いどうしえん</small> 屋外 <small>おくがい</small> での移動 <small>いどう</small> が困難 <small>こんなん</small> な障害者 <small>しょうがいしゃ</small> に対して、外出 <small>たい</small> の ための支援 <small>がいしゅつ</small> を行うサービス <small>しえん</small>	5.5%	79.2%	15.3%	26.6%	48.3%	25.1%

	現在利用 していますか			今後利用 したいですか		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
⑯自立生活援助 障害者支援施設やグループホームから一人暮らしに移行した方を訪問し、生活について助言を行うサービス	1.3%	83.5%	15.2%	14.1%	60.8%	25.1%
⑰就労定着支援 就労に伴う生活の課題に対応できるように、事業所などを訪問し支援を行うサービス	1.9%	82.0%	16.0%	14.9%	60.5%	24.7%

(問22の「現在利用していますか」の設定で、1つ以上「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：173>

問22-1 あなた(あて名の方ご本人)がサービス等利用計画について、不満に思うことを次の中から選んでください。(あてはまるものすべてに○)

1. 希望するサービスが利用できない(8.7%)
2. 希望しないサービスが、サービス等利用計画に含まれている(1.7%)
3. 希望する事業者が利用できない(4.6%)
4. サービスの利用回数や時間が少ない(12.7%)
5. サービスの利用料金が低い(6.9%)
6. 相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない(5.2%)
7. 不満な点はない(49.1%)
8. その他(8.1%) 無回答(23.1%)

(問22の「現在利用していますか」の設定で、全てに「2. いいえ」とお答えの方に) <回答者数：416>

問22-2 障害福祉サービスを利用していない理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| 1. 自力で生活できるから(61.5%)      | 2. 家族が介助しているから(25.5%)                                       |
| 3. 他人が家に入ってほしくないから(9.9%)  | 4. 利用したいサービスがないから(5.0%)                                     |
| 5. 事業者に対して信頼が持てないから(3.8%) | 6. 事業者に断られたから(0.0%)   |
| 7. 施設が遠いから(1.0%)          | 8. 利用料が支払えないから(3.8%)  |
| 9. 利用方法が分からないから(13.9%)    | 10. サービスを知らなかったから(16.8%)                                    |
| 11. 病院・診療所に入院しているから(1.7%) | 12. その他(5.3%) <span style="float: right;">無回答(11.1%)</span> |

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数：673>

問23 障害者<sup>しょうがいしゃ</sup>に対する理解<sup>りかい</sup>はどの程度<sup>ていど</sup>進<sup>すす</sup>んでいると思<sup>おも</sup>いますか。(○は1つ)

- |  |  |
|--|--|
| 1. 十分 <sup>じゅうぶん</sup> に進 <sup>すす</sup> んでいる(2.5%) | 2. ある程度 <sup>ていど</sup> 進 <sup>すす</sup> んでいる(29.4%) |
| 3. どちらともいえない(21.8%)                                | 4. あまり進 <sup>すす</sup> んでいない(18.9%)                 |
| 5. 全く <sup>まった</sup> 進 <sup>すす</sup> んでいない(5.3%)   | 6. わからない(12.8%)                                    |
| 7. その他 <sup>た</sup> (0.9%)                         | 無回答(8.3%)  |

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数：673>

問24 あなた(あて名<sup>な</sup>の方<sup>かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)はヘルプマーク<sup>し</sup>を知<sup>し</sup>っていますか。(○は1つ)

- |  |
|--|
| 1. ヘルプマーク <sup>い</sup> の意味 <sup>み</sup> を含 <sup>ふく</sup> めて知 <sup>し</sup> っている(51.4%)        |
| 2. ヘルプマーク <sup>し</sup> があることは知 <sup>し</sup> っているが、意味 <sup>い</sup> は知 <sup>し</sup> らない(19.6%) |
| 3. 知 <sup>し</sup> らない(22.6%)   |

無回答(6.4%)



(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数：673>

問25 あなた(あて名<sup>な</sup>の方<sup>かた</sup>ご本人<sup>ほんにん</sup>)は次の施策<sup>つぎ</sup>のうち、特に充<sup>とく</sup>実<sup>じゅうじつ</sup>してほしいと思<sup>おも</sup>うものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |
|---|
| 1. 障害福祉 <sup>しょうがいふくし</sup> サービスの利用 <sup>りよう</sup> などの障害者 <sup>しょうがいしゃ</sup> の福祉 <sup>ふくし</sup> に関する様々 <sup>かん</sup> な相談 <sup>さまざま</sup> 支援 <sup>そうだん</sup> (40.0%)           |
| 2. ピアサポート <sup>とうじしゃどうし</sup> (当事者 <sup>とうじ</sup> 同士の相談 <sup>そうだん</sup> 活動 <sup>かつどう</sup> )(7.6%)  |
| 3. 障害 <sup>しょうがい</sup> 当事者 <sup>とうじ</sup> の文化 <sup>ぶんか</sup> 活動 <sup>かつどう</sup> 、社会 <sup>しゃかい</sup> 貢献 <sup>こうけん</sup> 活動 <sup>かつどう</sup> など(13.1%)                           |
| 4. 余暇 <sup>よか</sup> 活動 <sup>かつどう</sup> の支援 <sup>しえん</sup> (16.3%)   |
| 5. 活動 <sup>かつどう</sup> の場 <sup>ば</sup> 、憩 <sup>い</sup> いの場 <sup>ば</sup> の整備 <sup>せいび</sup> (17.4%)   |
| 6. 一般 <sup>いっぱん</sup> 企業 <sup>きぎょう</sup> などへの就 <sup>しゅう</sup> 労 <sup>ろう</sup> 支援 <sup>しえん</sup> (21.2%)   |
| 7. 利用 <sup>りよう</sup> できるサービスについての広 <sup>こう</sup> 報 <sup>ほう</sup> ・周 <sup>しゅう</sup> 知 <sup>ち</sup> (情 <sup>じょう</sup> 報 <sup>ほう</sup> 提 <sup>てい</sup> 供 <sup>きょう</sup> )(34.5%) |
| 8. 病 <sup>びょう</sup> 気 <sup>き</sup> や障 <sup>しょう</sup> 害 <sup>がい</sup> に対 <sup>たい</sup> する理 <sup>り</sup> 解 <sup>かい</sup> の促 <sup>そく</sup> 進 <sup>しん</sup> (36.3%)               |
| 9. 特 <sup>とく</sup> にない(16.0%)   |
| 10. その他 <sup>た</sup> (5.3%)   |

無回答(11.1%)

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数：673>

問26 障害のある人への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つ)

- |                    |                   |                |
|--------------------|-------------------|----------------|
| 1. 名前は知っている(23.6%) | 2. 内容も知っている(6.8%) | 3. 知らない(62.0%) |
| 無回答(7.6%)          |                   |                |

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数：673>

問27 あなた(あて名の方ご本人)は過去3年の間に、日常生活の中で、障害を理由に、差別的な対応を受けたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |  |
|--|
| 1. 誰もが一般に利用できる施設で利用を断られた(1.5%)         |
| 2. 飲食店やホテルなどで利用を断られた(0.6%)             |
| 3. 鉄道・バス・タクシー・飛行機などで乗車を拒否された(1.2%)     |
| 4. アパートの契約を断られた(2.7%)                  |
| 5. スポーツクラブや習い事などで入会を断られた(0.9%)         |
| 6. 催しへの出席を断られた(0.4%)                   |
| 7. 仕事の求人への応募を拒否された(2.5%)               |
| 8. 職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い(5.1%)       |
| 9. 希望した学校に入学できなかった(0.4%)               |
| 10. 職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた(3.9%) |
| 11. その他(6.1%)                          |
| 12. 特にない(65.2%)                        |
| 無回答(16.5%)                             |

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>)

問28 あなた(あて名の方ご本人)もしくはご家族が日常生活の中で、周りの方から受けた障害への配慮で特に嬉しいと感じたことがありましたら、ご自由にお書きください。


(<sup>ぜんいん</sup> <sup>かた</sup>全員の<sup>かた</sup>方に)

問29 <sup>と</sup>日常生活<sup>に</sup>で<sup>こ</sup>まっている<sup>こ</sup>ことが<sup>あ</sup>りましたら、<sup>じ</sup>自由<sup>に</sup>にお<sup>か</sup>書き<sup>く</sup>ださい。


(<sup>ぜんいん</sup> <sup>かた</sup>全員の<sup>かた</sup>方に)

問30 <sup>と</sup>健康福祉行政<sup>に</sup>に関する<sup>こ</sup>ことや<sup>こ</sup>今回の<sup>ち</sup>調査<sup>に</sup>について、<sup>よ</sup>要望<sup>や</sup>ご<sup>い</sup>意見<sup>な</sup>ど<sup>あ</sup>りましたら、<sup>じ</sup>自由<sup>に</sup>にお<sup>か</sup>書き<sup>く</sup>ださい。


<sup>き</sup>ょうりよく  
ご<sup>き</sup>協力<sup>あ</sup>りが<sup>と</sup>う<sup>ご</sup>ざ<sup>い</sup>ました

この<sup>ち</sup>調査票<sup>は</sup>環境<sup>に</sup>配慮<sup>し</sup>て<sup>さ</sup>再生紙<sup>を</sup>使用<sup>し</sup>ています。





れいわ ねんど ねんど

令和4年度(2022年度)

しょうがいふくし いこうちようさ  
障害福祉サービス意向調査

しせつにゆうしょしゃちようさ  
《施設入所者調査》

ちよう さ ひよう  
調査票

ちようさ きにゆう ねが  
【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、できる限りあて名の方ご本人がお答えください。ご本人が答えることが難しい場合は、ご本人が答える支援をお願いします。ご本人が答えられない場合には、ご家族や介護されている方がご本人の意向を尊重してご記入ください。
2. 令和4年8月1日現在の状況でお答えください。
3. このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
4. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
5. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
6. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
7. 「その他(具体的に )」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的に記入ください。
8. ご記入いただきました調査票は、

れいわ ねん がつ にち かようび  
**令和4年10月11日(火曜日)までに**

みつおりにした上で、同封した返信用封筒(切手不要)に入れて郵送してください。

9. 調査報告書は、令和5年7月から、図書館、すこやか福祉センター、区ホームページなどでご覧になれる予定です。
10. 調査の内容や記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

なかのくけんこうふくし ぶしょうがいふくし かしょうがいしゃしさくすいしんがかり  
中野区健康福祉部障害福祉課障害者施策推進係

でんわ  
電話 03-3228-8832 FAX 03-3228-5660

E-mail shogaihukusi@city.tokyo-nakano.lg.jp

質問の上に(全員の方に)と記載のあるものは全員の方が、(～の方に)とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

(全員の方に) <回答者数：134>

問1 このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。(○は1つ)

- |  |           |
|--|-----------|
| 1. あなた(あて名の方ご本人)が自分で回答(聞き取りなどによる代筆を含む) (45.5%) |           |
| 2. ご家族 (1.5%)                                  |           |
| 3. その他の人 (53.0%)                               | 無回答(0.0%) |

(全員の方に) <回答者数：134>

問2 あなた(あて名の方ご本人)の性別と年齢をお答えください。

(○は1つ、右づめで数字を記入)

- |      |                      |                      |                      |           |
|------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------|
| <性別> | 1. 男性 (56.7%)        | 2. 女性 (42.5%)        | 3. その他 (0.0%)        | 無回答(0.7%) |
| <年齢> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 歳         |

(全員の方に)

問3 あなた(あて名の方ご本人)の身体障害者手帳・愛の手帳(療育手帳)の等級をお答えください。両方の手帳をお持ちの方は、それぞれについてお答えください。

(1) 身体障害者手帳(○は1つ) <回答者数：48>

- |               |               |              |           |
|---------------|---------------|--------------|-----------|
| 1. 1級 (50.0%) | 2. 2級 (35.4%) | 3. 3級 (2.1%) |           |
| 4. 4級 (8.3%)  | 5. 5級 (2.1%)  | 6. 6級 (2.1%) | 無回答(0.0%) |

(2) 愛の手帳(○は1つ) <回答者数：112>

- |              |               |               |               |           |
|--------------|---------------|---------------|---------------|-----------|
| 1. 1度 (0.0%) | 2. 2度 (64.3%) | 3. 3度 (22.3%) | 4. 4度 (13.4%) | 無回答(0.0%) |
|--------------|---------------|---------------|---------------|-----------|

(身体障害者手帳をお持ちの方に) <回答者数：48>

問3-1 あなた(あて名の方ご本人)の身体障害者手帳に記載された障害名をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 上肢機能障害 (33.3%) | 2. 聴覚障害・平衡機能障害 (8.3%)     |
| 3. 下肢機能障害 (41.7%) | 4. 音声・言語・そしゃく機能障害 (16.7%) |
| 5. 体幹機能障害 (27.1%) | 6. 脳原性まひ (12.5%)          |
| 7. 内部機能障害 (2.1%)  | 8. 視覚障害 (4.2%)            |
| 9. その他 (16.7%)    | 無回答(2.1%)                 |

(愛の手帳をお持ちの方に)

問3-2 差し支えがなければ、あなた(あて名の方ご本人)の診断名をお答えください。(直接記入)

( )

(全員の方に) <回答者数：134>

問4 あなた(あて名の方ご本人)の、障害支援区分をお答えください。(○は1つ)

- |                           |               |
|---------------------------|---------------|
| 1. 障害支援区分の認定を受けていない(1.5%) | 2. 区分1(0.0%)  |
| 3. 区分2(0.7%)              | 4. 区分3(1.5%)  |
| 5. 区分4(13.4%)             |               |
| 6. 区分5(28.4%)             | 7. 区分6(48.5%) |
|                           | 無回答(6.0%)     |

(全員の方に) <回答者数：134>

問5 あなた(あて名の方ご本人)が現在入所している施設は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 指定障害者支援施設(身体障害者)(20.9%) | 2. 指定障害者支援施設(知的障害者)(74.6%) |
| 3. 療養介護(0.0%)              |                            |
| 4. その他(2.2%)               | 無回答(2.2%)                  |

(全員の方に) <回答者数：134>

問6 現在の施設に入所して何年になりますか。(○は1つ)

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 1年未満(6.0%)       | 2. 1年以上5年未満(10.4%) |
| 3. 5年以上10年未満(19.4%) | 4. 10年以上(64.2%)    |
|                     | 無回答(0.0%)          |

(全員の方に) <回答者数：134>

問7 現在の施設に入所することになった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |  |
|--|
| 1. 心身の機能が著しく低下したため(18.7%)              |
| 2. 介助者が高齢などの理由で在宅での生活が困難になったため(50.0%)  |
| 3. 介助者が病気や転勤のため、介助(介護)できなくなったため(10.4%) |
| 4. 段差が多いなど、住まいに支障があるため(4.5%)           |
| 5. 在宅生活を続けるために必要なサービスが不十分なため(22.4%)    |
| 6. 専門的な訓練を受けたかったため(6.0%)               |
| 7. その他(15.7%)                          |
| 無回答(0.7%)                              |

(全員の方に) <回答者数：134>

問8 施設のある場所は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- |               |  |
|---------------|--|
| 1. 東京都(50.7%) | 2. 関東各県(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県)(26.1%) |
| 3. その他(22.4%) | 無回答(0.7%)                                |

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>) <回答者数 : 134>

問9 今後、どこで生活したいですか。(○は1つ)

- |  |         |
|--|---------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設を出て地域の中で暮らしたい(8.2%)</li> <li>2. 施設を出て地域のグループホームで暮らしたい(10.4%)</li> <li>3. 現在のように、入所施設で暮らしたい(50.0%)</li> <li>4. わからない(29.1%)</li> <li>5. その他(2.2%)無回答(0.0%)</li> </ol> | → 問9-1へ |
|--|---------|

(問9で「1」または「2」に○をつけた方に) <回答者数 : 25>

問9-1 仮に施設を退所するとしたら、どのような生活を送りたいですか。(○は1つ)

- |   |           |
|---|-----------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家族やヘルパー、支援員などから介助(介護)を受けて生活したい(24.0%)</li> <li>2. 働いて経済的に自立した生活を送りたい(28.0%)</li> <li>3. 通所施設などに通いながら生活したい(40.0%)</li> <li>4. わからない(8.0%)</li> <li>5. その他(0.0%)</li> </ol> | 無回答(0.0%) |
|---|-----------|

問9-2 施設を退所したら、どこに住みたいですか。(○は1つ)

- |  |           |
|--|-----------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中野区内に住みたい(60.0%)</li> <li>2. 今生活している施設の近く(0.0%)</li> <li>3. 特に場所はこだわらない(16.0%)</li> <li>4. その他(8.0%)</li> <li>5. わからない(16.0%)</li> </ol> | 無回答(0.0%) |
|--|-----------|

(全員の<sup>ぜんいん</sup>方に<sup>かた</sup>)

問10 健康福祉行政全体や今回の調査について、ご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

きょうりよく  
ご協力ありがとうございました

この調査票は環境に配慮して再生紙を使用しています。



# 令和4年度(2022年度)

## 《発達支援等調査》

### 調査票

#### 【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、ご家族や介護されている方がお答えください。
2. 令和4年8月1日現在の状況でお答えください。
3. このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
4. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン、又は鉛筆でお願いします。
5. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
6. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
7. 「その他( )」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的にご記入ください。
8. ご記入いただきました調査票は、

#### **令和4年10月11日(火曜日)までに**

三つ折りにした上で、同封した返信用封筒(切手不要)に入れて郵送してください。

9. 調査報告書は、令和5年7月から図書館、すこやか福祉センター、区ホームページなどでご覧になれる予定です。
10. 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

中野区健康福祉部障害福祉課子ども発達支援係  
TEL. 03-3228-5613 FAX. 03-3228-5505  
E-mail shogaihukusi@city.tokyo-nakano.lg.jp

質問の上に(全員の方に)と記載のあるものは全員の方が、(～の方に)とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

---

### 《お子さん(あて名の方ご本人)の状況について、お伺いします》

---

(全員の方に) <回答者数：341>

問1 このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。(○は1つ)

1. ご家族(99.4%)

2. その他の人(0.0%)

無回答(0.6%)

(全員の方に) <回答者数：341>

問2 お子さん(あて名の方ご本人)の性別と年齢をお答えください。

(○は1つ、右づめで数字を直接記入)

〈性別〉 1. 男性(67.2%)

2. 女性(31.1%)

3. その他(0.0%)

無回答(1.8%)

〈年齢〉   歳

(全員の方に) <回答者数：341>

問3 お子さん(あて名の方ご本人)と同居するご家族をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 父(90.3%)

2. 母(95.6%)

3. 兄弟姉妹(63.0%)

4. その他(6.2%)

無回答(1.2%)

(全員の方に) <回答者数：341>

問4 次のサービス等を現在、利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 専門医(20.5%)	2. 地域主治医(12.6%)	3. 訪問看護ステーション(3.8%)
4. 訪問リハビリ(5.3%)	5. リハビリ目的での通院(4.4%)	6. 居宅介護(ホームヘルプ)(1.2%)
7. 移動支援(4.1%)	8. 短期入所(ショートステイ)(2.1%)	9. 相談支援事業所(17.0%)
10. 在宅レスパイト事業(0.9%)	11. 児童発達支援(67.4%)	12. 医療型児童発達支援(0.3%)
13. 居宅訪問型児童発達支援(0.6%)	14. 放課後等デイサービス(35.5%)	
15. アポロ園及びゆめなりあの保育所等訪問支援(45.7%)		
16. 「15.」以外の保育所等訪問支援(2.9%)		
17. 区立障害児通所支援施設一時保護事業(2.1%)		
18. 医療型障害児入所支援施設(0.0%)		
19. 福祉型障害児入所支援施設(0.0%)	20. 居宅訪問型保育事業(0.0%)	
21. 保育所(24.3%)	22. 幼稚園(17.0%)	23. 学童クラブ(7.0%)
24. ペアレントメンターによる相談(1.5%)	25. 患者会・親の会(1.8%)	
26. 利用していない(1.2%)	27. その他(0.9%)	無回答(0.3%)

(全員の方に) <回答者数：341>

問4-1 これまで利用できなかったサービス等がありますか。(○は1つ)

1. はい(18.5%)	2. いいえ(80.4%)	無回答(1.2%)
--------------	---------------	-----------

(問4-1で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：63>

問4-2 利用できなかったサービス等は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 専門医(9.5%)	2. 地域主治医(3.2%)	3. 訪問看護ステーション(0.0%)
4. 訪問リハビリ(1.6%)	5. リハビリ目的での通院(1.6%)	6. 居宅介護(ホームヘルプ)(1.6%)
7. 移動支援(7.9%)	8. 短期入所(ショートステイ)(7.9%)	9. 相談支援事業所(1.6%)
10. 在宅レスパイト事業(6.3%)	11. 児童発達支援(12.7%)	12. 医療型児童発達支援(3.2%)
13. 居宅訪問型児童発達支援(4.8%)	14. 放課後等デイサービス(12.7%)	
15. アポロ園及びゆめなりあの保育所等訪問支援(7.9%)		
16. 「15.」以外の保育所等訪問支援(4.8%)		
17. 区立障害児通所支援施設一時保護事業(3.2%)		
18. 医療型障害児入所支援施設(1.6%)		
19. 福祉型障害児入所支援施設(1.6%)	20. 居宅訪問型保育事業(1.6%)	
21. 保育所(22.2%)	22. 幼稚園(9.5%)	23. 学童クラブ(3.2%)
24. ペアレントメンターによる相談(4.8%)	25. 患者会・親の会(3.2%)	
26. その他(7.9%)		無回答(0.0%)

(全員の方に) <回答者数：341>

問5 お子さん(あて名の方ご本人)は日常的に医療的ケア(※)が必要ですか。(○は1つ)

1. はい(4.4%)

2. いいえ(95.3%)

無回答(0.3%)

※医療的ケアとは、医師の指導の下に、保護者や看護師が日常的に行っている経管栄養・痰の吸引等の医療行為を言います。

(問5で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：15>

問5-1 日常的にどのような医療的ケアが必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人工呼吸器(TPPV・NPPV・夜間のみも含む。)(6.7%)

2. 気管切開(6.7%)

3. 鼻咽頭エアウェイ(0.0%)

4. 酸素(6.7%)

5. 吸引(13.3%)

6. 吸入(ネブライザー)(13.3%)

7. IVH(中心静脈栄養)(0.0%)

8. 経管栄養(経鼻・胃ろう)(26.7%)

9. 腸ろう(0.0%)

10. 透析(腹膜透析も含む)(0.0%)

11. 定期導尿(6.7%)

12. 人工肛門(0.0%)

13. 与薬(46.7%)

14. その他(33.3%)

無回答(13.3%)

問5-2 身体能力についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 寝たきり(6.7%)

2. 座位可(73.3%)

3. 立位可(33.3%)

4. 独歩可(13.3%)

5. 走れる(26.7%)

無回答(13.3%)



(お子さん(あて名の方ご本人)が手帳をお持ちの方に)

問6 お子さん(あて名の方ご本人)が身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、等級または度数をお答えください。複数の手帳をお持ちの方は、それぞれの等級または度数についてお答えください。

(1) 身体障害者手帳(○は1つ) <回答者数：19>

1. 1級(63.2%)	2. 2級(5.3%)	3. 3級(10.5%)	
4. 4級(15.8%)	5. 5級(0.0%)	6. 6級(5.3%)	無回答(0.0%)

(2) 愛の手帳(○は1つ) <回答者数：60>

1. 1度(1.7%)	2. 2度(21.7%)	3. 3度(33.3%)	4. 4度(43.3%)	無回答(0.0%)
-------------	--------------	--------------	--------------	-----------

(3) 精神障害者保健福祉手帳(○は1つ) <回答者数：4>

1. 1級(0.0%)	2. 2級(25.0%)	3. 3級(75.0%)	無回答(0.0%)
-------------	--------------	--------------	-----------

(身体障害者手帳をお持ちの方に) <回答者数：19>

問6-1 お子さん(あて名の方ご本人)の身体障害者手帳に記載された障害名をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 上肢機能障害(42.1%)	2. 聴覚・平行機能障害(10.5%)
3. 下肢機能障害(36.8%)	4. 音声・言語・そしゃく機能障害(0.0%)
5. 体幹機能障害(36.8%)	6. 脳原性まひ(10.5%)
7. 内部機能障害(15.8%)	8. 視覚障害(5.3%)
9. その他(10.5%)	無回答(5.3%)

(全員の方に)

問6-2 差し支えなければ、お子さん(あて名の方ご本人)の診断名(疑いなども含む)をお答えください。(直接記入)

( )

(全員の方に)

問6-3 上記の診断に関する事で気がついた年齢をお答えください。

(把握時点が複数ある場合は直近のものを記入)(右づめで直接記入)

		歳
--	--	---

《児童福祉法のサービスについておたずねします》

(全員の方に) <回答者数：341>

問7 児童発達支援について、これまでに見たり聞いたりして知っていましたか。(○は1つ)

※児童発達支援とは、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行うサービスです。

1. はい(93.5%)	2. いいえ(6.2%)	無回答(0.3%)
--------------	--------------	-----------

(全員の方に) <回答者数：341>

問8 児童発達支援を現在、利用していますか。(○は1つ)

1. はい(67.4%)	2. いいえ(32.6%)	無回答(0.0%)
--------------	---------------	-----------

(問8で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：230>

問8-1 現在、利用している児童発達支援事業所は何か所ですか。(○は1つ)

1. 1か所(73.5%)	2. 2か所(22.2%)	3. 3か所(3.9%)	4. 4か所以上(0.0%)	無回答(0.4%)
---------------	---------------	--------------	----------------	-----------

問8-2 現在、利用している児童発達支援事業所には、週にどの程度通われていますか。  
複数か所利用している場合は、全部合わせた日数をお答えください。(○は1つ)

1. 週に1日(19.1%)	2. 週に2日(11.7%)	3. 週に3日(7.8%)
4. 週に4日(1.7%)	5. 週に5日(5.7%)	6. 月に2、3日(38.3%)
7. その他(14.8%)	無回答(0.9%)	

問8-3 児童発達支援について、希望する利用日数はどの程度ですか。(○は1つ)

1. 週に1日(28.3%)	2. 週に2日(17.4%)	3. 週に3日(7.8%)
4. 週に4日(1.7%)	5. 週に5日(8.3%)	6. 月に2、3日(29.1%)
7. その他(6.1%)	無回答(1.3%)	

(全員の方に) <回答者数：341>

問9 児童発達支援を今後、利用したいですか。(○は1つ)

1. はい(68.9%)      2. いいえ(15.5%)      3. 分からない(13.5%)      無回答(2.1%)

(問9で「2. いいえ」とお答えの方に) <回答者数：53>

問9-1 児童発達支援を利用したくない理由はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 必要ない(43.4%)      2. 利用したい事業所がない(3.8%)  
 3. 利用できる事業所がない(9.4%)      4. 家から遠くて利用できない(1.9%)  
 5. その他(41.5%)      無回答(5.7%)

(全員の方に) <回答者数：341>

問10 居宅訪問型児童発達支援を、今後利用したいですか。(○は1つ)

※居宅訪問型児童発達支援とは、通所が著しく困難な場合に、障害のあるお子さんの居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与等の支援を行うサービスです。

1. はい(7.3%)      2. いいえ(70.7%)      3. 分からない(19.9%)      無回答(2.1%)

(問10で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：25>

問10-1 どの程度の日数を利用したいですか。(○は1つ)

1. 週に1日(48.0%)      2. 週に2日(8.0%)      3. 月に2、3日(24.0%)  
 4. その他(16.0%)      無回答(4.0%)

(全員の方に) <回答者数：341>

問11 放課後等デイサービスについて、これまでに見たり聞いたりして知っていましたか。(○は1つ)

※放課後等デイサービスとは、授業の終了後又は学校の休業日に、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行うサービスです。

1. はい(84.2%)      2. いいえ(15.0%)      無回答(0.9%)

(全員の方に) <回答者数：341>

問 12 放課後等デイサービスを現在、利用していますか。(○は1つ)

1. はい(35.8%)

2. いいえ(64.2%)

無回答(0.0%)

(問 12 で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：122>

問 12-1 現在、利用している放課後等デイサービス事業所は何か所ですか。(○は1つ)

1. 1か所(72.1%)

2. 2か所(18.9%)

3. 3か所(4.9%)

4. 4か所以上(3.3%)

無回答(0.8%)

問 12-2 現在、利用している放課後等デイサービス事業所には、週にどの程度通われていますか。複数か所利用している場合は、全部合わせた日数をお答えください。(○は1つ)

1. 週に1日(34.4%)

2. 週に2日(15.6%)

3. 週に3日(14.8%)

4. 週に4日(5.7%)

5. 週に5日(8.2%)

6. 月に2、3日(11.5%)

7. その他(9.0%)

無回答(0.8%)

問 12-3 放課後等デイサービスについて、希望する利用日数はどの程度ですか。(○は1つ)

1. 週に1日(25.4%)

2. 週に2日(29.5%)

3. 週に3日(12.3%)

4. 週に4日(4.9%)

5. 週に5日(13.1%)

6. 月に2、3日(6.6%)

7. その他(6.6%)

無回答(1.6%)

(全員の方に) <回答者数：341>

問 13 放課後等デイサービスを今後、利用したいですか(○は1つ)

1. はい(64.5%)	2. いいえ(10.3%)	3. 分からない(24.9%)	無回答(0.3%)
--------------	---------------	-----------------	-----------

(問 13 で「2. いいえ」とお答えの方に) <回答者数：35>

問 13-1 放課後等デイサービスを利用したくない理由はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 必要ない(68.6%)	2. 利用したい事業所がない(0.0%)	
3. 利用できる事業所がない(2.9%)	4. 家から遠くて利用できない(2.9%)	
5. 学童クラブを利用している(5.7%)	6. その他(20.0%)	無回答(5.7%)

(区外の児童発達支援や放課後等デイサービス事業所を利用している方に) <回答者数：341>

問 14 区外の児童発達支援や放課後等デイサービスの事業所を利用している方にお尋ねします。

区外の事業所を利用している理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 障害特性にあった療育を受けるため(14.7%)	2. 区内事業所に空きがないため(5.6%)	
3. 自宅に近い(4.1%)	4. 通学先に近い(0.9%)	
5. その他(5.9%)		無回答(78.3%)

(全員の方に) <回答者数：341>

問 15 保育所等訪問支援について、これまでに見たり聞いたりして知っていましたか。(○は1つ)

※保育所等訪問支援とは、障害や発達に課題のあるお子さんが在籍する保育所や幼稚園等へ訪問し、専門的な助言・支援を行うものです。

1. はい(86.5%)	2. いいえ(12.9%)	無回答(0.6%)
--------------	---------------	-----------

— Ⅲ 調査票と単純集計 —

(全員の方に) <回答者数：341>

問 16 保育所等訪問支援を今後、利用したいですか。(○は1つ)

1. はい(49.6%)      2. いいえ(32.6%)      3. 分からない(17.3%)      無回答(0.6%)

(問 16で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：169>

問 16-1 保育所等訪問支援を、どの程度利用したいですか。(○は1つ)

1. 月に1日(59.8%)      2. 月に2日(11.8%)      3. 月に3日(3.6%)  
4. その他(22.5%)      無回答(2.4%)

(全員の方に) <回答者数：341>

問 17 障害児相談支援について、これまでに見たり聞いたりして知っていましたか。(○は1つ)

※障害児相談支援とは、保護者等からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行ったり、児童発達支援や放課後等デイサービス等の通所給付決定の申請に係る、お子さんの心身の状況や環境、利用意向等を勘案し、障害児支援利用計画を作成したりするサービスです。

1. はい(77.4%)      2. いいえ(22.6%)      無回答(0.0%)

(全員の方に) <回答者数：341>

問 18 障害児相談支援(障害児相談支援事業所)を利用したことがありますか。(○は1つ)

1. はい(58.4%)      2. いいえ(40.8%)      無回答(0.9%)

(全員の方に) <回答者数：341>

問 19 障害児支援利用計画を作成する際には、どこの障害児相談支援事業所の利用を希望しますか。  
(あてはまるものすべてに○)

※児童発達支援や放課後等デイサービス等の通所給付決定には、指定障害児相談支援事業者が作成するお子さんの心身の状況や環境、利用意向等を勘案し作成した、障害児支援利用計画が必要です。

1. 自宅近くの障害児相談支援事業所(45.2%)      2. すこやか障害者相談支援事業所(47.2%)  
3. 通所(入所)先内の障害児相談支援事業所(33.1%)      4. 利用を希望しない(8.8%)  
無回答(1.2%)

(全員の方に) <回答者数：341>

問 20 障害児相談支援を今後、利用したいですか。(○は1つ)

1. はい(63.9%)	2. いいえ(12.0%)	3. 分からない(23.8%)	無回答(0.3%)
--------------	---------------	-----------------	-----------

(全員の方に) <回答者数：341>

問 21 障害児に対する地域の理解はどの程度進んでいると思いますか。(○は1つ)

1. 十分に進んでいる(2.1%)	2. ある程度進んでいる(19.1%)	
3. どちらともいえない(24.6%)	4. あまり進んでいない(29.9%)	
5. 全く進んでいない(6.2%)	6. 分からない(17.9%)	無回答(0.3%)

(全員の方に) <回答者数：341>

問 22 次の施策・サービス等、特に充実してほしいと思うものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. サービスの利用などの福祉に関する様々な相談支援(50.7%)	
2. ペアレントメンター(※1)による相談(36.4%)	
3. ペアレントトレーニング(※2)等の保護者支援(55.1%)	
4. 余暇活動の支援(29.9%)	
5. 活動の場、憩いの場の整備(39.3%)	
6. 利用できるサービスについての広報・周知(54.8%)	
7. 病気や障害に対する理解の促進(39.9%)	
8. 特にない(2.3%)	
9. その他(12.9%)	無回答(0.6%)

※1 ペアレントメンターとは、同じ障害のある子どもを育てる保護者が相談相手になること。悩みを共有し、実際の子育ての経験を通して助言することができる。

※2 ペアレントトレーニングとは、保護者が自分の子どもの行動を理解したり、特性をふまえた褒め方や叱り方を学ぶための支援。

(全員の方に)

問23 日常生活や就園・就学・進路・就職等で困っていることがありましたら、ご自由にお書きください。


(全員の方に)

問 24 健康福祉行政に関することや今回の調査について、ご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。


ご協力ありがとうございました

この調査票は環境に配慮して  
再生紙を使用しています。





令和4年度（2022年度）  
障害福祉サービス意向調査  
報告書

発行日／令和5年（2023年）3月

印刷登録番号／4中健福第3248号

発行／中野区健康福祉部 福祉推進課 健康福祉企画係  
中野区健康福祉部 障害福祉課 障害者施策推進係  
子ども発達支援係

〒164-8501

東京都中野区中野 4-8-1

電話 03-3228-8832 / 03-3228-5613

編集分析／株式会社アイアールエス

〒160-0004

東京都新宿区四谷 3-1-3 第1富澤ビル7F

電話 03-3357-7181（代表）

この冊子は環境に配慮して再生紙を使用しています。

